

令和2年度

高知医療センター年報

高知県・高知市病院企業団立高知医療センター

目次

I 病院の概要

1 高知医療センターの理念及び基本方針	
患者さんの権利章典	2
2 高知医療センターの概要	3
3 沿革	4
4 高知県・高知市病院企業団体制	9
5 職員数と診療体制	
(1) 職員・職種別現員表	10
(2) 診療体制	11
(3) 経営分析に関する調	12
6 施設基準	14
7 財務の状況	
(1) 損益状況	20
(2) 貸借対照表	21
(3) 収益費用明細書	22
(4) 資本的収支明細書	24
(5) 一般会計繰入金	25

II 各診療科資料

総合診療科	28
精神科	29
児童精神科	30
地域医療科	31
血液内科・輸血科	32
糖尿病・内分泌内科	33
放射線科・放射線療法科	33
緩和ケア内科	35
腫瘍内科	36
ペインクリニック科	37
病理診断科	38
脳神経外科	39
眼科	41
耳鼻咽喉科	42
歯科口腔外科	43
呼吸器内科	45
呼吸器外科	46
循環器内科	47
心臓血管外科	49
消化器内科	50
消化器外科・一般外科	51
泌尿器科	52
腎臓内科・膠原病科	54
移植外科	55
婦人科	55
産科	56
生殖医療科	58
小児科	59
小児外科	60
救命救急科	61
麻酔科・集中治療科	63
皮膚科	64
整形外科	65
形成外科	66
乳腺・甲状腺外科	67

Ⅲ 各委員会資料

医療安全管理委員会	70
医療関連感染対策委員会	71
ICT（感染制御チーム）運営部会	72
AST（抗菌薬適正使用支援チーム）運営部会	73
職員の業務負担軽減委員会	73
診療情報管理委員会	74
DPC コーディング委員会	75
臨床研修管理委員会（医科）	76
臨床研究管理委員会（歯科）	77
医の倫理委員会	78
治験審査委員会	78
がんセンターボード運営部会	79
抗がん剤レジメン管理委員会	80
行動制限最小化委員会	80
褥瘡防止委員会	81
適正輸血療法推進委員会	82

Ⅳ クリニカルインディケータ

1 退院患者数	
(1) 診療科別・性別退院患者数	84
(2) 診療科別・在院期間別・性別退院患者数	85
(3) 診療科別・性別・在院日数の平均	88
(4) 診療科別・年齢階層別・性別退院患者数	89
(5) 診療科別・年齢階層別・性別在院日数の平均	92
(6) 大分類別・性別退院患者数・平均年齢・在院日数の平均	95
(7) 中分類別・性別退院患者数・平均年齢・在院日数の平均	98
(8) 小分類別・手術の有無・年齢階層別退院患者数・平均年齢・在院日数の平均	119
2 外来患者数	153
3 疾病分類別統計	
全科疾病分類別上位頻度表	154
4 D P C 統計	
(1) MDC 別退院患者数	159
(2) 在院期間別退院患者数	160
(3) MDC 別・年齢別・性別退院患者数	161
(4) MDC 別退院患者・救急搬送数	162
(5) 診療科別診断群分類（D P C）上位頻度表	163
(6) 退院後の患者の動向（退院先）	171
5 悪性新生物統計	
(1) 悪性新生物 主な手術・処置件数	172
(2) 悪性新生物による死亡患者数	180
6 死亡患者統計	
(1) 科別死亡率	181
(2) 死亡患者数	182
(3) 死亡患者数の割合	183
(4) 年齢別死亡患者数	184
(5) 死亡患者疾病順位表〈性別・年齢別〉	185

高知県・高知市病院企業団立高知医療センター
病院長 小野 憲昭

平素より高知医療センターに対してご理解ご支援をいただいておりますことに対し、厚く感謝申し上げます。2020年(令和2年)度の高知医療センター年報が完成いたしました。当院の活動状況、経営状況についてまとめておりますのでご参照いただければ幸いです。

高知医療センターは高知県の医療の最後の砦として、「医療の主人公は患者さん」の理念のもと、高度急性期病院、地域医療支援病院、第1・2種感染症指定病院、基幹災害拠点病院、地域がん診療連携拠点病院、へき地医療拠点病院、臨床研修指定病院、救命救急センター、総合周産期母子医療センター、DPC特定病院群、等々の多くの重要な機能を有しながら、地域の医療機関の皆様との強く厚い医療連携を行い、県民市民の皆様にも最善な医療を提供しております。

超高齢社会となり急激な人口減少もあり、また医療の高度化あるいは高額化の中、これら多くの変化に対応しながら、地域医療の中核病院として、最新の医療を提供できますよう、職員一丸となり日々努力しております。

高知医療センターは、2020年2月29日に県内第1例目の患者さんの入院以降、高知県内で発症した多数のコロナ陽性患者の診療を担当いたしました。令和2年度も年度当初から年度末まで、まさに1年を通して、コロナ感染症対応に明け暮れた年度でございましたが、その中で当院では、高知県・高知市等との緊密な連携のもと、令和2年度末までに当院へコロナ陽性患者さん(疑似症を含め)269名(令和2年度内には250名)の入院受入れをいたしました。

他の診療機能も可能な限り継続していく中ででしたので、人員的にも精神的にも厳しい状況ではありましたが職員全員で、感染症指定医療機関、特に重症者を中心に入院加療を行う重点医療機関として、一部病床の逼迫を目前に見ながらも、近隣の検査協力医療機関や入院協力医療機関との連携のもと、年度を通し、当院の責務を果たすことができたのではないかと考えております。またこの中で、当院の入院患者の家族及び、遠方からの通院患者さんのための宿泊施設「やまもも」を利用者の皆様のご理解を得て、コロナ患者の宿泊療養施設として、当院が多くの新型コロナウイルス感染症患者の受け入れにより病棟がいっぱいになりかけた際の、軽症患者さんの経過観察のための宿泊施設として活用させていただきました。

全国の多くの医療機関が、コロナ禍の中、同様に頑張っておられることと思います。当院も職員一同協力し、また高知県あるいは県内の保健所等、行政機関とも協力し、さらに各医療機関との連携を密にして協力して、今後も、県内でのコロナ感染症対応に中心となって役目を果たしてまいりたい所存です。

当院において直近の経営計画がこの2020年(令和2年)度で完了いたしましたので、現在2021年(令和3年)度には、当院を取り巻く社会変化を踏まえ、働き方改革の推進を含めた大きな外部環境の変化に対応しつつ、収支改善や急性期機能の発揮等の経営課題を、着実に解決していくことを目指し、新たな経営計画を策定しました。地域医療連携の活動を強固なものとするべく実践しはじめております。

今後とも、ご理解ご支援ご協力を宜しくお願い申し上げます。

I 病院の概要

高知医療センターの理念及び基本方針

【理 念】 医療の主人公は患者さん

【基本方針】

1 患者さんから信頼され、温かい人間性に裏打ちされた夢と希望を提供する医療を実践します

- 患者さんの人間性を尊重し、十分な説明を行うことで、患者さんの理解をもとにした診療を実践します。
- 患者さんのプライバシーを守り、安全で質の高い療養環境を提供します。
- チーム医療を推進し、患者さんの心と体の痛みを和らげるように努め、一日も早い日常生活への復帰を目指します。

2 地域医療連携を基本とした良質で高度な医療を提供します

- 医療や保健・福祉の向上のため、地域の病院や診療所、関係機関との連携を強化します。
- 高度な医療機器を備えて、高度で先進的な医療を提供します。
- 365日24時間体制で救急患者を受け入れます。

3 自治体病院としての使命を果たします

- 基幹災害拠点病院として、大地震などの災害時にも医療機能が発揮できる病院にします。
- 地域で不足する医療の確保に努めます。
- 医療福祉職、学生などの教育・研修に力を入れ、今後の医療・保健・福祉を担う人材を育てます。

4 職員が誇りとやりがいを持ち、成長できる病院にします

- 高知医療センターに関わるすべての職員が、誇りと向上心を持ち、総力を挙げて患者さんの立場に立った医療を提供するための資質向上に取り組みます。
- 医学、看護学、薬学、栄養学などの臨床研究に力を入れ、職員のキャリア形成を支援します。

5 公正で開かれた病院運営と健全な経営を目指します

- モラルを守り、公正で開かれた病院を目指します。
- 効率的な病院運営に努め、健全な経営を実践します。

患者さんの権利章典

患者さんには「受ける権利」「選べる権利」「守られる権利」の3つの権利があります

1 「受ける権利」

- ①患者さんは、ご自身の病気について最善の医療を受ける権利があります。
- ②患者さんは、経済的・社会的地位、年齢、性別、病気の種類などにかかわらず、公平な医療を受ける権利があります。
- ③患者さんは、原則としてご自身の正確な病状や治療・経過を知る権利があります。
- ④患者さんは、病気に立ち向かうための支援を受ける権利があります。あらゆるご相談は、1階の[まごころ窓口]へお寄りください。
- ⑤患者さんは、病気に立ち向かうために自ら学ぶ機会を提供される権利があります。どなたでも病気についての知識を深めるため、2階の[なるほどライブラリ]をご利用いただけます。

2 「選べる権利」

- ①患者さんは、検査、治療法、病気の見通しなどについて、わかりやすい言葉で納得できるまで説明を受け、そのうえで自らの生き方に沿って治療方法などを選択する権利があります。
- ②患者さんは、病状や治療法などについて担当医以外の医師の意見(セカンドオピニオン)を求めたうえで、治療方法などを選択する権利があります。
- ③患者さんは、正しい病名を告知される権利がありますが、一方、告知されない権利もあり、このいずれかを選ぶことができます。
- ④患者さんは、判断する能力が失われたような場合にそなえて、治療法などについて、あらかじめ明らかにしておく権利があります。
- ⑤患者さんは、法律が許す範囲で治療を拒絶する権利があります。またその場合には、医学的にどのような結果になるかを知る権利もあります。

3 「守られる権利」

- ①患者さんは、病気を克服しようとする主体として、その生命・身体・人格を尊重され、守られる権利があります。
- ②患者さんは、医療が実践されるあらゆる場面で、ご自身の個人情報第三者の目に触れることのないように配慮され、守られる権利があります。
- ③患者さんは、法令に基づく場合以外においては、本人の同意がなければ個人情報に関与する医療従事者以外に開示されないよう、守られる権利があります。
- ④患者さんは、医療に関係するすべての記録などが守秘されることを期待する権利があります。
- ⑤患者さんは、診断・治療データなどが研究・発表などに使われる際には、当院の定めるところによりプライバシーが守られる権利があります。

名称	高知県・高知市病院企業団立 高知医療センター
開設者	企業長 山本 治
病院長	島田 安博
住所	〒781-8555 高知市池 2125 番地 1
連絡先	TEL : 088-837-3000 FAX : 088-837-6766
ホームページ	URL : http://www.khsc.or.jp
E-mail	khsc_info@khsc.or.jp
病床数	一般 548 床、結核 20 床、感染 8 床、精神 44 床 計 620 床 内 救命救急 20 床 (ICU 8 床、CCU 4 床、HCU 8 床) 院内 ICU 8 床、NICU 12 床、後方 15 床、小児 32 床、産科 34 床 MFICU 3 床 (LDR 3 床)、開放病棟 10 床、6F SCU 10 床、HCU 12 床 特別室 19,800 円 (8 床) 9,900 円 (117 床)
特殊病床	人工透析 9 床 (許可病床数に含まず)
施設概況	敷地面積 約 56,000 m ² 延床面積 本 館 : 約 67,400 m ² 精神科病棟 : 約 2,800 m ² がんセンター棟 : 約 3,600 m ² ドクターヘリ棟 : 約 2,000 m ² 滞在施設やまもも : 約 1,100 m ² 構造 本 館 : 鉄骨鉄筋コンクリート造 (基礎免震工法) 精神科病棟、がんセンター棟 : 鉄筋コンクリート造 ドクターヘリ棟 : 鉄骨造 滞在施設やまもも : 鉄筋コンクリート造 階 数 本 館 : 地上 12 階 塔屋 1 階 精神科病棟 : 地上 2 階 塔屋 1 階 がんセンター棟 : 地上 4 階 ドクターヘリ棟 : 地上 3 階 滞在施設やまもも : 地上 1 階 高 さ 地上 58.5m 駐 車 場 約 560 台 (患者さん・見舞い客用) 身障者用 17 台、救命救急センター外来用 14 台
診療科目 (40)	アレルギー科、移植外科、眼科、感染症内科、緩和ケア内科、救急科、形成外科、外科、血液内科、呼吸器外科、呼吸器内科、産科、婦人科 (生殖医療)、歯科口腔外科、腫瘍内科、耳鼻いんこう科、消化器外科、消化器内科、小児科、小児外科、神経内科、心臓血管外科、循環器内科、腎臓内科、心療内科、整形外科、児童精神科、精神科、内科、糖尿病・内分泌内科、乳腺外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、病理診断科、ペインクリニック内科、放射線科、放射線治療科、麻酔科、リハビリテーション科
外来診療時間	8 時 30 分から 12 時、13 時から 16 時 30 分 受付 : 診療開始時間及び診療終了時間の 30 分前まで 休診 : 土・日・祝日・年末年始 (12/29 ~ 1/3)
職員数 (別掲)	医師 看護師 薬剤師 管理栄養士 医療技術 事務 その他
その他	臨床研修指定病院 救急告示病院 (平成 17 年 2 月 26 日指定) 総合周産期母子医療センター (平成 17 年 2 月 26 日指定) 救命救急センター (平成 17 年 3 月 25 日指定) 基幹災害拠点病院 第 1 種感染症指定病院 地域医療支援病院 地域がん診療連携拠点病院

3 沿革

高知医療センターの前身の高知県立中央病院は、昭和23年5月1日に開院、昭和41年に桜井町に移転し、地域がん診療拠点病院、臨床研修拠点病院、救急病院などの機能を持ち、良質な医療を提供する病院として運営してきた。一方、高知市立市民病院は明治26年に市立伝染病隔離病舎として発足した。明治31年高知市丸の内に移転、市立伝染病院として開設、昭和24年高知市立厚生病院と改称、さらに昭和25年高知市立市民病院と改称し、昭和44年潮江市民病院を統合し高知市立市民病院として、救急病院、開放型病院、オーダーリングシステムなどの機能を持ち、同じく良質な医療を提供してきた。

しかし、県民の医療に対するニーズが多様化・高度化する中で、両病院はともに施設の老朽化、狭隘化が著しく、十分な診療機能の発揮が困難となり、両病院の整備に医療法などの制約のもと、統合整備することにより、そのスケールメリットを活かすことで機能の充実を図ることができ、医療資源の効率的な活用や住民に高度医療を提供できる病院として、平成17年に高知県・高知市病院企業団立高知医療センターとして開院した。

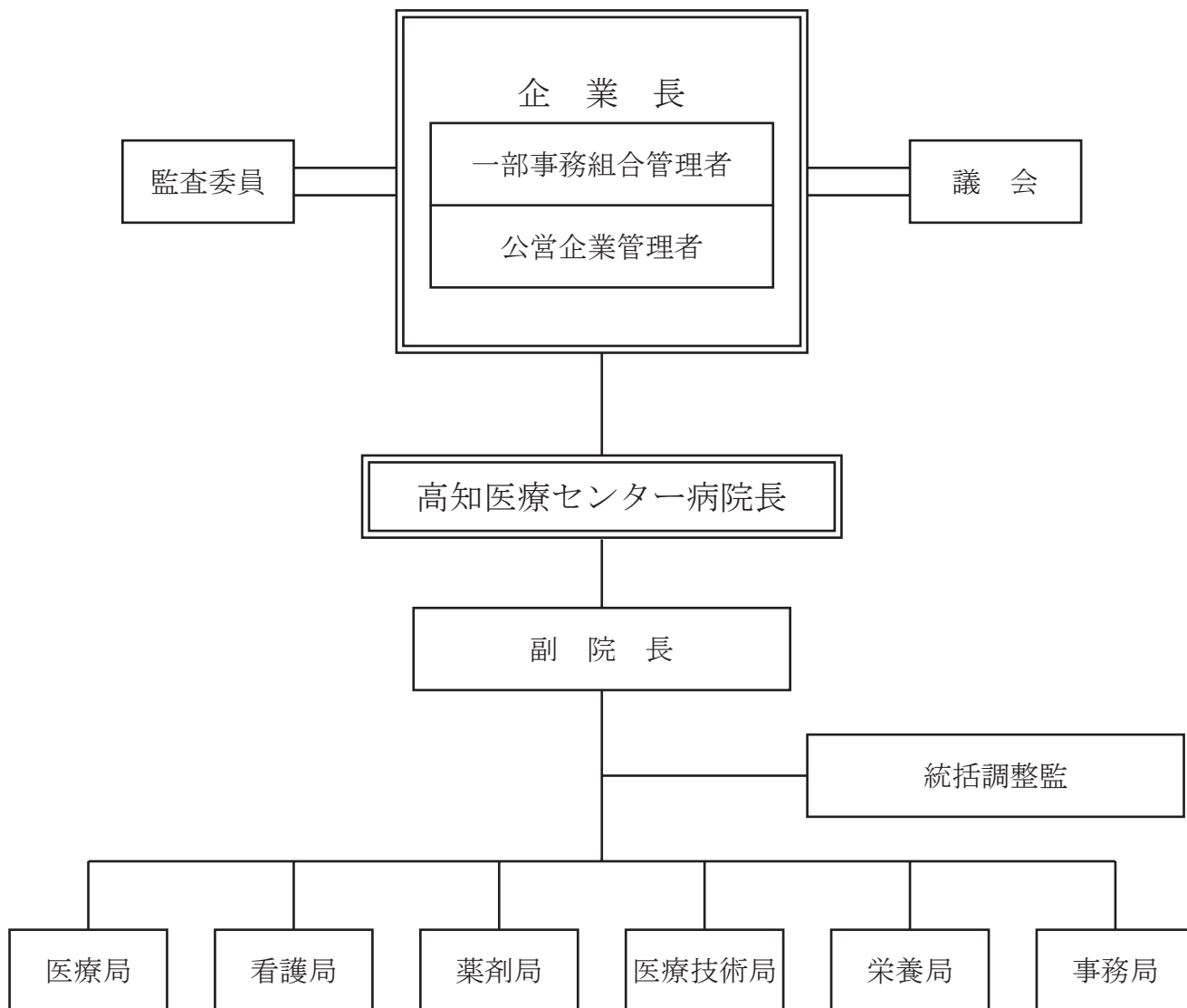
- 平成2年 9月 (県議会)高知県立中央病院の移転整備の検討を知事が表明
- 平成3年 3月 (社)病院管理研究協会に県立中央病院の整備に関する基本調査を委託、「中央病院整備基本調査」を提出
- 平成3年 8月 (社)病院管理研究協会、コンピューターシステム研究所に高知市立市民病院の現状分析、将来構想、業務改善などの基本調査を依頼
- 平成4年 4月 高知市立市民病院分析基本調査報告、病院情報システム化計画調査分析開始
- 平成5年 2月 (県議会)高知県知事橋本大二郎「統合について市と協議したい」と申し入れ
- 平成5年 4月 高知市立市民病院業務改善推進委員会発足
- 平成5年 5月 高知県医務課、病院局、高知市の事務レベル協議会開始(5回)
- 平成6年 4月 高知市立市民病院歯科オーダーリングシステム稼動
- 平成6年 6月 医療システム科学研究所に「高知県立中央病院・高知市立市民病院統合基本調査」を委託
- 平成6年 9月 「高知県立中央病院・高知市立市民病院統合検討委員会」発足
この委員会の委員は県・市医師会代表、県・市事務職員、両病院院長・副院長、関連6大学(中央病院は岡山大学、自治医大、市民病院は徳島大学、高知医大(耳鼻科)、京都大学(外科、胸部外科)、三重大学(心臓外科))の専門委員で構成された。
- 平成6年10月 高知市立市民病院病棟オーダーリングシステム稼動
- 平成6年11月 高知県立中央病院：「高知県立中央病院事業経営改善実施計画」提出
- 平成6年11月 高知市立市民病院：「市民病院自主健全化計画」発足
- 平成7年 2月 県・市統合検討委員会の検討結果：『各々単独で整備するよりも両病院を統合して整備する方が、県民・市民に対する医療面の貢献が大きいことから、課題を解決して統合を推進すべき』
- 平成7年 7月 (市議会)「市民病院対策特別委員会」設置
- 平成7年 8月 県・市各々が世論調査を実施(県：1000人、市：1000人を対象)

平成 7年11月	高知市立市民病院外来オーダーリングシステム稼動
平成 7年12月	世論調査公表(過半数は統合に賛成)
平成 8年 4月	「高知県立中央病院・高知市立市民病院統合問題合同検討チーム」発足
平成 8年 5月	(県議会)「病院統合問題調査特別委員会」設置
平成 8年12月	(市議会)「病院統合問題調査特別委員会」の報告：『両病院の今後を検討した結果、統合整備し、統合的かつ高度な診療機能を有し、将来の医療の進歩と多様化に対応できる県下の基幹病院を新たに整備し、その整備の主体として高知県と高知市により新に一部事務組合が設立すべき』
平成 9年 1月	「統合病院立地場所合同研究チーム」発足
平成 9年12月	(市議会)「新病院は統合して池地区に立地すべき」で承認
平成10年 4月	高知県・高知市新病院整備推進室を設置
平成10年 6月	新病院整備基本計画検討委員会が発足
平成10年11月	高知県・高知市病院組合(一部事務組合)設立
平成11年 3月	新病院整備基本計画策定
平成11年 3月30日	高知新聞「県、高知市に基本計画提出 整備事業本格スタートへ」と掲載
平成11年 7月	法律第117号(PFI法)第6条「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律」が発令
平成12年 4月 1日	基本設計業務開始
平成12年12月22日	新病院実施設計ワーキング・グループ：両病院において発足
平成13年 1月	統合新病院整備推進要綱策定、推進体制の確立、実施設計業務開始
平成13年 2月	統合新病院推進事業へのPFI手法の導入開始
平成13年 2月21日	(仮称)高知県・高知市新病院整備運営事業「実施方針」策定・公表
平成13年 3月	公募により名称を「高知医療センター」に決定
平成13年 4月	新病院開設許可、地方公営企業法一部適用
平成13年 5月	「高知医療センター PFI事業化検討委員会」設置(高知県・高知市)
平成13年 6月	「統合情報システム基本計画策定プロポーザル審査委員会」発足
平成13年 8月	「高知医療センター PFI事業化検討委員会」中間答申(高知県・高知市)
平成13年 9月	「高知医療センター統合情報システム基本計画」策定業務委託企業選定特定企業選定
平成13年 9月15日	「高知医療センター統合情報システム基本計画」策定
平成13年 9月27日	高知医療センター整備運営事業にかかる特定事業の選定・公表
平成13年10月	「高知医療センター整備運営事業PFIプロポーザル審査委員会」発足
平成13年11月 1日	本事業を実施する民間事業者の1次募集要項の公表・開始 事業に参加を希望する事業者の事前登録の実施 (登録期間：13.11.1～14.1.16、277社登録)

平成13年12月	1次審査実施(12.5～12.6)応募4グループ全員合格
平成14年 1月16日	県医師会、県の健康福祉部と病院組合との「統合病院の医療の在り方」について意見交換会
平成14年 3月 2日	「高知医療センター統合情報システム評価委員会」設置
平成14年 3月15日	本事業を実施する民間事業者の2次募集要項の公表・開始
平成14年 3月29日	「高知医療センター統合情報システム基本計画」策定
平成14年 5月27日	県医師会、県の健康福祉部と病院組合との「統合病院の医療の在り方」について意見交換会
平成14年 6月24日	市医師会、県の健康福祉部と病院組合との「統合病院の医療の在り方」について意見交換会
平成14年 7月	2次審査実施(7.27～7.29)、最優秀提案者オリックスグループを選出
平成14年 8月 9日	高知医療センター整備運営事業にかかる優先交渉権者、次点者の決定・契約交渉開始、優先交渉権者：オリックスグループ、次点者：三井物産グループ
平成14年 9月 2日	「高知医療センター統合情報システム評価委員会」の設置
平成14年10月 7日	「高知医療センター統合情報システム評価委員会」の提言書
平成14年10月24日	PFI基本協定の締結
平成14年10月30日	SPC(「高知医療ピーエフアイ株式会社」)設立
平成14年12月 8日	PFI事業契約の締結(平成44年3月事業の終了) 高知医療センター新築工事「起工式」
平成15年 2月25日	IT基本協定締結
平成15年 3月11日	病院組合業務システム開発整備委託契約締結
平成15年 3月28日	SPC業務システム開発整備・運営保守管理および病院組合業務システム運営保守管理委託契約締結
平成15年 4月 1日	両病院で、1患者1診療録開始
平成16年 4月 1日	高知県・高知市病院組合が運営母体となり、従来の高知県立中央病院は高知県・高知市病院組合立高知中央病院、高知市立市民病院は高知県・高知市病院組合立高知市民病院と名称を変更
平成16年12月11日	統合情報システム総合リハーサル開始(5回)
平成17年 2月13日	高知医療センター開院式、ドナルド・マクドナルド・ハウスこうち開所式
平成17年 2月19日	両病院から高知医療センターへ物品移転開始
平成17年 2月21日	両病院外来診療休診(～2.28)
平成17年 2月25日	ドナルド・マクドナルド・ハウスこうち開所
平成17年 2月26日	両病院から高知医療センターへ患者移送
平成17年 2月26日	高知医療センター開設
平成17年 2月26日	へき地医療拠点病院に指定される

平成17年 2月26日	エイズ治療拠点病院に指定される
平成17年 2月26日	第1種感染症指定医療機関に指定される
平成17年 2月26日	総合周産期母子医療センターに指定される
平成17年 3月 1日	外来診療開始
平成17年 3月 1日	高知県・高知市病院企業団設立(地方公営企業法全部適用)、正式病院名称を『高知県・高知市病院企業団立高知医療センター』と変更して開院
平成17年 3月25日	救命救急センターに指定される
平成19年 4月25日	地域医療支援病院に指定される
平成19年 7月 1日	DPC準備病院に承認される
平成20年 2月 8日	地域がん診療連携拠点病院に指定される
平成21年 2月16日	日本医療機能評価機構認定病院として認定される
平成21年 4月 1日	DPC対象病院に指定される
平成21年12月17日	高知医療センター PFI事業契約解約合意に係る確認書を締結
平成22年 3月11日	高知医療センター整備運営事業契約解約合意書を締結
平成22年 3月31日	高知医療センター整備運営事業PFI事業契約終了
平成22年 8月12日	欧州型ドクターカー(Fast Medical Response Car)の導入
平成22年11月17日	高知女子大学(現高知県立大学)と包括的連携に関する協定締結
平成23年 3月12日	高知県ドクターヘリの導入 東日本大震災のため高知県ドクターヘリにてDMAT派遣
平成23年 5月	「こころのサポートセンター(精神科病棟)」新築工事起工式
平成24年 2月	統合情報システム(IIMS)更新
平成24年 3月	「くじらネット」による電子カルテの地域公開開始
平成24年 4月	「こころのサポートセンター(精神科病棟)」新設
平成24年 4月	基幹災害拠点病院に指定される 平成8年12月19日に高知県立中央病院が指定された「基幹災害医療センター」の名称変更
平成24年 5月	ドクターヘリ場外離着陸場設置
平成24年10月	SCU新設(3床)
平成25年 1月	結核病床(30床)廃止
平成25年 4月	NICU増床(3床:計12床)、SCU増床(3床:計6床)、HCU新設(12床)
平成26年 3月	日本医療機能評価機構による「病院機能評価付加機能認定証(救急医療機能)」の交付
平成26年 7月	ハイブリッド手術室新設
平成26年10月	一般病床(周産期関係)増床(4床:計30床)
平成27年 2月	GCU増床(3床:計15床)

平成27年 3月	SCU増床(4床:計10床)
平成27年 5月	開院10周年記念行事
平成27年11月	「新がんセンター(仮称)」新築工事起工式
平成28年 4月	熊本地震にDMAT3隊派遣
平成29年 3月	「がんサポートセンター」竣工
平成29年11月	「患者支援センター」新設
平成31年 2月	統合情報システム(IIMS)更新
平成31年 3月31日	ドナルド・マクドナルド・ハウスこうち閉所
令和 元年 7月	滞在施設「やまもも」開所
令和 2年 2月29日	新型コロナウイルス感染症患者の受け入れ開始
令和 2年 4月12日	滞在施設「やまもも」一時休止(高知県に貸与)
(令和2年 4月13日	高知県による滞在施設での新型コロナ感染症患者受け入れ開始)
令和 2年 5月12日	新型コロナウイルス感染症重点医療機関に指定される



● 6つのセンター機能

- 「救命救急センター」
- 「循環器病センター」
- 「がんセンター」
- 「総合周産期母子医療センター」
- 「こころのサポートセンター」
- 「地域医療センター」

5 職員数と診療体制

(1) 職員・職種別現員表

正職員数

所属	職種	平成31年4月1日		令和2年4月1日	
		人数	備考	人数	備考
医療局	医師	143		147	
	歯科医師	5		5	
看護局	看護師	727	助産師含む	726	助産師含む
薬剤局	薬剤師	25		28	
医療技術局	放射線技師	29		28	
	臨床検査技師	22		21	
	臨床工学技士	14		14	
	理学療法士	14		13	
	歯科衛生士	3		3	
	視能訓練士	2		2	
	言語聴覚士	5		5	
	臨床心理士	3		3	
栄養局	作業療法士	5		5	
	管理栄養士	9		11	
事務職	行政職	34		34	
	診療情報管理士	8		8	
	MSW	11		10	
	司書	1		1	
	電気	2		2	
	医療情報事務	2		2	
合	計	1,064		1,068	

(2) 診療体制

看護職員配置数(病棟看護師のみ)

令和2年4月1日

階	フロア	病床分類	許可病床数	有効病床数	看護師
2F	なごやか	精神	44	44	19
3F		救命救急	20	20	42
		院内ICU	8	8	31
4F	すこやかA	NICU	12	12	30
		GCU	15	15	21
	すこやかB	一般	32	32	25
		MFICU	3	3	8
5F	ほがらかA	一般	48	48	30
	ほがらかB	一般	48	48	33
6F	にこやかA	一般	48	48	31
		SCU	10	10	21
		HCU	12	12	24
7F	のびやかA	一般	48	48	33
	のびやかB	一般	48	48	30
8F	さわやかB	一般	48	48	31
9F	おだやかA	一般	48	48	31
	おだやかB	一般	40	40	30
10F	あたたかA	一般	30	30	22
		結核	20	20	
	あたたかB	一類感染症	2	2	
		二類感染症	6	6	
合 計			620	620	525

病床数

		平成31.4.1～						令和2.4.1～							
		許可 病床数	有効 病床数		一般病棟 病床数 (病床利用 率分母)	その他 病床数	施設基準 上の一般 病床数	一般 病床数 (運用病 床数)	許可 病床数	有効 病床数		一般病棟 病床数 (病床利用 率分母)	その他 病床数	施設基準 上の一般 病床数	一般 病床数 (運用病 床数)
2F	なごやか	精 神	44	44	44	44			44	44	44		44		
		児童・思春期													
3F		救命救急	20	20	28		20	20	20	20	28		20		20
		院内ICU	8	8		8		8	8	8		8			8
4F	すこやかA	NICU	12	12		12		12	12	12			12		12
		GCU	15	15	59		15	15	15	15	59		15		15
	すこやかB	小児入院	32	32		32		32	32	32		32			32
		MFICU	3	3		3		3	3	3		3		3	3
5F	ほがらかA	一般	48	48	48	48		48	48	48	48	48		48	48
		ほがらかB	一般	48	48	48	48		48	48	48	48	48		48
6F	にこやかA	一般	48	48	48	48		48	48	48	48	48		48	48
		にこやかB	HCU	12	12	12		12	12	12	12		12		12
7F	のびやかA	一般	48	48	48	48		48	48	48	48	48		48	48
		のびやかB	一般	48	48	48	48		48	48	48	48	48		48
8F	さわやかA	一般	40	0	0	0		0	0	0	0	0		0	0
		さわやかB	一般	48	48	48	48		48	48	48	48	48		48
9F	おだやかA	一般	48	48	48	48		48	48	48	48	48		48	48
		おだやかB	一般	40	40	40	40		40	40	40	40	40		40
10F	あたたかA	一般	30	30	30	30		30	30	30	30		30	30	
		結核	20	20	20		20	20	20		20		20		
	あたたかB	感染症	8	8	8	6	2	6	8	8	8	6	2	6	
合 計			660	620	474	146	442	548	620	620	474	146	442	548	

(3) 経営分析に関する調 (決算統計検収調書より)

区 分			算 式	H29年度	H30年度	R 元年度	R 2 年度	類似規模 全国平均 (R 元年度)	
病 床	病床利用率 (%)	一 般	$\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延病床数}} \times 100$	80.4	75.3	80.0	69.4	81.4	
		結 核	$\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延病床数}} \times 100$	5.4	5.2	4.2	21.2	21.4	
		精 神	$\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延病床数}} \times 100$	<35.1> 11.2	30.0	30.4	36.7	57.2	
		伝 染	$\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延病床数}} \times 100$				1.8	3.3	
		計	$\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延病床数}} \times 100$	<76.0> 72.5	69.3	69.3	64.6	79.1	
患 者 数	1日平均患者数 (人)	入 院	$\frac{\text{年延入院患者数}}{365 \text{ 日} \cdot 366 \text{ 日}}$	478.8	457.0	452.8	401.1	503.0	
		外 来	$\frac{\text{年延外来患者数}}{\text{診療日数}}$	831.0	806.0	806.6	699.4	1,200.0	
		計		1,309.8	1,263.0	1,259.4	1,100.5	1,703.0	
	外来入院比率 (%)		$\frac{\text{年延外来患者数}}{\text{年延入院患者数}} \times 100$	116.0	117.9	116.7	116.1	159.2	
	医師1人1日 当たり患者数	入 院	$\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延医師数}}$	3.4	3.1	3.0	2.0	3.2	
		外 来	$\frac{\text{年延外来患者数}}{\text{年延医師数}}$	4.0	3.7	3.5	2.3	5.2	
		計		7.4	6.8	6.5	4.3	8.4	
	収 入	職員1人1日当 たり診療収入 (円)	医 師	$\frac{\text{入院外来収益}}{\text{年延医師数}}$	350,533	328,028	326,514	231,718	315,524
			看護職員	$\frac{\text{入院外来収益}}{\text{年延看護師数}}$	80,684	67,159	68,213	56,913	79,215
		患者1人当 たり診療収入 (円)	入 院	投薬・注射料	$\frac{\text{投薬注射収入}}{\text{年延入院患者数}}$	2,255	2,480	2,962	2,964
処置・手術				$\frac{\text{処置手術収入}}{\text{年延入院患者数}}$	28,827	28,349	29,361	29,840	18,853
検 査				$\frac{\text{検査収入}}{\text{年延入院患者数}}$	969	1,038	1,042	996	1,012
放 射 線				$\frac{\text{放射線収入}}{\text{年延入院患者数}}$	575	707	798	689	585
そ の 他				$\frac{\text{その他入院収入}}{\text{年延入院患者数}}$	48,576	49,642	48,403	50,869	41,423
計				$\frac{\text{入院収入}}{\text{年延入院患者数}}$	81,202	82,216	82,566	85,358	64,737
外 来				投薬・注射料	$\frac{\text{投薬注射収入}}{\text{年延外来患者数}}$	7,169	8,199	9,692	11,886
			検 査	$\frac{\text{検査収入}}{\text{年延外来患者数}}$	3,973	4,125	4,254	4,364	3,579
			放 射 線	$\frac{\text{放射線収入}}{\text{年延外来患者数}}$	3,257	3,763	3,975	3,999	2,843
			そ の 他	$\frac{\text{その他外来収入}}{\text{年延外来患者数}}$	3,518	3,633	3,725	3,751	4,063
計			$\frac{\text{外来収入}}{\text{年延外来患者数}}$	17,917	19,720	21,646	24,000	20,567	

※「病床利用率」欄の< >書きは、稼働病床における稼働病床利用率

区 分		算 式	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	類似規模 全国平均 (R元年度)	
費 用	患者1人1日当たり薬品費(円)	$\frac{\text{薬 品 費}}{\text{年延入院外来患者数}}$	7,105	7,923	8,445	9,293	7,073	
	入院患者1人1日当たり給食材料費(円)	$\frac{\text{患者用給食材料費}}{\text{年延入院外来患者数}}$						
	薬品使用効率(%)	投 薬	$\frac{\text{投 薬 薬 品 収 入}}{\text{投薬用薬品払出金額}} \times 100$	51.8	52.2	59.1	70.1	110.1
		注 射	$\frac{\text{注 射 薬 品 収 入}}{\text{注射用薬品払出金額}} \times 100$	72.5	73.9	81.9	86.0	100.9
費 用 構 成	医業収益に対する割合(%)	職員給与費	$\frac{\text{職 員 給 与 費}}{\text{医 業 収 益}} \times 100$	50.9	53.1	53.7	57.8	46.5
		薬 品 費	$\frac{\text{薬 品 費}}{\text{医 業 収 益}} \times 100$	14.2	15.4	16.0	16.6	18.0
		その他の材料費	$\frac{\text{そ の 他 医 療 材 料 費}}{\text{医 業 収 益}} \times 100$	15.7	15.0	14.6	14.5	12.2
職 員 数	病床100床 当たり職員数	医 師	$\frac{\text{年 度 末 (各 種) 職 員 数}}{\text{年 度 末 病 床 数}} \times 100$	20.8	28.8	31.2	31.6	23.9
		看 護 部 門	$\frac{\text{年 度 末 (各 種) 職 員 数}}{\text{年 度 末 病 床 数}} \times 100$	109.4	116.6	119.6	120.9	96.8
		薬 剤 部 門	$\frac{\text{年 度 末 (各 種) 職 員 数}}{\text{年 度 末 病 床 数}} \times 100$	4.2	3.8	4.2	4.6	4.8
		事 務 部 門	$\frac{\text{年 度 末 (各 種) 職 員 数}}{\text{年 度 末 病 床 数}} \times 100$	5.6	16.2	13.6	16.2	12.7
		給 食 部 門	$\frac{\text{年 度 末 (各 種) 職 員 数}}{\text{年 度 末 病 床 数}} \times 100$	1.4	1.5	2.2	2.2	1.7
		放 射 線 部 門	$\frac{\text{年 度 末 (各 種) 職 員 数}}{\text{年 度 末 病 床 数}} \times 100$	4.7	4.7	4.5	4.5	4.8
		臨 床 検 査 部 門	$\frac{\text{年 度 末 (各 種) 職 員 数}}{\text{年 度 末 病 床 数}} \times 100$	3.2	3.3	4.1	4.1	6.0
		そ の 他	$\frac{\text{年 度 末 (各 種) 職 員 数}}{\text{年 度 末 病 床 数}} \times 100$	6.2	12.7	11.6	12.0	11.2
		計	$\frac{\text{年 度 末 (各 種) 職 員 数}}{\text{年 度 末 病 床 数}} \times 100$	155.5	187.6	191.0	204.3	161.9
検 査 薬 品	診療収入に対する割合(%)	検 査 収 入	$\frac{\text{検 査 収 入}}{\text{入 院 外 来 収 益}} \times 100$	5.5	6.0	5.5	5.3	6.9
		放 射 線 収 入	$\frac{\text{放 射 線 収 入}}{\text{入 院 外 来 収 益}} \times 100$	4.3	4.9	5.0	4.7	5.2
		薬 品 収 入	$\frac{\text{薬 品 収 入}}{\text{入 院 外 来 収 益}} \times 100$	10.4	11.5	13.2	14.8	19.4
室 料 差 額	1人1日当たり 徴収額(円)	個 室	最高	19,440	19,440	19,800	19,800	
			最低	9,720	9,720	9,900	9,900	
		2人以上室	最高					
			最低					
	室料差額対象病床数/総病床数(%)			18.9	18.9	20.1	20.1	15.4

類似規模全国平均は地方公営企業年鑑 第2編 統計資料 6 病院事業 (12) 経営分析に関する調 イ 経営規模別 (ウ) 全事業 における 500床以上データから抜粋

	届出項目	算定開始月
基本診療料の 施設基準に係る届出書	地域歯科診療支援病院歯科初診料	平成22年 4月
	歯科外来診療環境体制加算 2	平成20年 7月
	歯科診療特別対応連携加算	平成22年 4月
	一般病棟入院基本料	平成20年 7月
	急性期一般入院料 1	平成20年 7月
	A D L維持向上等体制加算	平成31年 1月
	結核病棟入院基本料	平成20年 7月
	精神病棟入院基本料	平成24年 3月
	総合入院体制加算 1	平成20年 8月
	救急医療管理加算	令和 2年 4月
	超急性期脳卒中加算	平成20年 4月
	診療録管理体制加算 1	平成17年 2月
	医師事務作業補助体制加算 1	平成21年 5月
	急性期看護補助体制加算	平成23年 2月
	看護職員夜間配置加算	平成28年 7月
	看護補助加算	平成24年 5月
	療養環境加算	平成20年 3月
	重症者等療養環境特別加算	平成19年 2月
	無菌治療室管理加算 1、2	平成24年 4月
	緩和ケア診療加算	平成23年 2月
	精神科応急入院施設管理加算	平成24年 4月
	精神病棟入院時医学管理加算	平成24年 4月
	精神科身体合併症管理加算	平成31年 3月
	栄養サポートチーム加算	平成22年 6月
	医療安全対策加算 1	平成20年 4月
	医療安全対策地域連携加算 1	平成20年 4月
	感染防止対策加算 1	平成22年 4月
	感染防止対策地域連携加算	平成22年 4月
	抗菌薬適正使用支援加算	平成30年 4月
	患者サポート体制充実加算	平成24年 4月
	褥瘡ハイリスク患者ケア加算	平成19年 1月
	ハイリスク妊娠管理加算	平成20年 4月
	ハイリスク分娩管理加算	平成20年 4月
	精神科救急搬送患者地域連携受入加算	平成24年 5月
	後発医薬品使用体制加算 1	令和 2年 9月
	データ提出加算 2 及び 4	平成24年 4月
	提出データ評価加算	平成24年 4月
	入退院支援加算 1	平成28年10月
	入退院支援加算 3	令和 2年 5月
	認知症ケア加算 1	平成28年 4月

	届出項目	算定開始月
基本診療料の 施設基準に係る届出書	せん妄ハイリスク患者ケア加算	令和 2年 4月
	精神疾患診療体制加算	平成28年 4月
	地域医療体制確保加算	令和 2年 4月
	地域歯科診療支援病院入院加算	平成20年 4月
	救命救急入院料 3	平成22年 4月
	救急体制充実加算 2	令和元年 5月
	特定集中治療室管理料 3	平成17年 2月
	ハイケアユニット入院医療管理料 1	平成25年 6月
	脳卒中ケアユニット入院医療管理料	平成24年12月
	新生児特定集中治療室管理料 1	令和 2年 4月
	新生児治療回復室入院医療管理料	平成22年 5月
	一類感染症患者入院医療管理料	平成17年 5月
	小児入院医療管理料 2	平成22年 4月
	特掲診療料の 施設基準に係る届出書	遠隔モニタリング加算 (ペースメーカー指導管理料)
糖尿病合併症管理料		平成20年 4月
がん性疼痛緩和指導管理料		平成22年 4月
がん患者指導管理料イ、ロ、ハ、ニ		平成26年 4月
外来緩和ケア管理料		平成24年 4月
移植後患者指導管理料イ、ロ		平成26年 4月
糖尿病透析予防指導管理料		平成24年 4月
乳腺炎重症化予防ケア・指導料		平成30年 4月
婦人科特定疾患治療管理料		令和 2年 4月
院内トリアージ実施料		平成25年 5月
外来放射線照射診療料		平成25年 6月
ニコチン依存症管理料		平成18年 4月
療養・就労両立支援指導料 (相談体制充実加算)		平成30年 4月
開放型病院共同指導料		平成17年 2月
がん治療連携計画策定料		平成22年 4月
薬剤管理指導料		平成17年 2月
検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料		平成28年 6月
医療機器安全管理料 1		平成20年 4月
医療機器安全管理料 2		平成20年 4月
医療機器安全管理料 (歯科)		平成20年 4月
精神科退院時共同指導料		令和 2年 4月
総合医療管理加算 (歯科疾患管理料)		平成26年 4月
在宅腫瘍治療電場療法指導管理料		令和元年 6月
持続血糖測定器加算		平成26年 4月
遺伝学的検査		平成30年 1月
骨髄微小残存病変量測定		平成30年 4月
B R C A 1 / 2 遺伝子検査		令和 2年 4月

	届出項目	算定開始月
特掲診療料の 施設基準に係る届出書	がんゲノムプロファイリング検査	令和 2年 4月
	先天性代謝異常症検査	令和 2年 4月
	抗HLA抗体（スクリーニング検査）及び抗HLA抗体（抗体特異性同定検査）	平成30年 4月
	HPV核酸検出及びHPV核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）	平成22年 4月
	ウイルス・細菌核酸多項目同時検出	令和 2年 4月
	検体検査管理加算（Ⅰ）	平成20年 4月
	検体検査管理加算（Ⅱ）	平成22年 4月
	遺伝カウンセリング加算	平成30年10月
	遺伝性腫瘍カウンセリング加算	令和 2年 4月
	心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	平成20年 4月
	時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	平成28年 4月
	胎児心エコー法	平成30年 4月
	ヘッドアップティルト試験	平成24年 4月
	皮下連続式グルコース測定	平成22年 4月
	コンタクトレンズ検査料 1	平成18年 4月
	小児食物アレルギー負荷検査	平成26年 5月
	内服・点滴誘発試験	平成22年 4月
	センチネルリンパ節生検（片側）	平成22年 4月
	画像診断管理加算 2	平成30年 8月
	遠隔画像診断	平成17年 2月
	ポジトロン断層撮影、ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影、ポジトロン断層・磁気共鳴コンピューター断層複合撮影又は乳房用ポジトロン断層撮影	平成29年 4月
	CT撮影及びMRI撮影	平成17年 2月
	冠動脈CT撮影加算	平成22年 4月
	血流予備量比コンピューター断層撮影	令和 2年 4月
	外傷全身CT加算	平成30年 8月
	心臓MRI撮影加算	平成20年 4月
	乳房MRI撮影加算	令和 3年 3月
	小児鎮静下MRI撮影加算	平成30年 8月
	抗悪性腫瘍剤処方管理加算	平成22年 4月
	外来化学療法加算 1	平成20年 4月
	無菌製剤処理料	平成17年 2月
	心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）	平成22年 4月
	脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）	平成28年 4月
	運動器リハビリテーション料（Ⅰ）	平成23年 5月
	呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）	平成22年 7月
	歯科口腔リハビリテーション料 2	平成26年 4月
	通院・在宅精神療法	平成28年 4月
	児童・思春期精神科専門管理加算	平成28年 4月
	精神科作業療法	平成31年 4月

	届出項目	算定開始月
特掲診療料の施設基準に係る届出書	抗精神病特定薬剤治療指導管理料（治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る）	平成24年 4月
	医療保護入院等診療料	平成24年 4月
	処置の休日加算 1、時間外加算 1 及び深夜加算 1	平成26年 4月
	静脈圧迫処置（慢性静脈不全に対するもの）	令和 2年 4月
	エタノールの局所注入（甲状腺に対するもの）	平成17年 3月
	エタノールの局所注入（副甲状腺に対するもの）	平成17年 3月
	人工腎臓 1	平成30年 4月
	口腔粘膜処置	平成30年 5月
	透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算	平成30年 4月
	う蝕歯無痛の窩洞形成加算	平成20年 4月
	CAD/CAM冠	平成26年 4月
	皮膚悪性腫瘍切除術（センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る）	平成30年 4月
	組織拡張器による再建手術（一連につき）（乳房（再建手術）の場合に限る）	平成25年10月
	骨移植術（軟骨移植術を含む）（同種骨移植（非生体）（同種骨移植（特殊なものに限る）））	平成29年 4月
	脳刺激装置植込術（頭蓋内電極植込術を含む）及び脳刺激装置交換術、脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	平成17年 2月
	内視鏡下鼻・副鼻腔手術 V 型（拡大副鼻腔手術）	平成26年 4月
	内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術、内視鏡下パセドウ甲状腺全摘（亜全摘）術（両葉）、内視鏡下副甲状腺（上皮小体）腺腫過形成手術	平成28年 4月
	乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術（MRI によるもの）	平成30年 4月
	乳腺悪性腫瘍手術（乳がんセンチネルリンパ節加算 1 及び又は乳がんセンチネルリンパ節加算 2 を算定する場合に限る）	平成22年 4月
	乳腺悪性腫瘍手術（乳頭乳輪温存乳房切除術（腋窩郭清を伴わないもの）及び乳頭乳輪温存乳房切除術（腋窩郭清を伴うもの））	平成28年 4月
	ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術（乳房切除後）	平成25年10月
	食道縫合術（穿孔、損傷）（内視鏡によるもの）、内視鏡下胃・十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、小腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、結腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、腎（腎盂）腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、尿管腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、膀胱腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）及び腔腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）	平成30年 4月
	経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの）	平成17年11月
	経カテーテル大動脈弁置換術	平成26年12月
	経皮的僧帽弁クリップ術	令和元年 5月
	不整脈手術（左心耳閉鎖術（経カテーテル的手術によるもの）に限る）	令和 3年 4月
	経皮的中隔心筋焼灼術	令和 2年 3月
	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	平成17年 2月
	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術（リードレスペースメーカー）	平成30年 4月
	両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術	平成17年 2月
	植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び経静脈電極抜去術	平成17年 2月
	両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術	平成20年 4月
	大動脈バルーンパンピング法（IABP法）	平成17年 2月
	経皮的循環補助法（ポンプカテーテルを用いたもの）	平成30年 4月

	届出項目	算定開始月
特掲診療料の 施設基準に係る届出書	腹腔鏡下小切開骨盤内リンパ節群郭清術	平成26年 4月
	腹腔鏡下小切開後腹膜リンパ節群郭清術	平成26年 4月
	腹腔鏡下小切開後腹膜腫瘍摘出術及び腹腔鏡下小切開後腹膜悪性腫瘍手術	平成26年 4月
	腹腔鏡下胃縮小術（スリーブ状切除によるもの）	令和 2年10月
	バルーン閉塞下経静脈的塞栓術	平成30年 4月
	胆管悪性腫瘍手術（膵頭十二指腸切除及び肝切除（葉以上）を伴うものに限る）	平成28年 4月
	体外衝撃波胆石破碎術	平成24年12月
	腹腔鏡下肝切除術	平成24年 4月
	体外衝撃波膵石破碎術	平成26年 4月
	腹腔鏡下膵腫瘍摘出術及び腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術	平成24年 4月
	早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	平成24年 4月
	腹腔鏡下小切開副腎摘出術	平成23年 2月
	腹腔鏡下小切開腎部分切除術、腹腔鏡下小切開腎摘出術、腹腔鏡下小切開腎（尿管）悪性腫瘍手術	平成23年 2月
	同種死体腎移植術	平成20年 4月
	生体腎移植術	平成20年 4月
	腹腔鏡下小切開尿管腫瘍摘出術	平成26年 4月
	膀胱水圧拡張術	平成22年 4月
	腹腔鏡下小切開膀胱腫瘍摘出術	平成26年 4月
	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	平成24年 4月
	腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術	平成26年 4月
	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	平成31年 1月
	腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術	平成23年 2月
	腹腔鏡下仙骨隆固定術	令和 2年12月
	胎児胸腔・羊水腔シャント術	平成30年 4月
	手術の休日加算 1、時間外加算 1 及び深夜加算 1	平成26年 4月
	胃瘻造設術（内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む）	平成26年 4月
	輸血管理料 I	平成20年 8月
	人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	平成24年 4月
	胃瘻造設時嚥下機能評価加算	平成26年 4月
	歯周組織再生誘導手術	平成20年 4月
	手術時歯根面レーザー応用加算	平成22年 4月
	広範囲顎骨支持型装置埋入手術	平成25年11月
	口腔粘膜血管腫凝固術	平成30年 5月
	レーザー機器加算の施設基準	平成30年 5月
	麻酔管理料（I）	平成17年 2月
	麻酔管理料（II）	平成22年 4月
	放射線治療専任加算	平成17年 2月
	外来放射線治療加算	平成20年 4月
	高エネルギー放射線治療	平成17年 2月
	1 回線量増加加算	平成26年 4月

	届 出 項 目	算定開始月
特掲診療料の 施設基準に係る届出書	強度変調放射線治療（IMRT）	平成29年11月
	画像誘導放射線治療加算（IGRT）	平成29年11月
	体外照射呼吸性移動対策加算	平成29年11月
	定位放射線治療	平成17年 2月
	定位放射線治療呼吸性移動対策加算	平成29年11月
	保険医療機関間の連携による病理診断	令和元年11月
	病理診断管理加算	平成26年 4月
	悪性腫瘍病理組織標本加算	平成30年 4月
	口腔病理診断管理加算	平成26年 4月
	クラウン・ブリッジ維持管理料	平成17年 2月
保険外併用療養費	特別の療養環境の提供	平成17年 2月
	初診等の保険外併用療養費	平成17年 2月
	180日を超える入院	平成17年 2月
	齲蝕に罹患している患者の指導管理	平成17年 2月
	金属床による総義歯の提供	平成17年 2月
入院時食事療養の基準	入院時食事療養費(1)	平成17年 2月

7 財務の状況

(1) 損益状況 (28年度～2年度)

(単位：円，%)

区 分 年 度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
経 常 収 益 (a)	22,589,781,947	22,833,508,575	22,624,820,651	22,995,529,469	24,728,626,441
うち 医 業 収 益 (b)	18,202,598,226	18,539,384,995	18,285,933,318	18,530,922,757	17,143,640,780
うち 料 金 収 入 (c)	17,474,076,690	17,822,832,834	17,600,340,625	17,876,687,198	16,577,112,371
うち 他 会 計 繰 入 金 (d)	2,483,178,619	2,458,873,571	2,287,601,787	2,398,446,749	2,396,750,826
経 常 費 用 (e)	22,065,975,420	22,488,069,111	23,372,749,116	23,830,640,173	23,354,240,946
うち 医 業 費 用 (f)	20,548,308,254	21,002,833,106	21,804,275,635	22,378,082,187	21,948,511,158
うち 職 員 給 与 費 (g)	9,454,814,252	9,699,377,944	9,991,969,210	10,242,788,108	10,275,084,558
うち 材 料 費 (h)	5,491,517,452	5,663,282,605	5,676,444,527	5,811,740,379	5,506,765,275
うち 支 払 利 息 (i)	459,824,779	438,453,446	412,075,386	387,372,797	359,964,856
経 常 損 益 (j)	523,806,527	345,439,464	△ 747,928,465	△ 835,110,704	1,374,385,495
特 別 損 益 (k)	△ 28,227,203	△ 35,702,074	△ 5,739,896	△ 6,257,823	△ 568,314,322
純 損 益 (l)	495,579,324	309,737,390	△ 753,668,361	△ 841,368,527	806,071,173
累 積 欠 損 金 (△) (m)	9,703,448,954	9,393,711,564	10,147,379,925	10,988,748,452	10,182,677,279
不 良 債 務 (n)	—	—	—	—	—
経 常 収 支 比 率 (a)/(e)	102.4%	101.5%	96.8%	96.5%	105.9%
医 業 収 支 比 率 (b)/(f)	88.6%	88.3%	83.9%	82.8%	78.1%
職 員 給 与 比 率 (g)/(b)	51.9%	52.3%	54.6%	55.3%	59.9%
材 料 費 比 率 (h)/(b)	30.2%	30.5%	31.0%	31.4%	32.1%
他 会 計 繰 入 金 比 率 (d)/(b)	13.6%	13.3%	12.5%	12.9%	14.0%
不 良 債 務 比 率 (n)/(b)	—	—	—	—	—

(2) 貸借対照表 (28年度～2年度)

(単位：円，%)

区 分	平成29年3月31日		平成30年3月31日		平成31年3月31日		令和2年3月31日		令和3年3月31日		
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比	
資産の部	固定資産	28,785,337,327	73.1	28,813,021,788	71.7	29,009,589,202	69.9	27,290,617,575	73.7	25,221,172,946	68.4
	有形固定資産	28,128,203,651	71.4	28,246,646,201	70.3	26,785,945,541	64.6	25,467,337,153	68.8	23,814,818,213	64.6
	無形固定資産	66,186,798	0.2	49,297,069	0.1	1,780,433,503	4.3	1,453,938,624	3.9	1,110,881,295	3.0
	投資	590,946,878	1.5	517,078,518	1.3	443,210,158	1.1	369,341,799	1.0	295,473,438	0.8
	流動資産	10,602,725,432	26.9	11,382,894,678	28.3	12,472,955,217	30.1	9,751,008,730	26.3	11,644,499,955	31.6
	現金預金	3,466,573,989	8.8	4,392,268,653	10.9	6,199,653,030	14.9	4,032,852,446	10.9	4,544,662,082	12.3
	未収金	5,379,057,118	13.7	5,735,145,764	14.3	4,966,216,042	12.0	4,462,931,382	12.0	5,860,364,370	15.9
	貯蔵品	71,650,625	0.2	69,410,261	0.2	103,797,855	0.3	80,789,452	0.2	74,839,978	0.2
	前払金	3,367,700	0.0	2,382,000	0.0	2,152,290	0.0	1,781,450	0.0	1,792,525	0.0
	有価証券	1,682,076,000	4.3	1,183,688,000	2.9	1,201,136,000	2.9	1,172,654,000	3.2	1,162,841,000	3.2
資産合計	39,388,062,759	100.0	40,195,916,466	100.0	41,482,544,419	100.0	37,041,626,305	100.0	36,865,672,901	100.0	
負債の部	固定負債	28,063,477,518	71.2	27,695,526,544	68.9	27,673,800,928	66.7	26,139,375,131	70.6	24,444,483,007	66.3
	企業債	24,593,519,525	62.4	24,351,634,427	60.6	24,316,862,130	58.6	22,606,146,996	61.0	20,253,586,700	54.9
	長期借入金	114,300,000	0.3								
	引当金	3,355,657,993	8.5	3,343,892,117	8.3	3,356,938,798	8.1	3,533,228,135	9.5	4,190,896,307	11.4
	流動負債	4,818,513,524	12.2	5,424,799,023	13.5	7,271,993,109	17.5	4,845,756,152	13.1	5,485,723,493	14.9
	企業債	2,277,495,073	5.8	2,415,885,098	6.0	2,605,772,297	6.3	2,347,715,134	6.3	2,659,760,296	7.2
	長期借入金	38,100,000	0.1	114,300,000	0.3						
	未払金	1,912,571,848	4.9	2,311,890,418	5.8	4,034,653,894	9.7	1,807,141,562	4.9	2,110,531,912	5.7
	前受金									480,000	0.0
	賞与引当金	504,483,370	1.3	500,232,340	1.2	545,328,506	1.3	599,771,451	1.6	633,297,122	1.7
	預り金	85,863,233	0.2	82,491,167	0.2	86,238,412	0.2	91,128,005	0.2	81,654,163	0.2
	繰延収益	2,339,217,953	5.9	2,456,768,745	6.1	2,526,219,589	6.1	2,738,739,756	7.4	2,659,759,962	7.2
	長期前受金	2,339,217,953	5.9	2,456,768,745	6.1	2,526,219,589	6.1	2,738,739,756	7.4	2,659,759,962	7.2
負債合計	35,221,208,995	89.4	35,577,094,312	88.5	37,472,013,626	90.3	33,723,871,039	91.0	32,589,966,462	88.4	
資本の部	資本金	13,385,957,629	34.0	13,385,957,629	33.3	13,385,957,629	32.3	13,385,957,629	36.1	13,385,957,629	36.3
	自己資本金	13,385,957,629	34.0	13,385,957,629	33.3	13,385,957,629	32.3	13,385,957,629	36.1	13,385,957,629	36.3
	剰余金	△ 9,219,103,865	△ 23.4	△ 8,767,135,475	△ 21.8	△ 9,375,426,836	△ 22.6	△ 10,068,202,363	△ 27.2	△ 9,110,251,190	△ 24.7
	資本剰余金	484,345,089	1.2	626,576,089	1.6	771,953,089	1.9	920,546,089	2.5	1,072,426,089	2.9
利益剰余金	△ 9,703,448,954	△ 24.6	△ 9,393,711,564	△ 23.4	△ 10,147,379,925	△ 24.5	△ 10,988,748,452	△ 29.7	△ 10,182,677,279	△ 27.6	
資本合計	4,166,853,764	10.6	4,618,822,154	11.5	4,010,530,793	9.7	3,317,755,266	9.0	4,275,706,439	11.6	
負債資本合計	39,388,062,759	100.0	40,195,916,466	100.0	41,482,544,419	100.0	37,041,626,305	100.0	36,865,672,901	100.0	

科 目	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	対前年比	
						医療収益比	対前年比
医療外費用	1,517,667,166	1,485,236,005	1,568,473,481	1,452,557,986	1,405,729,788	8.2	96.8
支払利息	459,824,779	438,453,446	412,075,386	387,372,797	359,964,856	2.1	92.9
企業債利息	458,378,999	436,684,962	410,313,608	387,083,251	359,825,218	2.1	93.0
長期借入金利息	1,143,000	762,000	571,500				
企業債手数料及び取扱諸費	302,780	1,006,484	1,190,278	289,546	139,638	0.0	48.2
長期前払消費税償却	73,868,360	73,868,360	73,868,360	73,868,360	73,868,360	0.4	100.0
議会費	1,313,703	1,272,628	1,284,765	1,341,798	1,333,606	0.0	99.4
報酬	958,583	953,333	953,000	979,988	953,000	0.0	97.2
旅費交通費	243,520	217,595	212,965	260,710	259,106	0.0	99.4
委託料	111,600	101,700	118,800	101,100	121,500	0.0	120.2
監査委員費	112,000	112,917	112,000	112,917	120,417	0.0	106.6
報酬	112,000	112,917	112,000	112,917	120,417	0.0	106.6
企業団管理費	3,400,967	3,113,017	2,242,914	4,634,302	3,094,147	0.0	66.8
報償費	954,150	861,803	678,483	931,639	703,703	0.0	75.5
消耗品費	2,550	42,962		42,812	17,500	0.0	40.9
賃借料	31,334	17,470	19,560	40,864			
通信運搬費	162,106	147,004	75,280	70,885	161,820	0.0	228.3
委託料	336,450	366,600	141,000	913,175	100,050	0.0	11.0
負担金諸会費	65,649	38,426	42,130	1,148,910	1,220,910	0.0	106.3
雑費	1,848,728	1,638,752	1,286,461	1,486,017	890,164	0.0	59.9
その他雑損失	979,147,357	968,415,637	1,078,890,056	985,227,812	967,348,402	5.6	98.2
その他雑損失	73,857,554	90,415,144	150,763,582	77,345,737	34,423,101	0.2	44.5
3 条控除対象外	255,526,232	273,258,108	298,566,331	321,072,346	349,641,945	2.0	108.9
4 条 "	181,185,819	159,714,812	187,096,733	53,838,474	41,065,351	0.2	76.3
貯蔵品 "	429,363,752	439,577,573	442,463,410	504,489,255	532,405,005	3.1	105.5
有価証券評価損	39,214,000			28,482,000	9,813,000	0.1	34.5
有価証券売却損		5,450,000					
特別損失	118,295,754	103,740,731	168,596,031	106,656,884	1,056,577,019	6.2	990.6
過年度損益修正損	118,295,754	102,460,758	168,596,031	106,656,884	713,777,019	4.2	669.2
固定資産売却損		1,279,973					
その他特別損失					342,800,000	2.0	

科 目	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	対前年比	
						医療収益比	対前年比
当年度純損益	495,579,324	309,737,390	△ 753,668,361	△ 841,368,527	806,071,173	4.7	
累積欠損金	△ 9,703,448,954	△ 9,393,711,564	△ 10,147,379,925	△ 10,988,748,452	△ 10,182,677,279	△ 59.4	92.7

(4) 資本的収支明細書 (28年度～2年度)

(単位：円，%)

科 目	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	
						対前年比
資本的収入	3,353,881,000	3,614,948,318	4,056,019,964	2,191,500,945	1,785,837,074	81.5
企業債	1,752,000,000	2,174,000,000	2,571,000,000	637,000,000	307,200,000	48.2
医療器械整備事業債	1,752,000,000	2,174,000,000	2,571,000,000	637,000,000	307,200,000	48.2
構成団体負担金	1,597,669,000	1,439,609,518	1,476,964,964	1,552,270,145	1,411,682,174	90.9
高知医療センター建設改良費負担金	1,597,669,000	1,439,609,518	1,476,964,964	1,552,270,145	1,411,682,174	90.9
固定資産売却代金		820,800				
固定資産売却代金		820,800				
補助金	4,212,000	518,000	8,055,000	2,230,800	66,954,900	3,001.4
国庫補助金					9,194,900	
県補助金	4,212,000	518,000	8,055,000	2,230,800	57,760,000	2,589.2
資本的支出	5,317,381,277	4,508,952,682	5,115,498,626	3,251,647,549	2,785,026,701	85.6
建設改良費	2,488,680,274	2,193,357,609	2,585,313,528	645,875,252	437,311,567	67.7
医療器械整備費	371,110,186	1,869,698,630	525,295,065	386,116,780	137,391,067	35.6
資産購入費	193,312,095	122,170,852	1,909,665,383	71,353,392	95,348,000	133.6
施設整備費	1,924,257,993	201,488,127	150,353,080	188,405,080	204,572,500	108.6
企業債等償還金	2,752,501,003	2,277,495,073	2,415,885,098	2,605,772,297	2,347,715,134	90.1
構成団体長期借入金償還金	76,200,000	38,100,000	114,300,000			
収 支 差 引	△ 1,963,500,277	△ 894,004,364	△ 1,059,478,662	△ 1,060,146,604	△ 999,189,627	94.3

(5) 一般会計繰入金

①繰入金内訳 (28年度～2年度)

(単位：円)

区 分		年 度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
収 益 的 収 入	企業債利息負担金		173,380,000	166,490,000	157,410,000	149,960,000	140,560,000
	割賦金利息負担金		114,080,000	106,648,000	99,089,000	91,402,000	83,583,000
	結核病棟運営費負担金		58,980,000	64,175,000	71,141,000	72,965,000	73,686,000
	小児医療負担金		131,953,000	132,556,000	164,390,000	178,711,000	208,958,000
	周産期医療負担金		191,228,000	202,167,000	165,170,000	236,184,000	329,798,000
	救急医療確保負担金 ※1～※5 ①		392,349,000	378,839,000	379,008,000	398,144,000	490,569,000
	高度特殊医療等負担金		624,663,000	599,650,000	500,481,000	480,122,000	283,166,000
	リハビリテーション医療負担金		2,905,000	1,191,000	2,237,000	20,434,000	46,408,000
	院内保育所運営負担金		31,230,000	28,297,000	19,411,000	22,390,000	23,347,000
	保健衛生行政事務負担金 ②		17,950,000	18,162,000	18,602,000	18,916,000	20,150,000
	医師等研究研修負担金		36,187,000	40,864,000	33,467,000	29,165,000	29,476,000
	地共済追加費用負担金		154,317,000	178,361,000	187,966,000	210,731,000	159,445,000
	医師確保対策費用負担金		6,367,000	6,228,000	5,740,000	5,861,000	6,013,000
	基礎年金拠出金負担金		255,270,000	250,118,000	232,873,000	228,242,000	229,202,000
	児童手当負担金		43,200,000	56,184,000	56,370,000	57,316,000	57,661,000
	企業団管理費負担金		17,691,000	17,557,000	9,037,000	7,130,000	14,259,000
	感染症病床運営費負担金		5,912,000	5,920,000	3,809,000	3,555,000	4,716,000
	精神科医療に要する負担金 ※6 ③		225,516,619	205,466,571	181,400,787	187,218,749	193,909,826
	滞在施設やまもも負担金 ※7 ④						1,844,000
	計 (A)		2,483,178,619	2,458,873,571	2,287,601,787	2,398,446,749	2,396,750,826
資 本 的 収 入	企業債償還元金出資金		1,016,175,000	872,267,000	937,357,000	1,028,133,000	894,878,000
	〃 高度医療機器分		116,750,000	97,000,000	61,250,000	37,625,000	22,000,000
	割賦金償還元金出資金		435,301,000	442,733,000	450,291,000	457,979,000	465,797,000
	施設整備出資金		1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000
	精神科医療に要する負担金 ※8 ⑤		25,000,000	23,104,518	23,498,964	23,900,145	24,308,174
	災害時における救急医療のために行う施設整備費		2,943,000	3,005,000	3,068,000	3,133,000	3,199,000
	計 (B)		1,597,669,000	1,439,609,518	1,476,964,964	1,552,270,145	1,411,682,174
繰入金合計		4,080,847,619	3,898,483,089	3,764,566,751	3,950,716,894	3,808,433,000	

医療セ グメント の 計算式	県負担分	2,195,474,619	2,093,425,089	2,014,850,751	2,111,192,894	2,045,145,000
	収益的 ((A)-①-②-③-④)×1/2+①+②+③+④	1,384,140,119	1,362,068,071	1,264,618,787	1,323,107,749	1,327,148,826
	資本的 ((B)-⑤) ×1/2+⑤	811,334,500	731,357,018	750,231,964	788,085,145	717,996,174
医療セ グメント の 計算式	市負担分	1,885,373,000	1,805,058,000	1,749,716,000	1,839,524,000	1,763,288,000
	収益的 ((A)-①-②-③-④)×1/2+①	1,099,038,500	1,096,805,500	1,022,983,000	1,075,339,000	1,069,602,000
	資本的 ((B)-⑤) ×1/2	786,334,500	708,252,500	726,733,000	764,185,000	693,686,000

- ※1 28年度の救命救急に対する繰入のうち、補助金相当分41,634,000円については県負担。
- ※2 29年度の救命救急に対する繰入のうち、補助金相当分41,634,000円については県負担。
- ※3 30年度の救命救急に対する繰入のうち、補助金相当分41,633,000円については県負担。
- ※4 31年度の救命救急に対する繰入のうち、補助金相当分41,633,000円については県負担。
- ※5 2年度の救命救急に対する繰入のうち、補助金相当分41,636,000円については県負担。
- ※6～8 精神科医療に要する負担金および滞在施設やまももに要する負担金については県負担。

②繰入率・一床当り繰入額（28年度～2年度）

（単位：円，％）

区 分	28年度		29年度		30年度		元年度		2年度		
	金 額	対前年比	金 額	対前年比	金 額	対前年比	金 額	対前年比	金 額	対前年比	
一般会計からの繰入金	収益的収入繰入 (a)	2,483,178,619	105.0	2,458,873,571	99.0	2,287,601,787	93.0	2,398,446,749	104.8	2,396,750,826	99.9
	負 担 金	2,483,178,619	105.0	2,458,873,571	99.0	2,287,601,787	93.0	2,398,446,749	104.8	2,396,750,826	99.9
	資本的収入繰入 (b)	1,597,669,000	111.7	1,439,609,518	90.1	1,476,964,964	102.6	1,552,270,145	105.1	1,411,682,174	90.9
	出 資 金	1,597,669,000	111.7	1,439,609,518	90.1	1,476,964,964	102.6	1,552,270,145	105.1	1,411,682,174	90.9
	繰 入 金 合 計 (c)	4,080,847,619	107.5	3,898,483,089	95.5	3,764,566,751	96.6	3,950,716,894	104.9	3,808,433,000	96.4
収 益 的 収 入 (d)	22,679,850,498	102.5	22,901,547,232	101.0	22,787,676,786	99.5	22,995,529,472	100.9	25,216,889,138	109.7	
資 本 的 収 入 (e)	3,353,881,000	114.2	3,614,948,318	107.8	4,056,019,964	112.2	2,191,500,945	54.0	1,785,837,074	81.5	
繰入率	収益的収入 $\frac{(a)/(d)}{\times 100}$	10.9		10.7		10.0		10.4		9.5	
	資本的収入 $\frac{(b)/(e)}{\times 100}$	47.6		39.8		36.4		70.8		79.0	
	収益的収入に対する繰入金計 $\frac{(c)/(d)}{\times 100}$	18.0		17.0		16.5		17.2		15.1	
一床当り繰入金(千円)	収益的収入繰入	3,762		3,726		3,466		3,868		3,866	
	資本的収入繰入	2,421		2,181		2,238		2,504		2,277	
	繰 入 金 合 計	6,183		5,907		5,704		6,372		6,143	

※ () 書は全国平均値・・・地方公営企業年鑑より。

II 各診療科資料

総合診療科

1. 概要

総合診療科では、初診外来および日勤帯の救急外来において、臓器別ではなく、かつ疾患に偏りが無い幅広い領域にわたる疾患や訴えをもつ患者さんへの診療を行っている。特に日常よく遭遇する common disease をはじめ、診断困難症例への対応や地域医療機関からのセカンドオピニオン、紹介状を持参せず来院された患者さんで、どの診療科にかかったら良いか分からない方、複数の健康問題に対する包括的なケア、根拠に基づく医療 (EBM)、臨床推論、入院・外来患者さんの外来フォロー (再診診療) などを行っている。また病棟 (入院) では、高齢者 (特に虚弱高齢者) に対するケア、複数の病態を抱える患者さん、必要に応じて他の専門診療科との連携、心理・社会・倫理的複雑事例への対応、癌・非癌患者さんへの緩和ケア、退院支援と地域医療連携機能の提供、在宅患者さんの緊急入院対応などの役割も同時に担っている。当科では、特に救命救急センターとコラボレーションして、複数の診療科に渡る幅広い症例を豊富に診療している。本来であれば二次病院レベルで入院治療が可能な症例も、夜間や時間外に救命救急センターへ救急搬送されてくることから、救急専門医と一緒にこれらの救急患者さんを急性期病棟で診療、治療している。

2. スタッフ活動状況

澤田 努 (部長、臨床研修管理センター長)

日本プライマリ・ケア連合学会認定医・指導医
代議員

伊東 秀樹 (科長)

日本内科学会総合内科専門医

石川 忠則 (主任医長)

日本外科学会指導医、日本消化器外科学会指導医

石井 隆之 (主任医長)

日本脳外科学会専門医

日本プライマリ・ケア連合学会認定医・指導医

吉村 彰人 (地域医療科長、医長)

日本プライマリ・ケア連合学会認定医・指導医

矢野 博子 (医長)

日本救急医学会専門医

日本プライマリ・ケア連合学会認定医・指導医

池田 達也 (主査)

日本内科学会認定内科医

田邊 義貴 (主査)

3. 診療実績

現在、月曜日～金曜日まで午前・午後と 2～3 診の外来枠で外来診療を行っている。初期臨床研修のローテーション研修中の研修医をはじめ、高知大学学外実習プライマリ・ケア、外来医療面接コースで実習に来る医学部学生さんらの教育活動も行っている。

病棟は 6A、9A 病棟をメインとして約 10～15 床前後で運用している。その他、地域医療分野における地域包括ケア、在宅医療などの業務として、黒潮町拳ノ川診療所、津野町国保杉ノ川診療所、宿毛市沖の島へき地診療所、四万十町国保十和診療所、仁淀川町国保大崎診療所、佐川町国保高北病院などへ毎週総合診療科医師を派遣している。

4. 今後の課題・目標

JCEP による指導の中で、臨床研修における外来診療の位置づけが大きいことが分かり、医療面接やコミュニケーションに重きをおいた教育が実践できる体制づくりを目指していく。また、救命救急センターとのコラボレーションはより深化したものとし、総合診療専門医の教育拠点としても努力していく所存である。

精神科

1. 概要

平成 24 年に開設した精神科病棟は、一時閉鎖をしていたが、平成 30 年身体合併症の治療を目的に再開をした。令和 2 年度は、病棟を再開して 3 年目であり、精神科医療を発展させる時期であった。新型コロナウイルス対策で翻弄させられたが、当院身体科や高知県内の精神保健の求めに従って、リエゾン医療介入、精神科救急、対応困難症例への入院治療や精神鑑定などを着実にいった。

2. スタッフ活動状況

令和 2 年度の医師数は、常勤医師が 3 名、非常勤医師が 2 名であった。成人精神科と児童思春期病棟を合わせて 44 床の病棟を 20 名の看護師、1 名の言語聴覚士、1 名の理学療法士などで治療を行った。

3. 診療実績

令和 2 年度の診療実績は、下記のとおりである。

- ・ 延入院患者数 5,911 人
- ・ 退院患者数 103 人
- ・ 外来患者数 3,575 人
- ・ 全入院患者数 82 人
 - ・ 医療保護入院数 51 人
 - ・ 任意入院数 13 人
 - ・ 措置入院数 8 人
 - ・ 応急入院数 6 人
 - ・ 鑑定入院数 4 人
 - ・ 輪番での入院数 16 人

4. 問題点・今後の課題・目標

精神科は、30 床の成人精神科病棟で入院診療を行い、外来診療には制限をかけている。精神科の医師数は、3 名である。成人精神科は、他科からの依頼による精神疾患へのアプローチを行うリエゾ

ン活動とともに、身体合併症を有する精神疾患患者の入院を受け入れている。また、自傷他害の恐れのある措置入院患者や責任能力を判定する起訴前精神鑑定や医療観察法の精神鑑定の患者も受け入れるようになった。救急医療に関して、高知県の精神科救急輪番制度にも月に 2 回参加し 16 人の入院を受け入れた。このようにいくつかの精神科診療機能に関して徐々に活動の範囲を広げている状態である。

令和 2 年度は、50%以上の稼働率で運営する目標を持ち、精神科医療を充実させていく予定であった。しかし、前年度に発生した新型コロナウイルス感染症の問題が目標達成に影を落とし、思いもよらず、診療体制が縮小された。また、新型コロナウイルス感染症予防の名の下、多くの行動制限を患者に強いなくてはならなかった。また、退院支援会などを開催することはままならず、退院支援に十分な時間をかけて行えなかった。もともと自由を制限されている患者に対して、さらなる不自由を強いなければならないことについて非常に心苦しく思う 1 年であった。

新型コロナウイルスの精神科医療の問題では、行政機関と多くの話し合いを持った。特に高知県で措置入院患者にコロナウイルス感染が起こった場合に、当院で治療をすることを決定した。しかし、幸いに措置入院患者に新型コロナウイルス感染が発生せず当院での新型コロナを合併した措置入院患者は無かった。先行きが予期できぬ感染症であり、今後も難しい局面が続くと考えられる。

新型コロナウイルスで減速した感はあるが、高知県の精神科医療と高知医療センターの中で、当科は徐々にプレゼンスを示すことができるようになってきた。さらなる機能強化を行い、高知県の医療に貢献をしていきたいと考えている。

児童精神科

1. 概要

当科は、児童思春期の精神疾患に対する専門的医療の提供を目的に平成 24 年に開設され、14 床の児童思春期精神科病棟を有している。

2. スタッフ活動状況

令和 2 年度の医師数は、常勤医師が 2 人、非常勤医師が 2 人であった。

3. 診療実績

令和 2 年度の診療実績は、下記のとおりである。

- ・延入院患者数...1,770 人
- ・退院患者数...34 人
- ・外来患者数...2,489 人

4. 問題点・今後の課題・目標

近年、心の健康に何らかの問題を抱える子どもたちの支援ニーズが高まっている。児童精神科領域においては、神経発達症、児童虐待、愛着の問題、複雑性 PTSD など、さまざまなキーワードが提唱され、子どもの生育や成長に関して精神科的介入を求められている。自閉スペクトラム症、注意欠如・多動症、限局性学習症に代表される神経発達症は社会全体の関心事であり、これらの特性をもつ人たちは幼児期からさまざまな社会場面で適応できず精神疾患を抱えるおそれもあるため、支援体制の確立が不可欠である。こころのサポートセンター児童精神科はこのような子どもたちとその家族を支援する重要な役割を担っており、より一層、診療体制を充実させる必要がある。

多くの子どもこのころ専門医療機関が抱える問題として、患者の初診までの待機期間が長期になってしまうことが挙げられるが、当院は県下で唯一の児童精神科専門病棟を持つ医療機関であり、入院が必要な相談ケースには可能な限り早急な対

応を心がけている。入院病床があることで、治療のバリエーションを増やし、多様なニーズに応えることが可能となっている。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界的パンデミックの中、海外の報告によると、ロックダウン下におけるゲームやインターネットの過剰使用による、ゲーム障害の発症や悪化・再燃のリスクが指摘されている。特に注意欠如・多動症、うつ病、不安症を持つ子どもが、ゲーム障害を呈するリスクはより高いため注意が必要である。当科においても、令和 2 年度はゲーム依存により心身の不調を来すケースの受診や入院相談が相次いでいた。児童精神医学の立場からコロナ禍において子どもを守るということは、その身体的健康を保ち、心身の症状・疾患があれば治療・対処し、その子どもに応じた精神発達の促進を支援し、更にその家族を支援することに他ならない。こうしたことを念頭に置き、今後も関連機関と協力して、地域の子どもたちの心の問題への支援に貢献できるよう努めていきたい。

地域医療科

1. 概要

高知医療センターは、へき地医療拠点病院として指定を受け、無医地区巡回診療やへき地診療所への代診医派遣、へき地医療情報ネットワーク等を活用した遠隔画像伝送やへき地診療所との遠隔診療を主たる業務として担っている。また、初期臨床研修医や高知大学医学部の学外実習、地域医療夏期実習などで医学生に対する教育にも携わっている。

2. スタッフ活動状況

地域医療科医師 2 名（科長は高知県へき地医療支援機構専任担当官を兼務）が中心となって無医地区巡回診療やへき地診療所への医師派遣、代診医派遣調整などを行っている。また、総合診療科医師とも連携して業務を行っている。各医師が週 1 回程度派遣され活動している状況である。

3. 診療実績

・無医地区巡回診療（長岡郡大豊町久寿軒・北川地区）

医師・看護師、薬剤師、事務職員で巡回診療班を構成し、毎月第 3 火曜日に巡回診療を行っている。

・へき地診療所への代診医派遣

令和 2 年度の代診医派遣実績は 419 日（実日数）であり、その内訳は、

黒潮町国保拳ノ川診療所	135 日
宿毛市立沖の島へき地診療所	81 日（遠隔含む）
仁淀川町国保大崎診療所	85 日
四万十町国保大正診療所	41 日
津野町国保杉ノ川診療所	31 日
四万十町国保十和診療所	4 日
馬路村立馬路診療所	42 日であった。

・へき地医療情報ネットワークの活用

県内で 33 ヶ所の地域医療機関（へき地診療所を含む）がネットワークで繋がっており、画像コン

サルトなどで活用されている。遠隔画像伝送により院内の各専門医に直接コンサルトすることが可能となっている。宿毛市沖の島へき地診療所では、天候不良などで地域医療科医師が島に渡れない際に、遠隔 Web 会議システム等を利用して遠隔診療を行うこともある。また、コロナウイルス感染症流行により代診医が派遣できなかった期間も、遠隔診療により必要とされるへき地医療の確保が可能であった。

・医学教育

平成 16 年 4 月から始まった新医師臨床研修制度では、「地域保健・医療」が研修必修項目の中に挙げられており、中小自治体病院や診療所およびそれに関連する社会福祉施設、介護老人保健施設、へき地・離島にある医療機関や保健所等の地域保健・医療の現場を経験することが研修目標に明記されている。当院では地域医療科が中心となり、へき地医療機関を研修協力施設とする高知県内共通のプログラムに従って、プライマリ・ケア研修を学ぶことができる教育体制をとっている。

4. 今後の課題・目標

総合診療科との連携によって、ここ数年で当科としての活動範囲が経年的に広がってきた。しかし高知県は県内に 26 ヶ所の無医地区（R 元年 10 月現在）を抱えており、65 歳以上の高齢者人口比率は 35.2% で全国第 2 位（令和 2 年版高齢社会白書）の高齢県となっている。このような状況下では、当院の地域医療科単独で担うことのできる業務は限られている。しかし、今後も引き続き県内の他のへき地医療拠点病院とも連携を図ることで、更なる地域医療への貢献が可能と考えている。

また、災禍時（自然災害や感染症流行等）の地域医療支援への備えも今後の重要な課題である。

血液内科・輸血科

1. 概要

日本血液内科学会研修認定施設、非血縁者間骨髄採取・移植認定施設として、血液内科の全ての領域の疾患の外来・入院診療と自家および同種造血幹細胞移植を行った。昨年度目標としていた、HCTC（造血細胞移植コーディネーター）が1名でき、LTFU（移植後長期フォローアップ外来）の開設もでき、開始している。

2. スタッフ活動状況

現在、岡山大学第二内科からの医師3名を含む合計常勤医師6名で診療を行っている。スタッフは週に1から2回の専門外来診療を行っている。また、岡医師は2019年4月より、2週間に1回の頻度で幡多けんみん病院の診療支援を行っている。現在の診療体制を維持するには新たな人員確保が継続できるかが重要である。

3. 診療実績

（外来）

平日の午前に2名の医師が専門外来を行っている。基本的には、全ての紹介患者の受け入れを行っており、紹介患者数は2015年243名、2016年276名、2017年287名、2018年308名、2019年339名、2020年293名であった。

（入院）

入院患者数は例年通り 50 名から 60 名と安定した患者数が確保できている。

造血幹細胞移植件数は、2015年14件、2016年30件、2017年29件、2018年25件、2019年42件、2020年30件、造血幹細胞採取件数は2015年15件、2016年33件、2017年22件、2018年23件、2019年35件、2020年23件と推移している。

新規患者数は、悪性リンパ腫は2015年84名、2016年99名、2017年87名、2018年88名、

2019年94名、2020年86名、多発性骨髄腫は2015年11名、2016年20名、2017年19名、2018年32名、2019年26名、2020年26名、急性白血病は2015年40名、2016年45名、2017年43名、2018年38名、2019年31名、2020年27名と推移を示している。過去3年の新規造血器腫瘍全体の患者数は、2018年208名、2019年218名、2020年212名とほぼ横ばいを推移している。

4. 今後の課題・目標

高知県内の血液内科基幹病院の事情もあり、当科に紹介して頂く患者数は増加している。造血幹細胞移植の件数も増加傾向である。2017年からは、新たな造血幹細胞移植として臍帯血移植とHLA半合致移植も施行しており、ほぼ全ての移植法が当科にて対応可能となった。

患者増加に伴い病床数（特に個室）の不足とCCR（コンパクトクリーンルーム）の不足が生じ、病棟管理が非常に難しい状況となっている。

造血幹細胞移植患者の管理は非常に難しく、治療の選択や全身管理に困難を極めることが多々ある。そのため、今後も高次の医療機関で研鑽などを積み、更に上のレベルでの移植医療の提供を目標とする必要がある。移植医療はチーム医療であり、多くの人材と時間が必要である。今後も安定した人員確保とスタッフの教育、研鑽が必要と考える。現在の診療体制を維持していくには、安定した医師数確保が最も大切である。

より高度な血液内科診療、造血幹細胞移植医療を提供するためには、多職種conferencesなどを通じて職員への教育、啓発を行い、チーム医療の重要性を共通認識する必要がある。

数少ない専門医で高知県内の血液疾患の診療を担っている状況であり、今後も他の専門病院との診療連携、協力なども行っていきたい。

糖尿病・内分泌内科

1. 概要

基幹病院として、糖尿病・内分泌疾患の外来診療、入院診療を中心に行った。

2. スタッフ活動状況

令和2年度は、常勤3名、専攻医1名体制である。

3. 診療実績

令和2年度の外来患者さんの延べ人数は4,698人、入院患者さんの延べ人数は1,051人であった。

4. 今後の課題・目標

院内における糖尿病管理を継続する。

糖尿病患者さんは増加しており、また高齢化も進んでいるため、糖尿病の早期発見・治療に努め、合併症の進展を抑制したい。かかりつけ医との連携した対策を行い、逆紹介の増加に努める。

救急科をはじめ他科と連携し糖尿病や内分泌疾患の診療レベルを維持したい。

若手医師育成に関しては、当院は、日本内分泌学会認定施設、日本糖尿病学会認定施設であり専門医の育成に努める。また、他の内科系診療科と協力し、総合内科専門医育成に努める。

放射線科・放射線療法科

1. 概要

各種画像診断(CT、MRI、核医学検査、PET-CT)・レポート作成、放射線治療、血管造影・IVRなど日本医学放射線学会の総合修練施設、新専門医制度の高知大学、岡山大学、徳島大学のプログラム修練協力機関として幅広い診療を行っている。

地域連携として他医療施設から画像診断(CT、MRI、核医学・PET検査)の依頼を受け、即日レポート作成を行っている。コロナ禍で検査数減少傾向のなか、高須病院からのMRI依頼は令和元年度に49件から299件に増加し、減少時期もあったが令和2年度も229件、関連する骨シンチ依頼も昨年と同等の53件を保った。地域連携による画像検査の増加のためよりスムーズな依頼システム構築が望まれるが病院体制の制約により実現出来ない状態の改善を検討している。

画像検査機器の更新は無かったが、近年前立腺癌の骨転移検索として従来の骨シンチより有用性が高いと評価されつつある全身MRIを最新機種に比べてスペックの劣る当院のMRIでも撮影可能とするため工夫を行い検査開始に向けて準備している。

がんサポートセンターのオープンから足かけ5年が経過し、PET-CTや高精度放射線治療の安定した提供も行われており、さらなる症例増加を目指している。

2. スタッフ活動状況

放射線治療は、いずれも放射線治療専門医である2名の常勤医師で行なっている。平成29年7月からは、がんサポートセンターにて2台の高精度放射線治療装置を用いて、強度変調放射線治療(IMRT)や定位放射線治療(STI)など高精度放射線治療を実施している。乳房温存手術後の照射や前立腺癌の根治照射などを中心とした、

外来通院による治療例も増えてきている。

読影・レポート作成業務は5名の非常勤読影医師の協力のもと年度末退職予定の補充で1名増えた読影専従医4名とIVR医4名で実施しており、平成30年度4月よりCT、MRI、核医学検査すべてのレポート作成を再開し、画像診断管理加算IIの請求を継続している。

IVRは全国のIVR学会修練施設405施設中15位(令和2年)の症例数で、IVRを習得したい救急医からの研修希望が続き、現在3名の救急医が研修中である。6名のオンコール医により24時間365日緊急IVR対応を継続している。

3. 2020年度診療実績(2019年度件数)

画像検査・診断レポート作成

- ・ CT 20,433件(23,218)
- ・ MRI 6,947件(8,499)
- ・ 核医学 599件(948)
- ・ PET-CT 899件(1,011)

上記全例レポート作成。

血管造影・IVR : 936件(1,083)

- ・ CVカテ、PICC、リザーバー留置 483件(487)
- ・ 動脈塞栓術(頭頸部・胸腹部・他) 102件(166)
- ・ ドレナージ(胸腹部・他) 154件(141)
- ・ 生検(頭頸部、胸腹部・他) 76件(110)
- ・ 血管形成術(PTA、下肢、シャント) 57件(63)
- ・ ステントグラフト(胸部・腹部) 34件(36)

従来から多数のCVリザーバーの依頼を受けていたが、最近ではPICCの依頼が増加している。

放射線治療 : 225件(275)

- ・ 胸部(肺・食道) 56件(85)
- ・ 乳癌 45件(44)
- ・ 骨転移 25件(28)
- ・ 造血器・リンパ系 22件(29)
- ・ TBI(全身照射) 10件(13)
- ・ IMRT(強度変調放射線治療) 83件(101)
- ・ STI(定位放射線治療) 8件(19)

4. 今後の課題・目標

- ・ MRI3台運用継続のための検査数増加
- ・ 臨床研究、臨床試験への参加、論文発表
- ・ 放射線科レジデントの育成

緩和ケア内科

1. 緩和ケア内科とチームの概要

治療の早期の段階から緩和ケアを提供し、全人的苦痛を取り除くように MSW やがん専門看護師などと共働している。治療継続が困難な患者さんには最適な療養環境を整えることも行う。緩和ケアチームでは、介入依頼のあった入院患者さんの治療や療養場所についてなどを主治医チーム、病棟看護師、チーム看護師、薬剤師、MSW、管理栄養士、理学療法士などの多職種でカンファレンスを行い、診療支援に努めている。

2. スタッフ活動状況

緩和ケア内科は、専従医師 1 名、非常勤医師 1 名。

緩和ケアチームは、専従医師 1 名、専任医師 1 名、非常勤医師 1 名、専従のがん専門看護師 2 名、専任の薬剤師 3 名、専任管理栄養士 1 名、理学療法士 1 名、MSW 2 名でチーム活動を行なっている。

がん診療連携拠点病院として医師への PEACE 緩和ケア研修会を開催、また院内では病棟リンクナースの勉強会を行なっている。

また高知県立大のとの包括連携事業としての合同研修会で、終末期医療に関連するテーマでの座長をつとめた。

医学部学生、看護学大学院生などへの緩和ケアに関する講義、研修医や地域の臨床医の研修医学部学生、看護学大学院生の実習受け入れも行なっている。

平成 29 年 4 月から、がんサポートセンター緩和ケアセンター、がん相談支援センターを開設。がん相談支援センターでは相談員 2 名が、対面あるいは電話やメールでの相談に応じている。

3. 診療実績

緩和ケア内科の外来は、月曜日～金曜日の午前

中に診療を行なっている。基本的には院内他科に通院中の紹介患者さんが対象である。全人的な苦痛を取り除くことを目的にして治療を行ない、治療継続が困難となった患者さんには最適な療養環境を整えるように MSW や専従看護師と協力し、他院の外来に紹介するなどの地域連携を行なっている。令和 2 年度の外来診療件数は、1,800 件であった。

緩和ケアチームは、火曜日と金曜日に定期チーム回診、カンファレンスを行うほかに、随時、診療支援を行っている。令和 2 年度の依頼件数は、214 件であり、退院のうち、在宅ケア導入が 9 件、緩和ケア病棟転院が 30 件、その他の転院が 5 件、死亡退院が 22 件であった。ほとんどががんの患者であるが、非がん（心疾患、呼吸器疾患 COVID19 関連患者の症状コントロールも含む。）は 3 件あった。なお緩和ケア診療加算件数は、971 件であった。

4. 今後の課題・目標

令和 3 年度より、外来診療において外来緩和ケア管理料の算定要件を満たす場合、加算できるよう対応したいと考えている。

外来には、常駐看護師、医療秘書は不在、緩和ケアセンター事務も不在である。診療のみならず、医師や看護師が勉強会や講演会の企画運営や会場準備まで担当する厳しい状態である。緩和ケアセンターの積極的な運用、提供する緩和ケアの質向上のために、マンパワーの充実を目標とする。医師や看護師、医療秘書の確保、また、緩和ケアセンターとして活動するための事務担当者、ゼネラルマネージャーの確保も必要。

他診療科、他部署との連携、地域連携、緩和ケアの啓発も重要であり、継続課題である。

併せて、がん相談支援センターの活用の充実も目標とする。

腫瘍内科

1. 概要

消化器がんを中心とした固形がんの抗がん剤治療を担当し、2017年4月開院のがんサポートセンター3階外来ケアルームを主たる診療場所としている。

術前・術後化学療法、再発・転移例に対する化学療法を実施、治験・臨床試験も積極的に導入している。

診療初期より緩和ケア科と併診体制を敷き、緩和ケアチームをはじめとした多職種のかかわりにより全人的医療を実践しており、また病状進行期には、近隣の緩和ケア専門医療機関や在宅診療機関との連携を密に図っている。

また、高知県立大学と共同で、がん専門看護師、がん化学療法認定看護師の育成にあたっており、県下のみならず、全国的なメディカル・スタッフ育成にも寄与している。

2. スタッフ活動状況

令和3年3月をもって、島田前院長退官のため腫瘍内科を主たる業務とする常勤医は1名となっているものの、従来通り香川大学より非常勤医師（2名での交代制）を招聘、また島田前院長にも招聘のかたちで週2回の外来を依頼しており、従来の診療体制は維持している。また外科より2名、消化器内科より1名、腫瘍内科枠での外来業務を担って貰っている。

3. 診療実績

外来のべ患者数は平成30年度4,987名、平成31/令和元年度4,582名、令和2年度4,519名であり、平成30年までは月平均400名あまりであったが、直近2年はそれをやや割り込んで推移している。令和2年度は病院全体として新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた。腫瘍内科に

おいてはその影響が数字としては表れていない。しかしながら病院としては手術数や救急患者受け入れに制限を設けていた時期もあり、主たる紹介元となる外科や消化器内科の患者数はやや減少していることから、腫瘍内科の患者数にも遅れて影響してくることは想定される。

対象癌腫は、胃癌、大腸癌、膵癌、胆道癌を主とした消化器がんを中心に、一部の原発不明癌も担当している。標準治療を第一に実施し、臨床試験や治験の適格条件を満たす場合には患者さんに説明し参加を依頼している。また、薬剤師や栄養士も交えた定期多職種カンファレンスを設けているほか、必要に応じキャンサーボードにおいて複数科・多職種でもって協議し、より良い経過を得るべく個々の症例の検討を行っている。

4. 今後の課題・目標

- 1) 当院に限ったことではないが、腫瘍内科医の確保は大きな懸案事項である。腫瘍内科医の必要性が増す一方で、安定した供給体制がないのが実情である。現在のところ腫瘍内科を目指す若手医師は大都市圏のがんセンターに集中する傾向があり、地方都市への招聘は極めて困難である。今後の高知県のがん診療を担う人材輩出のためにも、当院において消化器内科、外科と連携を図り若手ががん診療医の育成をしていく。
- 2) JCOG 他の研究者主導臨床研究や治験に積極的に症例登録を行い、当院の立場をアピールしていく。
- 3) 抗がん剤、支持療法の高騰化を適正化するために、新規薬剤の適応、導入について十分な検討を行い、医療経済的視点を持って抗がん剤にあたる。

ペインクリニック科

4) がんサポートセンター外来ケアルームの安定した運用のため、看護師をはじめとしたメディカル・スタッフの育成を目指す。

1. 概要

外来診療を中心として、患者さんへの治療を行った。主に神経ブロック治療や、キシロカイン、アルプロスタジルアルファデクスの点滴治療や内服薬による治療、ボトックス注射、脊髄刺激電極による治療を実施した。

2. スタッフ活動状況

令和2年度の医師数は、常勤医師が1名、非常勤医師が1名（2名とも麻酔科との兼任）であった。

3. 診療実績

令和2年度の診療実績は、下記のとおりである。

- ・延入院患者数... 14人
- ・退院患者数..... 14人
- ・外来患者数...3,661人

4. 今後の課題・目標

令和3年度より、常勤医師1名、非常勤医師1名体勢に変更となり、昨年度までのような柔軟な対応が難しくなっている。予約診療の厳格化や、逆紹介患者を増やしていくことが今後の課題である。

病理診断科

1. 概要

各臨床科の外来診療・入院診療の一翼を担い、種々の検体を対象とした病理診断（組織診・細胞診・病理解剖）を行った。日本病理学会の認定施設、および日本臨床細胞学会の認定施設・教育研修施設の資格も維持している。

2. スタッフ活動状況

前年と同じく、2名の常勤病理医が業務に携わっている。いずれも日本病理学会認定病理専門医・病理専門医研修指導医である。病理医1人あたりの業務量がやや多めであるが、業務の遂行に大きな支障は生じていない。

なお、医師に加え、医療技術局に属する7名の臨床検査技師（常勤職員5名、臨時職員2名、前者のうち3名は細胞検査士）、および事務局に属する医療秘書1名が業務をともにしている。臨床検査技師は前年より1名増の状態である。

3. 診療実績

組織診は5,706件（うち迅速組織診386件）、細胞診は4,220件（うち迅速細胞診3件）、病理解剖は10件で、いずれも前年に比し減少している（前年は組織診6,238件、細胞診4,914件、病理解剖16件）。これは新型コロナウイルス蔓延の影響によると考えられる。

組織診と細胞診においては、臨床科の幅広さを反映して、多領域・多臓器にわたる検体が提出されている。特に組織診では、手術検体の比率が高く（生検検体と手術検体の数に大差がない）、件数の割には作製ブロック数・標本数が多いという特徴がある。コンパニオン診断を含め、診断や治療に際して有用な情報を提供しうる免疫染色の件数も多い。ただし件数の減少に伴い、前年と比較して、

組織診ブロック数 40,264→37,363

組織診標本数 58,649→56,013

組織診免疫染色 8,367→7,652

細胞診標本数 7,342→6,473

と減少している。

病理解剖は内科系からの依頼が主だが、それでも特定の臨床科にあまり偏ってはいない。全例において初期臨床研修医が臨床医の一員として関与し、また、全例において臨床病理検討会（CPC）を行っている。

4. 今後の課題・目標

昨年は新型コロナウイルス蔓延の影響により業務量は全体的に減少したが、いずれは増加傾向に戻ると考えている。臨床科から求められる情報の量や質も、今後、徐々にではあれ高まる一方と考えられ、それに従って業務量も増えてゆくと予想される。よって、現時点では確保できている（ただし高齢化しつつある）病理医のマンパワーを、将来にわたって維持してゆくための体制づくりが喫緊の課題である。

日本病理学会認定病理専門医の研修については、当院は高知大学医学部附属病院を基幹施設としたプログラムの連携施設の一つとなっている。今後の人的要素の安定のためにも、高知大学医学部附属病院、および他の連携施設との関係を密にしてゆく所存である。

一方、標本作製等に携わる技師への配慮も必要であり、人員1名増という改善がもたらされたことはありがたい。

脳神経外科

1. 概要

脳神経外科学会専門医研修プログラムの連携・関連施設、脳神経血管内治療学会研修施設、脳卒中学会認定研修教育病院として、脳神経外科領域の外来診療や手術治療（カテーテルによる神経放射線治療を含む）を主とする入院診療を行った。

2. スタッフ活動状況

常勤スタッフは同様 6 名の体制であった（うち脳神経外科専門医 6→5 名）。外科治療を主目的にご紹介いただいた外来受診患者さんのみならず、脳卒中や頭部外傷などの急性期の神経疾患で救急受診した患者さんを幅広く診療した。

3. 診療実績

診療実績は、コロナ禍の影響を受け外来、入院、救急、手術などの実績は例年に比べ大きく落ち込んでいる。

（外来）延べ人数 2,389 人

週 3 日の外来診療を各日 2 診察室の体制で行った。そのほか緊急患者さんを診療する人員を常に確保し、24 時間県内全域からの新たな患者さんを受け入れる体制を維持した。

専門外来は設けてはいないが、脳神経外科専門医、脳血管内治療専門医が各曜日に診療を担当している。

（入院）延べ人数 8,279 人

06 SCU 病棟の 9 床など、急性期脳卒中の診療体制の充実に努めた。そのほか、一般入院加療は 06 にこやか A 病棟、特に重篤な急性疾患に関しては 03 救命救急病棟、入院患者の術後は 03 集中治療病棟もしくは 06HCU で加療を行った。

（手術）

令和 2 年度の脳神経外科の手術総数は 182 例（うち緊急が 117 例）であった。直達手術 97 例、脳血管内治療は 85 例であった。

4. 今後の課題・目標

令和 2 年度は病院全体がコロナ禍によって診療実績に大きな影響を受けてしまったが、当科においては科の特性上、救急患者搬送の減少の影響が大きく、外来、入院、救急、手術すべてにおいて診療実績が落ち込む結果になった。

高知県では他県よりも顕著に高齢化が進行している。高齢者に対する外科治療としては、低侵襲性を重視した脳血管内治療の適応が拡大している。

当科の診療体制の強みは、大半が脳神経外科専門医であること、脳神経血管内治療学会研修施設として中心的な役割を果たしていること、複数の脳卒中学会専門医および神経内視鏡専門医が在籍すること、医師以外のさまざまな職種が治療に能動的に関与していることである。したがって、当科の診療の特徴は、急性期脳卒中に対する集中的な治療である。

今後の問題点としては、県人口の全体的な減少や同様の診療体制を喧伝する競合施設の出現による症例分散に伴う症例数の減少である。また救急部への過度の負担も無視できない。つまり、現在の急性期脳卒中診療を中心とした診療体制のみでは、限界が近いことが予想される。

したがって、今後も日常診療における治療成績を向上させることは当然だが、各症例での収益率を高めること、脳神経外科を志す若手医師を養成すること、当院の協力施設を増やすこと、急性期脳卒中以外の高齢者の対象疾患を拡大することが重要である。具体的には、入院期間の短縮化、専門医制度の充実、紹介医への丁寧な報告書の提供と

逆紹介等を推進していきたい。

コロナ禍がまだまだ拡大する中、症例数に関しては厳しい状況が続くと予想されるが、到達すべき目標としてDPC II超率20%(令和2年度30.3%)を手術治療250例、緊急症例6割、逆紹介率500%を努力したい。

現在の診療体制は近隣より高い評価をいただいているため、その迅速かつ信頼される診療体制を今後も守りつつも、より幅広い専門的疾患に対応できるような体制に移行していきたい。

眼科

1. 概要

眼科領域の外来診療や手術治療を主とする入院診療を行った。

2. スタッフ活動状況

常勤医師2名、非常勤医師1名で診療を行った。視能訓練士2名により眼科諸検査を行った。

3. 診療実績

(外来)

週5日の外来診療を常勤医師2名と非常勤医師1名で、3診体制で行った(金曜日のみ2診体制)。主に視能訓練士による屈折検査、視力検査、眼圧検査、眼底カメラ撮影、OCT(眼底三次元断層撮影)などの検査後に、医師が細隙灯顕微鏡検査、眼底検査などにより診察を行った。また、術前検査として超音波検査、角膜内皮測定、涙管通水検査を行った。さらに、緑内障や脳外科疾患などの患者には視野検査、眼球運動検査などを視能訓練士が行った。斜視患者には眼位検査、両眼視機能検査などを行った。糖尿病網膜症や網膜血管閉塞症には蛍光眼底造影などの検査を行い、必要に応じて網膜光凝固術を施行した。毎週水曜日にはNICUでの未熟児診療を行った。

(入院)

入院患者の延数は、115名であった。多くは手術症例であった。手術症例以外でも重症例では入院管理の下に治療を要する例もあった。

(手術)

令和2年度の眼科での手術総数は183例であった。内訳は、白内障および硝子体手術75例、眼瞼手術14例、斜視手術24例、網膜光凝固術14例、虹彩光凝固術2例、抗VEGF硝子体注射48例、

その他8例であった。

4. 今後の課題・目標

新型コロナウイルス感染が広がる中で、眼科診療においても可能な限り対策を行った。患者診察ごとに手指の洗浄や消毒を行った。細隙灯顕微鏡や網膜光凝固装置には透明プラスチックシールドを装着した。使用した眼科診療機器の消毒も診察毎に行い、パソコンのキーボードの消毒や診察室の換気をこまめに行い感染予防に努めた。新型コロナウイルス感染は、入院・手術にも影響が及び、病棟再編が必要となったため、従来の眼科フロア(9B病棟)が無くなり別のフロア(7B病棟)に移動となった。またその後も病棟再編が必要になり、他の病棟でも入院を受けてもらうようになった。眼科ケアに慣れないスタッフも多いため、術前点眼などの指示をより確実に行うよう心がけた。これを機に、入院パスの見直しも必要と考えられた。感染状況により手術を制限せざるを得ない時期もあった。新型コロナウイルス感染予防に細心の注意を払いつつ、確実に安全な医療を提供していく必要がある。

耳鼻咽喉科

1. 概要

地域の基幹病院として、手術と入院を中心に診療を行った。救急部と協力して耳鼻咽喉科救急疾患に対応した。時間外呼出しにも応需した。新型コロナウイルス感染症対策を行った。

2. スタッフ活動状況

耳鼻咽喉科学会認定専門医の常勤医 4 名で診療を行っていたが、1 名退職のため、常勤医 3 名と週 1 回の非常勤医 1 名の体制となった。

3. 診療実績

(外来)

週 3 回 (月水金) の外来診療を医師 2~3 名で行った。令和 2 年度の外来患者数は 7,661 人で、前年度の 8,692 人から大幅に減少した。休診日でも緊急性を認めたときにはできる限り対応した。

当院での精査治療終了後は、速やかに紹介元に逆紹介を行った。

(入院)

令和 2 年度入院患者の延べ数は 305 例であった。内訳は手術症例が 200 例、めまいや突発性難聴などの感覚器障害が 26 例であった。入院患者のうち、がん患者は延べ 90 例、うち手術を施行したのは 43 例、放射線治療および化学療法を施行したのは 39 例であった。

合併症がある患者も多く、必要に応じて関連他科と連携して診療を行った。

(手術)

令和 2 年度の手術件数は 344 例であった。鼓室形成術等の耳科手術は 33 例、内視鏡下鼻副鼻腔手術は 113 例、口腔・咽頭手術は 143 例、耳下腺などの唾液腺手術は 18 例、頸部手術は 26 例であった。気管切開その他 11 例であった。

頭頸部進行がんなどの再建を要する手術につい

ては、形成外科、歯科口腔外科や消化器外科など他科と協力して手術を行った。耳科手術は完全内視鏡手術が多数を占めつつある。

(検査)

一般開業医では施行できない検査を中心に行った。めまいの精密検査として電気眼振図は 47 例、重心動揺検査は 169 件。頭頸部腫瘍などに対して超音波 (エコー) 検査 244 例、エコーガイド下穿刺吸引細胞診 72 例。組織診は 130 例施行している。

4. 今後の課題・目標

①コロナ時代の耳鼻咽喉科診療：処置から検査への診療形態のシフト。エアロゾル発生手術の制限。アフターコロナにおいても感染予防を継続。

②頭頸部外科の実践：高知医療センターの設備、人的資源を活用した手術中心の医療を行う。

③転院先の確保：すぐに自宅退院できない患者やリハビリが必要な患者の受入れ先、逆紹介先の確保。限られた医療資源を有効に活用するため、当院での急性期医療、耳鼻科集学的治療を終えた患者さんの受入れ先を充実させる。

④医療機器の更新。

⑤耳鼻咽喉科救急への対応：高知医療センター耳鼻咽喉科に求められる診療範囲は広く、外来紹介患者診療、手術、入院管理、特殊検査など多岐にわたる。特に救急時間外対応は医師の過重労働へとつながるため業務役割分担を行う。

(注)手術件数は、日本耳鼻咽喉科学会算定方法によった。このため入院症例数に対して、手術症例数が見かけ上多くなっている。

歯科口腔外科

1. 概要

口腔顎顔面領域の外来診療や手術治療および周術期口腔管理に関わった。

日本口腔外科学会、日本有病者歯科医療学会、日本障害者歯科医療学会の認定施設としての診療基準をクリアした。

2. スタッフ活動状況

令和2年度は常勤医5名（歯科口腔外科担当4名、小児歯科および障害者歯科担当1名）が在籍し、うち3名は日本口腔外科学会専門医・指導医、1名は日本小児歯科学会認定医、日本障害者歯科医療学会認定医として専門的な診療を行った。救急対応を含む外来・入院・手術・周術期口腔機能管理への対応、地域貢献活動としての講演などを行った。非常勤医師は2名（他院常勤医と行政職）で昨年度から変化はない。チーム医療としては周術期口腔機能管理、摂食・嚥下チームおよびNSTに関与・協力している。

3. 診療実績

（外来）

常勤医5名を中心に院内・外の紹介患者受け入れを行い、外来患者数は、新患数3,334人（昨年度3,639人）、再初診では延べ16,301人（昨年度18,522人）、外来1日平均患者数は68.2人であった。新型コロナウイルス影響下での患者数減少がみられた。紹介率については、院内の周術期口腔機能管理に力点を置いている関係上、昨年度より低下し45.2%（昨年度48.5%）に留まった。逆紹介は患者さんや紹介先との診療上の繋がりを重要視してほぼ院外からの紹介では全例で行っているが、診療情報提供書算定要件が厳しく統計上の逆紹介率は25.7%となっている。なお令和2年度、周術期口腔機能管理の新規歯科受診件数は1,421

件（昨年度1,405件）と微増であった。

（入院）

入院患者延べ数は、1,221人（昨年度1,464人）であった。ここ数年の傾向として、高齢化に伴う疾患割合の変化、具体的には薬剤関連顎骨壊死や糖尿病などをはじめ合併症を有する難治性菌性感染症や後期高齢者以上の口腔癌治療ケースが増加傾向にある。

（手術）

手術室での年間執刀症例は81件であり、内訳は、難抜歯、嚢胞、骨髓炎、外傷、良性腫瘍、悪性腫瘍、および顎矯正手術などであった。歯科臨床研修施設としてあまり偏りのない症例が確保できている。

4. 今後の課題・目標

当科における診療は、口腔顎顔面領域の疾患に対する専門的治療を中心とし、有病者・障害者に対する外来診療、入院・手術治療、周術期口腔管理（院内・院外連携）が柱であり、今後は高齢化に伴って地域歯科医療の後方支援としての役割もより一層期待されるものとする。また患者支援センターからの周術期口腔機能管理の歯科介入率は30%台後半とまだ低く、引く続き課題として挙げられる。新規患者受け入れ体制を整備するためには歯科医師、歯科衛生士、診療スペースのさらなる確保が必要である。また開院以来16年を経過し、様々な医療機器の更新が適宜必要となってきた。目標としては、①医療連携をベースとし高知県内では数少ない口腔顎顔面疾患に特化する診療科として、診断や観血的処置の提供が安心安全に行える継続した体制作り、②マンパワーを確保し、周術期口腔機能管理の介入率のアップ（次

年度 40～50%台を目標)、それに関連して③口腔ケアに熟知し、病院歯科で活躍できる「歯科衛生士」の養成と獲得(県内養成機関である高知学園短大との包括連携協定の具体化など)が挙げられる。

呼吸器内科

1. 概要

当科は、呼吸器疾患の内科的診断、治療全般を行っており胸部異常陰影に対する気管支鏡検査、肺癌に対する化学療法、急性呼吸不全や慢性呼吸不全の増悪などの急性期疾患、肺炎、間質性肺炎や肺結核治療を行える病院として高知県全域からも患者さんを受け入れており、各地域の医院、病院の先生方と連携を保ちながら診療を行っている。

2. スタッフ活動状況

3名の常勤スタッフで診療を行っている。

3. 診療実績

週5日の外来診療を、常勤医2名、非常勤2名で診察を行っている。表1に令和2年度の呼吸器系患者の入院、外来数の延べ人数を示した。延べ入院患者4,222人、外来患者数は4,015人である。入院患者の内訳は肺癌が6割をしめる。肺癌の化学療法は106人に施行されており、免疫チェックポイント阻害剤（36人導入）、や分子標的治療薬を積極的に使用している。肺癌の化学療法については入院での治療導入後は外来化学療法が主体となっており、患者さんのQOLの維持を目的として緩和ケアチームと連携を取りながら治療に当たっている。

呼吸器内科の人員の減少により、通常の肺炎などは総合診療科や救命救急科で治療していただき、難治性肺炎や間質性肺炎など特殊な疾患については呼吸器内科での加療となる体制となっている。

気管支鏡検査は年間116例施行しており1泊2日のパスを使用している。末梢肺の小型病変に対してはEBUS-GSやバーチャル気管支ナビゲーションを使用して診断率向上に努めている。縦隔リンパ節病変の精査に対してはEBUS-TBNAを施行。原因不明の胸水の精査および膿胸の加療目的

に局所麻酔下胸腔鏡を施行。麻酔科、呼吸器外科の協力のもと肺胞蛋白症に対して全肺洗浄を施行している。

表1 入院・外来実績

入院・外来患者数		
	延べ入院患者数	延べ外来患者数
呼吸器内科	4,222人	4,015人

表2 疾患別退院患者数(370人)

疾患名	退院患者数(人)
肺炎	42
肺癌	242
気管支喘息	4
間質性肺炎	21
気胸	3
肺結核	0
その他	58

表3 化学療法実績

	患者数	レジメン適用回数 (患者・回数1カウント)
呼吸器内科	110人	882回

4. 今後の課題・目標

肺炎などについては総合診療科や救命救急科の協力のもと加療を行い、肺癌など悪性疾患については呼吸器外科と連携のもと診断、治療を行っているが今後もスタッフの充実が望まれる。

呼吸器外科

1. 概要

当科は、呼吸器疾患を中心に外科的治療（手術）を主に行う科で、「肺がん、気胸などの呼吸器疾患に対する安全を重視した外科的治療」を基本理念としている。高知県全域および県外からも患者さんを受け入れており、各地域の医院、病院の先生方と連携を保ちながら診療を行っている。

2. スタッフ活動状況

現在 2 名の常勤スタッフで手術を中心とした診療を続けている。

3. 診療実績

週 2 日の外来診療を、常勤医 2 名で行った。表 1 に呼吸器系患者さんの入院、外来数の延べ人数を示した。入院、外来とも呼吸器外科患者数はそれぞれ約 2,100-4,300 人であった。

表 2 に手術実績を示した。平成 31 年は 191 例、令和 2 年は 154 例の手術を施行し、平成 31 年、令和 2 年と概ね 150～200 例の手術を施行した。
(<http://www2.khsc.or.jp/info/dtl.php?ID=1101>)

令和 2 年の内訳では、原発性肺癌が 72 例で最多であるが、当院の特徴として他の疾患からの転移（転移性肺腫瘍）の診断・治療（手術）が多いのも特徴である。胸腔鏡下の肺切除術（VATS）が手術全体の 8 割以上で行われている。令和 2 年も、年間を通して手術関連死亡（術死、在院死）を認めなかった。気管支鏡検査は、呼吸器内科、呼吸器外科合わせて 152 件で、呼吸器内科を中心に施行いただいた。

表 1 入院・外来実績（令和 2 年）

	延べ入院患者数	延べ外来患者数
呼吸器外科	2,194 人	3,197 人
呼吸器内科	4,222 人	4,015 人

表 2 手術実績

手術実績	令和元年	令和 2 年
肺癌	98	72
転移性肺腫瘍	27	33
縦隔腫瘍	13	5
気胸	27	11
膿胸	5	5
外傷	2	3
その他	19	25
合計	191	154

表 3 化学療法実績

	患者数	レジメン適用回数 (患者・回数 1 カウント)	レジメン適用回数 (患者・回数複数カウント)
呼吸器外科	28 人	48 回	209 回
呼吸器内科	110 人	210 回	882 回

表 3 に化学療法の実績を示し、呼吸器内科、呼吸器外科ともに多くの化学療法を行っている。1 患者さんあたり 2 種類以上のレジメンが施行されている。肺癌病期 IA 期でも、2cm 以上の大きさでは術後化学療法が推奨される。また大多数の切除不能肺癌・進行肺癌・再発肺癌の領域でのレジメン数は増加し、適応症例や適応回数も増加しうと思われる。DPC 資料からも地域での肺悪性腫瘍の診療実績が上位にあり、基幹病院としての役割を果たしている。

4. 今後の課題・目標

今後発展し続ける内視鏡手術の適応継続と保険収載となったロボット支援下の手術手技・システムの充実、保持、適切な更新とともに、肺癌化学療法の分野の著しい進歩に合わせた呼吸器内科・呼吸器外科の連携、スタッフの充実、教育、がん診療連携拠点病院の機能保持が望まれる。

循環器内科

1. 概要

『紹介患者さんを断らない』をモットーに、365日・24時間、循環器内科医師が常駐し、迅速な患者さん受け入れ直後より専門医師による救急医療を提供する。救急外来での診断、緊急カテーテル治療、CCU・一般病棟管理、早期からの心臓リハビリテーション（心リハ）、病診連携による外来フォローと、切れ目のない循環器診療を実践している。

虚血性心疾患に対する経皮的冠動脈インターベンション（PCI）、不整脈に対するカテーテルアブレーション（RFCA）、各種デバイス移植術（ペースメーカーやICD）、大動脈弁疾患に対する経皮的動脈弁置換術（TAVI）/形成術（BAV）、経皮的僧帽弁接合不全修復術（マイトラクリップ）、末梢血管疾患に対するカテーテル治療（EVT）等、最先端の低侵襲治療を積極的に行っている。

2. スタッフ活動状況

常勤スタッフ 6名で循環器診療を行っている（表1、2）。日本内科学会総合内科専門医、日本循環器学会専門医、日本心血管インターベンション治療学会専門医、日本不整脈心電学会専門医、経カテーテル的大動脈弁置換術関連学会協議会指導医、日本超音波医学会指導医の資格を持つ専属スタッフにより、PCI、RFCA、TAVI/BAV、マイトラクリップ、心エコー、心リハに質の高い医療を実践している。

3. 診療実績

令和2年度の診療実績を表3に示す。

令和2年度の外来患者数は延べ5,314人、入院患者数は延べ8,201人であり、平均入院日数は6.7日とコロナウイルス受け入れ病院としての役割を果たすため、若干例年より外来・入院数ともに少

なめであった。

当科でのPCIについては、ロータブレーター、エキシマレーザー、方向性粥腫切除術（DCA）の認定施設であり、複雑冠動脈病変へのPCIを積極的かつ安全に行っている。

重症大動脈弁狭窄症に対するTAVIの認定施設でもある。また僧帽弁閉鎖不全症に対するカテーテル治療であるマイトラクリップは高知県唯一の施行施設であり、その施行数は中国四国地方でも上位（四国では最多の症例数）であり、高知県の心不全治療の最先端を担っている。

重症症例に対する補助循環装置であるインペラの実施施設であり、重症症例の救急治療にも充実した面を持ち合わせている。

更に当院は日本循環器学会専門医研修施設、日本心血管インターベンション治療学会研修施設、日本内科学会認定教育施設、日本超音波専門医研修施設であり、種々認定医・専門医の教育を行っている。

4. 今後の課題・目標

多くの患者さんを県内の医療機関からご紹介頂けるよう、地域連携の強化及び救急医療のレベルアップを図る。

また、迅速な緊急患者さんの受け入れのため、急性期を脱し病状が安定すれば、迅速な退院・転院が可能となるよう密な病診・病病連携を継続し地域医療を更に推し進める。

高知県で世界標準の循環器医療が受けられるようソフト面・ハード面ともに充実させ、地域完結型の循環器診療を目指したい。

(表 1)

名前	役職	専門分野
山本 克人	副院長	不整脈
尾原 義和	科長	虚血/弁膜症
福岡 陽子	医長	心エコー
吉村 由紀	副医長	弁膜症/不整脈
竹内 雅音	主査	虚血
谷岡 克敏	科長 (血管内治療科)	虚血

(表 2)

曜日	午前・午後	名前
月曜	午前	尾原 吉村 山本 (不整脈)
	午後	尾原
火曜	午前	谷岡
水曜	午前	山本
	午後	ペースメーカー外来
木曜	午前	福岡
金曜	午後	ペースメーカー外来

(表 3)

		件数
虚血性心疾患	冠動脈造影	724
	PCI	247
	ロータブレーター	28
	DCA	5
不整脈	EPS	8
	RFCA	14
ペースメーカー	新規	50
	電池交換	33
大動脈弁	TAVI	39
	BAV	8
僧帽弁	MitraClip	20
EVT		29

心臓血管外科

1. 概要

心臓血管外科専門医機構の基幹施設として、心臓血管外科領域の外来診療・入院診療を行っている。入院診療は手術治療を中心とし、手術対象は心臓・大血管・末梢血管である。

2. スタッフ活動状況

現在常勤スタッフ4名の体制で診療を行っている。医師数に余裕ができ、予定手術を含めた日々の診療への対応はもちろん、終日自由に行動できるスタッフをおくことができるため、ICU・病棟での処置対応や急変対応、および救急外来における緊急対応までもを万全に行える体制となっている。既に手術中である場合、または、麻酔科・手術室体制として受け入れ不可能な場合を除いて全ての緊急症例を受け入れる体制で診療している。

3. 診療実績

(外来診療)

火曜日と金曜日に外来診療を行っており、各々が特殊外来を兼任する形で行っている。一般的な心臓血管外科外来およびその他の特殊領域の外来；静脈瘤、末梢血管、ステントグラフト、先天性；などを対象として、外来診療を受診しやすく、紹介しやすくして対応している。

当科では手術をした患者さんに関しては基本的に術後終生診させていただくことを原則とし、術後状態についても責任を持って行くべく診療体制をとっている。

また、救急救命センターとの連携において、通常の急患はもちろん、術後状態変化のあった患者さんに関しても可及的早期に受診できる様になっている。

(入院診療)

当院 9 階フロアを循環器病センターとし、循

環器内科と心臓外科を隣の病棟に配置して、術前後の連携を図っている。心臓・大血管術後急性期は当院 3 階の院内 ICU にて、集中治療科医との連携のもと、必要な期間治療している。

(手術治療)

週 4 日の手術日にて手術治療を、また、半日のカテ治療日にカテ治療を行っている。2020 年の手術総数は 293 例で、弁膜症 66 例、虚血性心疾患 23 例、胸部大動脈瘤 26 例、腹部大動脈瘤 46 例、先天性 2 例などであった。僧帽弁逆流は基本的に形成術を施行、冠動脈バイパスは状態不良緊急例以外はほぼ OPCAB(人工心肺非使用)にて完遂、胸部瘤は日勤帯で終了し多くは当日に人工呼吸器離脱、という状況であり、疾患の重症度から考えられ得る最善の結果を得られている。

カテ治療も積極的に行っており、ステントグラフト治療は TEVAR と EVAR を併せて 33 例、TAVI 治療は 38 例に施行した。両治療ともに緊急・準緊急症例に対しても積極的に行っている。

4. 今後の課題・目標

様々な合併疾患を有し、複雑化・高齢化した手術症例が増加する傾向はますます進行しているが、院内他科、特に麻酔科・集中治療科・救急科との協力が充分に行われており、良好な成績を得ている。

最新の手術動向を取り入れつつも、高知で最も早く開心術を行ったチームから引き継がれた歴史と伝統を活かしつつ治療を行っており、しっかりした礎に建てられた最新の快適な家のように、病気に冒された患者さんに少しでも快適を提供できるように努力していきたいと考えている。

消化器内科

1. 概要

当診療科は消化器内科領域、特に消化管、胆膵疾患の診断・治療を担当し、外来および入院診療を行った。なかでも内視鏡診断・治療を中心として、救急治療、専門的な精査、治療を行った。また研修医および院外からの研修医師を受け入れ、診療および内視鏡研修の指導を行った。

2. スタッフ活動状況

常勤スタッフは計6名、他非常勤医師4名が水曜午後の外来及び内視鏡検査を担当している。

3. 診療実績

外来業務：週5日午前、月・火・水・木・金は1診での常勤スタッフによる診察、水曜午後に非常勤医師による診察を行った。また救命救急科を主として各科と連携しつつ救急外来の対応を行った。基本的には早期の転医を推進し、再診患者数の削減を目指している。

入院業務：検査、予定治療入院、緊急入院診療を行い、地域医療連携、退転院調整、離床促進やリハビリを早期より積極的に利用し、在院日数の短縮を図っている。

内視鏡実績以外には急性膵炎、炎症性腸疾患が主たる疾患で入院期間も長期になりやすい。

内視鏡実績：2020年度の消化器内科での内視鏡実績は以下の通りであった。

上部消化管内視鏡検査

通常検査	1,807
止血術	93
食道ESD	18
胃ESD	72
胃ポリペクトミー・EMR	9
十二指腸ポリペクトミー・EMR	3
静脈瘤硬化療法	11

静脈瘤結紮術	5		
異物除去	17		
胃瘻造設術	45		
消化管拡張術：食道	49	胃十二指腸	4
ステント留置：食道	1	胃十二指腸	1
内視鏡下胃管挿入	34		
胆膵EUS	20	FNA・ドレナージ	10
迅速ウレアーゼテスト	72		

下部消化管内視鏡検査

通常検査	753
止血術	40
大腸ポリペクトミー・EMR	298
大腸ESD	15
消化管拡張術 小腸・大腸	3
ステント留置	2
ダブルバルーン小腸内視鏡検査	9

ERCP

通常検査	42
結石除去	167
ステント留置	137

4. 今後の課題・目標

主な業務となる消化器救命救急、がん診療に対する院内外からの要望がより高まる中、年々減少するスタッフの数が絶対的に足りていないのが現状である。また数年来肝疾患専門常勤スタッフ不在で、週1回非常勤医師の外来のみの対応となっている。これらは当科の指導システムや新しい人材の確保、施設認定等においても影響する課題といえる。

スタッフの確保と、いかに安全性を保ちつつ診療体制の維持・進歩をはかっていくかが最大の課題・目標である。

消化器外科・一般外科

1. 概要

高知県の消化器外科の基幹病院として、手術治療を主とした入院診療、外来診療および救急医療を行った。

2. スタッフ活動状況

常勤スタッフ 17 人+専攻医 2 人の体制で活動した。

3. 診療実績

(外来)

外来診療においては、平日午前、午後それぞれ 2-3 診察室の体制で、外来患者数 8,564 人（新患者数 465 人）を診察した。今後再診患者診療の効率化と共に、初心患者さんの増加を図る工夫を行いたい。

(入院)

新規入院患者数は月平均 120.3 人、1 日平均入院患者数は 59.8 人であり、コロナの影響を受け入院患者総数は 1,444 人と減少した。平均在院日数は 13.5 日であり、前年度比+1.5%と延長されたがほぼ例年並みと考えられる。

(手術)

平成 2 年度の消化器外科手術総数は 1,071 件であった。令和元年度の手術総数は 1,129 件であり、前年と比べて減少したがこれもコロナの影響が考えられる。主な疾患別では、食道疾患 25 件、胃疾患 112 件、大腸疾患 287 件、肝胆膵腫瘍手術は 156 件であった。また、胆嚢摘出術 137 件、ヘルニア 69 件であった。腹腔鏡下手術は総数 564 件であり、全症例の約 53%を占めていた。

4. 今後の課題・目標

以前同様に常勤スタッフ数に対し、消化器外科専攻医が少ない状況が続いているが、近年県外から当院での研修および研修後の就職の問い合わせ、相談件数が増えており、全国の基幹病院と引けをとらない豊富な手術症例数、上級医からの教育体制が評価されつつあるのかもしれない。今後は県内外の研修医に向けて積極的にアピールを行い、大学との連携も図り専攻医の更なる増加を実現したい。また、女性医師も就任し、女性医師が安心して働ける消化器外科を目指して環境整備を進めている。

平成 30 年度から実施している消化器外科内での臓器別グループ化も定着してきた。各グループ毎のカンファレンスも行なわれており、専門性のより高い診療が提供できるように努力をしている。各領域における臨床試験、治験等への取り組みもさらに充実できればと考えている。

学会発表・論文業績においてもこれまで岡山大学関連病院の中で有数を保持しており、今後も業績を維持・向上させるべく各スタッフの努力が望まれる。

泌尿器科

1. 概要

泌尿器科領域の外来診療や手術治療を主とする入院診療を行った。当院は地域がん診療拠点病院であるため、泌尿器悪性腫瘍の患者さんが中心となるが、尿路結石の治療や、前立腺肥大症など排尿障害の手術なども積極的に行っている。

2. スタッフ活動状況

常勤スタッフ4名と、専修医1名の5名体制で診療を行った。常勤スタッフ3名は日本泌尿器科学会の専門医・指導医であり、うち2名は泌尿器腹腔鏡技術認定医である。

診療時間外についても1名のオンコール体制により緊急対応も行っている。

年度後半は専修医の長期病気休職のため1名減での診療となった。

3. 診療実績

(外来)

令和2年度の外来患者総数は4,956人、月平均413人であり、新型コロナウイルスの影響により前年に比べ約20%減少していた。

週4日（水曜以外）の外来診療は各日午前中2-3診察室の体制で行った。初診患者さんの紹介状は地域医療連携室へ事前にFAXで送っていただき、初診時にできるだけ効率よく検査ができるようにしている。

(入院)

入院患者さんの延べ数は4,716人で、こちらも新型コロナウイルスによる手術制限がなされた時期などもあり、前年度より10%減少していた。

入院目的となる大半の疾患に対してはクリニカルパスを使用し入院期間の短縮に努めている。パス適応の手術・検査は、腹腔鏡下副腎摘除術、腎摘除術、腎尿管全摘除術、TUL、尿管ステント留置

術、TUR-BT、前立腺全摘除術、HoLEP、精巣摘除術、前立腺生検である。

(手術)

令和2年の総手術件数は498例（前立腺生検も含む）であった。前年度に比べ約20%の減少となっている。

主な手術内容としては泌尿器腫瘍に対する手術が多く、副腎腫瘍に対する腹腔鏡下副腎摘除術を1例、腎腫瘍に対する鏡視下腎摘除術を16例、腎部分切除術を7例（小切開4例、後腹膜鏡下3例）行った。上部尿路腫瘍に対して後腹膜鏡下腎尿管全摘除術を11例行い、膀胱腫瘍に対しては膀胱全摘除術を9例（尿路変向はすべて回腸導管）、TURBTを60例（初発31例）行った。前立腺癌に対しては腹腔鏡下前立腺全摘除術を10例、去勢術を24例行った。精巣腫瘍に対する高位精巣摘除術は5例であった。

腫瘍以外については、前立腺肥大症に対する経尿道的ホルミウムレーザー前立腺核出術（HoLEP）を108例行い、結石治療としてPNL1例、TUL42例、経尿道的膀胱碎石術22例行った。難治性過活動膀胱に対する経尿道的ボツリヌス毒素注入療法も開始し2例行った。尿管ステント留置・交換は83例、前立腺生検は67例（前立腺癌検出は42例）であった。

4. 今後の課題・目標

泌尿器科悪性腫瘍の手術においては、前立腺全摘除術、腎部分切除術、膀胱全摘除術などでダ・ヴィンチを使用するロボット支援下手術が保険適応となっており、こちらが今や標準的治療となっている。今後はさらに適応が拡大される予定である。当院には未だ導入されておらず、今後の治療レベルの維持、若手人材の確保のためにも早期の導入が望まれる。

ホルミウムレーザーを使用した前立腺肥大症手術や結石手術の症例は多く、今後も積極的に行っていく方針である。

腎臓内科・膠原病科

1. 概要

腎臓疾患の基幹病院として、腎炎・ネフローゼ症候群、慢性腎臓病、膠原病、血管炎の外来診療、入院診療を中心に行った。

2. スタッフ活動状況

平成 27 年 4 月から常勤スタッフ 3 名であったが、平成 28 年 8 月に 1 名退職し、常勤 2 名体制になった。令和 2 年 5 月より西村誠明先生に週 1 回外来担当いただき、(火曜日午後、隔週勤務)、計 3 名体制で診療している。

3. 診療実績

外来患者さんの延べ数は、3,686 人(平成 29 年度)、3,993 人(平成 30 年度)、3,950 人(令和元年度)、3,715 人(令和 2 年度)前年比 94.1%と減少した。新患は可能な範囲で受入れた。

入院患者さんの延べ数は、3,358 人(平成 29 年度)、3,106 人(平成 30 年度)、2,886 人(令和元年度)、2,250 人(令和 2 年度)前年比 78.0%に減少した。

腎炎・ネフローゼ症候群、膠原病、血管炎の診断、診療を中心に継続した。血液浄化療法に関しては、①急性腎不全、慢性腎不全急性増悪時に対する血液透析、血液透析導入、②他院にて血液透析中の合併症に対する治療(手術、内視鏡治療、循環器内科的治療、化学療法等)、③腎移植前後の管理(血漿交換、血液透析)、④消化器疾患(GCAP、血漿交換等)、⑤特殊な疾患に対する血漿交換療法(血栓性血小板減少性紫斑病など)を行った。

日本透析学会 2019 年統計調査報告は、当院新規導入 20 名(平均 66 歳、24~85 歳、男性 14 名、女性 6 名)、原疾患①糖尿病性腎症 30.0%、腎硬化症 15.0%③慢性糸球体腎炎 10.0%、と報告した。

他科入院中に合併する腎不全は、頻度が多く早期対応が望ましいと考え、対診枠は月~金、従来

どおり継続した。時間外の急性腎不全、急性血液浄化、特殊な疾患に対する血漿交換療法に関しては、救命救急科と連携し対応した。定期の血液透析は休日も同様に継続し、周術期に関連した血液浄化は、院内 ICU と連携し、時間外の臨時(緊急)透析に対応した。COVID-19 合併透析患者さんの入院中の血液透析(10A 病棟)を行った。

第 65 回日本透析医学会学術集会・総会にて発表した「MPO-ANCA 力価と臨床症状に乖離が認められた症例」(出原悠子)。

4. 今後の課題・目標

院内発症の腎不全管理、腎代替療法の選択・導入、維持透析中の合併症治療における血液透析管理を継続する。

腎炎・ネフローゼ症候群、血管炎が増加しており、また高齢化も進んでおり、早期発見・治療に努め、末期腎不全への進展を抑制したい。

当院の新規血液透析導入の傾向は、平均年齢が僅かに上昇、糖尿病性腎症が減少し、腎硬化症が増加する傾向が認められた。かかりつけ医との連携した慢性腎臓病(CKD)対策、特に早期発見・治療、その後の逆紹介アップに努める。

若手医師育成に関しては、当院は、日本腎臓学会研修施設、日本透析医学会教育関連施設であり、腎臓専門医、透析専門医の育成に努める。腎臓疾患は、全身と密接に関連しており、全身疾患によって腎障害は惹起され、また、腎障害は全身に影響を与える。原疾患と腎疾患の関連を常に考えながら診断、治療を行う generalist の意識を育成する。平成 28 年 8 月透析専門医が 1 名退職したため、日本透析医学会認定施設の条件が満たされなくなり、平成 29 年度より教育関連施設に変更した。他の内科系診療科と協力し、総合内科専門医育成に努める。

移植外科

1. 概要

県内唯一の腎臓移植施設であり、腎臓移植手術を中心として内シャント設置術、シャントトラブルの対応を行い、多数の腎移植患者さんのフォローアップを外来で行っている。

2. スタッフ活動状況

令和3年1月より堀見孔星（前任地：愛知医科大学移植外科）が着任し、パワーアップしている。腎臓移植レシピエント手術は、澁谷、堀見、佐藤、ドナー手術は堀見、須井、尾崎が担当している。

移植レシピエントコーディネーターは2名おり、外来での患者さんへの指導、入院患者さんへの生活指導やその他の相談に対応している。学会活動も積極的に行っており、日本臨床腎移植学会、腎移植・血管外科学研究会、中国四国臨床臓器移植研究会、日本移植学会で発表した。

3. 診療実績

令和2年度は生体腎移植14例、献腎移植を1例行った。全例移植腎は生着し、生存している。近年は透析導入することなく腎移植を行う先行的腎移植が増加している。糖尿病性腎不全患者さんは透析により動脈硬化がさらに進行するため生命予後が不良となる。そのため先行的腎移植の良い適応と考え当科でも積極的に取り組んでいる。高齢者の腎移植も増えており今年度は70歳代の腎移植手術が2例あった。

4. 今後の課題・目標

腎臓移植は患者の生活の質、生存率を向上させ、医療費も透析療法に比べ安価になります。腎臓移植をさらに増やしていきたいと考えています。

婦人科

1. 概要

産婦人科は婦人科腫瘍、産科周産期医療、生殖医療とその他疾患に専門が更に分かれて来ている。婦人科は婦人科腫瘍とその他疾患を取り扱っている。

2. スタッフ活動状況

婦人科は他の産科、生殖医療科の医師も兼任している。

3. 診療実績

週5日の外来診療を行っている。令和2年度の初診患者さんは406例（紹介患者さんは344例）であり、逆紹介患者さんは153例であった。令和2年の手術総数は300例であり、そのうち腹腔鏡手術が85例、子宮鏡手術が15例であった。過多月経に対するマイクロ波子宮内膜焼灼術も施行している。婦人科悪性腫瘍治療数（初回治療症例のみ）は、CIN3が47例、子宮頸がんが8例、子宮体がんが23例、卵巣がん・境界悪性腫瘍が22例であった。

4. 今後の課題・目標

初診患者さんの受け入れを遅滞なく行うため、逆紹介患者さんを増やし、再診患者数の削減が必要である。産科周産期症例が増加している中、婦人科疾患の救急対応に対して他施設との連携が必要である。

産科

1. 概要

産婦人科は令和2年度末現在、4名の常勤産科医師および5名の兼務産婦人科医師（生殖補助医療科、婦人科）3名の専攻医の合計12名で診療にあたっている。外来受診妊婦の約半数が妊娠初期リスクスコア2点以下の一般産科症例であり、残りの半数が3点異常のハイリスク妊娠である。合併症妊娠のほか、近年では生殖医療技術（ART）による妊娠や35歳以上の高齢妊婦が増加する傾向にあり、妊娠高血圧症候群（HDP）、胎盤位置異常、癒着胎盤などのハイリスク症例が増加しておりリスクスコア7点以上の超ハイリスク症例が1割以上を占めている。さらに、高齢妊娠の増加を背景に出生前診断を希望される妊婦も多く、ニーズに応えるため特殊外来を開設し超音波専門医・臨床遺伝専門医が対応している。

当院は高知県唯一の総合周産期母子医療センターであり、MFICU3床、NICU12床、GCU15床を有し、小児科、小児循環器科（非常勤）、小児外科の協力を得て、高知県全域からハイリスク妊娠や胎児異常症例を受け入れている。胎児疾患症例の紹介も多く胎児胸水に対する胸腔シャント術や胎児採血・輸血などの胎児検査・治療を行っている。県内で処置不可能な疾患群（双胎間輸血症候群など）についても他県高次施設と連携をとり対応している。

2. スタッフ活動状況

外来診療、入院診療および定時手術に加え、緊急手術や母体搬送に対応している。学術活動としては、日本産科婦人科学会、日本周産期・新生児学会、日本超音波医学会をはじめ周産期医療関連学会に積極的に演題発表、参加し最先端の情報を臨床に生かしており、上記3学会については当院の指導医のもと専門医取得が可能である。また、シ

ミュレーション教育にも力を入れており、看護スタッフとともにALSO、BLSOやJ-CIMELS（日本母体救命システム普及協議会）などチーム医療や産科救急に関する研修会に積極的に参加し臨床技術の向上を図っている。その他、高知県周産期医療関係者研修事業の委託を受け、周産期医療関係者研修会、症例検討会を開催、その他外部資金（高知医療再生機構、生命（いのち）の基金や公益財団法人日母おぎゃー献金基金）を得て、周産期医療に関わる研修会を多数開催し、周産期に関わる人材育成や情報共有を進めている。

3. 診療実績

産科外来患者数：延べ7,957名 産科入院患者数：延べ6,956名 分娩件数（22週以降）：560件 多胎：双胎19組、品胎0組 児総数：579人（22～27週：4名、28～33週：37名、34～36週：59名） 帝王切開：261件 母体搬送受け入れ件数：49件（搬送断り15件：他院へ転院搬送3件）

県内妊産婦の減少とともに外来患者数の減少、分娩数が減少傾向にある。一方で、前述したハイリスク妊娠例数は変化無くむしろハイリスク妊娠の割合は増加している。帝王切開分娩率も45%を超えた。NICU（新生児集中治療室）のキャパシティから搬送を断る件数や転院搬送件数は増加しており、県内NICUの空床状況によるベッドコントロールを必要とする機会が増えている。

4. 今後の課題・目標

高知県の出生数は年々減少しているが、ハイリスク妊娠率の増加により一つひとつの症例にかかる負担が大きくなっており全体の状況は変わらない印象である。児の予後に大きく関わる早産予防対策は一定の効果を上げているが、母体合併症や胎児発育不全による早産は減少しておらず、母

児にとって最も適切な娩出時期のさらなる検討が求められている。また、産後健診事業が始まり、メンタルケアを含めた全ての妊産婦と家族が産後にすこやかに育児に取り組めるような環境作りにも積極的に取り組んでいく予定である。

母児の健康を確保するために質の高い医療を提供しつつ、産科を志し高知の産科医療を担う医師の育成に今後も力を入れていきたい。

生殖医療科

1. 概要

生殖医療専門医制度の認定研修施設として、日本産科婦人科学会規約を遵守し一般不妊治療から高度生殖医療に至る幅広い診療を行っている。

医への浸透を広め、AYA（思春期・若年成人）世代患者の将来への希望を拓げる一助になりたいと考えている。

2. スタッフ活動状況

生殖医療専門医 2 名を含む医師 3 名、胚培養士 3 名による配偶者間人工授精、及び高度生殖医療として体外受精、顕微受精（精巣内精子回収法を含む）、凍結融解胚移植を行っている。また、AYA（思春期・若年成人）世代の悪性腫瘍患者の妊孕性温存希望者に対して精子、未受精卵子および胚の凍結保存を行っている。また、不妊症看護認定看護師 2 名による外来カウンセリングを適宜実施している。

3. 診療実績

外来診療として不妊症検査スクリーニング、timing 指導、配偶者間人工授精、高度生殖医療を実施している。高度生殖医療の 2020 年 1 月～12 月の実施件数および成績を示す。

採卵周期 144 例（体外受精 106 周期、顕微受精 38 周期）、凍結融解胚移植 113 周期

胚移植あたりの妊娠率 37.1%

胚移植あたりの妊娠継続率 29.4%

採卵周期数は年々漸増している。

悪性腫瘍患者に対する妊孕性温存のための精子凍結保存 7 例、未受精卵子凍結 4 例、胚凍結 1 例（合計 11 例）。

4. 今後の課題・目標

2020 年 4 月高知県妊孕性温存治療補助金交付制度発足後、血液内科、乳腺外科、泌尿器科、脳神経外科など院内外から患者さんを紹介して頂き、徐々に軌道に乗りつつある。更に多くのがん治療

小児科

1. 概要

当科は、主に小児の内科的疾患を対象とし、高知県全域から患者さんを受け入れており、各地域の開業医院、病院の先生方と連携を保ちながら診療を行っている。また、外科的治療を要する児に関しても、小児外科および他の外科系診療科との連携を図りながら、患者さん全身の診療を行っている。小児病棟では院内学級も併設、院内保育士も配備されており、長期入院児の学業面および生活面のサポートを行っている。

総合周産期母子医療センターを有しており、県内の新生児疾患全般に関して診療を行っており、先天性心疾患および希少な重複外科疾患の一部は県外の専門施設と連携しながら対応している。

2. スタッフ活動状況

スタッフ 10 名(うち小児科専門医 8 名)、後期研修医 2 名である。外来診察室は感染症 2 室、非感染症 4 室(小児外科含む)と分けて診療を行い、病院での感染に配慮している。一般外来・専門外来ともに午前・午後行っている。専門外来では、小児循環器、小児神経、小児血液・腫瘍、内分泌・腎臓、慢性疾患、NICU 卒業児の発達フォローアップを行っている。

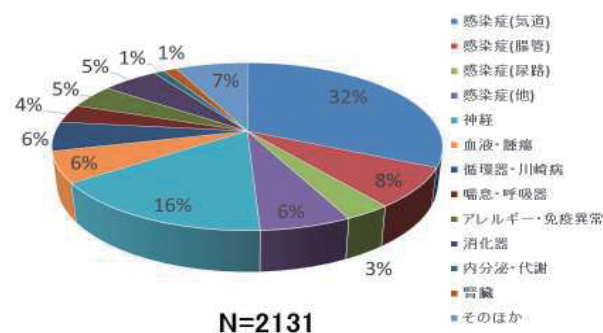
3. 診療実績

(入院：小児科病棟 図 1)

一般病棟への入院数は、2018 年度 856 人、2019 年度 831 人、2020 年度 444 人であった。2020 年度は、過去数年と比較すると激減している。新型コロナウイルス感染症の流行により、個々の感染予防が徹底した結果、例年流行する RS ウイルス、インフルエンザ感染症での入院の減少が主たる原因である。3 年間の入院数は 2,131 人であり、感染症が約 49%と半数を占め、神経疾患やアレルギー

一疾患等、他の疾患での入院が約 51%であった。

図1 2018～2020年度の疾患別入院割合(NICUを除く)



(入院：NICU 図 2)

NICU は過去 10 年間で 2,754 人の入院があった。低出生体重児が全体の半数ほどで、ほぼ横ばいであった。10 年間の全死亡例は 29 例で、救命率は平均 98.9%であった。

図2 年別NICU入院数



	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	合計
総入院数	274	238	243	292	251	295	313	281	297	270	2754
死亡数	4	4	5	1	1	3	2	2	5	2	29
救命率(%)	98.5	98.3	97.9	99.7	99.6	99.0	99.4	99.3	98.3	99.3	98.9

(外来)

2020 年度の外来患者数は 13,014 名、予防接種件数 6,415 回(複数接種含む)、乳児健診健診 806 名であった。当院での分娩件数の減少に伴い、外来患者数・乳児健診数は減少している。

4. 今後の課題・目標

今後も現状と同様、地域の医療機関と連携して診療を継続していく予定である。

小児外科

1. 概要

高知県内唯一の日本小児外科学会認定施設として、小児外科・小児泌尿器科領域の外来・入院診療を行った。

2. スタッフ活動状況

日本小児外科学会専門医1名が一人医長として勤務している。多くの小児外科予定手術は小児科に研修している1年目・2年目の初期臨床研修医を第一助手として行っているが、緊急手術や高難度の予定手術は、消化器外科、呼吸器外科のグループの協力を得て行っており、症例によっては岡山大学より学会認定指導医や専門医の応援を得て施行している。小児泌尿器科領域も小児外科領域と同様に泌尿器科の協力を得ている。

当院小児科が日本小児血液・がん学会研修施設であることから、その認定更新の必要要件である日本がん治療認定機構がん治療認定医と日本小児血液・がん学会認定外科医の資格を一人医長の小児外科専門医が有し、若手小児科医の修練を外科的な立場でサポートしている。また、日本周産期・新生児学会も同様の条件になり得ることを考慮して、日本周産期・新生児学会外科医の資格も有して、新生児外科的疾患の修練もサポートしている。

3. 診療実績

(外来)

従来と同様に、月曜日の午後と水曜日に外来診療を行っている。受診患者数が多く患者さん達からの希望もあり、月曜日の午前と金曜日にも外来診療を枠外で行っている。外来検査は火曜日の午後と金曜日に行っているが、月曜日の午前中も必要に応じて行っている。多くの画像検査で小児の場合鎮静が必要となり、鎮静を行う場合は小児外科医が鎮静を行い、その後もすべての検査に立ち

会っている。

(入院)

新型コロナウイルス感染症の影響で、一時期予定手術を延期していた時期もあり、手術症例数は145例と例年になく減少した。

鏡視下手術は9例、新生児手術は8例、泌尿器科関連手術は14例であった。

4. 今後の課題・目標

当院の病院機能として小児外科的・小児泌尿器科的疾患に対して救急対応を行っている現状を考えると小児外科専門医がもう一名常勤医として赴任することが必要であり、広く人材を求めているものの、全国的に小児外科の人的資源は乏しく、増員の実現はかなり厳しい。

専門医の赴任が現実的に困難である状況であり、当科では前述のとおり初期臨床研修医が多くの手術で第一助手を行っている。小児外科志望の専門研修医や他領域外科からの専門研修医が小児外科研修で手術を行うことが望ましいが、当院の外科専門研修医は十分ではない状況が続いている。

日本小児外科学会は発足当初より日本の山々・津々浦々で等しく小児外科医療を行うべく専門医制度（以前は認定医制度）を1980年代から行ってきたが、近年の少子化による症例確保の問題もあり、複数県での集約化を行うべきではないかとその考え方を考えようとしている。

2020年の高知県における出生数は4,082人まで減少した。このような現状を踏まえて、高知県における小児外科の必要性をどのように考えるか、他施設との集約化をどのように図るか、当院の施設認定を含め、行政とも十分に議論を行い、病院としての長期的なビジョンを示す必要がある。そのビジョンに沿うように人的資源の確保に努めたい。

救命救急科

目標は、専門医取得前の若手外科医の確保とその若手外科医が十分に経験ができると思われる手術症例数 200 例を確保したい。

1. 概要

救命救急センターとして、突然発症した重症な病気や外傷の患者さんに対し救急専門医を中心に各科の専門医と連携を密にとりながら、早期診断と集学的治療において『救急医療は医の原点』である理念を実践し、患者さんが安心して受けられる高度救急医療を提供している。

2. スタッフ活動状況

常勤医 8 名、うち救急専門医 5 名、指導医 1 名でドクターヘリ事業を中心とした病院前診療、救急外来診療、及び救命救急センターの入院診療を行っている。診療以外ではメディカルコントロールの一環として事後検証会（県内各地で月 1 回開催）へ出席し、更に年間を通じた救急救命士病院研修では看護師の協力を得て静脈路確保や脳卒中をはじめとする症状の観察指導を実施している。Off-the -Job Training でも学会認定の蘇生コース、チーム診療、外傷診療・災害対応等の標準コース開催やインストラクターとしての県内外への参加を積極的に行っている。

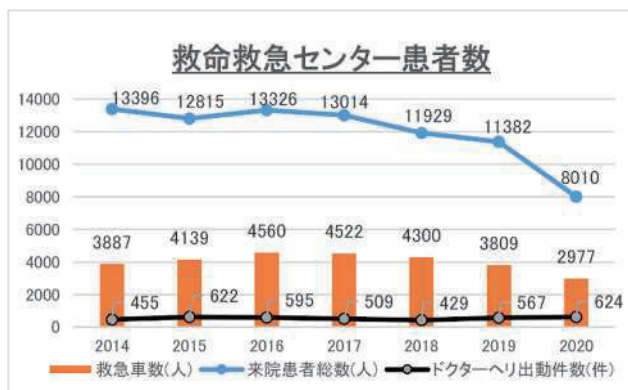
3. 診療実績

（病院前診療）

高知市内の救命救急センターから遠い地域でも救急専門医を早期に傷病者に接触させるシステムとして高知県ドクターヘリ事業があり、当院はその基地病院として重要な役割を担っている。また、病院に比較的近い地域においては欧州型ドクターカー（通称：FMRC）を出動させている。2020 年度の FMRC 要請 146 件中、出動は 85 件であり運転手の確保が課題である。

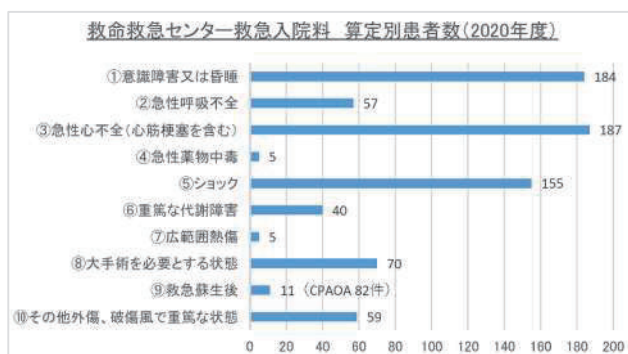
(救急外来診療)

救急隊や病院前診療に出動した医師との情報共有として ICT など駆使し良質な搬送をめざし救急活動や病院前診療を支援している。また、救急外来では各科と連携し、外傷や脳卒中スクランブル対応などにおいて直ちに必要な処置が実施できる体制を確保している。CPAOA は 82 件、t-PA 投与症例は 48 件であった。



(入院)

専任の薬剤師、栄養士、リハビリを ICU に配置している。毎朝の他職種カンファレンスで治療内容が検討され遅滞なく治療を進めている。総合診療科と連携し重症 COVID-19 対応を行った。



4. 今後の課題・目標

① 教育

症例報告、論文作成を支援する。各部門において研修医教育の充実をはかる。

② 診療

(病院前診療)

活動の検証を行ない安全、迅速な活動を保証する。

(救急外来)

重症多発外傷及び脳卒中に対する診療体制を更に充実させる。

(集中治療)

高齢者における機能回復リハビリテーションと症状緩和を実践し、更なる治療中の QOL 向上をはかる。

③ 安全

チーム医療を実践する。情報の見える化と情報共有を推進する。倫理的課題に対して多職種カンファレンスを効率的に実施する。

④ 人員

休暇を確保しつつ、働き方を意識した業務の効率化を引き続き進める。

麻酔科・集中治療科

1. 概要

当院は急性期病院として多くの手術件数をこなしている。心臓血管外科手術や移植医療といった難度の高い手術も多く、また合併症を多く持つハイリスク患者さんや超高齢者の手術症例にも対応している。

集中治療室において、ハイリスク症例の術後管理を麻酔科・集中治療科が担当しており、術中～術後まで一貫した周術期管理を行っている。

2. スタッフ活動状況

現在、常勤、非常勤、専修医の計 19 名で運営しており、麻酔科専門医・指導医 13 名を擁する。2017 年に日本集中治療医学会専門医研修施設として認定を受け、集中治療専門医 3 名を擁する。また、心臓血管麻酔認定施設として心臓血管麻酔専門医 4 名（昨年度から 1 名増加）を擁する。

スタッフ各自が麻酔専門医を土台とし、さらに上位の専門医取得に努めている。

3. 診療実績

手術室は 11 室あり、うち 1 室はハイブリッド手術室である。平成 27 年より稼動したハイブリッド手術室では、経カテーテル的大動脈弁置換術（TAVI）、経皮的僧帽弁クリップ術（MitraClip）を実施しており、昨年度から経皮的左心耳閉鎖術（Watchman）も始まり、症例数は年々増加している。昨年は COVID-19 の影響もあり全体の手術件数は若干減少したが、局所麻酔や腕神経叢ブロックのみで行う手術以外のすべての麻酔管理（カテ室も含む）を麻酔科が担当している。

手術件数（うち、ハイブリッド手術室の手術件数）：
平成 30 年度 4,836 件（192 件）
令和 元年度 5,217 件（202 件）
令和 2 年度 4,545 件（211 件）

術後鎮痛は、以前は硬膜外麻酔が主流であったが、抗凝固薬や抗血小板薬投与を受けている患者さんが増加しており、硬膜外麻酔が実施できないケースが増加している。このような患者さんに対して、近年急速に進歩している超音波ガイド下末梢神経ブロックを積極的に行っている。

集中治療室は、外科の術後症例、内科の病棟急変症例を主に受け入れており、重症 COVID-19 患者の治療も担当している。現在 8 床で運営しているが、今年度中に増床予定である。

4. 今後の課題・目標

手術室での麻酔管理のみならず、集中治療、ペインクリニックの充実のため、教育システムの質をさらに向上させ、多くの麻酔科専修医を獲得し、さらなる人員の拡充、育成に努めたい。

専修医の先生方には、麻酔科専門医はもちろん、それを土台として集中治療専門医、心臓血管麻酔専門医、ペインクリニック専門医などの subspeciality 習得への道を開いている。

皮膚科

1. 概要

日本皮膚科学会認定専門医研修施設として、皮膚科領域の外来診療や入院診療（自科、他科問わず）を行った。

2. スタッフ活動状況

これまで常勤スタッフ2名が、平日午前2診体制で外来診療をおこない、緊急時の対応にも速やかに行えるようにした。他科からの対診依頼にも時間的に可能な範囲で対応した。

また、医療秘書も診療補助につき診療業務を円滑に行うために不可欠となっている。

さらに、不定期ではあるが、1ヶ月単位での前期研修医の皮膚科研修で、人手のいる処置などでも非常に助かっている。

3. 診療実績

外来患者数 5,328人(累計)

入院患者数 892人(累計)

平均在院日数 23.1日

局所麻酔下年間手術数（生検含む）116例

全身麻酔下年間手術数6例（いずれも全身熱傷や形成手術応援）

☆皮膚科への対診数 732件（院内で2番目）

外来対診 259件

入院対診 473件

（外来）

従来のように、平日週5日の外来診療を常勤医師2名で、毎日2診体制で行った。開業医師からの紹介も多く、個々の症例に対する細やかな診療・治療を心がけてきた。院内他科からの当日紹介も多くあった。

鶏眼処置、疣贅冷凍凝固、紫外線治療、皮膚生検、小手術、乾癬患者に対する生物学製剤の使用

など可能な限り行っている。

皮膚悪性腫瘍の場合には、皮膚生検の結果や手術の侵襲の程度等に応じ、形成外科等へ紹介している。美容・レーザー治療などは他院へ紹介している。

毎月院外にて大学、勤務医、開業医と皮膚科の病診連携につながる勉強会等に参加し、スキルアップにつなげている。今年度は新型コロナ感染の影響で休会も多くあった。

（入院）

蜂窩織炎、帯状疱疹、自己免疫性水疱症、中毒疹、薬疹、紅皮症、難治性下腿潰瘍、アトピー性皮膚炎の急性増悪等で入院治療を行ってきた。褥瘡に関しては褥瘡防止委員会の一員としてWOCナースや他のコメディカルと連携をとりながら、褥瘡回診を行っている。

他科入院中患者に関しては、一般病床、ICU、NICU、救急外来、手術室などありとあらゆる部署への往診を含め診察治療を行い、経過をフォローしている。

4. 今後の課題・目標

様々な合併疾患を有し、複雑化、高齢化した患者の皮膚疾患も目立ってきている。

当科だけでは対応できない皮膚悪性腫瘍の手術症例、全身と皮膚との関連を思わせるデルマドローーム、病院全体として取り組む褥瘡治療、予防などのチーム医療も欠かせない状況である。

今後、新専門医制度の導入にあたり、施設認定の維持、研修システムへの参加などが必要不可欠である。十分今後も検討していく予定である。

整形外科

1. スタッフ活動状況

令和2年度の医師数は、常勤医師が9人であった。

2. 診療実績

令和2年度の診療実績は、下記のとおりである。

- ・延入院患者数 15,749人
- ・退院患者数 1,252人
- ・外来患者数 7,146人
- ・手術件数 977件

形成外科

1. 概要

日本形成外科学会の認定施設として形成外科領域の外来診療、入院診療、手術治療をおこなった。

2. スタッフ活動状況

形成外科では常勤スタッフとして3名が在籍している。これまでの入院診療は手術が主な目的であったが、近年の創傷管理に対する意識の高まりやデバイスの進歩に伴って、当科でも創傷管理自体が目的の入院診療、さらに他科からの創傷管理の依頼が増えてきている。これには時間と人手が必要であり、今後さらに同様のケースが増え続けるなら人員増員も視野に入れた対策が必要かもしれない。

3. 診療実績

(外来)

基本的には外来は毎日行っている。少ない人数で回しているため病棟回診などと掛け持ちすることが多い。本来なら院外施設と連携して経過観察などを依頼すべきだが、高知県には形成外科専門医が少なく地域の病院に丸投げできないのが現状である。救急外来については切断指など、超緊急を要する場合は対応できないことがある。他科も含めマイクロサージャンの育成が待たれる。

(入院)

前述の通り、近年創傷管理に対する意識、技術、デバイスなどの進歩は目を見張るものがある。当院でも形成外科が創傷管理のスペシャリストとして認識されてきた。令和2年度の入院延べ人数は1,794人で対前年比113.8%であった。これに加えて同数もしくはそれ以上の他科入院中の患者さんの創傷処置を行っている。当科での平均在院日数は12.2日と前年より1.7日長い結果となっている。

(手術)

令和2年の形成外科単独手術、他科との共同手術含め手術は総数685件であった。総数は数年来変わらないが、内容は年々変化している印象がある。創傷管理と同様に手術の分野でも新しい機器、設備が導入され、より安全に正確におこなわれるようになった。顔面骨折はほぼ全例ハイブリッド手術室でおこなうことで、リアルタイムで整復の正確性が検証できている。

4. 今後の課題・目標

これまで同様、形成外科領域の疾患に対しての診療を行うことに加えて、更に他科に信頼されるよう連携をすすめたい。そのためには地域の病院との連携や創傷に関する理解が絶対条件となるので、できる限りのアピールや啓発活動も行っていきたい。

乳腺・甲状腺外科

1. 概要

日本乳癌学会認定施設、日本内分泌外科学会認定施設として乳癌、甲状腺癌を中心とした乳腺甲状腺疾患の手術、薬物療法、遺伝カウンセリング、緩和治療などを行っている。またセカンドオピニオンにも対応している。

2. スタッフ活動状況

常勤スタッフ2名、乳腺疾患は高島、甲状腺疾患は大石が担当し、適宜ローテーション研修医、修練医が加わる。学外活動としては全国学会、地方会ともに演題発表には積極的に取り組んでおり、論文執筆も行っている。JBCRG、SBP、CSPORなどの臨床試験にも積極的に参加している。また癌診療拠点病院に関連した講演活動なども行っている。各種教育セミナーや研究会にも参加し知識、技術のアップデートに努めている。また遺伝性乳癌卵巣癌症候群をはじめとした遺伝性腫瘍に対するカウンセリング、サーベイランスにも力をいれている。さらになんゲノムプロファイリング検査に関するセカンドオピニオンにも対応している。

3. 診療実績

以下に過去4年間の手術症例数を示す。

手術症例数は順調に増えており、乳癌についてはエキスパンダーインプラント実施施設の認定を取得しており乳房再建にも積極的に対応しており、インプラントによる人工物での乳房再建のみならず、広背筋皮弁等の自家組織での再建も行っている。また遺伝性乳癌卵巣癌患者に対するリスク低減乳房切除も対応可能である。甲状腺については術後出血等の合併症に早急に対処できるよう安全対策の徹底をおこなっている。

(外来)

2名の常勤スタッフで週2回終日の外来を行っ

ており、一日あたり最大50人程度の患者さんの診療を行っている。紹介率も年々増加傾向にある。可能な限り待ち時間を短縮すべく迅速かつ丁寧な診察に努めている。また外来診療日以外の日でも緊急を要する場合は適宜対応可能な体制を取っている。セカンドオピニオン、遺伝カウンセリングなどは時間的余裕をもって対応できるよう外来受診日以外に日程を別途もうけるようにしている。紹介医には詳細な経過報告を遅滞なく行う事に留意している。

(入院)

手術については乳腺、甲状腺ともに最大1週間（乳房再建の場合は2週間）の入院で可能な限り早期退院を目指している。術後リハビリ、リンパ浮腫指導なども病棟スタッフが中心となり、患者満足度を上げるべく努力している。化学療法については患者さん教育、副作用観察、服薬指導などを目的に初回のみ数日の入院で行うようにしている。終末期の患者さんについては当院の機能上、長期入院が不可能なため、原則、近隣の緩和病床への紹介を行っている。合併症発症時に総合病院のメリットを活かすべく関連科への迅速なコンサルトを心がけている。

	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
乳腺 手術件数	83例	88例	84例	70例

	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
甲状腺 手術件数	98例	89例	87例	109例

	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
副甲状腺 手術件数	8例	3例	5例	10例

4. 今後の課題・目標

2名のスタッフで診療に当たっているが症例数の増加に伴いマンパワー不足を感じる場面も多くなってきたため後進の育成もかねて当科への勧誘、アピールも積極的に行っていきたい。乳癌症例については外来治療が長期にわたることも多く、特に再発症例では終末期までを視野に入れた外来、入院間の途切れのない連携をいかに構築するかが今後の大きな課題である。認定看護師などを仲介とした医師、コメディカル間の情報共有がこれらの解決策として期待される。甲状腺手術に関しては県内唯一の甲状腺内分泌外科専門医が在籍していることから紹介数も増えているが、安全性を追求した手術を目指す努力を続けている。地域の中核病院として地元信頼され都会の専門病院にひけをとらない診療体制の構築が我々に課せられた義務であり、症例数のみを追求するのではなく診療の質を落とさないよう個々の患者さんに対し真摯に向きあえるようなチーム医療体制の確立が今後の目標である。

III 各委員会資料

医療安全管理委員会

1. 目的

委員会の目的は院内の医療安全管理対策の検討及び推進を行い、医療安全に関わる協議決定を行う事。定期開催日は毎月第2月曜日。委員は病院長が任命した各局の責任ある職員を含む26名。委員会の検討結果については、定期的に委員長が病院長に報告すると共に、各局協議会、セイフティマネジメント部会を通じて各部署の全職員に周知徹底する。

2. 開催回数

12回/年

3. 1年間の活動要約

- (1)毎月のインシデントレポート統計の件数と種類別（7項目）の詳細分析と対策の報告、重要事案に関する報告を行った。さらに、医薬品に関する情報提供、医療機器に関する情報提供、研修や点検実績の報告。統計報告は、毎月院内Webにて全職員が共有できるようにしている。
- (2)各局から医療安全に関する報告や提案を受けた。患者からの医療安全に関する相談は、まごころ窓口で対応するとともに医療安全管理センターからも窓口での患者相談がスムーズに進展するよう対応事例への情報提供を行なった。
- (3)放射線および病理検査結果レポートの未読に起因する有害事象をゼロにする取り組みを行なった。結果、未読レポートによる有害事象の発生はなかった。

(4)年間計画に基づく医療安全管理Web研修会の実施報告。アンケートによる職員の反応や研修内容の評価、各局別に参加状況等を報告し、年2回の必須研修に参加していない職員に対する啓発を継続的に実施した。その結果、受講率は100%となった。

(5)インシデント重要事案、医療問題検証委員会の報告を行い、方針、結論を確定した。

(6)医療安全管理マニュアルの改定、行事の企画運営等についての提案や報告を行った。

4. 今後の活動目標

- (1)医療安全管理体制の再検討・整備
- (2)医療安全推進の取り組みとして「ポケットマニュアル」の作成を検討中。
- (3)医療行為の包括同意について、ホームページで広報するための事前準備。
- (4)eラーニングによる研修を企画し全職員の参加を目指す。
- (5)患者の高齢化を背景とした転倒・転落防止にむけた取り組みを検討する。
- (6)インシデント分析と、再発防止策の周知徹底。ラウンドで評価を行い、再発防止に努めると共に、多職種で事故を未然に防ぐ方策を検討する。

医療関連感染対策委員会

1. 目的

病院長の諮問機関として、医療関連感染防止のための必要事項について審議することを目的としている。

2. 開催日・審議事項等

1) 定期開催 1 回／月（第 2 月曜日）

開催回数：12 回／年

2) 臨時開催必要時

開催なし

3. 1 年間の活動要約

1) 毎月の報告・検討事項

(1) ICT・AST 運営部会、感染管理リンクナース会活動報告

(2) 抗菌薬抗真菌薬使用状況(AUD)報告

(3) 院内感染対策レポート(血液培養／耐性菌等)

(4) 医療系廃棄物不法投棄状況件数報告

(5) 針刺し切創・皮膚粘膜曝露発生状況報告

(6) 栄養部門便等培養検査結果報告など

(7) 各局・各部門での取り組み等報告

(8) 感染対策研修会参加状況報告

(9) 感染対策地域連携に関する報告

(10) 新型コロナウイルス感染症対策 など

2) 検討および審議事項

(1) 感染管理関連組織に関すること

(2) 針刺し切創・皮膚粘膜曝露対策強化対策

(3) 季節性インフルエンザ対策

(4) 新型コロナウイルス感染症対策

(5) マニュアルの改訂・承認

新型コロナウイルス対応マニュアル改訂

3) その他

(1) 軟性内視鏡細菌培養：1 回／年

4. 今後の活動目標

委員会決定事項の職員への周知徹底を図る。

ICT（感染制御チーム）運営部会

【ICT メンバー：14名】

医師	3名
看護師	2名
薬剤師	4名
臨床検査技師	3名
事務	2名

6)加算1 医療機関との相互評価

訪問1回、受審1回

7)厚生労働省サーベイランスデータ提出

検査部門

手術部位感染

新生児集中治療室（NICU）部門

1. 目的

医療関連感染対策を円滑に運営することを目的とする。そのための具体的な活動を行う。

8)ICT ニュース発行

No1～8号

2. 開催日・審議事項等

1)定期開催：1回/週（水曜日）

ICT 運営部会開催 48回/年

2)院内ラウンド：1回/週（水曜日）

ICT チームラウンド実施 48回/年

9)新型コロナウイルス感染症対策

4. 今後の活動目標

ICT と下部組織の感染管理リンクナース会との連携を強化して対策の周知徹底を図る。

3. 1年間の活動要約

1)院内ラウンド

ICT チームラウンド（多職種ラウンド）

1回/週定期実施：48回/年

2)感染対策研修会

eラーニングで実施し、企業団・協力企業とも100%受講完了

3)マニュアル作成・改訂など

新型コロナウイルス感染症対応マニュアル

4)アウトブレイク対応

5)加算2 医療機関との合同カンファレンス

対象12施設と4回/年実施

AST（抗菌薬適正使用支援チーム）運営部会

【ASTメンバー：16名】

医師 5名・看護師 2名・薬剤師 4名
臨床検査技師 3名・事務 2名

1. 目的

抗菌薬の適正な使用の推進を目的とする。

2. 開催日・審議事項等

1)AST 運営部会

定期開催：1回/週開催

開催 50回/年

2)AST カンファレンス

原則平日毎日開催

3. 1年間の活動要約

1)AST カンファレンス

(1)血液培養・耐性菌カンファレンス

(原則平日毎日開催)

(2)週報カンファレンス (1回/週)

(3)抗菌薬・抗真菌薬長期使用カンファレンス

(1回/週)

(1)～(3)事例合計数：1,459件

2)院内ラウンド

39回/年実施

3)AST 研修会

4)施設内アンチバイオグラム作成フィードバック

5)院内・他施設からのコンサルテーション対応

4. 今後の活動目標

抗菌薬適正使用に関わる体制強化と、システムを活用してコンサルテーション依頼に対して迅速な対応に努める。

職員の業務負担軽減委員会

1. 目的

高知医療センター職員の勤務負担軽減を図るため。

2. 開催日・審議事項等

(1) 令和2年7月30日（木）

- ・高知医療センターにおける勤務負担軽減
および処遇の改善に資する体制づくり計画等について
- 他

3. 1年間の活動要約

当委員会はこれまでの「医師の勤務負担軽減委員会」「ワークライフバランス委員会」をまとめて平成30年度に新設された委員会で、医師に限定せず広く職員の勤務負担軽減を検討するものである。

病院長指針を基に負担軽減計画を策定し、取組内容とそれに対応する評価尺度を設けた。計画は達成状況を確認しながら、常に見直しを行い、改善へと繋げていくものである。

4. 今後の活動目標

上記計画に基づき、年度ごとに評価を行うこととし、取組内容の見直し等を行うことで勤務負担軽減と業務効率の上昇をはかる。

診療情報管理委員会

1. 目的

診療録の電子保存、電子媒体や紙媒体記録の精度管理、適正な診療記録の記載に関する啓蒙・教育・研修・広報、診療録等帳票の様式およびフォーマット、診療録の開示等診療情報の提供、その他診療録管理業務に関し必要と認める事項等の審議を行う。

2. 開催日・審議事項等

毎月1回 第3木曜日に開催

3. 1年間の活動要約

- (1) 退院サマリ作成状況および受取点検の詳細については、退院2週間以内での担当医によるサマリ記載と診療科長の承認を、毎月96～99%で維持できた。また看護サマリについても、同様に作成・承認状況を確認し、各フロア科長へ督促を行い、承認率向上を図った。
- (2) 未承認委譲者オーダーについては、未承認オーダーが残っている医師に対しては、医療局長、医療情報センターより督促メールを送信し、委譲者オーダー承認の向上を図った。
- (3) 手術レポートの作成状況については、医事請求業務委託事業者より状況を報告してもらい、手術記録の記載や点検、管理の強化を図った。
- (4) 入院診療計画書7日以内の説明交付率については、交付抜かりが無いよう運用の周知徹底を図った。

(5) 電子メール等インターネットを經由した診療情報の外部提供についてのマニュアルを作成し、それに伴う診療情報管理規程の見直し作業を行った。

(6) 他院のフィルム・CD画像取込み後の取り扱いについて運用を定め、診療情報管理規程への追加作業を行った。

4. 今後の活動目標

引き続き、医師退院サマリの退院2週間以内の承認率90%以上の維持と未承認委譲者オーダーの早期承認のため、医師への記載・承認依頼、さらに督促の強化を図っていきたい。

手術レポート作成状況については、手術手技料算定の根拠となるため、記載依頼など未作成が無いよう取り組みを継続していく。

入院診療計画書については、関係部署と連携を図りながら、7日以内に抜かりなく交付できるよう連携を図っていく。

DPC コーディング委員会

1. 目的

適切な診断群分類の決定を促進することを目的とする。適切な DPC コーディング、「はずれ値」の評価、提出データの精度管理等の事項に関し、関係する部署および他の委員会等と連携しながら検討を行い、当院の DPC コーディングの質向上を目指す。

2. 開催日・審議事項等

2ヶ月に1回開催

(1) 実績報告

- ・ DPC 退院患者月別集計
- ・ DPC 入院期間月別集計（入院期間Ⅲ超え症例）
- ・ DPC 出来高差額上位 10 症例のコーディングの妥当性の検討
- ・ コード変更実績（医療情報センター・フロア）

(2) その他

- ・ 留意すべき ICD コード（詳細不詳病名）の月別使用割合
- ・ 未コード化傷病名の月別使用割合
- ・ 医師の DPC 承認率

3. 1年間の活動要約

実績報告については、各資料に入院の経過やそれぞれの理由等記載し、委員会メンバーによるコーディングの妥当性について協議を行った。

その他について、留意すべき ICD コード、未コード化傷病名の使用割合、医師の DPC 承認率について問題がないことを確認した。

（開催日）

2020年 5/27・7/29・9/18・11/25

2021年 1月・3月：メール開催

4. 今後の活動目標

より一層、適切な診断群分類による診療報酬請求と精緻なデータ提出ができるよう、医事請求担当と協力していくと共に、DPC 制度等について、医師をはじめとする院内職員に広報や情報提供を行い周知を図っていききたい。

臨床研修管理委員会（医科）

1. 目的

医科初期研修医が、円滑かつ充実した臨床研修生活を遂行できることを目的として開催する。

2. 開催日・審議事項等

第一回：令和2年4月24日（金）

- ・臨床研修病院としての理念及び基本方針の確認
- ・令和2年度採用研修医の紹介
- ・令和元年度及び令和2年度採用研修医研修ローテーション表
- ・令和3年度採用研修医初期臨床研修プログラム
- ・医学生向け説明会開催日程
- ・令和3年度採用研修医マッチングスケジュールなど
- ・研修中断者の再開について
- ・令和元年度臨床研修管理委員会開催予定 他

第二回：令和2年9月11日（金）

- ・令和3年度採用研修医マッチング試験結果
- ・令和元年度及び令和2年度採用研修医研修状況
- ・令和2年度臨床研修管理委員会開催予定 他

臨時：令和2年12月10日（木）書面会議

- ・医師以外の医療職による「360度評価」の評価体制変更

第三回：令和2年3月13日（金）

- ・令和元年度採用研修医初期臨床研修プログラム修了等
- ・令和2年度及び令和3年度採用研修医研修予定
- ・令和2年度採用研修医フィードバック
- ・令和3年度採用研修医初期臨床研修プログラム
- ・令和2年度医師臨床研修費補助金
- ・令和3年度採用研修医試験日程 他

3. 1年間の活動要約

委員会として、病院長以下院内の指導医、初期研修医、事務職員、院外の連携施設の先生方とともに研修場の問題点や課題について討論。

また、臨床研修管理センターを常時設置し、研修ローテーションや出向研修の管理、院外からの研修医受け入れなどに、円滑に対応できるようにしている。

・主な議題

研修プログラムについての確認

→概要、スケジュール、評価方法など

→問題点・改善点など

採用試験についての確認

→試験日の調整、試験結果の報告など

→マッチングの結果報告

→医大生へのアプローチなど

4. 今後の活動目標

来年度も年3回の開催を予定している。高知医療センターの良さを活かした研修プログラムを提供できるよう、指導医や臨床研修管理センターで万全の体制を整え、初期研修医を指導する。

臨床研究管理委員会（歯科）

1. 目的

歯科初期臨床研修医（管理型1年、単独型2年）や後期研修医に対し円滑かつ充実した研修生活が当院にて遂行できる事を目的として開催する。

2. 開催日・審議事項等

臨時：令和2年7月30日（木）

- ・令和2年度採用研修医 研修状況及び今後の方針について

第一回：令和2年9月24日（木）

- ・令和3年度採用研修医 採用試験について
- ・令和2年度採用研修医 研修状況について
- ・令和3年度歯科臨床研修プログラムについて

第二回：令和3年3月29日（月）

- ・歯科臨床研修制度改正概要
- ・歯科臨床研修制度改正に伴うプログラム変更について
- ・令和3年度採用研修医 採用試験日程

3. 1年間の活動要約

研修プログラムの問題点や改善点の確認

研修医募集期間および採用試験日の調整、採用試験に関する結果報告

マッチングの結果報告

管理型研修施設での研修歯科医の現状や問題点などの評価

研修医、歯科初期研修指導医、院外の管理型研修施設の指導医、病院長以下院内の研修管理委員会のメンバーの先生を囲んで研修上の問題点や今後の研修のあり方などを討論

臨床研修補助金配分の詳細を毎年報告する

4. 今後の活動目標

来年度も少なくとも年2回以上の開催を原則とし、初期研修医や後期研修医がより良い環境下で研修を行えるようにサポートしていく。

医の倫理委員会

1. 目的

高知医療センターでの診療や研究において、倫理的配慮を要する事例について外部委員を含む多職種での審議を行い、倫理的及び法的規範に即して実施されるよう病院としての統一見解を出す。

2. 開催日・審議事項等

(令和2年度は開催なし)

3. 今後の活動目標

- ・倫理問題に現場で対応できるチーム作りを目指し、倫理に関する研修を実施する。
- ・倫理的配慮を要する研究について、適否の判定を行う。
- ・下部組織として設置した臨床倫理委員会においては、臨床現場で日常的に遭遇する倫理的に価値判断が困難な事案に対する相談・支援を行う。

治験審査委員会

1. 目的

治験を依頼した製薬会社や治験を実施する医師等とは独立した第三者的な機関として設置されている。治験を計画通りに実施することができるか、参加される患者さんの治療に不利益にならないか等を事前に取り決めた手順書に従って、治験を開始する前に確認している。また、治験実施中に、治験が正しく実施されているか確認したり、安全性に問題がないかを評価し、治験を継続すべきか判断したりしている。

2. 開催日・審議事項等

令和2年 5月25日
令和2年 6月22日
令和2年 7月27日
令和2年 8月24日
令和2年 9月28日
令和2年 10月26日
令和2年 11月30日
令和2年 12月21日
令和3年 1月25日
令和3年 2月22日
令和3年 3月22日

院内実施中治験の安全性報告、治験に関する変更、新規案件実施の可否等審査している。

3. 1年間の活動要約と今後の目標

- ・月1回の開催を行い、院内の実施試験を患者さんの人権保護と安全確保の観点から公正に審議していく。

がんセンターボード運営部会

1. 目的

患者によりよい医療を提供するために、手術、放射線療法および化学療法に携わる専門的な知識を有する医師や、その他の専門医師および医療スタッフなどが参集し、がん患者の症状、状態および治療方針などを意見交換・共有・確認などを行うことを目的とする。

がんセンターボードの実施は、がん診療連携拠点病院の認定要件である。

しながら、検討される必要のある症例が適切に検討される機会を提供していく。

また、病院全体でがんゲノム医療に対応できる体制を整えていくことが求められている。遺伝子パネル検査の適応の有無について、多診療科、多職種で検討する場としてもがんセンターボードを活用し、提出前には検査の妥当性を検討する事と、検査結果の報告を義務づけ、がんゲノム医療推進に努める。

2. 開催日・審議事項等

開催は毎週火曜日の 17:30 とする。提示される事例がなければ参集されない。

新規治療開始患者・再発患者を問わず、治療方針などについて検討を行う。

3. 1年間の活動要約

令和2年度の開催は26回、検討事例件数は44例であった。参集メンバーは、病理医、放射線治療医、腫瘍内科医、画像診断医、消化器外科医、消化器内科医、乳腺外科医、耳鼻咽喉科医、呼吸器外科医、泌尿器科医、総合診療科医、緩和ケア医など症例に関連する診療科医、ならびに薬剤師、看護師、放射線技師、栄養士、理学療法士、医療秘書などである。

治療方針が決定した際には、必要な対診日程なども決定し、速やかに治療が開始できるように調整を行う。

4. 今後の活動目標

現在検討されている事例は消化器系が多く、検討される診療科に偏りがある。開催については、がん診療に関わるすべての診療科の医師に伝わるように連絡先を拡大し、各診療科のニーズを把握

抗がん剤レジメン管理委員会

1. 目的

注射用抗がん剤はレジメンオーダーによってのみ施行できるものとしており、抗がん剤レジメンオーダーの運用を円滑に行い、抗がん剤の適正使用を推進する。

2. 開催日・審議事項等

(1) 第47回 令和2年10月9日

新規申請のレジメン承認 40件

レジメン稼働状況、登録数、適用率

レジメンの整理(グラニセトロンの規格変更)

抗がん剤調製数、抗がん剤調製患者数

レジメンの整理

当日発生について

B型肝炎対策

連携充実加算

レジメンのショートカット機能の導入

レジメン作成時のルールについて再確認

3. 1年間の活動要約

レジメンの登録については、申請があれば、その都度、院内メール等を利用して審議し、40件のレジメンを承認した。

レジメン内の輸液や制吐剤の変更、フラッシュ用生食の追加、稼働状況、不使用レジメンの整理等について審議した。

前処置薬のグラニセトロンの規格変更に伴い、レジメン内の規格変更を行った。

4. 今後の活動目標

レジメンの稼働率や運用状況を確認し、使用していない登録レジメンは削除し整理を行うなど、継続してレジメンの妥当性を評価し、抗がん剤の適正使用を推進していく。

行動制限最小化委員会

1. 目的

精神科病棟における患者の基本的な人権を尊重するため、医療及び保護に不可欠な必要最低限の行動制限基準を定め、適切な運用を図ることを目的とする。

2. 開催日・審議事項等

毎月第4水曜日に開催する。

3. 1年間の活動要約

行動制限が長期化した症例がなかったかに注意を払った。

医療保護入院から任意入院への変更ができないかを検討した。

また、任意入院の任意性は確保できているかを検討した。

精神科職員に精神保健福祉法の研修を行った。

4. 今後の活動目標

対象事例が発生した場合には委員会を開催して審議する。行動制限を少なくするように検討していく。

褥瘡防止委員会

1. 目的

当院は、救命救急センターをはじめ、循環器病センター、がんセンター、総合周産期母子医療センターなど不安定な呼吸・循環動態、高侵襲の治療、脆弱な皮膚など褥瘡発生リスクの高い患者さんが多い。当院ではリスクアセスメントを行い、多職種が連携をし、褥瘡発生予防、褥瘡の治癒、褥瘡悪化予防など褥瘡対策に取り組むことを目的としている。

2. 開催日・審議事項等

原則毎月第2金曜日開催

褥瘡発生状況の報告を毎回実施。褥瘡対策に関する内容については医療局、看護局、薬剤局、栄養局、医療技術局、事務局で協議し、チーム医療を推進している。

3. 1年間の活動要約

- (1) 褥瘡保有者の状況報告を毎回実施し、重要な案件に対しては、防止策の検討を行い、周知徹底を目指した。
- (2) 院内発生の褥瘡は、インシデントレポートで報告している。
- (3) 体圧分散寝具が効果的に使用できているか、定期的なラウンドと整備を実施した。
- (4) 褥瘡防止委員会リンクナース会を毎月開催し、より実践的なケアにつながる知識、技術の向上に取り組んだ。
- (5) 「じょくそうニュース」を発行し、褥瘡に関連する情報を発信した。

4. 今後の活動目標

今後も、褥瘡防止委員会を引き続き1回/月の開催とし、各専門職の専門技能を集結かつ有効に発揮できる場の提供に努める。

また、病院機能に必要な物品等の充足、褥瘡防止等に向けた職員への啓発活動の継続、さらに地域と連携を図り、チーム医療のより一層の充実を図りたい。

適正輸血療法推進委員会

1. 目的

高知医療センターにおける輸血療法の適正化を図る。

2. 開催日

6回／年 隔月第3火曜日開催

本年度より年6回以上、隔月開催とする。

2020年12月9日付け重要通達事項（コロナ感染拡大のための病院体制・行動自粛）の院内会議・研修集合開催原則禁止により一部メール会議となった。

3. 1年間の活動要約

1) 月次報告

毎月以下の統計をとり、委員会で検証している。

- ・日赤血購入額
- ・使用単位数内訳（RBC、FFP、PC）
- ・製剤廃棄額
- ・廃棄製剤内訳（RBC、FFP、PC）
- ・Alb/RBC比、FFP/RBC比
- ・科別使用単位数
- ・血液製剤大量使用例
- ・心臓血管外科血液製剤使用例
- ・超救命対応
- ・副作用報告（発生件数、払出票回収率、終了実施入力率、副作用入力率）
- ・返却PC（理由、転用の有無）
- ・遡及調査
- ・不規則抗体検査実施率
- ・輸血後感染症（輸血後感染症疑いの有無）

2) 輸血関連情報カード運用開始

3) 「輸血療法に関する説明・同意書」の改訂

血液製剤使用予定量の記載欄追加。輸血後感染症に関する記述の変更。

4) 「輸血療法の実施に関する指針」改訂に伴う輸血後感染症検査に関する変更

輸血後感染症検査対象者変更。「輸血後感染症検査のご依頼」文書の患者お渡し廃止。「輸血後の感染症検査が未実施です。」医師への注意喚起を廃止。

5) 「輸血療法に関する説明・同意書」英語版作成

6) 特定生物由来製品の同意書見直し

「輸血療法に関する説明・同意書」に含まれる製品の汎用説明文書を廃止。製品ごとの説明文書を用いる。

4. 今後の活動目標

院内における輸血に関する問題点を多職種で審議し、より一層輸血療法の適正化を図りたい。

IV クリニカルインディケーター

1 退院患者数

(1) 診療科別・性別退院患者数

(単位：人)

診療科	性別	平成30年度	令和元年度	令和2年度
総合診療科	男	160	151	140
	女	171	108	154
精神科	男	18	31	30
	女	30	19	39
血液内科・輸血科	男	447	400	483
	女	393	330	306
糖尿病・内分泌内科	男	36	34	40
	女	66	45	72
放射線療法科	男		1	1
	女			
感染症科	男			91
	女			68
腫瘍内科	男	11	31	14
	女	5	11	9
ペインクリニック科	男	7	7	6
	女	7	4	4
脳神経外科	男	358	360	272
	女	245	281	212
眼科	男	80	93	61
	女	67	71	54
耳鼻咽喉科	男	250	222	206
	女	144	149	101
歯科口腔外科	男	72	71	47
	女	61	77	77
呼吸器内科	男	282	353	244
	女	143	165	150
呼吸器外科	男	219	196	157
	女	95	92	78
循環器内科	男	1,089	929	702
	女	547	434	336
心臓血管外科	男	203	198	201
	女	120	110	109
乳腺・甲状腺外科	男	25	38	37
	女	245	223	221
消化器内科	男	453	453	410
	女	289	286	275
消化器外科・一般外科	男	1,031	1,125	939
	女	578	583	550
泌尿器科	男	411	556	434
	女	134	129	99
腎臓内科・膠原病科	男	52	79	56
	女	73	48	53
婦人科	男			
	女	450	565	455
生殖医療科	男			
	女	9	4	6
移植外科	男	39	54	66
	女	47	45	39
救命救急科	男	386	237	138
	女	271	160	131
小児科	男	614	602	414
	女	505	535	301
小児外科	男	136	106	89
	女	58	52	39
産科	男			
	女	917	836	712
皮膚科	男	11	17	14
	女	13	18	23
整形外科	男	728	848	656
	女	613	685	596
形成外科	男	80	83	85
	女	78	54	48
緩和ケア内科	男	7		
	女	5		
児童精神科	男	16	8	15
	女	10	6	19
合計	男	7,221	7,283	6,048
	女	6,389	6,125	5,336

(2) - 1 診療科別・在院期間別・性別退院患者数

平成30年度

診療科	患者総数 (人)	患者数 比率	性別	総数 (人)	在院日数 の平均 (日)	在院期間									
						1 ~8	9 ~15	16 ~22	23 ~1M	1M ~2M	2M ~3M	3M ~6M	6M ~1Y	1Y~	
総合診療科	331	2.4%	男	160	17.8	34	57	26	19	21	2	1			
			女	171	15.6	42	66	32	14	15	2				
精神科	48	0.4%	男	18	57.5	2		2	1	7	3	3			
			女	30	51.5	2	5	1	3	10	4	5			
血液内科・輸血科	840	6.2%	男	447	23.1	84	98	125	60	55	19	3	3		
			女	393	26.0	32	71	155	58	48	17	11	1		
糖尿病・内分泌内科	102	0.7%	男	36	9.1	16	18		1	1					
			女	66	8.0	36	27	2	1						
腫瘍内科	16	0.1%	男	11	16.8	3		4	4						
			女	5	13.4	1	2	2							
ペインクリニック科	14	0.1%	男	7	18.0	1	2	1	3						
			女	7	11.6	3	1	3							
脳神経外科	603	4.4%	男	358	18.7	93	114	69	32	39	4	6	1		
			女	245	19.0	61	65	51	31	29	6	2			
眼科	147	1.1%	男	80	7.0	64	9	5		2					
			女	67	8.6	45	13	7		2					
耳鼻咽喉科	394	2.9%	男	250	12.3	127	82	14	5	16	6				
			女	144	9.1	78	58	5	1		1	1			
歯科口腔外科	133	1.0%	男	72	12.4	44	18	3	1	2	3	1			
			女	61	8.3	45	12	1	1	1	1				
呼吸器内科	425	3.1%	男	282	10.9	164	54	25	19	17	3				
			女	143	9.3	88	27	16	3	9					
呼吸器外科	314	2.3%	男	219	10.3	116	77	7	7	12					
			女	95	9.6	58	26	4	2	5					
循環器内科	1,636	12.0%	男	1,089	7.4	867	113	49	24	25	6	4	1		
			女	547	8.7	384	89	39	15	13	4	3			
心臓血管外科	323	2.4%	男	203	30.6	49	45	34	23	34	6	7	4	1	
			女	120	25.6	31	14	27	21	18	5	3	1		
乳腺・甲状腺外科	270	2.0%	男	25	6.5	22	2	1							
			女	245	7.8	166	55	11	9	4					
消化器内科	742	5.5%	男	453	8.7	277	131	28	9	5	3				
			女	289	8.9	187	66	20	7	8	1				
消化器外科・一般外科	1,609	11.8%	男	1,031	13.9	407	354	116	64	75	12	3			
			女	578	13.8	213	211	93	25	26	5	5			
泌尿器科	545	4.0%	男	411	7.3	309	73	13	8	4	3	1			
			女	134	8.1	89	29	12	3	1					
腎臓内科・膠原病科	125	0.9%	男	52	30.6	16	7	5	3	15	1	5			
			女	73	19.1	41	10	4	3	8	4	3			
婦人科	450	3.3%	男												
			女	450	7.2	373	52	14	3	7	1				
生殖医療科	9	0.1%	男												
			女	9	5.0	9									
移植外科	86	0.6%	男	39	16.8	17	9	4	1	6	1	1			
			女	47	20.4	17	13	2	4	8	1	2			
救命救急科	657	4.8%	男	386	6.4	290	66	14	10	4	2				
			女	271	7.8	200	44	9	8	6	3	1			
小児科	1,119	8.2%	男	614	10.9	453	72	23	21	24	14	5	2		
			女	505	11.1	373	59	23	15	17	8	9	1		
小児外科	194	1.4%	男	136	4.2	123	10		3						
			女	58	3.9	55	2	1							
産科	917	6.7%	男												
			女	917	10.0	822	96	28	25	43	10	7			
皮膚科	24	0.2%	男	11	17.7	4	4			1	1				
			女	13	11.0	8	2	1		1					
整形外科	1,341	9.9%	男	728	12.3	353	191	127	49	41	4	4			
			女	613	14.3	223	161	123	54	41	4		1		
形成外科	158	1.2%	男	80	18.0	42	15	12	2	7	3	2			
			女	78	13.6	41	17	4	2	3	3	1			
緩和ケア内科	12	0.1%	男	7	3.5	25	1								
			女	5	7.7	12					1				
児童精神科	26	0.2%	男	16	41.2	1	1		2	3	1	1			
			女	10	82.2	2	2	1	1	6	4	1		1	
合計	13,610	100.0%	男	7,221	12.4	4,009	1,621	681	348	405	98	47	11	1	
			女	6,389	12.3	3,654	1,312	678	291	314	84	52	4		

(2) - 2 診療科別・在院期間別・性別退院患者数

令和元年度

診療科	患者総数 (人)	患者数 比率	性別	総数 (人)	在院日数 の平均 (日)	在院期間									
						1 ~8	9 ~15	16 ~22	23 ~1M	1M ~2M	2M ~3M	3M ~6M	6M ~1Y	1Y~	
総合診療科	259	1.9%	男	151	24.5	29	52	23	14	23	4	5	1		
			女	108	16.8	41	23	19	11	11	2	1			
精神科	50	0.4%	男	31	72.1	3	3		6	6	6	5	2		
			女	19	74.2	2	3	1	1	2	4	5	1		
血液内科・輸血科	730	5.4%	男	400	25.2	66	100	105	57	44	15	10	3		
			女	330	26.7	36	68	111	43	42	19	9	2		
糖尿病・内分泌内科	79	0.6%	男	34	8.8	12	21	1							
			女	45	8.8	28	13	2	1	1					
放射線療法科	1	0.0%	男	1	2.0	1									
			女												
腫瘍内科	42	0.3%	男	31	13.8	15	7	1	5	3					
			女	11	14.6	3	6			2					
ペインクリニック科	11	0.1%	男	7	11.4		7								
			女	4	5.8	3	1								
脳神経外科	641	4.8%	男	360	16.7	106	112	66	35	34	6	1			
			女	281	14.9	89	81	60	26	24	1				
眼科	164	1.2%	男	93	7.3	73	9	6	3	2					
			女	71	7.2	49	16	6							
耳鼻咽喉科	371	2.8%	男	222	15.9	92	74	15	12	18	10	1			
			女	149	9.3	83	60	1		5					
歯科口腔外科	148	1.1%	男	71	9.5	55	8	3		4		1			
			女	77	11.1	52	12	5	4	1	3				
呼吸器内科	518	3.9%	男	353	10.8	219	59	27	22	25	1				
			女	165	12.0	97	23	14	18	11	2				
呼吸器外科	288	2.1%	男	196	8.8	119	55	13	5	4					
			女	92	7.6	58	30	3	1						
循環器内科	1,363	10.2%	男	929	7.3	723	103	44	23	31	3	2			
			女	434	9.0	308	68	24	14	16	1	3			
心臓血管外科	308	2.3%	男	198	23.2	48	49	36	26	25	5	9			
			女	110	32.4	31	7	18	17	25	5	4	3		
乳腺・甲状腺外科	261	1.9%	男	38	6.3	31	6	1							
			女	223	8.1	140	61	12	5	5					
消化器内科	739	5.5%	男	453	9.5	273	120	28	17	13	1	1			
			女	286	10.6	166	80	22	10	6	1		1		
消化器外科・一般外科	1,708	12.7%	男	1,125	13.5	447	391	135	72	66	9	5			
			女	583	12.4	202	253	67	33	24	4				
泌尿器科	685	5.1%	男	556	7.6	430	89	18	7	7	4	1			
			女	129	6.7	101	18	6	2	2					
腎臓内科・膠原病科	127	0.9%	男	79	20.6	40	13	6	4	10	4	1	1		
			女	48	36.3	24	4	3	4	5	3	3	1	1	
婦人科	565	4.2%	男												
			女	565	7.3	478	61	12	7	5		2			
生殖医療科	4	0.0%	男												
			女	4	6.0	4									
移植外科	99	0.7%	男	54	15.1	18	19	4	6	7					
			女	45	24.5	14	12	2	1	11	4	1			
救命救急科	397	3.0%	男	237	6.9	171	38	11	9	8					
			女	160	6.4	113	34	7	3	3					
小児科	1,137	8.5%	男	602	11.0	435	68	40	14	26	12	6	1		
			女	535	11.5	396	63	24	15	22	8	3	3	1	
小児外科	158	1.2%	男	106	3.9	99	3	4							
			女	52	6.8	45	1	1	2	3					
産科	836	6.2%	男												
			女	836	9.8	666	78	22	23	36	9	2			
皮膚科	35	0.3%	男	17	8.2	11	5	1							
			女	18	19.0	8	6	1		1	1	1			
整形外科	1,533	11.4%	男	848	11.4	412	233	118	41	35	5	3	1		
			女	685	11.8	272	204	152	35	19	3				
形成外科	137	1.0%	男	83	14.0	47	13	10	3	7	3				
			女	54	8.8	38	8	3	2	3					
児童精神科	14	0.1%	男	8	60.4	1	1		1	1	1	3			
			女	6	62.0		1		1	1	1	2			
合計	13,408	100.0%	男	7,283	12.5	3,976	1,658	716	382	399	89	54	9		
			女	6,125	12.2	3,547	1,295	598	279	286	71	36	11	2	

(2) - 3 診療科別・在院期間別・性別退院患者数

令和2年度

診療科	患者総数 (人)	患者数 比率	性別	総数 (人)	在院日数 の平均 (日)	在院期間									
						1 ~8	9 ~15	16 ~22	23 ~1M	1M ~2M	2M ~3M	3M ~6M	6M ~1Y	1Y~	
総合診療科	294	2.6%	男	140	18.5	37	52	17	11	17	6				
			女	154	14.4	55	59	25	6	6	2			1	
精神科	69	0.6%	男	30	56.8		2	1	1	13	11	2			
			女	39	48.7	3	5	2	6	12	7	3	1		
血液内科・輸血科	789	6.9%	男	483	23.8	90	115	136	52	58	16	15			1
			女	306	22.9	34	79	117	30	31	7	7	1		
糖尿病・内分泌内科	112	1.0%	男	40	11.9	13	18	6	2	1					
			女	72	9.3	33	32	4	2	1					
放射線療法科	1	0.0%	男	1	7.0	1									
			女												
感染症科	159	1.4%	男	91	9.4	49	27	8	4	3					
			女	68	8.4	35	25	5	3						
腫瘍内科	23	0.2%	男	14	13.4	5	2	5	2						
			女	9	21.7	2	2	3		1	1				
ペインクリニック科	10	0.1%	男	6	7.5	5		1							
			女	4	16.0	1	1		2						
脳神経外科	484	4.3%	男	272	15.6	76	89	66	22	14	3	2			
			女	212	18.5	50	63	47	21	27	1	2	1		
眼科	115	1.0%	男	61	5.0	55	4	2							
			女	54	5.6	45	6	2	1						
耳鼻咽喉科	307	2.7%	男	206	14.7	113	59	4	8	10	11			1	
			女	101	8.5	58	40	1		2					
歯科口腔外科	124	1.1%	男	47	8.2	30	10	5	2						
			女	77	10.9	38	25	7	5	1			1		
呼吸器内科	394	3.5%	男	244	10.8	146	38	29	17	13		1			
			女	150	12.0	81	33	14	8	13	1				
呼吸器外科	235	2.1%	男	157	8.3	105	36	7	6	3					
			女	78	9.2	42	30	4	1	1					
循環器内科	1,038	9.1%	男	702	7.5	555	69	29	22	21	3	3			
			女	336	9.0	221	60	29	12	13			1		
心臓血管外科	310	2.7%	男	201	23.6	48	40	53	22	18	13	7			
			女	109	23.7	28	18	24	9	26	2	2			
乳腺・甲状腺外科	258	2.3%	男	37	5.6	32	5								
			女	221	7.5	148	53	13	3	4					
消化器内科	685	6.0%	男	410	8.2	272	100	19	12	7					
			女	275	9.3	171	69	18	6	10			1		
消化器外科・一般外科	1,489	13.1%	男	939	14.8	349	320	123	63	67	12	4	1		
			女	550	14.8	176	222	68	35	38	8	3			
泌尿器科	533	4.7%	男	434	9.2	283	87	36	15	10	1	2			
			女	99	8.7	68	16	7	5	2	1				
腎臓内科・膠原病科	109	1.0%	男	56	25.3	15	10	7	6	13	4	1			
			女	53	17.2	30	4	4	4	7	4				
婦人科	455	4.0%	男												
			女	455	6.8	378	59	9	1	8					
生殖医療科	6	0.1%	男												
			女	6	3.8	6									
移植外科	105	0.9%	男	66	16.9	31	18	3	2	9	1	2			
			女	39	12.9	17	15	1	1	5					
救命救急科	269	2.4%	男	138	7.5	112	9	5	2	8	1	1			
			女	131	4.7	111	11	7	1				1		
小児科	715	6.3%	男	414	12.9	286	50	17	15	29	10	6	1		
			女	301	12.6	212	43	9	11	17	4	2	3		
小児外科	128	1.1%	男	89	5.2	80	2	5	1			1			
			女	39	4.7	36	2				1				
産科	712	6.3%	男												
			女	712	9.9	554	70	32	20	25	9	2			
皮膚科	37	0.3%	男	14	9.9	7	6	1							
			女	23	13.9	11	7	1	2	1	1				
整形外科	1,252	11.0%	男	656	12.8	290	126	157	49	27	5	1	1		
			女	596	13.0	222	141	159	49	20	5				
形成外科	133	1.2%	男	85	14.4	48	15	7	8	5		2			
			女	48	11.0	26	10	8	1	3					
児童精神科	34	0.3%	男	15	49.3		3	2		8		2			
			女	19	58.5	5	3	1		3	3	3	1		
合計	11,384	100.0%	男	6,048	13.3	3,133	1,312	751	344	354	97	52	4	1	
			女	5,336	12.3	2,897	1,203	621	245	278	56	28	8		

(3) 診療科別・性別・在院日数の平均

(単位：日)

診療科	性別	平成30年度	令和元年度	令和2年度
総合診療科	男	17.8	24.5	18.5
	女	15.6	16.8	14.4
精神科	男	57.5	72.1	56.8
	女	51.5	74.2	48.7
血液内科・輸血科	男	23.1	25.2	23.8
	女	26.0	26.7	22.9
糖尿病・内分泌内科	男	9.1	8.8	11.9
	女	8.0	8.8	9.3
放射線療法科	男		2.0	7.0
	女			
感染症科	男			9.4
	女			8.4
腫瘍内科	男	16.8	13.8	13.4
	女	13.4	14.6	21.7
ペインクリニック科	男	18.0	11.4	7.5
	女	11.6	5.8	16.0
脳神経外科	男	18.7	16.7	15.6
	女	19.0	14.9	18.5
眼科	男	7.0	7.3	5.0
	女	8.6	7.2	5.6
耳鼻咽喉科	男	12.3	15.9	14.7
	女	9.1	9.3	8.5
歯科口腔外科	男	12.4	9.5	8.2
	女	8.3	11.1	10.9
呼吸器内科	男	10.9	10.8	10.8
	女	9.3	12.0	12.0
呼吸器外科	男	10.3	8.8	8.3
	女	9.6	7.6	9.2
循環器内科	男	7.4	7.3	7.5
	女	8.7	9.0	9.0
心臓血管外科	男	30.6	23.2	23.6
	女	25.6	32.4	23.7
乳腺・甲状腺外科	男	6.5	6.3	5.6
	女	7.8	8.1	7.5
消化器内科	男	8.7	9.5	8.2
	女	8.9	10.6	9.3
消化器外科・一般外科	男	13.9	13.5	14.8
	女	13.8	12.4	14.8
泌尿器科	男	7.3	7.6	9.2
	女	8.1	6.7	8.7
腎臓内科・膠原病科	男	30.6	20.6	25.3
	女	19.1	36.3	17.2
婦人科	男			
	女	7.2	7.3	6.8
生殖医療科	男			
	女	5.0	6.0	3.8
移植外科	男	16.8	15.1	16.9
	女	20.4	24.5	12.9
救命救急科	男	6.4	6.9	7.5
	女	7.8	6.4	4.7
小児科	男	10.9	11.0	12.9
	女	11.1	11.5	12.6
小児外科	男	4.2	3.9	5.2
	女	3.9	6.8	4.7
産科	男			
	女	10.6	9.8	9.9
皮膚科	男	12.2	8.2	9.9
	女	26.3	19.0	13.9
整形外科	男	10.8	11.4	12.8
	女	11.7	11.8	13.0
形成外科	男	13.5	14.0	14.4
	女	10.4	8.8	11.0
緩和ケア内科	男	2.9		
	女	3.0		
児童精神科	男	67.9	60.4	49.3
	女	97.1	62.0	58.5
合計	男	12.4	12.5	13.3
	女	12.3	12.2	12.3

(4) - 1 診療科別・年齢階層別・性別退院患者数

平成30年度

診療科	患者総数 (人)	患者数 比率	性別	総数 (人)	年齢階層								
					0~2 才	3~5 才	6~15 才	16~20 才	21~40 才	41~60 才	61~79 才	80才~	
総合診療科	331	2.4%	男	160				5	6	28	52	69	
			女	171			1	7	17	16	43	87	
精神科	48	0.4%	男	18					2		6	7	3
			女	30			3	4	7	7	8	1	
血液内科・輸血科	840	6.2%	男	447				3	21	77	290	56	
			女	393				1	27	54	236	75	
糖尿病・内分泌内科	102	0.7%	男	36					1	9	23	3	
			女	66				3	22	16	18	7	
腫瘍内科	16	0.1%	男	11						1	10		
			女	5								5	
ペインクリニック科	14	0.1%	男	7						6	1		
			女	7					2	1	1	3	
脳神経外科	603	4.4%	男	358		1	5		9	77	166	100	
			女	245	1		2	1	6	33	105	97	
眼科	147	1.1%	男	80	1	3			1	5	48	22	
			女	67		1	4	1	1	14	31	15	
耳鼻咽喉科	394	2.9%	男	250	5	12	21	6	39	52	100	15	
			女	144		11	19	3	23	32	45	11	
歯科口腔外科	133	1.0%	男	72	1	1	2	6	15	17	22	8	
			女	61	1		1	10	9	8	19	13	
呼吸器内科	425	3.1%	男	282				1	3	47	179	52	
			女	143					2	15	96	30	
呼吸器外科	314	2.3%	男	219			2	6	7	32	152	20	
			女	95					4	11	67	13	
循環器内科	1,636	12.0%	男	1,089			3	3	15	171	623	274	
			女	547				2	5	51	231	258	
心臓血管外科	323	2.4%	男	203			1	2	5	28	116	51	
			女	120					1	6	70	43	
乳腺・甲状腺外科	270	2.0%	男	25					1	11	9	4	
			女	245				1	20	76	118	30	
消化器内科	742	5.5%	男	453			1	1	11	67	243	130	
			女	289				3	16	41	123	106	
消化器外科・一般外科	1,609	11.8%	男	1,031			1	3	25	170	676	156	
			女	578			1	4	30	76	307	160	
泌尿器科	545	4.0%	男	411				3	6	31	261	110	
			女	134					4	26	66	38	
腎臓内科・膠原病科	125	0.9%	男	52					6	6	29	11	
			女	73				3	25	18	12	15	
婦人科	450	3.3%	男										
			女	450			1		133	185	125	6	
生殖医療科	9	0.1%	男										
			女	9					9				
移植外科	86	0.6%	男	39				1	5	13	19	1	
			女	47					4	14	23	6	
救命救急科	657	4.8%	男	386	4	2	8	12	45	59	138	118	
			女	271	2	2	1	5	16	43	80	122	
小児科	1,119	8.2%	男	614	395	107	100	5	7				
			女	505	329	64	100	5	3	4			
小児外科	194	1.4%	男	136	80	23	33						
			女	58	26	16	16						
産科	917	6.7%	男				1	13	834	69			
			女	917									
皮膚科	24	0.2%	男	11				1	3	1	3	3	
			女	13				1	1	1	5	5	
整形外科	1,341	9.9%	男	728			19	19	94	177	327	92	
			女	613			1	18	4	28	108	243	211
形成外科	158	1.2%	男	80	11	1	9	5	13	12	21	8	
			女	78	15	6	7	1	12	13	12	12	
緩和ケア内科	12	0.1%	男	7						6	1		
			女	5						1	1	3	
児童精神科	26	0.2%	男	16			16						
			女	10			10						
合計	13,610	100.0%	男	7,221	497	150	221	84	338	1,109	3,516	1,306	
			女	6,389	374	101	185	72	1,262	939	2,092	1,364	

(4) -2 診療科別・年齢階層別・性別退院患者数

令和元年度

診療科	患者総数 (人)	患者数 比率	性別	総数 (人)	年齢階層							
					0~2 才	3~5 才	6~15 才	16~20 才	21~40 才	41~60 才	61~79 才	80才~
総合診療科	259	1.9%	男	151				1	9	22	68	51
			女	108			12	14	7	27	48	
精神科	50	0.4%	男	31			1	1	8	8	11	2
			女	19		2	1	3	8	3	2	
血液内科・輸血科	730	5.4%	男	400					32	58	235	75
			女	330			1	12	29	232	56	
糖尿病・内分泌内科	79	0.6%	男	34			1			7	21	5
			女	45					15	15	13	2
放射線療法科	1	0.0%	男	1							1	
腫瘍内科	42	0.3%	男	31						3	27	1
			女	11					1	5	5	
ペインクリニック科	11	0.1%	男	7						2	2	3
			女	4						2	2	
脳神経外科	641	4.8%	男	360			7	2	5	57	201	88
			女	281	1	2	5	1	5	36	100	131
眼科	164	1.2%	男	93		3	9	1		10	51	19
			女	71		1	9	1		8	37	15
耳鼻咽喉科	371	2.8%	男	222	4	12	14	7	17	51	105	12
			女	149	2	7	14	5	25	44	35	17
歯科口腔外科	148	1.1%	男	71			7	3	5	24	25	7
			女	77	1	1	2	3	8	12	18	32
呼吸器内科	518	3.9%	男	353			1		4	45	241	62
			女	165			1		4	30	94	36
呼吸器外科	288	2.1%	男	196			1	4	6	32	117	36
			女	92			1		2	14	59	16
循環器内科	1,363	10.2%	男	929			1		9	160	531	228
			女	434				1	4	30	197	202
心臓血管外科	308	2.3%	男	198						18	122	58
			女	110					1	13	48	48
乳腺・甲状腺外科	261	1.9%	男	38					4	8	17	9
			女	223			2	25	95	83	18	
消化器内科	739	5.5%	男	453					8	78	251	116
			女	286			2	7	28	125	124	
消化器外科・一般外科	1,708	12.7%	男	1,125			3	3	30	162	769	158
			女	583			1	4	22	99	310	147
泌尿器科	685	5.1%	男	556				1	12	41	366	136
			女	129				1	1	27	51	49
腎臓内科・膠原病科	127	0.9%	男	79				5	8	16	30	20
			女	48				2	7	11	21	7
婦人科	565	4.2%	男				3	4	129	275	139	15
			女	565								
生殖医療科	4	0.0%	男									
			女	4					4			
移植外科	99	0.7%	男	54					4	25	25	
			女	45					6	17	19	3
救命救急科	397	3.0%	男	237	3		5	3	19	42	91	74
			女	160	1	1	3	2	12	21	48	72
小児科	1,137	8.5%	男	602	398	87	110	6	1			
			女	535	332	68	115	6	12	2		
小児外科	158	1.2%	男	106	58	20	28					
			女	52	20	14	16	2				
産科	836	6.2%	男				2	5	774	55		
			女	836								
皮膚科	35	0.3%	男	17	1				4		10	2
			女	18		2			1	1	8	6
整形外科	1,533	11.4%	男	848		1	21	29	110	207	366	114
			女	685		1	14	6	55	98	293	218
形成外科	137	1.0%	男	83	6	2	4	4	10	22	20	15
			女	54	7	4	7	2	8	13	7	6
児童精神科	14	0.1%	男	8			8					
			女	6			6					
合計	13,408	100.0%	男	7,283	470	125	220	71	305	1,098	3,703	1,291
			女	6,125	364	101	201	63	1,157	995	1,974	1,270

(4) - 3 診療科別・年齢階層別・性別退院患者数

令和2年度

診療科	患者総数 (人)	患者数 比率	性別	総数 (人)	年齢階層							
					0~2 才	3~5 才	6~15 才	16~20 才	21~40 才	41~60 才	61~79 才	80才~
総合診療科	294	2.6%	男	140				7	17	32	47	37
			女	154			14	25	27	28	60	
精神科	69	0.6%	男	30			2	2	5	8	12	1
			女	39		1	4	11	10	13		
血液内科・輸血科	789	6.9%	男	483				5	32	37	298	111
			女	306					11	41	193	61
糖尿病・内分泌内科	112	1.0%	男	40				2	4	8	20	6
			女	72					25	18	20	9
放射線療法科	1	0.0%	男	1							1	
			女									
感染症科	159	1.4%	男	91					16	31	32	12
			女	68			1	9	13	20	25	
腫瘍内科	23	0.2%	男	14						1	13	
			女	9						1	8	
ペインクリニック科	10	0.1%	男	6						2	4	
			女	4					1		2	1
脳神経外科	484	4.3%	男	272	3		2	2	8	46	129	82
			女	212			4		5	20	88	95
眼科	115	1.0%	男	61		5	10	1	3	6	28	8
			女	54	1	2	18	1	1	2	14	15
耳鼻咽喉科	307	2.7%	男	206	1	4	14	6	28	34	105	14
			女	101	2		10	4	13	30	27	15
歯科口腔外科	124	1.1%	男	47			5	1	8	4	27	2
			女	77			3	4	7	12	21	30
呼吸器内科	394	3.5%	男	244					1	49	149	45
			女	150						3	25	90
呼吸器外科	235	2.1%	男	157				4	6	25	96	26
			女	78			1	1	5	15	44	12
循環器内科	1,038	9.1%	男	702					6	95	371	230
			女	336					4	14	136	182
心臓血管外科	310	2.7%	男	201					4	18	121	58
			女	109					1	5	59	44
乳腺・甲状腺外科	258	2.3%	男	37					5	14	16	2
			女	221					15	77	97	32
消化器内科	685	6.0%	男	410					3	52	223	132
			女	275				5	7	31	124	108
消化器外科・一般外科	1,489	13.1%	男	939			2	2	25	149	611	150
			女	550				6	33	89	275	147
泌尿器科	533	4.7%	男	434				3	16	38	262	115
			女	99					1	26	41	31
腎臓内科・膠原病科	109	1.0%	男	56				2	2	7	29	16
			女	53					16	10	13	14
婦人科	455	4.0%	男									
			女	455				3	106	213	118	15
生殖医療科	6	0.1%	男									
			女	6					5	1		
移植外科	105	0.9%	男	66					8	29	28	1
			女	39					5	16	14	4
救命救急科	269	2.4%	男	138	2		2	2	15	19	56	42
			女	131			2	5	9	13	31	71
小児科	715	6.3%	男	414	276	54	77	7				
			女	301	212	30	49	5	2	3		
小児外科	128	1.1%	男	89	51	20	18					
			女	39	17	9	13					
産科	712	6.3%	男									
			女	712				12	641	59		
皮膚科	37	0.3%	男	14				1	3		8	2
			女	23			1	1	1	4	10	6
整形外科	1,252	11.0%	男	656		3	22	7	69	174	290	91
			女	596			16	11	26	101	260	182
形成外科	133	1.2%	男	85	7	1	4	4	8	21	27	13
			女	48	5		2	2	9	19	8	3
児童精神科	34	0.3%	男	15			15					
			女	19			19					
合計	11,384	100.0%	男	6,048	340	87	173	58	292	899	3,003	1,196
			女	5,336	237	41	139	79	997	895	1,754	1,194

(5) - 1 診療科別・年齢階層別・性別在院日数の平均

平成30年度

診療科	患者総数 (人)	患者数 比率	性別	総数 (人)	在院日数 の平均 (日)	年齢階層							
						0~2 才	3~5 才	6~15 才	16~20 才	21~40 才	41~60 才	61~79 才	80才~
総合診療科	331	2.4%	男	160	17.8				7.2	9.0	19.0	19.1	17.9
			女	171	15.6			5.0	6.4	13.4	16.0	19.1	15.2
精神科	48	0.4%	男	18	57.5				47.5		15.5	39.7	37.7
			女	30	51.5			22.0	19.8	78.6	45.0	65.4	11.0
血液内科・輸血科	840	6.2%	男	447	23.1				44.7	24.6	25.1	22.2	23.4
			女	393	26.0				10.0	30.6	29.0	26.0	22.7
糖尿病・内分泌内科	102	0.7%	男	36	9.1					2.0	11.7	8.6	8.0
			女	66	8.0				4.3	7.7	6.8	9.9	8.9
腫瘍内科	16	0.1%	男	11	16.8						24.0	16.1	
			女	5	13.4								13.4
ペインクリニック科	14	0.1%	男	7	18.0						19.5	9.0	
			女	7	11.6						13.0	7.0	17.0
脳神経外科	603	4.4%	男	358	18.7		8.0	9.2		12.4	15.9	18.5	22.6
			女	245	19.0	3.0		23.0	9.0	12.0	15.3	19.8	19.9
眼科	147	1.1%	男	80	7.0	3.0	3.0			5.0	12.0	6.3	8.3
			女	67	8.6		3.0	4.5	9.0	4.0	11.9	8.3	8.1
耳鼻咽喉科	394	2.9%	男	250	12.3	8.0	8.3	6.5	7.3	8.3	11.3	15.0	23.7
			女	144	9.1		5.7	7.2	6.3	8.5	9.0	10.8	11.2
歯科口腔外科	133	1.0%	男	72	12.4	10.0	3.0	6.0	9.0	8.6	7.4	23.4	5.6
			女	61	8.3	3.0		4.0	6.7	5.8	7.1	10.2	9.9
呼吸器内科	425	3.1%	男	282	10.9				9.0	8.0	7.9	10.9	13.8
			女	143	9.3						10.5	8.0	9.3
呼吸器外科	314	2.3%	男	219	10.3			6.0	8.3	6.7	9.8	10.6	11.7
			女	95	9.6						8.5	8.2	10.0
循環器内科	1,636	12.0%	男	1,089	7.4			12.0	4.3	5.7	6.9	6.7	9.2
			女	547	8.7				3.5	11.6	8.4	6.3	11.0
心臓血管外科	323	2.4%	男	203	30.6			11.0	13.5	18.8	32.8	29.2	34.9
			女	120	25.6						15.0	22.0	25.6
乳腺・甲状腺外科	270	2.0%	男	25	6.5					5.0	5.8	5.3	11.3
			女	245	7.8				5.0	4.6	7.8	8.0	8.9
消化器内科	742	5.5%	男	453	8.7			2.0	43.0	6.8	9.0	8.0	9.8
			女	289	8.9				6.3	8.3	7.2	8.7	10.0
消化器外科・一般外科	1,609	11.8%	男	1,031	13.9			3.0	5.3	11.2	11.6	13.9	16.9
			女	578	13.8			3.0	7.5	8.6	10.1	14.1	16.2
泌尿器科	545	4.0%	男	411	7.3				14.0	18.5	6.8	6.7	7.9
			女	134	8.1						4.8	6.5	9.2
腎臓内科・膠原病科	125	0.9%	男	52	30.6					18.5	46.8	29.9	30.2
			女	73	19.1				3.3	5.2	16.5	43.0	29.5
婦人科	450	3.3%	男										
			女	450	7.2			6.0		6.0	7.0	8.7	6.3
生殖医療科	9	0.1%	男										
			女	9	5.0					5.0			
移植外科	86	0.6%	男	39	16.8				37.0	9.4	22.7	14.5	2.0
			女	47	20.4					13.0	22.4	23.5	8.5
救命救急科	657	4.8%	男	386	6.4	12.0	1.5	2.1	3.5	4.0	7.1	6.8	7.1
			女	271	7.8	2.0	4.0	6.0	3.6	6.1	8.2	8.9	7.5
小児科	1,119	8.2%	男	614	10.9	11.7	8.7	10.1	7.2	15.0			
			女	505	11.1	13.5	7.0	6.1	17.2	6.7	2.0		
小児外科	194	1.4%	男	136	4.2	4.7	3.1	3.8					
			女	58	3.9	3.5	3.0	5.5					
産科	917	6.7%	男										
			女	917	10.6			8.0	18.9	10.7	7.7		
皮膚科	24	0.2%	男	11	12.2				5.0	4.7	11.0	7.7	27.0
			女	13	26.3				5.0	35.0	31.0	18.4	35.8
整形外科	1,341	9.9%	男	728	10.8			7.4	9.9	10.1	10.1	10.7	14.4
			女	613	11.7		3.0	4.7	3.3	12.6	7.2	10.8	15.8
形成外科	158	1.2%	男	80	13.5	4.3	3.0	6.8	10.8	13.9	12.9	21.9	15.1
			女	78	10.4	4.4	3.7	3.9	6.0	12.2	9.5	17.8	17.3
緩和ケア内科	12	0.1%	男	7	2.9						3.0	2.0	
			女	5	3.0						3.0	3.0	3.0
児童精神科	26	0.2%	男	16	67.9			67.9					
			女	10	97.1			97.1					
合計	13,610	100.0%	男	7,221	12.4	10.4	7.5	12.2	11.0	10.2	12.5	12.5	14.0
			女	6,389	12.3	12.3	5.9	11.2	9.7	10.6	10.2	13.5	14.0

(5) - 2 診療科別・年齢階層別・性別在院日数の平均

令和元年度

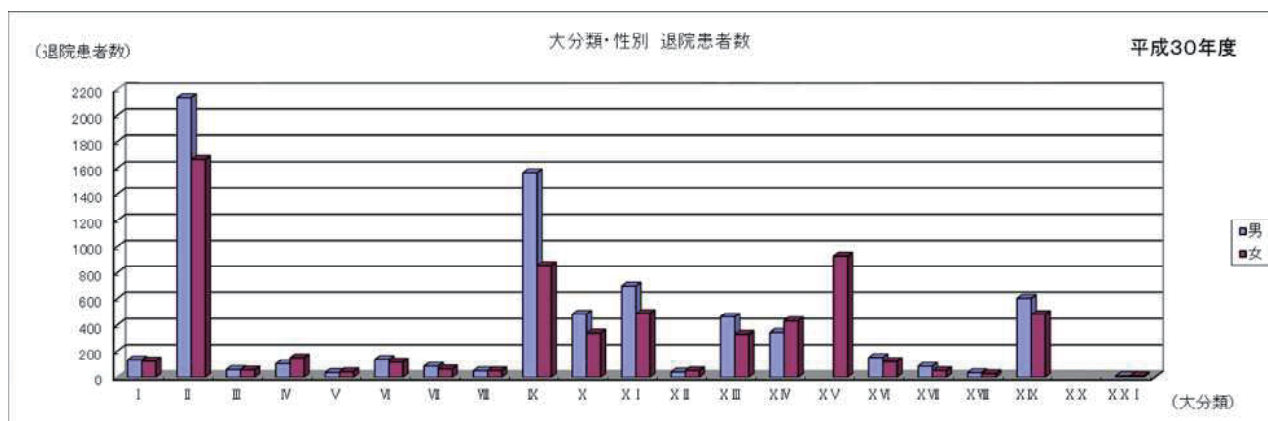
診療科	患者総数 (人)	患者数 比率	性別	総数 (人)	在院日数 の平均 (日)	年齢階層								
						0~2 才	3~5 才	6~15 才	16~20 才	21~40 才	41~60 才	61~79 才	80才~	
総合診療科	259	1.9%	男	151	24.5				7.0	12.7	24.9	26.9	23.7	
			女	108	16.8				9.7	8.1	9.6	22.7	18.9	
精神科	50	0.4%	男	31	72.1			2.0	182.0	90.4	42.3	80.3	53.0	
			女	19	74.2			88.5	14.0	109.0	62.6	85.3	67.0	
血液内科・輸血科	730	5.4%	男	400	25.2					40.1	21.1	25.7	20.2	
			女	330	26.7				8.0	33.4	36.5	24.3	30.5	
糖尿病・内分泌内科	79	0.6%	男	34	8.8				2.0		9.0	9.2	8.4	
			女	45	8.8					7.7	7.2	12.1	9.0	
放射線療法科	1	0.0%	男	1	2.0							2.0		
			女											
腫瘍内科	42	0.3%	男	31	13.8						15.3	13.7	13.0	
			女	11	14.6					4.0	13.6	17.8		
ペインクリニック科	11	0.1%	男	7	11.4						12.5	10.5	11.3	
			女	4	5.8						5.5	6.0		
脳神経外科	641	4.8%	男	360	16.7			13.6	8.0	17.2	14.2	16.9	18.1	
			女	281	14.9	6.0	11.5	24.4	13.0	10.4	14.3	14.6	15.3	
眼科	164	1.2%	男	93	7.3			3.0	3.0	6.0		15.6	7.2	6.2
			女	71	7.2			3.0	3.0	3.0		7.9	8.4	7.0
耳鼻咽喉科	371	2.8%	男	222	15.9	7.0	9.7	9.8	12.3	9.1	13.7	19.0	26.1	
			女	149	9.3	10.5	7.4	8.9	8.4	9.6	9.2	10.7	7.4	
歯科口腔外科	148	1.1%	男	71	9.5			3.4	3.3	6.0	11.0	12.9	3.7	
			女	77	11.1	3.0	3.0	4.5	7.3	3.9	10.0	12.7	13.8	
呼吸器内科	518	3.9%	男	353	10.8			19.0		4.3	8.4	10.5	13.8	
			女	165	12.0			2.0		9.8	8.7	11.6	16.1	
呼吸器外科	288	2.1%	男	196	8.8			5.0	7.8	7.0	6.7	8.6	11.6	
			女	92	7.6			14.0		5.5	7.6	7.5	7.9	
循環器内科	1,363	10.2%	男	929	7.3			4.0		6.0	6.2	6.4	10.3	
			女	434	9.0				4.0	8.0	8.2	6.4	11.7	
心臓血管外科	308	2.3%	男	198	23.2						18.1	25.2	20.5	
			女	110	32.4					8.0	23.2	38.9	29.0	
乳腺・甲状腺外科	261	1.9%	男	38	6.3					5.3	5.1	5.8	9.0	
			女	223	8.1				5.5	6.8	7.4	9.3	8.5	
消化器内科	739	5.5%	男	453	9.5					9.8	8.8	8.9	11.3	
			女	286	10.6				3.0	7.3	6.3	10.5	11.8	
消化器外科・一般外科	1,708	12.7%	男	1,125	13.5			9.3	4.3	8.9	12.2	13.7	15.3	
			女	583	12.4			6.0	3.8	11.3	11.4	11.4	15.7	
泌尿器科	685	5.1%	男	556	7.6				3.0	4.0	6.1	8.1	7.1	
			女	129	6.7				5.0	5.0	5.3	6.5	7.8	
腎臓内科・膠原病科	127	0.9%	男	79	20.6				4.2	9.0	14.4	12.5	46.5	
			女	48	36.3				3.5	4.1	5.4	57.0	64.4	
婦人科	565	4.2%	男											
			女	565	7.3			5.7	5.8	5.4	7.2	9.5	7.1	
生殖医療科	4	0.0%	男											
			女	4	6.0					6.0				
移植外科	99	0.7%	男	54	15.1					22.8	16.3	12.8		
			女	45	24.5					19.3	24.4	29.8	2.0	
救命救急科	397	3.0%	男	237	6.9	6.7		3.2	1.7	4.3	4.2	8.0	8.4	
			女	160	6.4	1.0	14.0	4.3	4.5	1.9	7.4	6.4	7.0	
小児科	1,137	8.5%	男	602	11.0	12.3	5.9	9.9	14.7	4.0				
			女	535	11.5	14.6	5.8	7.1	4.3	5.8	2.0			
小児外科	158	1.2%	男	106	3.9	3.7	4.1	4.0						
			女	52	6.8	11.2	3.2	4.6	4.5					
産科	836	6.2%	男											
			女	836	9.8			4.0	7.0	9.9	7.8			
皮膚科	35	0.3%	男	17	8.2	6.0				5.3		8.8	12.5	
			女	18	19.0					2.0	2.0	26.0	18.5	
整形外科	1,533	11.4%	男	848	11.4		34.0	4.4	9.8	8.4	10.4	12.0	15.8	
			女	685	11.8		6.0	8.8	12.3	5.7	10.1	11.8	14.3	
形成外科	137	1.0%	男	83	14.0	3.2	4.5	3.0	7.0	17.7	15.5	17.5	15.2	
			女	54	8.8	3.4	3.0	4.6	2.5	10.5	12.2	14.1	9.8	
児童精神科	14	0.1%	男	8	60.4			60.4						
			女	6	62.0			62.0						
合計	13,408	100.0%	男	7,283	12.5	11.1	6.1	9.7	11.0	14.1	11.2	12.8	14.1	
			女	6,125	12.2	14.1	5.7	9.6	7.1	9.4	10.2	13.7	14.6	

(5) - 3 診療科別・年齢階層別・性別在院日数の平均

令和2年度

診療科	患者総数 (人)	患者数 比率	性別	総数 (人)	在院日数 の平均 (日)	年齢階層							
						0~2 才	3~5 才	6~15 才	16~20 才	21~40 才	41~60 才	61~79 才	80才~
総合診療科	294	2.6%	男	140	18.5				13.4	15.8	13.3	19.2	24.1
			女	154	14.4				6.1	9.1	13.3	19.7	16.4
精神科	69	0.6%	男	30	56.8			53.0	55.0	53.4	64.8	54.1	54.0
			女	39	48.7			31.0	20.3	53.7	39.9	61.5	
血液内科・輸血科	789	6.9%	男	483	23.8				51.8	37.8	22.3	22.9	21.4
			女	306	22.9					29.2	22.7	24.0	18.2
糖尿病・内分泌内科	112	1.0%	男	40	11.9				9.5	11.8	8.9	11.8	17.0
			女	72	9.3					9.0	6.8	10.5	12.3
放射線療法科	1	0.0%	男	1	7.0							7.0	
			女										
感染症科	159	1.4%	男	91	9.4					4.5	7.1	11.4	16.7
			女	68	8.4				8.0	6.4	6.5	8.4	10.0
腫瘍内科	23	0.2%	男	14	13.4						6.0	14.0	
			女	9	21.7							13.0	22.8
ペインクリニック科	10	0.1%	男	6	7.5							11.0	5.8
			女	4	16.0						24.0		19.0
脳神経外科	484	4.3%	男	272	15.6	8.0		5.0	11.0	17.0	18.6	14.3	16.4
			女	212	18.5			19.0		14.0	17.4	19.7	17.8
眼科	115	1.0%	男	61	5.0		3.0	3.0	3.0	6.0	8.3	5.5	4.4
			女	54	5.6	3.0	3.0	2.9	3.0	3.0	4.5	5.3	10.2
耳鼻咽喉科	307	2.7%	男	206	14.7	12.0	9.5	8.9	7.3	8.1	13.0	18.2	16.4
			女	101	8.5	10.0		7.8	8.5	7.7	10.3	7.4	7.9
歯科口腔外科	124	1.1%	男	47	8.2			4.8	3.0	6.8	10.3	9.1	9.0
			女	77	10.9			8.0	3.3	2.6	6.3	8.3	17.7
呼吸器内科	394	3.5%	男	244	10.8					2.0	7.9	10.1	16.2
			女	150	12.0					15.3	10.8	10.7	16.3
呼吸器外科	235	2.1%	男	157	8.3			5.3	8.0	7.8	8.6	8.1	
			女	78	9.2		5.0	8.0	6.6	7.0	10.4	9.4	
循環器内科	1,038	9.1%	男	702	7.5					9.2	7.0	6.9	8.8
			女	336	9.0					5.3	7.7	6.8	10.9
心臓血管外科	310	2.7%	男	201	23.6					10.8	24.9	22.4	26.8
			女	109	23.7					5.0	19.2	28.4	18.4
乳腺・甲状腺外科	258	2.3%	男	37	5.6					5.2	5.2	5.8	8.0
			女	221	7.5					5.3	7.1	7.6	9.4
消化器内科	685	6.0%	男	410	8.2					3.7	7.5	7.8	9.2
			女	275	9.3				5.6	4.6	5.1	8.0	12.4
消化器外科・一般外科	1,489	13.1%	男	939	14.8		6.5	6.0	10.2	12.1	15.5	15.4	
			女	550	14.8			11.7	8.6	10.4	15.4	18.0	
泌尿器科	533	4.7%	男	434	9.2				5.7	9.3	9.6	8.8	10.0
			女	99	8.7					4.0	5.8	11.1	8.2
腎臓内科・膠原病科	109	1.0%	男	56	25.3			4.0	11.0	17.3	26.8	30.6	
			女	53	17.2					3.1	7.4	18.0	39.6
婦人科	455	4.0%	男						6.0	5.0			
			女	455	6.8						6.5	8.3	11.2
生殖医療科	6	0.1%	男										
			女	6	3.8					4.0	3.0		
移植外科	105	0.9%	男	66	16.9					10.6	12.4	23.4	13.0
			女	39	12.9					12.2	17.8	9.6	6.0
救命救急科	269	2.4%	男	138	7.5	1.5		1.5	2.0	4.3	3.1	10.1	8.1
			女	131	4.7			1.5	2.4	3.4	11.4	4.0	4.1
小児科	715	6.3%	男	414	12.9	14.4	7.7	10.9	14.7				
			女	301	12.6	13.7	13.7	4.7	6.0	105.5	2.7		
小児外科	128	1.1%	男	89	5.2	5.6	4.3	5.2					
			女	39	4.7	5.6	3.0	4.6					
産科	712	6.3%	男						11.9	9.9	9.0		
			女	712	9.9								
皮膚科	37	0.3%	男	14	9.9				4.0	9.3		10.3	12.0
			女	23	13.9			4.0	8.0	7.0	6.0	8.3	32.3
整形外科	1,252	11.0%	男	656	12.8		2.7	5.8	9.4	11.2	10.9	13.8	16.6
			女	596	13.0			6.6	5.5	9.3	10.4	13.1	15.8
形成外科	133	1.2%	男	85	14.4	3.4	3.0	2.8	5.8	9.8	14.4	20.1	18.5
			女	48	11.0	5.8		3.0	7.0	8.2	12.7	14.8	15.0
児童精神科	34	0.3%	男	15	49.3			49.3					
			女	19	58.5			58.5					
合計	11,384	100.0%	男	6,048	13.3	12.7	6.5	12.2	14.0	13.5	11.7	13.7	14.3
			女	5,336	12.3	12.9	10.8	12.9	7.8	9.8	9.8	13.8	14.3

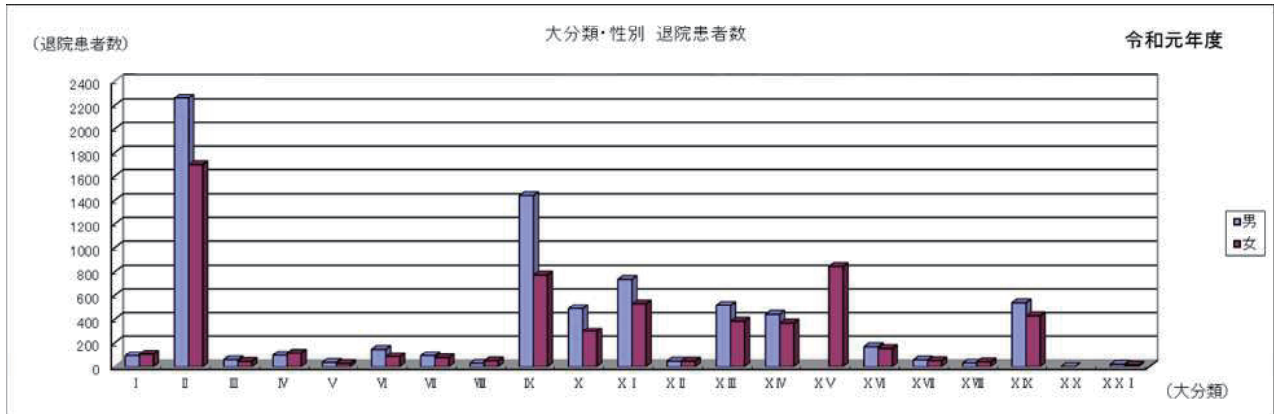
(6) - 1 【平成30年度】大分類別・性別退院患者数・平均年齢・在院日数の平均



平成30年度

大分類		患者総数 (人)	患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
I	感染症及び寄生虫症	258	1.9%	男	133	41.3	10.3
				女	125	41.6	8.8
II	新生物<腫瘍>	3,804	28.0%	男	2,137	67.4	14.8
				女	1,667	65.0	14.4
III	血液及び造血器の疾患ならびに免疫機構の傷害	117	0.9%	男	60	41.8	22.9
				女	57	42.7	11.6
IV	内分泌、栄養及び代謝疾患	253	1.9%	男	104	65.2	8.1
				女	149	60.1	6.7
V	精神及び行動の障害	80	0.6%	男	37	38.4	56.9
				女	43	34.0	52.0
VI	神経系の疾患	253	1.9%	男	136	40.1	10.3
				女	117	46.3	10.7
VII	眼及び付属器の疾患	150	1.1%	男	86	66.1	7.2
				女	64	64.9	8.0
VIII	耳及び乳様突起の疾患	101	0.7%	男	50	44.3	5.6
				女	51	51.0	6.4
IX	循環器系の疾患	2,418	17.8%	男	1,564	70.4	11.5
				女	854	76.0	12.7
X	呼吸器系の疾患	824	6.1%	男	484	43.1	9.8
				女	340	39.4	9.1
X I	消化器系の疾患	1,186	8.7%	男	697	61.6	8.9
				女	489	62.9	9.4
X II	皮膚及び皮下組織の疾患	92	0.7%	男	41	37.7	13.1
				女	51	41.2	9.6
X III	筋骨格系及び結合組織の疾患	793	5.8%	男	462	59.0	10.9
				女	331	63.9	11.2
X IV	腎尿路生殖器系の疾患	775	5.7%	男	345	58.7	11.1
				女	430	53.2	9.8
X V	妊娠、分娩及び産褥	927	6.8%	男			
				女	927	33.0	10.6
X VI	周産期に発生した病態	272	2.0%	男	151	0.0	19.3
				女	121	0.0	23.0
X VII	先天奇形、変形及び染色体異常	137	1.0%	男	85	9.8	7.2
				女	52	10.0	15.5
X VIII	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	64	0.5%	男	36	19.7	4.4
				女	28	25.4	4.1
X IX	損傷、中毒及びその他の外因の影響	1,084	8.0%	男	602	55.6	12.6
				女	482	67.3	13.8
X X	傷病及び死亡の外因	0	0.0%	男			
				女			
X X I	健康状態に影響をおよぼす要因及び保健サービスの利用	22	0.2%	男	11	46.6	5.8
				女	11	51.7	10.5
合計		13,610	100.0%	男	7,221	59.8	12.4
				女	6,389	56.1	12.3

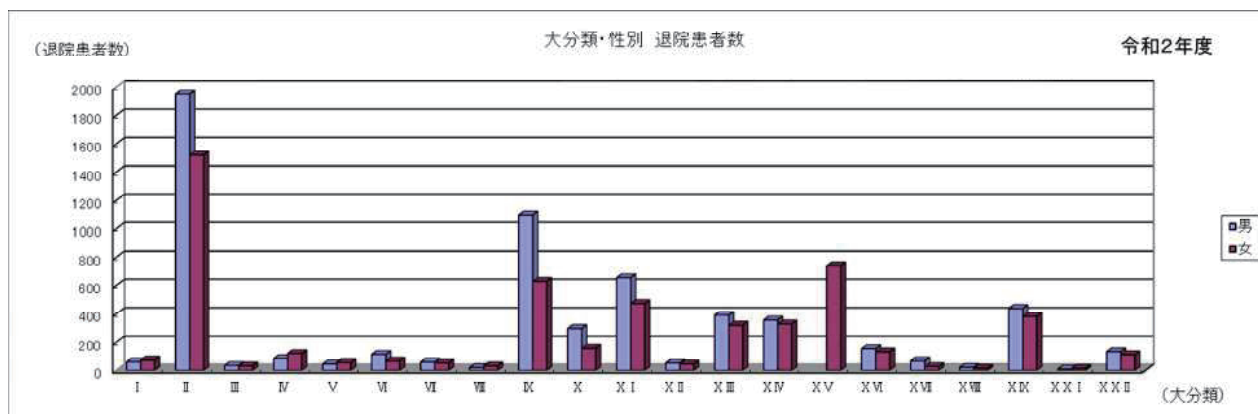
(6) - 2 【令和元年度】大分類別・性別退院患者数・平均年齢・在院日数の平均



令和元年度

大分類		患者総数 (人)	患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
I	感染症及び寄生虫症	197	1.5%	男	92	41.4	13.0
				女	105	40.5	10.8
II	新生物<腫瘍>	3,965	29.6%	男	2,261	68.5	14.6
				女	1,704	65.1	13.3
III	血液及び造血系の疾患ならびに免疫機構の傷害	102	0.8%	男	58	50.3	15.5
				女	44	38.0	24.1
IV	内分泌, 栄養及び代謝疾患	211	1.6%	男	97	65.8	10.3
				女	114	55.5	8.9
V	精神及び行動の障害	63	0.5%	男	36	38.1	66.1
				女	27	39.2	67.3
VI	神経系の疾患	231	1.7%	男	146	39.8	12.8
				女	85	40.6	11.0
VII	眼及び付属器の疾患	168	1.3%	男	93	63.6	7.3
				女	75	60.5	7.0
VIII	耳及び乳様突起の疾患	77	0.6%	男	28	47.0	6.4
				女	49	43.3	5.7
IX	循環器系の疾患	2,211	16.5%	男	1,439	71.2	11.0
				女	772	75.9	12.7
X	呼吸器系の疾患	781	5.8%	男	486	44.6	10.7
				女	295	34.0	9.4
X I	消化器系の疾患	1,264	9.4%	男	736	59.3	9.1
				女	528	60.7	9.4
X II	皮膚及び皮下組織の疾患	92	0.7%	男	46	45.9	13.0
				女	46	46.2	15.5
X III	筋骨格系及び結合組織の疾患	898	6.7%	男	514	59.5	10.5
				女	384	64.8	12.1
X IV	腎尿路生殖器系の疾患	808	6.0%	男	439	62.2	10.8
				女	369	54.8	11.1
X V	妊娠, 分娩及び産褥	844	6.3%	男			
				女	844	33.2	9.8
X VI	周産期に発生した病態	321	2.4%	男	168	0.0	19.9
				女	153	0.0	21.3
X VII	先天奇形, 変形及び染色体異常	106	0.8%	男	56	5.6	8.7
				女	50	21.0	16.4
X VIII	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	70	0.5%	男	30	23.8	4.3
				女	40	26.6	3.8
X IX	損傷, 中毒及びその他の外因の影響	964	7.2%	男	537	56.6	14.0
				女	427	68.7	13.0
X X	傷病及び死亡の外因	1	0.0%	男	1	70.0	14.0
				女			
X X I	健康状態に影響をおよぼす要因及び保健サービスの利用	34	0.3%	男	20	54.1	10.4
				女	14	52.1	9.1
合計		13,408	100.0%	男	7,283	60.8	12.5
				女	6,125	55.9	12.2

(6) - 3 【令和2年度】大分類別・性別退院患者数・平均年齢・在院日数の平均



令和2年度

大分類		患者総数 (人)	患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
I	感染症及び寄生虫症	135	1.2%	男	61	48.0	15.9
				女	74	49.4	10.7
II	新生物<腫瘍>	3,471	30.5%	男	1,952	68.6	16.0
				女	1,519	65.4	13.4
III	血液及び造血器の疾患ならびに免疫機構の傷害	68	0.6%	男	35	58.2	16.4
				女	33	40.4	20.2
IV	内分泌, 栄養及び代謝疾患	205	1.8%	男	84	60.1	9.2
				女	121	59.6	7.2
V	精神及び行動の障害	102	0.9%	男	46	36.3	53.0
				女	56	35.1	53.6
VI	神経系の疾患	181	1.6%	男	114	39.4	10.9
				女	67	51.0	10.6
VII	眼及び付属器の疾患	114	1.0%	男	60	53.3	5.2
				女	54	48.5	5.6
VIII	耳及び乳様突起の疾患	54	0.5%	男	21	45.0	6.5
				女	33	57.9	6.0
IX	循環器系の疾患	1,725	15.2%	男	1,096	71.9	11.2
				女	629	77.9	13.7
X	呼吸器系の疾患	455	4.0%	男	297	54.5	13.0
				女	158	52.1	10.9
X I	消化器系の疾患	1,129	9.9%	男	655	64.4	9.2
				女	474	62.8	9.2
X II	皮膚及び皮下組織の疾患	99	0.9%	男	53	50.1	16.3
				女	46	56.0	16.1
X III	筋骨格系及び結合組織の疾患	710	6.2%	男	390	64.3	14.3
				女	320	66.4	13.9
X IV	腎尿路生殖器系の疾患	683	6.0%	男	355	60.4	10.1
				女	328	55.8	8.7
X V	妊娠, 分娩及び産褥	739	6.5%	男			
				女	739	33.1	9.8
X VI	周産期に発生した病態	289	2.5%	男	156	0.0	19.1
				女	133	0.0	15.1
X VII	先天奇形, 変形及び染色体異常	96	0.8%	男	68	5.1	9.7
				女	28	21.9	21.7
X VIII	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	38	0.3%	男	22	29.2	4.2
				女	16	35.9	7.4
X IX	損傷, 中毒及びその他の外因の影響	820	7.2%	男	439	56.6	12.3
				女	381	67.9	12.8
X X I	健康状態に影響をおよぼす要因及び保健サービスの利用	25	0.2%	男	10	44.8	8.3
				女	15	54.1	9.7
X X II	その他	246	2.2%	男	134	53.9	11.0
				女	112	59.6	10.2
合計		11,384	100.0%	男	6,048	61.9	13.3
				女	5,336	58.0	12.3

(7) - 1 中分類別・性別退院患者数・平均年齢・在院日数の平均

平成30年度

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
I 感染症及び寄生虫症							
	腸管感染症	116	45.0%	男	57	21.7	5.1
				女	59	25.5	5.9
	結核	12	4.7%	男	7	81.0	32.0
				女	5	72.8	20.4
	人畜共通細菌性疾患	1	0.4%	男			
				女	1	11.0	5.0
	その他の細菌性疾患	65	25.2%	男	35	68.3	16.8
				女	30	70.4	13.0
	主として性的伝播様式をとる感染症	1	0.4%	男			
				女	1	23.0	10.0
	リケッチア症	2	0.8%	男	1	65.0	6.0
				女	1	79.0	8.0
	中枢神経系のウイルス感染症	8	3.1%	男	5	20.2	10.6
				女	3	3.3	6.3
	節足動物媒介ウイルス熱及びウイルス性出血熱	1	0.4%	男			
				女	1	54.0	16.0
	皮膚及び粘膜病変を特徴とするウイルス感染症	18	7.0%	男	11	29.5	7.0
				女	7	38.1	7.1
	ウイルス性肝炎	3	1.2%	男	3	35.3	5.0
				女			
	その他のウイルス性疾患	14	5.4%	男	4	0.3	3.0
				女	10	30.7	8.2
	真菌症	9	3.5%	男	6	72.7	13.3
				女	3	63.7	18.7
	蠕虫症	8	3.1%	男	4	66.8	6.8
				女	4	67.3	4.5
II 新生物<腫瘍>							
	口唇、口腔及び咽頭の悪性新生物<腫瘍>	79	2.1%	男	65	66.7	24.2
				女	14	72.4	24.3
	消化器の悪性新生物<腫瘍>	1,149	30.2%	男	770	69.5	14.9
				女	379	70.7	14.5
	呼吸器及び胸腔内臓器の悪性新生物<腫瘍>	489	12.9%	男	348	68.3	10.6
				女	141	71.8	8.5
	骨及び関節軟骨の悪性新生物<腫瘍>	21	0.6%	男	14	34.9	9.1
				女	7	26.0	12.4
	皮膚の悪性新生物<腫瘍>	25	0.7%	男	18	72.1	15.2
				女	7	81.4	21.9
	中皮及び軟部組織の悪性新生物<腫瘍>	38	1.0%	男	14	49.4	14.9
				女	24	63.9	15.5
	乳房の悪性新生物<腫瘍>	165	4.3%	男			
				女	165	61.1	8.5
	女性生殖器の悪性新生物<腫瘍>	158	4.2%	男	5	39.0	6.4
				女	153	60.3	10.2
	男性生殖器の悪性新生物<腫瘍>	144	3.8%	男	144	73.6	4.7
				女			
	腎尿路の悪性新生物<腫瘍>	129	3.4%	男	90	70.8	11.2
				女	39	75.3	11.3
	眼、脳及び中枢神経系のその他の部位の悪性新生物<腫瘍>	20	0.5%	男	16	27.5	16.4
				女	4	67.5	46.0
	甲状腺及びその他の内分泌腺の悪性新生物<腫瘍>	39	1.0%	男	11	58.1	9.0
				女	28	66.2	7.5
	部位不明確、続発部位及び部位不明の悪性新生物<腫瘍>	159	4.2%	男	86	69.5	11.9
				女	73	68.2	11.2
	リンパ組織、造血組織及び関連組織の悪性新生物<腫瘍>	684	18.0%	男	353	63.4	25.1
				女	331	67.3	26.8
	上皮内新生物<腫瘍>	19	0.5%	男	5	69.6	8.6
				女	14	45.0	3.6
	良性新生物<腫瘍>	256	6.7%	男	76	60.7	6.6
				女	180	50.1	7.8
	性状不詳または不明の新生物<腫瘍>	230	6.0%	男	122	68.2	14.5
				女	108	63.1	13.5

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の傷害							
	栄養性貧血	9	7.7%	男	3	49.7	11.7
				女	6	79.0	7.0
	溶血性貧血	5	4.3%	男	5	70.8	19.2
				女			
	無形成性貧血及びその他の貧血	16	13.7%	男	13	52.6	50.1
				女	3	78.0	10.0
	凝固障害、紫斑病及びその他の出血性病態	64	54.7%	男	24	28.7	15.1
				女	40	30.9	13.0
	血液及び造血器のその他の疾患	11	9.4%	男	9	34.3	13.0
				女	2	66.5	5.0
	免疫機構の障害	12	10.3%	男	6	54.2	18.7
				女	6	59.0	10.0
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患							
	甲状腺障害	70	27.7%	男	14	61.0	5.5
				女	56	55.5	5.9
	糖尿病	50	19.8%	男	27	64.6	9.2
				女	23	63.9	10.3
	その他のグルコース調節及び膵内分泌障害	12	4.7%	男	6	32.8	2.3
				女	6	52.8	5.3
	その他の内分泌腺障害	31	12.3%	男	9	72.7	10.0
				女	22	55.3	7.0
	栄養失調（症）	1	0.4%	男	1	0.0	7.0
				女			
	その他の栄養欠乏症	2	0.8%	男			
				女	2	45.5	14.0
	肥満（症）及びその他の過栄養＜過剰摂食＞	1	0.4%	男	1	49.0	10.0
				女			
	代謝障害	86	34.0%	男	46	71.3	8.7
				女	40	68.8	5.3
V 精神及び行動の障害							
	症状性を含む器質性精神障害	3	3.8%	男	2	55.0	23.0
				女	1	77.0	128.0
	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	9	11.3%	男	4	64.5	14.5
				女	5	42.6	9.8
	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	11	13.8%	男	5	53.2	88.2
				女	6	43.8	60.2
	気分〔感情〕障害	9	11.3%	男	2	74.0	47.0
				女	7	42.1	24.1
	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	24	30.0%	男	8	44.5	32.3
				女	16	27.3	37.6
	生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	6	7.5%	男	2	48.5	67.0
				女	4	34.5	82.5
	知的障害＜精神遅滞＞	1	1.3%	男	1	8.0	7.0
				女			
	心理的発達の障害	6	7.5%	男	4	14.0	56.0
				女	2	7.5	34.0
	小児＜児童＞期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害	11	13.8%	男	9	13.7	93.6
				女	2	11.0	264.0
VI 神経系の疾患							
	中枢神経系の炎症性疾患	25	9.9%	男	19	42.8	13.6
				女	6	22.7	15.7
	主に中枢神経系を障害する系統萎縮症	19	7.5%	男	13	40.5	7.4
				女	6	52.2	4.7
	錐体外路障害及び異常行動	3	1.2%	男	2	67.5	22.0
				女	1	68.0	14.0
	神経系のその他の変性疾患	4	1.6%	男	2	80.5	27.0
				女	2	79.5	68.5
	挿間性及び発作性障害	119	47.0%	男	65	30.5	7.6
				女	54	38.8	8.2
	神経、神経根及び神経叢の障害	30	11.9%	男	8	57.9	5.9
				女	22	53.8	9.0
	多発（性）ニューロパチ＜シ＞ー及びその他の末梢神経系の障害	2	0.8%	男	1	75.0	3.0
				女	1	23.0	7.0

退院患者数

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
	神経筋接合部及び筋の疾患	7	2.8%	男	3	26.3	18.3
	女			4	37.8	14.5	
	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	6	2.4%	男	2	27.5	12.5
	女			4	40.0	11.3	
神経系のその他の障害	38	15.0%	男	21	55.3	15.2	
女			17	66.2	13.3		
VII 眼及び付属器の疾患							
	眼瞼, 涙器及び眼窩の障害	22	14.7%	男	15	43.7	3.5
				女	7	26.6	4.4
	強膜, 角膜, 虹彩及び毛様体の障害	4	2.7%	男	4	69.3	19.5
				女			
	水晶体の障害	88	58.7%	男	51	75.4	5.6
				女	37	72.6	6.7
	脈絡膜及び網膜の障害	24	16.0%	男	10	59.3	15.0
				女	14	62.4	11.1
	緑内障	7	4.7%	男	3	78.0	8.3
				女	4	66.0	2.5
	硝子体及び眼球の障害	2	1.3%	男			
				女	2	72.5	34.0
	視神経及び視(覚)路の障害	1	0.7%	男	1	4.0	8.0
				女			
	眼筋, 眼球運動, 調節及び屈折の障害	2	1.3%	男	2	38.0	7.0
				女			
VIII 耳及び乳様突起の疾患							
	外耳疾患	1	1.0%	男	1	39.0	4.0
				女			
	中耳及び乳様突起の疾患	41	40.6%	男	25	24.6	5.7
				女	16	24.9	3.6
	内耳疾患	44	43.6%	男	17	63.6	4.6
				女	27	62.2	7.3
	耳のその他の障害	15	14.9%	男	7	69.0	8.1
				女	8	65.4	9.0
IX 循環器系の疾患							
	慢性リウマチ性心疾患	34	1.4%	男	16	70.6	24.8
				女	18	71.8	37.7
	高血圧性疾患	25	1.0%	男	14	75.1	16.6
				女	11	80.6	13.1
	虚血性心疾患	957	39.6%	男	716	70.1	5.6
				女	241	74.2	6.3
	肺性心疾患及び肺循環疾患	20	0.8%	男	7	49.6	10.4
				女	13	51.5	6.4
	その他の型の心疾患	640	26.5%	男	348	71.1	12.9
				女	292	79.0	11.9
	脳血管疾患	461	19.1%	男	278	69.1	19.1
				女	183	74.9	20.0
	動脈, 細動脈及び毛細血管の疾患	258	10.7%	男	168	73.3	19.9
				女	90	77.7	14.0
	静脈, リンパ管及びリンパ節の疾患, 他に分類されないもの	18	0.7%	男	14	59.5	11.6
				女	4	73.0	8.0
	循環器系のその他及び詳細不明の障害	5	0.2%	男	3	79.0	8.3
				女	2	44.5	7.5
X 呼吸器系の疾患							
	急性上気道感染症	43	5.2%	男	22	14.0	5.7
				女	21	7.8	3.4
	インフルエンザ及び肺炎	208	25.2%	男	119	58.6	11.6
				女	89	47.4	10.4
	その他の急性下気道感染症	149	18.1%	男	79	5.1	4.5
				女	70	2.8	4.4
	上気道のその他の疾患	133	16.1%	男	86	35.0	8.9
				女	47	37.4	8.0
	慢性下気道疾患	80	9.7%	男	47	26.2	6.4
				女	33	25.4	7.0
	外的因子による肺疾患	96	11.7%	男	55	73.8	16.8
				女	41	85.5	15.1

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
	主として間質を障害するその他の呼吸器疾患	47	5.7%	男	23	73.4	11.3
				女	24	71.3	13.6
	下気道の化膿性及び壊死性病態	17	2.1%	男	12	64.4	18.0
				女	5	63.6	25.8
	胸膜のその他の疾患	43	5.2%	男	36	56.5	11.1
				女	7	67.7	9.1
呼吸器系のその他の疾患	8	1.0%	男	5	74.4	7.0	
				女	3	72.0	13.0
X I 消化器系の疾患							
	口腔、唾液腺及び顎の疾患	80	6.7%	男	42	50.5	6.2
				女	38	51.6	5.8
	食道、胃及び十二指腸の疾患	78	6.6%	男	55	69.1	8.3
				女	23	72.0	11.3
	虫垂の疾患	57	4.8%	男	30	50.7	6.4
				女	27	41.9	6.9
	ヘルニア	152	12.8%	男	96	43.7	4.6
				女	56	34.0	4.7
	非感染性腸炎及び非感染性大腸炎	17	1.4%	男	15	41.3	15.8
				女	2	16.5	5.5
	腸その他の疾患	226	19.1%	男	123	62.8	12.4
				女	103	70.8	12.2
	腹膜の疾患	33	2.8%	男	20	62.8	23.6
				女	13	72.3	31.2
	肝疾患	42	3.5%	男	21	60.7	9.3
				女	21	66.0	20.5
	胆嚢、胆管及び膵の障害	374	31.5%	男	227	69.6	8.5
				女	147	72.2	7.1
	消化器系のその他の疾患	127	10.7%	男	68	68.5	6.7
				女	59	65.0	9.1
X II 皮膚及び皮下組織の疾患							
	皮膚及び皮下組織の感染症	47	51.1%	男	22	46.0	9.6
				女	25	55.9	11.5
	水疱症	1	1.1%	男			
				女	1	32.0	6.0
	皮膚炎及び湿疹	6	6.5%	男	4	11.3	6.3
				女	2	35.5	6.5
	丘疹落屑<鱗屑>性障害	1	1.1%	男			
				女	1	29.0	35.0
	蕁麻疹及び紅斑	7	7.6%	男	1	1.0	4.0
				女	6	2.8	3.8
	皮膚及び皮下組織放射線（非電離及び電離）に関する障害	2	2.2%	男	1	89.0	10.0
				女	1	73.0	33.0
	皮膚付属器の障害	4	4.3%	男	3	26.7	8.0
				女	1	1.0	3.0
	皮膚及び皮下組織のその他の障害	24	26.1%	男	10	32.1	26.5
				女	14	34.4	6.4
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患							
	感染性関節障害	8	1.0%	男	6	50.5	29.2
				女	2	67.5	24.0
	炎症性多発性関節障害	15	1.9%	男	3	79.3	14.0
				女	12	68.7	19.0
	関節症	46	5.8%	男	12	70.3	20.1
				女	34	70.4	16.7
	その他の関節障害	5	0.6%	男	1	18.0	3.0
				女	4	56.0	2.3
	全身性結合組織障害	73	9.2%	男	37	17.8	14.0
				女	36	24.5	21.8
	変形性脊柱障害	106	13.4%	男	26	68.2	7.2
				女	80	71.9	7.6
	脊椎障害	347	43.8%	男	247	67.1	9.6
				女	100	70.8	8.8
	その他の脊柱障害	126	15.9%	男	88	48.4	5.6
				女	38	52.4	3.6
	筋障害	10	1.3%	男	8	70.5	8.4
				女	2	82.5	15.0

退院患者数

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
	滑膜及び腱の障害	8	1.0%	男	5	69.8	17.4
				女	3	61.3	7.7
	その他の軟部組織障害	16	2.0%	男	11	53.5	37.1
				女	5	70.0	20.0
	骨の密度及び構造の障害	14	1.8%	男	6	58.8	8.0
				女	8	79.5	17.9
	その他の骨障害	15	1.9%	男	10	57.3	34.4
				女	5	77.0	27.4
筋骨格系及び結合組織のその他の障害	4	0.5%	男	2	72.5	23.5	
			女	2	86.5	12.0	
XIV 腎尿路生殖器系の疾患							
	糸球体疾患	75	9.7%	男	28	39.6	20.2
				女	47	42.0	11.1
	腎尿細管間質性疾患	167	21.5%	男	72	61.3	6.6
				女	95	56.8	6.9
	腎不全	128	16.5%	男	76	67.4	22.3
				女	52	65.5	27.1
	尿路結石症	46	5.9%	男	28	62.7	5.3
				女	18	68.1	6.4
	腎及び尿管のその他の障害	20	2.6%	男	11	79.5	4.2
				女	9	35.1	12.4
	尿路系のその他の疾患	59	7.6%	男	20	54.4	8.0
				女	39	71.4	11.7
	男性生殖器の疾患	109	14.1%	男	109	53.3	6.6
				女			
	乳房の障害	2	0.3%	男			
				女	2	30.0	3.0
	女性骨盤臓器の炎症性疾患	17	2.2%	男			
				女	17	53.1	13.0
	女性生殖器の非炎症性障害	150	19.4%	男			
				女	150	44.9	4.9
	腎尿路生殖器系のその他の障害	2	0.3%	男	1	88.0	6.0
				女	1	75.0	7.0
XV 妊娠、分娩及び産褥							
	流産に終わった妊娠	10	1.1%	男			
				女	10	35.2	4.4
	妊娠、分娩及び産褥における浮腫、蛋白尿及び高血圧性障害	35	3.8%	男			
				女	35	35.9	11.4
	主として妊娠に関連するその他の母体障害	49	5.3%	男			
				女	49	33.4	10.3
	胎児及び羊膜腔に関連する母体ケア並びに予想される分娩の諸問題	410	44.2%	男			
				女	410	33.1	15.1
	分娩の合併症	142	15.3%	男			
				女	142	33.3	7.4
	分娩	276	29.8%	男			
				女	276	32.2	5.8
	主として産褥に関連する合併症	1	0.1%	男			
				女	1	41.0	4.0
	その他の産科的病態、他に分類されないもの	4	0.4%	男			
				女	4	28.8	5.8
XVI 周産期に発生した病態							
	妊娠期間及び胎児発育に関連する障害	113	41.5%	男	55	0.0	40.8
				女	58	0.0	40.3
	周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害	84	30.9%	男	54	0.0	8.3
				女	30	0.0	9.8
	周産期に特異的な感染症	3	1.1%	男	3	0.0	17.7
				女			
	胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害	52	19.1%	男	29	0.0	4.3
				女	23	0.0	3.7
	胎児及び新生児に特異的な一過性の内分泌障害及び代謝障害	10	3.7%	男	4	0.0	3.8
				女	6	0.0	5.3
	胎児及び新生児の消化器系障害	2	0.7%	男			
				女	2	0.0	7.0
	胎児及び新生児の外皮及び体温調節に関連する病態	3	1.1%	男	3	0.0	4.0
				女			

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
	周産期に発生したその他の障害	5	1.8%	男	3	0.0	4.0
				女	2	0.0	10.0
XVII 先天奇形，変形及び染色体異常							
	神経系の先天奇形	5	3.6%	男	3	10.7	10.0
				女	2	8.5	8.5
	眼，耳，顔面及び頸部の先天奇形	14	10.2%	男	9	16.1	4.0
				女	5	17.6	3.6
	循環器系の先天奇形	25	18.2%	男	11	22.1	8.4
				女	14	12.9	9.1
	呼吸器系の先天奇形	1	0.7%	男			
				女	1	1.0	6.0
	唇裂及び口蓋裂	7	5.1%	男	3	0.7	14.0
				女	4	1.5	10.0
	消化器系のその他の先天奇形	28	20.4%	男	26	12.3	9.6
				女	2	33.5	4.0
	生殖器の先天奇形	22	16.1%	男	20	3.4	3.0
				女	2	31.0	6.5
	腎尿路系の先天奇形	3	2.2%	男	3	3.0	3.0
				女			
	筋骨格系の先天奇形及び変形	18	13.1%	男	5	0.2	8.4
				女	13	1.2	6.3
	その他の先天奇形	5	3.6%	男	4	3.8	12.8
				女	1	45.0	4.0
	染色体異常，他に分類されないもの	9	6.6%	男	1	1.0	4.0
				女	8	5.0	61.1
XVIII 症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの							
	循環器系及び呼吸器系に関する症状及び徴候	10	15.6%	男	6	63.5	8.0
				女	4	47.5	5.5
	消化器系及び腹部に関する症状及び徴候	2	3.1%	男			
				女	2	7.0	2.0
	神経系及び筋骨格系に関する症状及び徴候	1	1.6%	男	1	36.0	2.0
				女			
	認識，知覚，情緒状態及び行動に関する症状及び徴候	1	1.6%	男	1	87.0	13.0
				女			
	全身症状及び徴候	50	78.1%	男	28	7.4	3.4
				女	22	23.1	4.0
XIX 損傷，中毒及びその他の外因の影響							
	頭部損傷	211	19.5%	男	138	57.8	12.4
				女	73	64.3	15.0
	頸部損傷	81	7.5%	男	52	60.9	14.3
				女	29	74.0	13.0
	胸部<郭>損傷	71	6.5%	男	32	61.6	10.5
				女	39	71.9	11.9
	腹部，下背部，腰椎及び骨盤部の損傷	115	10.6%	男	72	50.8	10.7
				女	43	63.8	16.2
	肩及び上腕の損傷	54	5.0%	男	27	49.4	7.6
				女	27	56.7	10.2
	肘及び前腕の損傷	52	4.8%	男	31	40.3	10.2
				女	21	56.7	5.4
	手首及び手の損傷	30	2.8%	男	24	54.8	14.4
				女	6	31.5	13.5
	股関節部及び大腿の損傷	142	13.1%	男	36	72.8	16.1
				女	106	84.0	15.6
	膝及び下腿の損傷	75	6.9%	男	46	49.6	17.3
				女	29	53.2	12.5
	足首及び足の損傷	22	2.0%	男	14	47.3	12.2
				女	8	60.6	28.0
	多部位の損傷	19	1.8%	男	13	70.2	25.0
				女	6	40.8	5.3
	部位不明の体幹もしくは（四）肢の損傷または部位不明の損傷	8	0.7%	男	5	40.8	4.4
				女	3	27.3	5.3
	自然開口部からの異物侵入の作用	16	1.5%	男	6	10.5	2.5
				女	10	41.9	24.4
	熱傷及び腐食	17	1.6%	男	8	60.4	30.9
				女	9	42.0	5.1

退院患者数

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)	
	薬物、薬剤及び生物学的製剤による中毒	18	1.7%	男	7	46.7	2.4	
				女	11	58.8	3.3	
	薬用を主としない物質の毒作用	40	3.7%	男	9	45.0	3.3	
				女	31	44.5	6.5	
	外因のその他及び詳細不明の作用	16	1.5%	男	14	58.8	6.6	
				女	2	81.5	34.5	
	外傷の早期合併症	51	4.7%	男	1	12.0	2.0	
				女	50	69.1	14.8	
	外科的及び内科的ケアの合併症，他に分類されないもの	45	4.2%	男	45	75.1	16.8	
				女				
	損傷，中毒及びその他の外因による影響の続発・後遺症	1	0.1%	男				
				女	1	69.0	16.0	
	XX I 健康状態に影響をおよぼす要因及び保健サービスの利用							
		特定の処置及び保健ケアのための保健サービスの利用者	22	100.0%	男	11	46.6	5.8
女					11	51.7	10.5	
合計		13,610	100.0%	男	7,221	59.8	12.4	
				女	6,389	56.1	12.3	

(7) - 2 中分類別・性別退院患者数・平均年齢・在院日数の平均

令和元年度

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
I 感染症及び寄生虫症							
	腸管感染症	79	40.1%	男	34	14.6	4.8
				女	45	19.8	6.2
	結核	13	6.6%	男	8	64.3	16.0
				女	5	66.0	33.0
	その他の細菌性疾患	35	17.8%	男	16	70.6	27.1
				女	19	69.2	16.3
	主として性的伝播様式をとる感染症	1	0.5%	男			
				女	1	38.0	3.0
	中枢神経系のウイルス感染症	2	1.0%	男	2	2.0	13.0
				女			
	節足動物媒介ウイルス熱及びウイルス性出血熱	4	2.0%	男	2	76.5	12.0
				女	2	58.5	10.5
	皮膚及び粘膜病変を特徴とするウイルス感染症	24	12.2%	男	10	54.1	13.3
				女	14	55.2	13.8
	ウイルス性肝炎	5	2.5%	男	5	43.0	10.2
				女			
	その他のウイルス性疾患	26	13.2%	男	12	45.0	8.5
				女	14	35.4	9.5
	真菌症	7	3.6%	男	3	71.3	44.0
				女	4	53.8	6.8
	蠕虫症	1	0.5%	男			
				女	1	82.0	3.0
II 新生物<腫瘍>							
	口唇、口腔及び咽頭の悪性新生物<腫瘍>	81	2.0%	男	64	68.0	29.1
				女	17	70.1	25.5
	消化器の悪性新生物<腫瘍>	1,211	30.5%	男	844	70.1	14.0
				女	367	71.9	13.5
	呼吸器及び胸腔内臓器の悪性新生物<腫瘍>	545	13.7%	男	377	69.7	10.3
				女	168	69.5	9.8
	骨及び関節軟骨の悪性新生物<腫瘍>	11	0.3%	男	11	20.8	13.5
				女			
	皮膚の悪性新生物<腫瘍>	31	0.8%	男	23	69.6	9.8
				女	8	66.8	19.6
	中皮及び軟部組織の悪性新生物<腫瘍>	54	1.4%	男	23	67.5	13.2
				女	31	64.0	15.1
	乳房の悪性新生物<腫瘍>	152	3.8%	男	3	69.3	6.7
				女	149	58.4	8.8
	女性生殖器の悪性新生物<腫瘍>	257	6.5%	男			
				女	257	61.9	9.6
	男性生殖器の悪性新生物<腫瘍>	177	4.5%	男	177	71.6	6.6
				女			
	腎尿路の悪性新生物<腫瘍>	142	3.6%	男	109	73.0	11.1
				女	33	79.4	10.2
	眼、脳及び中枢神経系のその他の部位の悪性新生物<腫瘍>	4	0.1%	男	2	51.5	26.5
				女	2	63.0	5.0
	甲状腺及びその他の内分泌腺の悪性新生物<腫瘍>	35	0.9%	男	15	62.7	7.8
				女	20	64.2	6.5
	部位不明確、続発部位及び部位不明の悪性新生物<腫瘍>	182	4.6%	男	116	68.2	13.2
				女	66	70.4	10.7
	リンパ組織、造血組織及び関連組織の悪性新生物<腫瘍>	539	13.6%	男	283	64.1	27.2
				女	256	68.3	28.5
	上皮内新生物<腫瘍>	12	0.3%	男	1	74.0	14.0
				女	11	47.7	3.6
	良性新生物<腫瘍>	298	7.5%	男	86	59.9	6.9
				女	212	50.2	6.7
	性状不詳または不明の新生物<腫瘍>	234	5.9%	男	127	68.3	18.2
				女	107	67.6	12.0
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の傷害							
	栄養性貧血	2	2.0%	男	2	36.5	4.0
				女			

退院患者数

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
	溶血性貧血	5	4.9%	男	3	82.0	22.0
	女			2	78.0	17.0	
	無形成性貧血及びその他の貧血	16	15.7%	男	10	72.5	15.6
	女			6	62.8	95.7	
	凝固障害、紫斑病及びその他の出血性病態	58	56.9%	男	32	40.8	17.5
	女			26	27.8	13.5	
	血液及び造血器のその他の疾患	10	9.8%	男	4	42.5	18.3
	女			6	30.5	6.3	
	免疫機構の障害	11	10.8%	男	7	57.1	5.0
	女			4	58.8	16.3	
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患							
	甲状腺障害	64	30.3%	男	19	65.6	5.3
				女	45	49.0	6.9
	糖尿病	54	25.6%	男	33	66.5	10.5
				女	21	64.7	12.0
	その他のグルコース調節及び膵内分泌障害	2	0.9%	男	1	1.0	2.0
				女	1	87.0	5.0
	その他の内分泌腺障害	34	16.1%	男	11	70.7	14.4
				女	23	62.6	8.9
	栄養失調（症）	2	0.9%	男			
				女	2	40.0	31.0
	その他の栄養欠乏症	1	0.5%	男	1	57.0	4.0
				女			
	代謝障害	54	25.6%	男	32	65.7	12.1
				女	22	52.4	7.9
V 精神及び行動の障害							
	症状性を含む器質性精神障害	7	11.1%	男	5	73.8	59.2
				女	2	83.5	42.5
	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	6	9.5%	男	6	41.5	24.0
				女			
	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	9	14.3%	男	5	45.8	169.8
				女	4	47.3	111.8
	気分〔感情〕障害	10	15.9%	男	5	42.6	64.8
				女	5	53.8	49.2
	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	15	23.8%	男	6	28.7	29.2
				女	9	33.1	41.8
	生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	3	4.8%	男			
				女	3	25.7	93.0
	知的障害<精神遅滞>	3	4.8%	男	1	50.0	25.0
				女	2	15.0	88.5
	心理的発達の障害	3	4.8%	男	2	11.0	9.5
				女	1	14.0	116.0
	小児<児童>期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害	7	11.1%	男	6	11.3	91.5
				女	1	15.0	90.0
VI 神経系の疾患							
	中枢神経系の炎症性疾患	21	9.1%	男	13	43.2	13.3
				女	8	16.6	14.9
	主に中枢神経系を障害する系統萎縮症	18	7.8%	男	13	34.7	4.7
				女	5	43.0	7.4
	錐体外路障害及び異常行動	1	0.4%	男	1	76.0	12.0
				女			
	神経系のその他の変性疾患	3	1.3%	男	3	69.7	19.0
				女			
	中枢神経系の脱髄疾患	2	0.9%	男	1	58.0	27.0
				女	1	72.0	35.0
	挿間性及び発作性障害	116	50.2%	男	75	30.6	12.9
				女	41	31.0	7.7
	神経、神経根及び神経叢の障害	30	13.0%	男	15	68.1	6.6
				女	15	64.5	7.6
	多発（性）ニューロパチ<シ>-及びその他の末梢神経系の障害	4	1.7%	男	2	40.5	37.0
				女	2	67.5	7.5
	神経筋接合部及び筋の疾患	2	0.9%	男	2	31.5	19.5
				女			
	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	2	0.9%	男	2	2.0	7.5
				女			

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
	神経系のその他の障害	32	13.9%	男	19	52.5	17.6
				女	13	50.7	23.1
VII 眼及び付属器の疾患							
	眼瞼、涙器及び眼窩の障害	22	13.1%	男	12	33.7	4.7
				女	10	21.0	3.5
	結膜の障害	2	1.2%	男	2	73.5	6.0
				女			
	強膜、角膜、虹彩及び毛様体の障害	2	1.2%	男	2	74.5	30.0
				女			
	水晶体の障害	102	60.7%	男	64	74.3	6.0
				女	38	72.9	6.8
	脈絡膜及び網膜の障害	16	9.5%	男	4	57.3	26.8
				女	12	65.0	11.6
	緑内障	5	3.0%	男	1	67.0	2.0
				女	4	75.5	2.5
	硝子体及び眼球の障害	2	1.2%	男	2	56.0	21.5
				女			
	眼筋、眼球運動、調節及び屈折の障害	12	7.1%	男	6	9.0	3.0
				女	6	16.8	4.0
	眼及び付属器のその他の障害	5	3.0%	男			
				女	5	74.0	12.2
VIII 耳及び乳様突起の疾患							
	外耳疾患	1	1.3%	男	1	64.0	3.0
				女			
	中耳及び乳様突起の疾患	35	45.5%	男	13	33.7	6.2
				女	22	26.9	5.0
	内耳疾患	33	42.9%	男	10	60.1	5.4
				女	23	58.1	5.7
	耳のその他の障害	8	10.4%	男	4	53.0	10.3
				女	4	49.3	9.5
IX 循環器系の疾患							
	慢性リウマチ性心疾患	38	1.7%	男	18	70.8	35.4
				女	20	73.4	36.2
	高血圧性疾患	19	0.9%	男	10	69.6	11.0
				女	9	86.7	14.9
	虚血性心疾患	817	37.0%	男	617	69.8	5.3
				女	200	75.3	5.6
	肺性心疾患及び肺循環疾患	13	0.6%	男	8	70.5	19.0
				女	5	69.4	6.2
	その他の型の心疾患	558	25.2%	男	304	73.9	11.7
				女	254	77.3	13.5
	脳血管疾患	467	21.1%	男	263	70.8	17.9
				女	204	76.1	15.4
	動脈、細動脈及び毛細血管の疾患	261	11.8%	男	197	73.2	15.9
				女	64	75.1	17.3
	静脈、リンパ管及びリンパ節の疾患、他に分類されないもの	35	1.6%	男	21	58.4	8.9
				女	14	64.0	10.3
	循環器系のその他及び詳細不明の障害	3	0.1%	男	1	48.0	19.0
				女	2	33.0	5.0
X 呼吸器系の疾患							
	急性上気道感染症	51	6.5%	男	36	15.4	6.2
				女	15	13.7	8.3
	インフルエンザ及び肺炎	204	26.1%	男	127	51.6	11.2
				女	77	34.3	10.0
	その他の急性下気道感染症	152	19.5%	男	79	2.3	5.0
				女	73	4.0	4.9
	上気道のその他の疾患	115	14.7%	男	62	40.6	8.5
				女	53	40.4	8.6
	慢性下気道疾患	52	6.7%	男	30	33.0	7.7
				女	22	34.0	7.5
	外的因子による肺疾患	93	11.9%	男	65	74.2	19.5
				女	28	78.5	17.0
	主として間質を障害するその他の呼吸器疾患	45	5.8%	男	29	76.4	13.2
				女	16	67.8	13.8

退院患者数

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
	下気道の化膿性及び壊死性病態	13	1.7%	男	10	77.8	20.5
	女			3	71.0	17.7	
	胸膜のその他の疾患	46	5.9%	男	40	63.7	12.2
	女			6	60.2	18.5	
	呼吸器系のその他の疾患	10	1.3%	男	8	65.3	6.4
女	2			68.5	17.0		
X I 消化器系の疾患							
	口腔, 唾液腺及び顎の疾患	104	8.2%	男	54	52.7	4.8
				女	50	59.9	5.0
	食道, 胃及び十二指腸の疾患	73	5.8%	男	34	65.8	11.1
				女	39	65.6	10.6
	虫垂の疾患	66	5.2%	男	35	44.2	7.7
				女	31	40.0	5.7
	ヘルニア	149	11.8%	男	97	45.6	4.9
				女	52	28.0	4.6
	非感染性腸炎及び非感染性大腸炎	42	3.3%	男	24	25.8	9.4
				女	18	27.8	28.9
	腸のその他の疾患	237	18.8%	男	127	63.8	10.1
				女	110	67.3	9.6
	腹膜の疾患	30	2.4%	男	20	63.7	27.5
				女	10	74.1	29.2
	肝疾患	45	3.6%	男	25	61.0	14.6
				女	20	64.9	17.6
	胆嚢, 胆管及び膵の障害	393	31.1%	男	243	65.6	9.4
				女	150	71.2	8.5
	消化器系のその他の疾患	125	9.9%	男	77	66.0	7.8
				女	48	65.6	8.5
X II 皮膚及び皮下組織の疾患							
	皮膚及び皮下組織の感染症	51	55.4%	男	27	52.7	10.6
				女	24	52.0	12.8
	水疱症	1	1.1%	男			
				女	1	74.0	92.0
	皮膚炎及び湿疹	6	6.5%	男	2	33.5	5.0
				女	4	42.5	7.8
	丘疹落屑<鱗屑>性障害	1	1.1%	男			
				女	1	67.0	13.0
	蕁麻疹及び紅斑	8	8.7%	男	3	0.0	10.0
				女	5	10.8	5.2
	皮膚付属器の障害	4	4.3%	男	2	13.0	5.5
				女	2	19.0	6.0
	皮膚及び皮下組織のその他の障害	21	22.8%	男	12	49.8	21.8
				女	9	52.6	25.9
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患							
	感染性関節障害	4	0.4%	男	4	54.5	25.5
				女			
	炎症性多発性関節障害	8	0.9%	男	1	82.0	12.0
				女	7	74.4	8.1
	関節症	65	7.2%	男	17	68.5	16.3
				女	48	73.5	15.9
	その他の関節障害	8	0.9%	男			
				女	8	45.3	11.3
	全身性結合組織障害	55	6.1%	男	41	19.9	15.5
				女	14	25.8	40.0
	変形性脊柱障害	120	13.4%	男	39	62.0	7.3
				女	81	72.6	8.5
	脊椎障害	433	48.2%	男	295	68.3	10.0
				女	138	70.9	10.1
	その他の脊柱障害	135	15.0%	男	79	45.3	6.0
				女	56	42.2	4.1
	筋障害	10	1.1%	男	7	57.4	5.9
				女	3	59.0	23.3
	滑膜及び腱の障害	10	1.1%	男	5	38.2	2.6
				女	5	48.4	8.0
	その他の軟部組織障害	9	1.0%	男	7	59.3	19.4
				女	2	61.0	12.5

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
	骨の密度及び構造の障害	14	1.6%	男	4	74.0	20.0
				女	10	78.3	11.1
	その他の骨障害	18	2.0%	男	11	56.4	26.4
				女	7	53.0	75.6
	軟骨障害	2	0.2%	男	2	57.5	49.0
	筋骨格系及び結合組織のその他の障害	7	0.8%	男	2	64.0	7.0
				女	5	80.6	18.8
XIV 腎尿路生殖器系の疾患							
	糸球体疾患	72	8.9%	男	37	43.4	17.4
				女	35	44.1	12.3
	腎尿細管間質性疾患	137	17.0%	男	63	60.2	6.2
				女	74	65.5	6.4
	腎不全	137	17.0%	男	85	65.4	24.2
				女	52	66.3	34.8
	尿路結石症	77	9.5%	男	47	59.6	6.0
				女	30	62.4	6.4
	腎及び尿管のその他の障害	14	1.7%	男	14	84.9	3.4
				女			
	尿路系のその他の疾患	61	7.5%	男	21	67.6	9.2
				女	40	66.8	12.7
	男性生殖器の疾患	168	20.8%	男	168	63.5	6.5
				女			
	乳房の障害	2	0.2%	男	1	85.0	7.0
				女	1	80.0	12.0
	女性骨盤臓器の炎症性疾患	11	1.4%	男			
				女	11	36.1	5.6
	女性生殖器の非炎症性障害	125	15.5%	男			
				女	125	42.4	4.8
	腎尿路生殖器系のその他の障害	4	0.5%	男	3	64.3	9.3
				女	1	66.0	6.0
XV 妊娠、分娩及び産褥							
	流産に終わった妊娠	10	1.2%	男			
				女	10	33.1	4.0
	妊娠、分娩及び産褥における浮腫、蛋白尿及び高血圧性障害	25	3.0%	男			
				女	25	33.5	8.9
	主として妊娠に関連するその他の母体障害	30	3.6%	男			
				女	30	32.8	9.6
	胎児及び羊膜腔に関連する母体ケア並びに予想される分娩の諸問題	354	41.9%	男			
				女	354	33.6	13.2
	分娩の合併症	154	18.2%	男			
				女	154	33.1	9.7
	分娩	260	30.8%	男			
				女	260	32.8	5.7
	主として産褥に関連する合併症	11	1.3%	男			
				女	11	29.6	5.7
XVI 周産期に発生した病態							
	妊娠期間及び胎児発育に関連する障害	110	34.3%	男	59	0.0	39.5
				女	51	0.0	48.3
	周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害	110	34.3%	男	59	0.0	10.2
				女	51	0.0	9.3
	周産期に特異的な感染症	4	1.2%	男	2	0.0	13.0
				女	2	0.0	21.5
	胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害	65	20.2%	男	33	0.0	5.3
				女	32	0.0	5.3
	胎児及び新生児に特異的な一過性の内分泌障害及び代謝障害	8	2.5%	男	5	0.0	8.2
				女	3	0.0	4.7
	胎児及び新生児の外皮及び体温調節に関連する病態	5	1.6%	男	3	0.0	2.7
				女	2	0.0	3.5
	周産期に発生したその他の障害	19	5.9%	男	7	0.0	21.9
				女	12	0.0	7.6
XVII 先天奇形、変形及び染色体異常							
	神経系の先天奇形	7	6.6%	男	3	11.0	14.3
				女	4	8.0	17.3

退院患者数

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
	眼, 耳, 顔面及び頸部の先天奇形	9	8.5%	男	2	5.5	4.5
				女	7	11.9	2.9
	循環器系の先天奇形	20	18.9%	男	8	10.9	7.3
				女	12	45.4	16.0
	呼吸器系の先天奇形	1	0.9%	男	1	0.0	16.0
				女			
	唇裂及び口蓋裂	3	2.8%	男			
				女	3	4.3	7.7
	消化器系のその他の先天奇形	13	12.3%	男	4	1.0	8.3
				女	9	37.6	9.8
	生殖器の先天奇形	27	25.5%	男	27	3.4	4.9
				女			
腎尿路系の先天奇形	1	0.9%	男				
			女	1	0.0	26.0	
筋骨格系の先天奇形及び変形	13	12.3%	男	5	0.6	3.2	
			女	8	3.0	14.0	
その他の先天奇形	7	6.6%	男	5	16.0	35.0	
			女	2	2.0	18.5	
染色体異常, 他に分類されないもの	5	4.7%	男	1	5.0	6.0	
			女	4	2.3	63.8	

XVIII 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの

循環器系及び呼吸器系に関する症状及び徴候	11	15.7%	男	4	37.8	5.0
			女	7	61.0	3.7
消化器系及び腹部に関する症状及び徴候	4	5.7%	男			
			女	4	34.3	5.0
神経系及び筋骨格系に関する症状及び徴候	1	1.4%	男			
			女	1	12.0	1.0
腎尿路系に関する症状及び徴候	5	7.1%	男	4	77.3	7.5
			女	1	92.0	9.0
認識, 知覚, 情緒状態及び行動に関する症状及び徴候	3	4.3%	男	2	48.0	2.0
			女	1	7.0	2.0
全身症状及び徴候	44	62.9%	男	19	8.3	3.8
			女	25	11.8	3.6
血液検査の異常所見, 診断名の記載がないもの	1	1.4%	男	1	0.0	3.0
			女			
画像診断及び機能検査における異常所見, 診断名の記載がないもの	1	1.4%	男			
			女	1	93.0	6.0

XIX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響

頭部損傷	147	15.2%	男	97	60.6	13.0
			女	50	72.4	12.8
頸部損傷	61	6.3%	男	44	66.4	16.8
			女	17	68.8	14.5
胸部<郭>損傷	61	6.3%	男	29	65.3	11.1
			女	32	68.6	15.2
腹部, 下背部, 腰椎及び骨盤部の損傷	123	12.8%	男	76	57.5	14.4
			女	47	69.6	17.1
肩及び上腕の損傷	48	5.0%	男	28	41.9	8.7
			女	20	65.6	15.8
肘及び前腕の損傷	59	6.1%	男	28	41.2	7.5
			女	31	62.6	6.3
手首及び手の損傷	28	2.9%	男	27	48.3	10.8
			女	1	66.0	9.0
股関節部及び大腿の損傷	124	12.9%	男	38	69.1	18.5
			女	86	81.0	13.3
膝及び下腿の損傷	87	9.0%	男	48	50.7	21.5
			女	39	65.3	18.0
足首及び足の損傷	19	2.0%	男	13	54.2	9.5
			女	6	59.2	9.7
多部位の損傷	14	1.5%	男	11	57.5	38.5
			女	3	79.7	30.0
部位不明の体幹もしくは(四)肢の損傷または部位不明の損傷	6	0.6%	男	3	20.3	11.7
			女	3	45.3	3.7
自然開口部からの異物侵入の作用	17	1.8%	男	6	40.8	2.3
			女	11	71.2	9.6
熱傷及び腐食	13	1.3%	男	7	33.3	20.7
			女	6	41.3	16.3

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
	薬物、薬剤及び生物学的製剤による中毒	18	1.9%	男	5	49.2	2.8
				女	13	53.5	3.8
	薬用を主としない物質の毒作用	22	2.3%	男	13	57.2	4.7
				女	9	57.8	4.7
	外因のその他及び詳細不明の作用	35	3.6%	男	19	41.2	2.7
				女	16	42.1	3.8
	外傷の早期合併症	3	0.3%	男	3	65.3	4.0
				女			
	外科的及び内科的ケアの合併症、他に分類されないもの	79	8.2%	男	42	66.9	17.1
				女	37	70.2	13.5
XX 傷病及び死亡の外因							
	患者の異常反応または後発合併症を生じた外科的及びその他の医学的処置で、処置時には事故の記載がないもの	1	100.0%	男	1	70.0	14.0
				女			
XX I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用							
	特定の処置及び保健ケアのための保健サービスの利用者	34	100.0%	男	20	54.1	10.4
				女	14	52.1	9.1
合計		13,408	100.0%	男	7,283	60.8	12.5
				女	6,125	55.9	12.2

(7) - 3 中分類別・性別退院患者数・平均年齢・在院日数の平均

令和2年度

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
I	感染症及び寄生虫症						
	腸管感染症	49	36.3%	男	22	36.5	6.6
				女	27	36.3	7.2
	結核	1	0.7%	男	1	81.0	2.0
				女			
	その他の細菌性疾患	34	25.2%	男	16	70.4	32.5
				女	18	77.3	16.7
	主として性的伝播様式をとる感染症	1	0.7%	男			
				女	1	26.0	6.0
	リケッチア症	1	0.7%	男	1	26.0	14.0
				女			
	中枢神経系のウイルス感染症	9	6.7%	男	3	41.3	16.7
				女	6	43.7	6.5
	節足動物媒介ウイルス熱及びウイルス性出血熱	3	2.2%	男	2	72.0	13.0
				女	1	67.0	17.0
	皮膚及び粘膜病変を特徴とするウイルス感染症	15	11.1%	男	6	53.0	11.8
女				9	45.9	10.8	
ウイルス性肝炎	1	0.7%	男				
			女	1	90.0	13.0	
ヒト免疫不全ウイルス [HIV] 病	1	0.7%	男	1	48.0	75.0	
			女				
その他のウイルス性疾患	16	11.9%	男	7	21.7	9.4	
			女	9	30.1	7.7	
真菌症	2	1.5%	男	2	52.0	2.0	
			女				
原虫疾患	2	1.5%	男				
			女	2	79.0	29.5	
II	新生物<腫瘍>						
	口唇、口腔及び咽頭の悪性新生物<腫瘍>	87	2.5%	男	73	67.8	20.7
				女	14	70.7	21.0
	消化器の悪性新生物<腫瘍>	989	28.5%	男	654	70.1	15.8
				女	335	73.4	16.6
	呼吸器及び胸腔内臓器の悪性新生物<腫瘍>	396	11.4%	男	257	68.5	9.6
				女	139	68.0	9.8
	骨及び関節軟骨の悪性新生物<腫瘍>	4	0.1%	男	3	63.0	17.7
				女	1	94.0	21.0
	皮膚の悪性新生物<腫瘍>	18	0.5%	男	14	77.1	11.3
				女	4	70.5	10.5
	中皮及び軟部組織の悪性新生物<腫瘍>	42	1.2%	男	16	58.6	19.6
				女	26	60.8	12.7
	乳房の悪性新生物<腫瘍>	140	4.0%	男	1	72.0	9.0
				女	139	61.8	8.6
	女性生殖器の悪性新生物<腫瘍>	196	5.6%	男			
				女	196	61.6	8.0
	男性生殖器の悪性新生物<腫瘍>	140	4.0%	男	140	70.9	8.9
				女			
	腎尿路の悪性新生物<腫瘍>	142	4.1%	男	120	71.0	13.3
				女	22	75.9	14.7
	眼、脳及び中枢神経系のその他の部位の悪性新生物<腫瘍>	5	0.1%	男	2	42.5	7.0
				女	3	13.7	32.7
	甲状腺及びその他の内分泌腺の悪性新生物<腫瘍>	43	1.2%	男	14	60.1	8.2
				女	29	63.7	6.8
	部位不明確、続発部位及び部位不明の悪性新生物<腫瘍>	164	4.7%	男	92	68.7	11.8
				女	72	67.9	12.7
	リンパ組織、造血組織及び関連組織の悪性新生物<腫瘍>	597	17.2%	男	366	66.3	27.5
				女	231	68.4	26.2
	上皮内新生物<腫瘍>	19	0.5%	男	2	78.0	8.0
				女	17	45.9	4.2
	良性新生物<腫瘍>	231	6.7%	男	58	61.1	7.5
女				173	50.6	7.2	
性状不詳または不明の新生物<腫瘍>	258	7.4%	男	140	68.7	13.6	
			女	118	67.2	8.8	

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の傷害							
	栄養性貧血	5	7.4%	男	2	58.5	13.0
				女	3	76.3	6.7
	溶血性貧血	4	5.9%	男	3	85.0	17.3
				女	1	76.0	74.0
	無形成性貧血及びその他の貧血	12	17.6%	男	11	80.5	9.6
				女	1	72.0	130.0
	凝固障害、紫斑病及びその他の出血性病態	35	51.5%	男	14	36.9	17.4
				女	21	29.9	17.1
	血液及び造血器のその他の疾患	9	13.2%	男	3	54.3	21.3
				女	6	40.8	11.3
	免疫機構の障害	3	4.4%	男	2	50.5	41.5
				女	1	84.0	16.0
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患							
	甲状腺障害	72	35.1%	男	22	58.0	5.0
				女	50	60.5	5.7
	糖尿病	47	22.9%	男	30	58.3	12.1
				女	17	64.9	11.4
	その他のグルコース調節及び膵内分泌障害	3	1.5%	男	2	27.0	2.5
				女	1	65.0	2.0
	その他の内分泌腺障害	37	18.0%	男	8	67.8	7.1
				女	29	53.5	4.6
	栄養失調(症)	4	2.0%	男	3	29.0	4.3
				女	1	0.0	5.0
	その他の栄養欠乏症	2	1.0%	男	1	65.0	15.0
				女	1	49.0	22.0
	肥満(症)及びその他の過栄養<過剰摂食>	2	1.0%	男	1	39.0	43.0
				女	1	46.0	29.0
	代謝障害	38	18.5%	男	17	72.9	9.9
				女	21	65.5	9.7
V 精神及び行動の障害							
	症状性を含む器質性精神障害	3	2.9%	男	1	71.0	90.0
				女	2	72.5	50.5
	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	6	5.9%	男	4	65.5	53.3
				女	2	30.5	28.0
	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	20	19.6%	男	10	46.8	62.5
				女	10	49.9	81.2
	気分[感情]障害	27	26.5%	男	9	57.8	46.3
				女	18	42.3	55.2
	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	22	21.6%	男	6	26.0	46.8
				女	16	23.8	41.0
	生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	4	3.9%	男	4	13.0	57.8
				女	0		
	成人の人格及び行動の障害	1	1.0%	男	1	22.0	54.0
				女	0		
	知的障害<精神遅滞>	3	2.9%	男	2	15.5	43.5
				女	1	15.0	31.0
	心理的発達の障害	7	6.9%	男	5	13.4	57.8
				女	2	14.5	34.0
	小児<児童>期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害	9	8.8%	男	9	10.3	48.4
				女	0		
VI 神経系の疾患							
	中枢神経系の炎症性疾患	10	5.5%	男	8	51.9	36.4
				女	2	40.0	31.0
	主に中枢神経系を障害する系統萎縮症	15	8.3%	男	8	40.0	6.0
				女	7	64.6	8.6
	錐体外路障害及び異常行動	4	2.2%	男	4	52.8	22.0
				女	0		
	中枢神経系の脱髄疾患	1	0.6%	男	1	55.0	4.0
				女	0		
	挿間性及び発作性障害	98	54.1%	男	66	33.1	8.6
				女	32	44.4	8.5
	神経、神経根及び神経叢の障害	19	10.5%	男	9	54.1	7.9
				女	10	73.5	11.1

退院患者数

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
	多発（性）ニューロパチ<シ>-及びその他の末梢神経系の障害	8	4.4%	男	5	71.0	8.2
	女			3	55.7	7.3	
	神経筋接合部及び筋の疾患	2	1.1%	男	2	35.5	2.0
	女						
脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	2	1.1%	男	2	0.0	9.0	
	神経系のその他の障害	22	12.2%	男	10	44.5	11.2
				女	12	42.2	14.9
VII 眼及び付属器の疾患							
	眼瞼、涙器及び眼窩の障害	16	14.0%	男	7	23.7	5.4
				女	9	8.2	3.0
	結膜の障害	3	2.6%	男	2	80.5	6.0
				女	1	58.0	4.0
	強膜、角膜、虹彩及び毛様体の障害	2	1.8%	男	1	80.0	26.0
				女	1	71.0	3.0
	水晶体の障害	60	52.6%	男	35	70.5	5.0
				女	25	79.9	6.6
	脈絡膜及び網膜の障害	3	2.6%	男	2	75.5	9.5
				女	1	63.0	3.0
	緑内障	1	0.9%	男			
				女	1	65.0	16.0
	硝子体及び眼球の障害	1	0.9%	男			
				女	1	81.0	24.0
	視神経及び視（覚）路の障害	1	0.9%	男	1	67.0	6.0
				女			
	眼筋、眼球運動、調節及び屈折の障害	25	21.9%	男	11	7.7	3.0
				女	14	8.6	2.9
	眼及び付属器のその他の障害	2	1.8%	男	1	23.0	3.0
				女	1	88.0	22.0
VIII 耳及び乳様突起の疾患							
	外耳疾患	1	1.9%	男	1	61.0	11.0
				女			
	中耳及び乳様突起の疾患	21	38.9%	男	14	30.1	5.1
				女	7	31.0	4.7
	内耳疾患	27	50.0%	男	4	76.3	7.3
				女	23	64.2	6.0
	耳のその他の障害	5	9.3%	男	2	79.5	12.5
				女	3	72.0	9.3
IX 循環器系の疾患							
	慢性リウマチ性心疾患	32	1.9%	男	11	72.8	19.7
				女	21	78.7	26.9
	高血圧性疾患	7	0.4%	男	5	72.2	10.6
				女	2	80.5	8.0
	虚血性心疾患	585	33.9%	男	461	71.1	5.4
				女	124	77.0	5.4
	肺性心疾患及び肺循環疾患	6	0.3%	男	3	79.7	16.7
				女	3	77.7	22.3
	その他の型の心疾患	455	26.4%	男	228	73.6	15.4
				女	227	80.3	11.5
	脳血管疾患	346	20.1%	男	189	70.6	15.9
				女	157	76.3	20.7
	動脈、細動脈及び毛細血管の疾患	271	15.7%	男	188	74.1	15.4
				女	83	77.0	16.2
	静脈、リンパ管及びリンパ節の疾患、他に分類されないもの	20	1.2%	男	10	55.5	7.3
				女	10	66.3	8.2
	循環器系のその他及び詳細不明の障害	3	0.2%	男	1	65.0	13.0
				女	2	56.0	3.0
X 呼吸器系の疾患							
	急性上気道感染症	29	6.4%	男	19	11.1	3.6
				女	10	17.4	4.9
	インフルエンザ及び肺炎	93	20.4%	男	65	69.6	14.5
				女	28	68.0	10.9
	その他の急性下気道感染症	40	8.8%	男	24	1.9	4.1
				女	16	2.1	4.1

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
	上気道のその他の疾患	76	16.7%	男	47	45.6	7.9
				女	29	48.2	8.1
	慢性下気道疾患	36	7.9%	男	17	26.1	5.8
				女	19	26.8	6.4
	外的因子による肺疾患	87	19.1%	男	59	76.6	24.5
				女	28	80.2	17.7
	主として間質を障害するその他の呼吸器疾患	43	9.5%	男	30	75.5	10.8
				女	13	69.0	17.1
	下気道の化膿性及び壊死性病態	10	2.2%	男	8	70.9	20.4
				女	2	81.0	26.5
	胸膜のその他の疾患	30	6.6%	男	21	49.9	9.9
				女	9	67.1	15.2
	呼吸器系のその他の疾患	11	2.4%	男	7	60.0	20.3
				女	4	75.0	9.3
X I 消化器系の疾患							
	口腔, 唾液腺及び顎の疾患	90	8.0%	男	37	54.1	6.5
				女	53	61.9	6.9
	食道, 胃及び十二指腸の疾患	73	6.5%	男	38	67.6	8.7
				女	35	71.1	8.3
	虫垂の疾患	49	4.3%	男	25	47.5	7.5
				女	24	46.3	9.0
	ヘルニア	121	10.7%	男	70	46.7	4.8
				女	51	33.2	5.5
	非感染性腸炎及び非感染性大腸炎	22	1.9%	男	14	44.4	7.4
				女	8	16.9	6.6
	腸のその他の疾患	223	19.8%	男	127	67.5	12.6
				女	96	67.1	12.6
	腹膜の疾患	20	1.8%	男	11	70.0	25.9
				女	9	86.2	18.4
	肝疾患	29	2.6%	男	20	68.0	20.3
				女	9	63.1	12.0
	胆嚢, 胆管及び膵の障害	387	34.3%	男	230	69.0	9.2
				女	157	71.8	8.9
	消化器系のその他の疾患	115	10.2%	男	83	72.2	7.9
				女	32	61.8	8.5
X II 皮膚及び皮下組織の疾患							
	皮膚及び皮下組織の感染症	53	53.5%	男	27	47.0	16.2
				女	26	54.0	10.9
	水疱症	4	4.0%	男	2	77.0	15.0
				女	2	88.0	14.5
	皮膚炎及び湿疹	2	2.0%	男	2	45.5	8.0
				女			
	蕁麻疹及び紅斑	3	3.0%	男	1	76.0	15.0
				女	2	20.0	5.5
	皮膚及び皮下組織放射線（非電離及び電離）に関する障害	2	2.0%	男	1	79.0	11.0
				女	1	70.0	38.0
	皮膚付属器の障害	7	7.1%	男	4	34.5	6.5
				女	3	42.0	5.3
	皮膚及び皮下組織のその他の障害	28	28.3%	男	16	53.1	20.7
				女	12	63.3	30.3
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患							
	感染性関節障害	7	1.0%	男	5	53.2	12.2
				女	2	87.5	23.0
	炎症性多発性関節障害	8	1.1%	男	2	79.0	4.5
				女	6	87.5	12.5
	関節症	54	7.6%	男	15	72.9	18.2
				女	39	76.2	17.0
	その他の関節障害	10	1.4%	男	8	47.9	10.6
				女	2	14.5	13.0
	全身性結合組織障害	35	4.9%	男	15	37.0	32.1
				女	20	45.3	18.5
	変形性脊柱障害	88	12.4%	男	30	66.4	9.9
				女	58	71.8	12.9
	脊椎障害	359	50.6%	男	236	68.8	14.1
				女	123	71.7	14.1

退院患者数

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
	その他の脊柱障害	100	14.1%	男	58	49.8	7.9
				女	42	43.9	7.7
	筋障害	5	0.7%	男	2	88.0	8.5
				女	3	80.7	26.7
	滑膜及び腱の障害	7	1.0%	男			
				女	7	70.9	5.7
	その他の軟部組織障害	5	0.7%	男	3	78.3	18.3
				女	2	57.5	14.0
	骨の密度及び構造の障害	7	1.0%	男	4	57.5	16.5
				女	3	77.7	31.0
	その他の骨障害	20	2.8%	男	8	73.6	42.5
				女	12	53.4	15.7
軟骨障害	1	0.1%	男	1	59.0	15.0	
			女				
筋骨格系及び結合組織のその他の障害	4	0.6%	男	3	67.0	27.0	
			女	1	95.0	31.0	
XIV 腎尿路生殖器系の疾患							
糸球体疾患	72	10.5%	男	30	45.9	16.0	
			女	42	45.4	11.2	
腎尿細管間質性疾患	138	20.2%	男	54	58.1	7.6	
			女	84	63.7	7.0	
腎不全	125	18.3%	男	87	64.7	16.8	
			女	38	70.6	19.9	
尿路結石症	38	5.6%	男	21	65.2	5.7	
			女	17	73.5	6.5	
腎及び尿管のその他の障害	6	0.9%	男	5	67.2	5.8	
			女	1	48.0	5.0	
尿路系のその他の疾患	54	7.9%	男	24	55.6	11.9	
			女	30	66.5	11.5	
男性生殖器の疾患	134	19.6%	男	134	61.5	5.9	
			女				
女性骨盤臓器の炎症性疾患	7	1.0%	男				
			女	7	49.1	8.9	
女性生殖器の非炎症性障害	109	16.0%	男				
			女	109	43.4	4.8	
XV 妊娠、分娩及び産褥							
流産に終わった妊娠	12	1.6%	男				
			女	12	34.3	3.0	
妊娠、分娩及び産褥における浮腫、蛋白尿及び高血圧性障害	33	4.5%	男				
			女	33	35.6	13.5	
主として妊娠に関連するその他の母体障害	44	6.0%	男				
			女	44	34.2	9.0	
胎児及び羊膜腔に関連する母体ケア並びに予想される分娩の諸問題	248	33.6%	男				
			女	248	34.2	8.2	
分娩の合併症	204	27.6%	男				
			女	204	32.1	15.7	
分娩	190	25.7%	男				
			女	190	32.1	5.7	
主として産褥に関連する合併症	3	0.4%	男				
			女	3	30.0	3.7	
その他の産科的病態、他に分類されないもの	5	0.7%	男				
			女	5	33.2	7.8	
XVI 周産期に発生した病態							
妊娠期間及び胎児発育に関連する障害	100	34.6%	男	58	0.0	39.7	
			女	42	0.0	35.1	
周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害	103	35.6%	男	59	0.0	7.2	
			女	44	0.0	7.0	
胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害	61	21.1%	男	29	0.0	5.5	
			女	32	0.0	4.9	
胎児及び新生児に特異的な一過性の内分泌障害及び代謝障害	13	4.5%	男	5	0.0	9.6	
			女	8	0.0	5.0	
胎児及び新生児の外皮及び体温調節に関連する病態	2	0.7%	男	1	0.0	3.0	
			女	1	0.0	3.0	
周産期に発生したその他の障害	10	3.5%	男	4	0.0	10.5	
			女	6	0.0	4.7	

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常							
	神経系の先天奇形	3	3.1%	男 女	2 1	5.0 11.0	11.5 6.0
	眼, 耳, 顔面及び頸部の先天奇形	5	5.2%	男 女	2 3	5.5 32.0	3.0 4.7
	循環器系の先天奇形	16	16.7%	男 女	10 6	17.6 38.0	9.8 9.0
	唇裂及び口蓋裂	5	5.2%	男 女	5	0.0	4.2
	消化器系のその他の先天奇形	15	15.6%	男 女	7 8	0.0 20.6	29.6 21.9
	生殖器の先天奇形	31	32.3%	男 女	28 3	2.3 15.0	4.8 6.7
	腎尿路系の先天奇形	2	2.1%	男 女	2	26.0	8.5
	筋骨格系の先天奇形及び変形	5	5.2%	男 女	3 2	4.0 0.0	8.0 4.5
	その他の先天奇形	7	7.3%	男 女	4 3	2.8 22.7	5.3 87.0
	染色体異常, 他に分類されないもの	7	7.3%	男 女	5 2	2.2 0.0	21.2 34.5
X VIII 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの							
	循環器系及び呼吸器系に関する症状及び徴候	9	23.7%	男 女	5 4	70.6 80.3	7.4 4.0
	消化器系及び腹部に関する症状及び徴候	3	7.9%	男 女	2 1	10.0 17.0	3.5 4.0
	皮膚及び皮下組織に関する症状及び徴候	2	5.3%	男 女	2	24.5	2.5
	神経系及び筋骨格系に関する症状及び徴候	1	2.6%	男 女	1	81.0	2.0
	腎尿路系に関する症状及び徴候	1	2.6%	男 女			
	全身症状及び徴候	21	55.3%	男 女	12 9	11.6 10.9	3.4 6.6
	血液検査の異常所見, 診断名の記載がないもの	1	2.6%	男 女			
					1	58.0	6.0
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響							
	頭部損傷	104	12.7%	男 女	66 38	64.9 66.8	12.1 11.1
	頸部損傷	44	5.4%	男 女	34 10	67.4 69.9	17.1 18.6
	胸部<郭>損傷	44	5.4%	男 女	22 22	63.4 73.0	12.8 16.0
	腹部, 下背部, 腰椎及び骨盤部の損傷	92	11.2%	男 女	46 46	57.4 68.6	14.5 16.8
	肩及び上腕の損傷	67	8.2%	男 女	42 25	47.9 67.4	7.3 9.8
	肘及び前腕の損傷	58	7.1%	男 女	29 29	42.7 60.1	9.1 8.2
	手首及び手の損傷	18	2.2%	男 女	14 4	52.7 74.5	7.1 8.8
	股関節部及び大腿の損傷	117	14.3%	男 女	33 84	70.9 82.8	13.6 13.9
	膝及び下腿の損傷	69	8.4%	男 女	35 34	48.5 51.1	14.8 14.4
	足首及び足の損傷	20	2.4%	男 女	14 6	37.9 71.0	10.3 13.2
	多部位の損傷	22	2.7%	男 女	13 9	59.6 71.0	23.9 18.0
	部位不明の体幹もしくは(四)肢の損傷または部位不明の損傷	2	0.2%	男 女	2	35.5	23.0
	自然開口部からの異物侵入の作用	18	2.2%	男 女	11 7	32.5 37.6	3.4 3.9
	熱傷及び腐食	11	1.3%	男 女	8 3	66.4 25.3	31.3 11.0

退院患者数

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
	薬物、薬剤及び生物学的製剤による中毒	10	1.2%	男	4	38.5	2.0
				女	6	32.5	2.0
	薬用を主としない物質の毒作用	9	1.1%	男	7	59.1	2.3
				女	2	52.5	28.5
	外因のその他及び詳細不明の作用	31	3.8%	男	16	35.0	3.2
				女	15	62.6	4.3
	外傷の早期合併症	3	0.4%	男	1	87.0	8.0
				女	2	60.0	3.5
	外科的及び内科的ケアの合併症，他に分類されないもの	81	9.9%	男	42	65.3	13.1
				女	39	68.8	13.4
XX I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用							
	特定の処置及び保健ケアのための保健サービスの利用者	25	100.0%	男	10	44.8	8.3
				女	15	54.1	9.7
XX II その他							
	原因不明の新たな疾患又はエマージェンシーコードの暫定分類	246	100.0%	男	134	53.9	11.0
				女	112	59.6	10.2
合計		11,384	100.0%	男	6,048	61.9	13.3
				女	5,336	58.0	12.3

(8) 小分類・手術の有無・年齢階層別退院患者数・平均年齢・在院日数の平均

令和2年度

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
A020	サルモネラ胃腸炎	無	2	34.5	9.0	1							1	
A020	サルモネラ腸炎	無	1	1.0	5.0	1								
A045	カンピロバクター腸炎	無	2	47.0	12.0					1			1	
A046	エルシニア腸炎	無	1	1.0	11.0	1								
A047	偽膜性腸炎	有	1	92.0	14.0									1
A049	細菌性腸炎	有	2	29.5	4.5	1					1			
A049	細菌性腸炎	無	2	23.0	7.0		1				1			
A080	ロタウイルス性胃腸炎	無	2	4.0	8.5	1		1						
A082	アデノウイルス腸炎	無	1	1.0	4.0	1								
A083	サイトメガロウイルス腸炎	有	1	68.0	29.0								1	
A083	サイトメガロウイルス腸炎	無	1	88.0	16.0									1
A084	ウイルス性胃腸炎	無	3	4.3	4.7	1	1	1						
A084	ウイルス性腸炎	無	2	2.5	3.5	1	1							
A090	感染性胃腸炎	無	8	21.5	5.5	1	1	1	3	1			1	
A090	感染性腸炎	無	5	61.2	6.2					1	1	1	2	
A090	感染性腸炎の疑い	無	1	91.0	2.0									1
A099	炎症性腸疾患の疑い	無	1	5.0	5.0		1							
A099	回腸炎	無	4	39.0	5.8			1		1	2			
A099	急性胃腸炎	無	4	42.3	5.3		1			1	1	1		
A099	急性腸炎	無	5	67.6	6.2						3	1	1	
A150	肺結核・鏡検確認あり	無	1	81.0	2.0									1
A310	肺非結核性抗酸菌症	無	2	74.5	5.0								2	
A310	肺非結核性抗酸菌症の疑い	無	3	57.3	2.0						2	1		
A35	破傷風	無	1	26.0	13.0					1				
A400	A群連鎖球菌敗血症	無	1	77.0	9.0								1	
A408	C群連鎖球菌敗血症	有	1	76.0	105.0								1	
A410	黄色ぶどう球菌敗血症	有	1	72.0	8.0								1	
A410	黄色ぶどう球菌敗血症	無	1	80.0	23.0									1
A412	ぶどう球菌性敗血症	有	1	83.0	2.0									1
A415	グラム陰性桿菌敗血症	有	4	74.8	49.0								3	1
A415	グラム陰性桿菌敗血症の疑い	無	1	71.0	18.0								1	
A419	敗血症	無	2	88.5	22.5									2
A419	敗血症性ショック	有	1	90.0	2.0									1
A419	敗血症性ショック	無	4	80.0	10.3								2	2
A46	顔面丹毒	無	1	88.0	6.0									1
A480	下肢ガス壊疽	有	1	58.0	98.0							1		
A480	下腿ガス壊疽	有	1	46.0	50.0							1		
A481	レジオネラ肺炎	無	1	68.0	28.0								1	
A490	MR C N S 感染症	無	1	86.0	17.0									1
A491	連鎖球菌菌血症	無	1	90.0	16.0									1
A498	緑膿菌感染症	無	1	79.0	40.0								1	
A499	グラム陰性菌感染症	無	1	94.0	38.0									1
A499	菌血症	無	3	72.7	16.3								3	
A600	性器ヘルペス	無	1	26.0	6.0					1				
A778a	日本紅斑熱	無	1	26.0	14.0					1				
A879	ウイルス性髄膜炎	無	7	41.1	11.7				2	3			2	
A879	ウイルス性髄膜炎の疑い	無	2	49.0	3.5					1			1	
A938	重症熱性血小板減少症候群	無	3	70.3	14.3								2	1
B002	ヘルペス口内炎	無	1	2.0	7.0	1								
B004	ヘルペス脳炎	無	1	67.0	35.0								1	
B019	水痘	無	1	67.0	24.0								1	
B021	帯状疱疹性髄膜炎	無	1	16.0	14.0			1						
B022	三叉神経帯状疱疹	無	3	56.3	6.7					1			2	
B023	眼部帯状疱疹	無	1	48.0	9.0						1			
B027	汎発性帯状疱疹	無	2	71.0	10.5								2	
B029	胸部帯状疱疹	無	1	73.0	7.0								1	
B029	軀幹帯状疱疹	無	1	76.0	8.0								1	
B029	帯状疱疹	無	1	65.0	12.0								1	
B082	突発性発疹症	無	1	0.0	3.0	1								
B09	ウイルス性発疹症	無	1	6.0	8.0			1						
B169	B型急性肝炎	有	1	90.0	13.0									1
B24	H I V - 1 感染症	無	1	48.0	75.0						1			
B251	サイトメガロウイルス性肝炎	無	1	31.0	22.0					1				
B258	サイトメガロウイルス腸炎	有	1	68.0	9.0								1	
B261	ムンプス髄膜炎	無	1	15.0	7.0			1						
B269	ムンプス	無	1	14.0	5.0			1						
B269	流行性耳下腺炎	無	1	11.0	3.0			1						
B270	E B ウィルス伝染性単核症	無	2	9.0	5.0		1	1						
B279	伝染性単核症	有	1	20.0	6.0				1					
B279	伝染性単核症	無	3	14.3	7.7			2	1					
B338	E B ウィルス感染症の疑い	無	1	2.0	3.0	1								
B342	コロナウイルス感染症	無	3	58.0	15.0							2	1	
B342	コロナウイルス感染症の疑い	無	1	27.0	2.0					1				
B370	口腔カンジダ症の疑い	無	1	51.0	2.0							1		

IV
クリニカル
インディケ
ーター

退院患者数

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
B441	アレルギー性気管支肺アスペルギルス症の疑い	無	1	53.0	2.0						1		
B59	ニューモシスチス肺炎	無	1	87.0	36.0								1
B59	ニューモシスチス症	無	1	71.0	23.0							1	
C01	舌根部癌	有	6	70.5	33.0							5	1
C021	舌縁癌	有	10	60.9	16.2					2	1	7	
C022	舌下面癌	有	4	60.0	9.8						1	3	
C029	下顎菌原性	有	1	53.0	14.0						1		
C029	再発舌癌	有	1	51.0	18.0						1		
C029	再発舌癌	有	1	79.0	11.0							1	
C029	舌癌	有	6	71.7	30.0						2	2	2
C029	舌癌	無	2	72.0	11.5							2	
C031	下顎骨肉癌	有	1	80.0	15.0								1
C031	下顎骨肉癌	無	3	84.0	15.7							1	2
C040	前部口腔底癌	有	1	60.0	13.0						1		
C040	前部口腔底癌	無	1	60.0	58.0						1		
C049	口底癌	有	1	71.0	24.0							1	
C052	口蓋垂癌	有	1	64.0	15.0							1	
C060	頬粘膜癌	有	1	86.0	17.0								1
C060	頬粘膜癌	無	4	73.3	10.3								4
C07	耳下腺癌	有	3	41.3	11.0			1		1		1	
C07	耳下腺癌	無	2	67.5	6.0							2	
C099	再発扁桃癌	無	1	62.0	7.0							1	
C102	再発性中咽頭側壁癌	有	1	62.0	4.0							1	
C102	再発性中咽頭側壁癌	無	4	62.5	7.0							4	
C102	中咽頭側壁癌	有	4	62.5	7.0							4	
C102	中咽頭側壁癌	無	4	74.0	40.0							3	1
C112	上咽頭側壁癌	有	1	67.0	4.0							1	
C112	上咽頭側壁癌	無	1	67.0	4.0							1	
C12	梨状陥凹癌	有	7	74.1	45.3						1	5	1
C12	梨状陥凹癌	無	7	75.0	8.7							6	1
C130	輪状後部癌	有	4	72.0	25.0							4	
C130	輪状後部癌	無	3	64.0	3.0							3	
C131	下咽頭披裂喉頭蓋ひだ癌	有	1	71.0	29.0							1	
C131	下咽頭披裂喉頭蓋ひだ癌	無	1	71.0	6.0							1	
C132	下咽頭後部癌	有	1	69.0	63.0							1	
C138	下咽頭喉頭癌	有	3	71.0	31.3							3	
C150	頸部食道癌	有	5	65.2	39.2						1	4	
C150	頸部食道癌	無	6	68.0	10.0							6	
C151	胸部下部食道癌	有	12	63.5	24.1						4	8	
C151	胸部下部食道癌	無	12	63.9	11.3						4	8	
C151	胸部上部食道癌	有	11	70.1	20.2							11	
C151	胸部上部食道癌	無	14	71.2	10.2							13	1
C151	胸部食道癌	有	29	68.6	20.4						3	25	1
C151	胸部食道癌	無	41	66.2	9.1						6	35	
C151	胸部中部食道癌	有	38	68.3	27.6						7	27	4
C151	胸部中部食道癌	無	34	68.9	10.5						6	26	2
C154	中部食道癌	有	1	74.0	10.0							1	
C155	下部食道癌	有	1	65.0	3.0							1	
C158	食道胃接合部癌	有	4	76.3	37.3							2	2
C158	食道胃接合部癌	無	2	63.5	18.0						1	1	
C159	食道消化管間質腫瘍の疑い	無	1	55.0	2.0						1		
C159	食道神経内分泌細胞癌	有	1	78.0	17.0							1	
C160	胃噴門部GIST(悪性)	有	1	87.0	18.0								1
C160	噴門癌	有	9	75.1	21.7						1	4	4
C160	噴門食道接合部癌	有	1	68.0	28.0							1	
C161	胃底部癌	有	3	69.3	10.7							3	
C162	胃体部GIST(悪性)	有	3	74.0	15.3						1	1	1
C162	胃体部癌	有	82	71.0	15.8					1	9	57	15
C162	胃体部癌	無	13	73.2	13.2						2	7	4
C163	胃前庭部癌	有	33	77.9	19.8							18	15
C163	胃前庭部癌	無	2	89.0	4.5								2
C163	幽門前庭部癌	有	2	82.5	9.0								2
C163	幽門前庭部癌	無	1	62.0	6.0							1	
C164	胃幽門部癌	有	8	81.9	27.3							3	5
C164	胃幽門部癌	無	1	73.0	5.0							1	
C165	胃小弯部癌	有	1	71.0	9.0							1	
C169	スキルス胃癌	有	1	55.0	22.0						1		
C169	スキルス胃癌	無	1	91.0	8.0								1
C169	胃悪性間葉系腫瘍	有	1	73.0	13.0							1	
C169	胃管癌	有	2	54.0	30.0						2		
C169	胃消化管間質腫瘍	有	2	67.0	14.0						1		1
C170	十二指腸癌	有	3	69.0	27.0							3	
C172	回腸癌	有	1	80.0	12.0								1
C172	回腸癌	無	1	80.0	12.0								1
C172	回腸消化管間質腫瘍	有	1	75.0	9.0							1	
C179	小腸消化管間質腫瘍	有	1	75.0	69.0							1	
C180	盲腸癌	有	27	76.0	16.9						2	15	10
C180	盲腸癌	無	3	71.0	5.0							3	
C181	悪性虫垂粘液癌	有	2	80.5	9.5							1	1
C181	虫垂癌	有	1	45.0	10.0						1		

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
C181	虫垂細胞癌カルチノイド	有	2	61.0	24.5						1	1	
C182	再発上行結腸癌	有	1	93.0	9.0								1
C182	上行結腸癌	有	41	75.6	17.3						3	22	16
		無	3	80.3	4.3							2	1
C182	上行結腸癌の再発	有	1	78.0	10.0							1	
C184	横行結腸癌	有	29	72.4	16.5						3	21	5
		無	4	70.5	6.5							4	
C186	下行結腸癌	有	23	72.7	16.6					2	2	9	10
C187	S状結腸癌	有	40	66.6	15.2					1	9	24	6
		無	1	91.0	19.0								1
C19	直腸S状部結腸癌	有	43	69.1	17.3					1	8	26	8
		無	2	68.0	15.5							2	
C19	直腸S状部結腸癌の再発	有	1	71.0	37.0							1	
		無	1	72.0	4.0							1	
C20	直腸カルチノイド	有	2	42.5	5.5						2		
C20	直腸癌	有	102	68.8	17.9					1	21	64	16
		無	7	65.6	24.7						1	6	
C20	直腸癌術後再発	有	5	70.4	18.0						1	3	1
		無	4	60.0	15.8					1		3	
C20	直腸消化管間質腫瘍	有	1	67.0	14.0							1	
C20	直腸神経内分泌腫瘍	有	1	79.0	17.0							1	
C211	痔瘻癌	有	1	67.0	171.0							1	
C211	肛門管癌	有	1	73.0	21.0							1	
		無	4	63.0	14.3							4	
C220	肝癌	無	1	86.0	2.0								1
C220	肝細胞癌	有	68	73.0	8.0						5	45	18
		無	6	69.5	8.8						1	4	1
C220	肝細胞癌の疑い	無	1	58.0	9.0						1		
C221	肝内胆管癌	有	6	70.8	16.0							5	1
		無	1	85.0	4.0								1
C221	肝内胆管癌の疑い	無	2	76.0	2.5							2	
C223	肝血管肉腫	無	1	69.0	10.0							1	
C23	胆のう癌	有	14	74.7	19.2						1	8	5
		無	1	91.0	5.0								1
C240	遠位胆管癌	有	6	71.0	24.3							6	
		無	1	85.0	9.0								1
C240	下部胆管癌	有	3	75.3	21.0							3	
C240	肝外胆管癌	有	6	92.0	6.3								6
C240	肝外胆管癌の疑い	無	2	72.0	2.0							2	
C240	肝門部胆管癌	有	6	72.5	10.8							4	2
C240	胆管癌	有	1	77.0	15.0							1	
C240	中部胆管癌	有	1	81.0	7.0								1
C241	十二指腸乳頭部癌	有	7	76.4	25.3							3	4
		無	1	85.0	4.0								1
C248	肝門部胆管癌	有	16	80.7	17.9							4	12
		無	2	69.0	5.0							2	
C250	膵頭部癌	有	57	74.3	13.2						3	40	14
		無	9	70.8	10.3						2	6	1
C250	膵頭部癌の疑い	無	2	80.0	5.0							1	1
C251	膵体部癌	有	10	66.7	19.5						2	7	1
		無	7	69.1	7.1						1	5	1
C252	膵尾部癌	有	4	76.0	24.5							3	1
		無	2	62.0	3.5						1	1	
C252	膵尾部癌の疑い	有	1	80.0	5.0								1
C253	膵管内乳頭粘液性腺癌	有	1	64.0	18.0							1	
C258	膵体尾部癌	有	3	66.7	33.7						1	1	1
C259	充実性偽乳頭状腫瘍	有	1	26.0	16.0					1			
C269	消化管神経内分泌癌	有	1	58.0	33.0						1		
C300	鼻腔癌	有	1	32.0	6.0					1			
C310	上顎洞癌	有	1	71.0	21.0							1	
C311	篩骨洞癌	有	1	33.0	12.0					1			
C320	声門癌	有	2	74.0	107.0							2	
C321	喉頭蓋癌	有	1	68.0	74.0							1	
C321	声門上癌	有	1	70.0	5.0							1	
		無	1	79.0	57.0							1	
C328	喉頭下咽頭癌	有	1	77.0	24.0							1	
C33	気管癌	無	1	68.0	4.0							1	
C340	肺門部肺癌	有	1	90.0	27.0								1
		無	5	74.2	8.2							3	2
C341	パンコースト腫瘍(肺尖部浸潤肺癌)	無	7	75.9	6.3							6	1
C341	上葉小細胞肺癌	有	2	72.0	17.5							2	
		無	25	65.6	7.4						6	19	
C341	上葉肺癌	有	34	67.3	14.3						8	24	2
		無	71	66.4	8.7						28	29	14
C341	上葉肺癌の疑い	無	19	66.5	2.2						4	13	2
C341	上葉非小細胞肺癌	有	7	70.0	12.6						1	6	
		無	14	70.2	8.0						1	12	1

退院患者数

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
C342	中葉肺癌	有	4	67.0	8.0						2	2	
		無	6	68.7	3.7							6	
C342	中葉肺癌の疑い	無	3	67.3	2.0						1	2	
C342	中葉非小細胞肺癌	有	3	68.3	7.3							3	
		無	5	72.4	8.6							5	
C343	下葉小細胞肺癌	有	2	74.5	29.5							2	
		無	14	73.1	4.4							14	
C343	下葉肺癌	有	38	73.0	9.6					1	1	28	8
		無	63	67.3	9.6					3	10	42	8
C343	下葉肺癌の疑い	無	28	72.2	2.1						3	18	7
C343	下葉肺癌の術後	無	1	73.0	17.0							1	
C343	下葉肺腺癌	有	2	62.0	15.5							2	
		無	1	62.0	4.0							1	
C343	下葉非小細胞肺癌	有	5	72.8	26.4						1	2	2
		無	13	63.6	8.9						8	3	2
C343	肺下葉カルチノイド	有	1	71.0	10.0							1	
C349	縦隔非小細胞肺癌	無	1	66.0	46.0							1	
C37	胸腺癌	有	1	50.0	7.0						1		
		無	5	50.2	10.2						5		
C37	浸潤型胸腺腫の疑い	無	2	74.5	2.0							2	
C383	悪性縦隔腫瘍	有	2	75.0	18.0							2	
		無	1	51.0	2.0						1		
C400	上腕骨軟骨肉腫	有	1	59.0	4.0						1		
C413	胸骨軟骨肉腫	有	2	65.0	24.5						1	1	
C414	骨盤骨悪性腫瘍	無	1	94.0	21.0								1
C435	肛門部悪性黒色腫	無	2	58.0	8.5						2		
C437	足底部悪性黒色腫	無	2	82.0	4.0								2
C437	大腿部悪性黒色腫	有	1	73.0	6.0							1	
C443	顔面メルケル細胞癌	無	1	90.0	24.0								1
C443	顔面基底細胞癌	有	2	82.0	13.0							1	1
C443	顔面に棘細胞癌	有	2	71.5	9.0						1		1
C443	頬部に棘細胞癌	有	1	90.0	17.0								1
C444	頭部基底細胞癌	有	1	67.0	10.0							1	
C446	肩部有棘細胞癌	有	1	49.0	15.0						1		
C446	手背有棘細胞癌	有	1	90.0	16.0								1
C446	手部有棘細胞癌	有	2	75.0	9.0							2	
C446	前腕有棘細胞癌	有	1	78.0	9.0							1	
C446	母指有棘細胞癌	有	1	88.0	16.0								1
C450	悪性胸膜中皮腫の疑い	無	1	91.0	2.0								1
C475	後腹膜悪性末梢神経鞘腫	有	1	23.0	99.0					1			
C480	巨大後腹膜脂肪肉腫	有	3	66.0	21.0						1	2	
		無	7	57.6	5.6						7		
C480	後腹膜悪性腫瘍の再発	無	7	69.7	3.7							7	
C480	後腹膜脂肪肉腫	有	3	66.3	35.3						1	2	
C480	後腹膜脂肪肉腫の再発	無	1	72.0	27.0							1	
C481	大網消化管間質腫瘍	有	1	40.0	8.0					1			
C490	頬部横紋筋肉腫	有	2	52.0	25.5						2		
		無	3	52.0	4.3						3		
C491	肩甲部脂肪肉腫	有	1	33.0	4.0					1			
C491	肩部滑膜肉腫	有	1	55.0	9.0						1		
		無	4	55.0	8.0						4		
C492	足部淡明細胞肉腫	有	1	73.0	33.0							1	
C492	大腿悪性軟部腫瘍	有	2	46.0	20.0					1		1	
C492	大腿部脂肪肉腫	有	1	58.0	15.0						1		
C492	膝部悪性軟部腫瘍	有	2	70.5	33.5							2	
C495	殿部悪性軟部腫瘍	有	1	72.0	10.0							1	
C501	乳房中央部乳癌	有	9	64.9	7.0					1	2	4	2
		無	3	66.3	7.3						1	2	
C502	乳房上内側部乳癌	有	17	62.4	8.9					1	5	9	2
		無	8	50.6	4.5						6	1	1
C503	乳房下内側部乳癌	有	9	61.7	14.8					2	1	4	2
		無	6	64.3	18.5					1		3	2
C504	乳房上外側部乳癌	有	41	63.2	10.2						18	19	4
		無	27	60.1	5.5					5	7	12	3
C505	乳房下外側部乳癌	有	11	64.3	7.7						4	7	
		無	6	61.5	2.7						2	4	
C509	乳癌	無	2	56.0	4.5						2		
C509	乳癌術後胸壁再発	有	1	70.0	9.0							1	
C519	外陰部に棘細胞癌	有	1	37.0	16.0					1			
C530	再発子宮頸管癌	無	1	85.0	8.0								1
C530	子宮頸管癌	有	2	43.5	9.5					1	1		
		無	1	36.0	6.0					1			
C531	子宮腔部癌	有	4	63.3	24.8					1	1		2
		無	3	65.3	3.3					1			2
C539	子宮頸部腺癌	有	2	72.0	10.0							2	
C539	子宮頸部微小浸潤癌	有	1	44.0	8.0						1		

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
C541	子宮内膜癌	有	23	63.6	12.6					1	8	12	2
		無	22	60.6	6.8					2	9	10	1
C541	子宮内膜癌の再発	有	1	78.0	30.0							1	
		無	3	78.0	7.7							3	
C541	子宮類内膜腺癌	有	1	37.0	10.0					1			
		無	2	47.5	8.0					1	1		
C542	再発性子宮肉腫	有	1	72.0	11.0							1	
C542	子宮肉腫	有	1	57.0	16.0						1		
C542	子宮平滑筋肉腫	有	2	47.0	12.0					1	1		
C56	再発卵巣癌	有	1	64.0	15.0							1	
		無	14	63.8	13.7					1	4	9	
C56	卵巣癌	有	87	59.0	5.4					1	50	35	1
		無	1	50.0	4.0						1		
C56	卵巣肉腫	有	1	51.0	11.0						1		
C56	卵巣粘液性腺癌	有	1	67.0	8.0							1	
		無	1	59.0	6.0						1		
C56	卵巣明細胞腺癌	有	2	73.5	14.5							2	
		無	16	74.6	4.4							16	
C570	卵管癌	有	1	79.0	5.0							1	
		無	1	79.0	5.0							1	
C570	卵管癌術後再発	有	13	76.7	27.0							8	5
		無	14	71.4	11.8							11	3
C61	去勢抵抗性前立腺癌	有	3	37.7	26.7					3			
		無	4	37.3	6.0					4			
C61	前立腺癌	有	34	78.5	7.3							19	15
		無	5	78.4	16.8							2	3
C61	前立腺癌の疑い	有	52	72.7	2.0						6	34	12
		無	1	73.0	40.0							1	
C61	前立腺小細胞癌	有	7	69.0	10.4							7	
		無	2	29.0	23.0					2			
C629	精巣セミノーマ	有	1	29.0	16.0					1			
		無	1	29.0	16.0								
C629	精巣悪性腫瘍	有	1	54.0	7.0						1		
		無	3	41.3	3.7					2		1	
C629	精巣癌	有	21	65.5	10.9						9	9	3
		無	8	70.4	14.3						1	6	1
C64	腎癌	有	1	82.0	2.0								1
		無	1	82.0	2.0								1
C64	腎癌の疑い	有	9	72.3	17.8						1	5	3
		無	16	67.9	13.6						3	8	5
C65	腎盂癌	有	7	77.6	13.9							5	2
		無	8	67.9	12.8							8	
C66	尿管癌	有	2	83.0	8.5								2
		無	1	69.0	5.0							1	
C670	膀胱三角部膀胱癌	有	22	72.8	9.5						3	13	6
		無	4	67.0	13.0						2	1	1
C671	膀胱円蓋部膀胱癌	有	4	81.3	23.0							1	3
		無	21	77.6	14.1						1	10	10
C672	膀胱側壁部膀胱癌	有	4	71.8	20.3							4	
		無	5	71.4	11.2						1	3	1
C673	膀胱前壁部膀胱癌	有	1	73.0	23.0							1	
		無	4	73.0	15.5							4	
C674	膀胱後壁部膀胱癌	有	1	53.0	3.0						1		
		無	2	76.0	42.5							2	
C675	膀胱頸部膀胱癌	有	1	76.0	24.0							1	
		無	1	0.0	29.0	1							
C676	尿管口部膀胱癌	有	1	0.0	54.0	1							
		無	1	4.0	9.0		1						
C679	膀胱癌の疑い	有	1	41.0	15.0						1		
		無	1	81.0	5.0								1
C680	尿道尿路上皮癌	有	1	82.0	14.0								1
		無	2	76.5	5.0							2	
C692	性網膜芽細胞腫	有	32	60.3	5.6					4	10	13	5
		無	2	79.0	17.0							1	1
C692	網膜芽細胞腫	有	1	37.0	2.0					1			
		無	1	64.0	12.0							1	
C696	眼窩横紋筋肉腫	有	2	71.0	21.0						1		1
		無	1	47.0	19.0						1		
C716	小脳毛様細胞性星細胞腫	有	1	75.0	2.0							1	
		無	11	75.2	13.3						1	5	5
C719	悪性神経膠腫の疑い	有	2	79.0	21.0							1	1
		無	1	78.0	4.0							1	
C73	甲状腺癌	有	2	69.5	11.0							2	
		無	3	78.7	4.0							3	
C73	甲状腺髄様癌	有	1	79.0	9.0							1	
		無	1	58.0	21.0						1		
C73	甲状腺乳頭癌	有	1	56.0	7.0						1		
		無	1	88.0	12.0								1
C73	甲状腺乳頭癌の疑い	有	1	66.0	41.0							1	
		無	1	66.0	41.0							1	
C73	甲状腺乳頭癌気管浸潤	有	2	71.0	21.0						1		1
		無	1	47.0	19.0						1		
C73	甲状腺濾胞癌	有	1	75.0	2.0							1	
		無	1	75.0	2.0							1	
C749	副腎神経内分泌癌	有	11	75.2	13.3						1	5	5
		無	2	79.0	21.0							1	1
C770	頸部リンパ節転移	有	1	78.0	4.0							1	
		無	1	78.0	4.0							1	
C770	頸部リンパ節転移の疑い	有	2	69.5	11.0							2	
		無	3	78.7	4.0							3	
C772	胃周囲リンパ節転移	有	1	79.0	9.0							1	
		無	1	58.0	21.0						1		
C772	後腹膜リンパ節転移	有	1	79.0	9.0							1	
		無	1	58.0	21.0						1		
C772	大動脈周囲リンパ節転移	有	1	56.0	7.0						1		
		無	1	88.0	12.0								1
C773	腸間膜リンパ節転移	有	1	66.0	41.0							1	
		無	1	66.0	41.0							1	
C774	膵窩リンパ節転移	有	1	66.0	41.0							1	
		無	1	66.0	41.0							1	
C775	膵管内リンパ節転移	有	1	66.0	41.0							1	
		無	1	66.0	41.0							1	

退院患者数

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
C780	転移性肺癌	有	2	65.0	4.0							2	
		無	1	88.0	23.0								1
C780	転移性肺腫瘍	有	24	67.4	8.3						6	16	2
		無	6	72.5	5.3						1	4	1
C782	癌性胸膜炎	有	1	77.0	22.0							1	
		無	5	64.8	12.2						2	2	1
C782	転移性胸膜腫瘍	有	1	46.0	8.0						1		
C785	転移性大腸腫瘍	有	1	73.0	11.0							1	
C785	転移性直腸癌	有	3	67.0	14.0							3	
C786	癌性腹水	有	1	55.0	3.0						1		
C786	癌性腹膜炎	有	1	51.0	5.0						1		
C786	腹膜転移	無	1	82.0	21.0								1
C786	腹膜播種	有	2	65.5	7.5							2	
C787	転移性肝癌	有	15	66.5	11.3						4	10	1
		無	2	79.5	15.5							1	1
C787	転移性肝腫瘍	有	27	66.7	12.0					2	5	15	5
		無	5	67.8	2.4						1	4	
C787	転移性肝腫瘍の疑い	無	2	53.0	2.0						1	1	
C788	転移性脾腫瘍	有	1	77.0	14.0							1	
		無	1	72.0	16.0							1	
C792	転移性皮膚腫瘍	有	1	60.0	2.0						1		
C792	転移性腹壁腫瘍	有	1	71.0	8.0							1	
C793	転移性脳腫瘍	有	3	71.0	23.3						1	1	1
		無	8	72.8	16.5						1	5	2
C795	胃癌骨転移	無	1	69.0	8.0							1	
C795	環軸椎転移性骨腫瘍	有	1	46.0	20.0						1		
		無	1	46.0	3.0						1		
C795	胸椎転移	有	1	73.0	45.0							1	
C795	胸椎転移性骨腫瘍	有	2	62.5	13.0							2	
		無	1	63.0	13.0							1	
C795	脊椎転移	有	4	62.5	26.8						1	3	
C795	大腿骨転移性骨腫瘍	有	1	67.0	10.0							1	
C795	大腿骨転移性骨腫瘍の疑い	無	1	59.0	2.0						1		
C795	転移性腰椎腫瘍	有	1	78.0	11.0							1	
		無	1	46.0	28.0						1		
C795	転移性骨腫瘍	無	2	79.0	17.0							1	1
C795	脾臓癌骨転移	無	1	71.0	12.0							1	
C796	転移性卵巣癌	有	2	58.5	20.5						1	1	
C798	転移性胸壁腫瘍	有	1	73.0	10.0							1	
C800	原発不明癌	有	2	67.5	30.0						1	1	
C809	G-C-S-F産生悪性腫瘍の疑い	無	1	66.0	6.0							1	
C809	神経内分泌腫瘍	無	1	87.0	12.0								1
C811	結節硬化型古典的ホジキンリンパ腫	有	2	33.0	270.5					2			
C812	混合細胞型古典的ホジキンリンパ腫	有	1	85.0	3.0								1
		無	2	85.0	7.0								2
C814	リンパ球豊富型古典的ホジキンリンパ腫	有	1	69.0	32.0							1	
		無	3	70.0	24.0							3	
C820	再発性濾胞性リンパ腫・グレード1	有	2	76.0	18.5							2	
		無	1	76.0	18.0							1	
C820	濾胞性リンパ腫・グレード1	有	5	62.0	26.2						2	3	
		無	16	70.4	17.7							16	
C820	濾胞性リンパ腫・グレード1の再燃	無	3	67.7	15.0							3	
C821	濾胞性リンパ腫・グレード2	無	1	72.0	21.0							1	
C823	濾胞性リンパ腫・グレード3 a	有	6	61.0	19.8						2	4	
		無	7	61.6	15.9						4	2	1
C829	再発性濾胞性リンパ腫	有	1	64.0	22.0							1	
C829	再発濾胞性リンパ腫	有	2	64.0	24.0							2	
		無	4	75.0	20.8							4	
C829	濾胞性リンパ腫	有	1	74.0	21.0							1	
		無	6	81.5	15.3							3	3
C830	リンパ形質細胞性リンパ腫	有	6	71.3	10.8							6	
C830	小リンパ球性リンパ腫	有	1	72.0	19.0							1	
C830	脾B細胞性リンパ腫/白血病・分類不能型	有	1	46.0	14.0						1		
C831	マンテル細胞リンパ腫	有	9	56.9	27.3					4		4	1
		無	13	75.0	9.8					1		12	
C831	マンテル細胞リンパ腫の再発	有	2	71.5	14.0							2	
C831	再発性マンテル細胞リンパ腫	有	1	73.0	17.0							1	
C833	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫	有	63	73.2	27.5						2	46	15
		無	83	69.8	14.7						14	56	13
C833	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫の再発	有	4	72.0	20.3							4	
C833	胃びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫	有	3	84.0	16.7								3
		無	2	84.0	16.5								2
C833	高齢者EBV陽性びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫	有	9	67.3	21.6					1	3	1	4
		無	7	81.0	16.6						1		6
C835	Bリンパ芽球性リンパ腫	有	3	65.0	29.0							3	
C835	Tリンパ芽球性リンパ腫	有	3	34.3	23.0					3			
		無	2	34.0	18.0					2			

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
C837	パーキットリンパ腫	有	6	54.2	43.7			1				5	
C838	びまん性大細胞型・パーキット中間型分類不能B細胞性リンパ腫	有	5	60.0	19.6						4	1	
C844	CCR4陽性末梢性T細胞リンパ腫	有	1	83.0	154.0								1
C844	CD30陽性末梢性T細胞リンパ腫	有	1	71.0	19.0							1	
C844	CD30陽性末梢性T細胞リンパ腫・詳細不明	有	5	71.0	16.0							5	
C844	CD30陽性末梢性T細胞リンパ腫・詳細不明の再発	有	3	76.7	21.0							3	
C844	末梢性T細胞リンパ腫	有	1	77.0	16.0							1	
C844	末梢性T細胞リンパ腫・詳細不明	有	1	62.0	3.0							1	
C844	末梢性T細胞リンパ腫の再発	有	1	62.0	7.0							1	
C844	末梢性T細胞リンパ腫	無	3	73.3	22.3							2	1
C844	末梢性T細胞リンパ腫・詳細不明	有	1	82.0	170.0								1
C844	末梢性T細胞リンパ腫の再発	有	1	82.0	51.0								1
C844	末梢性T細胞リンパ腫	無	1	82.0	25.0								1
C847	ALK陰性未分化大細胞リンパ腫	有	5	71.6	24.4							5	
C847	ALK陰性未分化大細胞リンパ腫	無	4	72.0	18.3							4	
C851	B細胞性非ホジキンリンパ腫	有	1	70.0	6.0							1	
C851	CD20陽性B細胞性非ホジキンリンパ腫	有	1	80.0	7.0								1
C851	マントル細胞リンパ腫	有	1	69.0	14.0							1	
C851	高悪性度B細胞性非ホジキンリンパ腫	有	1	56.0	42.0						1		
C851	高悪性度B細胞性非ホジキンリンパ腫	無	1	56.0	18.0						1		
C859	悪性リンパ腫	有	1	73.0	14.0							1	
C859	悪性リンパ腫の疑い	有	3	72.7	4.7							2	1
C859	悪性リンパ腫の疑い	無	6	59.0	3.3				1	1	4		
C859	甲状腺悪性リンパ腫	有	1	81.0	3.0								1
C859	脳悪性リンパ腫	有	5	63.8	36.0							5	
C859	膵胸関連リンパ腫	有	1	31.0	3.0				1				
C860	節外性NK/T細胞リンパ腫・鼻型	有	5	82.8	24.8								5
C862	腸管症関連T細胞リンパ腫	有	5	71.0	22.4							5	
C862	腸管症関連T細胞リンパ腫	無	1	71.0	12.0							1	
C865	血管免疫芽球形T細胞リンパ腫	有	9	83.8	35.9							2	7
C865	血管免疫芽球形T細胞リンパ腫	無	2	79.0	14.5							2	
C865	血管免疫芽球形T細胞リンパ腫の再発	有	1	69.0	94.0							1	
C884	MALTリンパ腫	有	1	71.0	12.0							1	
C884	食道MALTリンパ腫	有	3	76.0	15.0							3	
C884	大腸MALTリンパ腫	無	1	66.0	17.0							1	
C884	直腸MALTリンパ腫	無	1	77.0	19.0							1	
C900	ベンスジョーンズ型多発性骨髄腫	有	3	65.0	127.7						1	2	
C900	ベンスジョーンズ型多発性骨髄腫	無	4	69.8	21.8							4	
C900	形質細胞性骨髄腫	有	2	76.0	53.0							1	1
C900	形質細胞性骨髄腫	無	1	72.0	13.0							1	
C900	再発性難治性多発性骨髄腫	有	2	53.0	22.5						2		
C900	多発性骨髄腫	有	34	65.1	27.9					3	6	24	1
C900	多発性骨髄腫	無	25	65.6	16.3					3	4	18	
C900	難治性ベンスジョーンズ型多発性骨髄腫	有	1	65.0	115.0							1	
C900	難治性ベンスジョーンズ型多発性骨髄腫	無	1	64.0	20.0							1	
C900	難治性多発性骨髄腫	無	3	72.7	17.0							3	
C910	Bリンパ芽球形白血病	有	4	46.5	43.3						4		
C910	Bリンパ芽球形白血病	無	2	43.5	34.0						2		
C910	Bリンパ芽球形白血病/リンパ腫	有	3	64.0	30.7								3
C910	Ph陽性急性リンパ性白血病	有	9	69.4	51.3						3	6	
C910	Ph陽性急性リンパ性白血病	無	3	63.7	25.7						2	1	
C910	Tリンパ芽球形白血病/リンパ腫	有	10	25.6	67.6			2	4	3		1	
C910	Tリンパ芽球形白血病/リンパ腫	無	4	4.0	9.8			4					
C910	急性リンパ性白血病	有	2	47.5	90.0					1		1	
C910	急性リンパ性白血病	無	2	10.0	44.5				2				
C910	高2倍体性Bリンパ芽球形白血病	有	1	9.0	3.0			1					
C910	高2倍体性Bリンパ芽球形白血病	無	1	69.0	13.0							1	
C915	再発成人T細胞白血病リンパ腫	有	2	65.0	30.5							2	
C915	再発成人T細胞白血病リンパ腫	無	1	65.0	19.0							1	
C915	成人T細胞白血病リンパ腫	有	11	72.0	31.2							10	1
C915	成人T細胞白血病リンパ腫	無	7	72.9	18.1							7	
C915	成人T細胞白血病リンパ腫・リンパ腫型	有	1	69.0	76.0							1	
C915	成人T細胞白血病リンパ腫・リンパ腫型	無	2	69.0	18.0							2	
C920	FLT3-ITD変異陽性急性骨髄性白血病の再発	有	1	62.0	17.0							1	
C920	急性骨髄性白血病	有	19	70.2	34.5			1				11	7
C920	急性骨髄性白血病・最未分化型	有	2	85.0	32.5								2
C920	急性骨髄性白血病の再発	有	3	72.0	35.3							3	
C920	再発急性骨髄性白血病	有	1	3.0	271.0			1					
C920	難治性急性骨髄性白血病	有	2	61.5	75.5							2	
C920	難治性急性骨髄性白血病	無	7	72.7	31.6							7	
C920	分化型急性骨髄性白血病(M2)	有	2	70.5	39.0							2	
C920	未分化型急性骨髄性白血病(M1)	有	2	70.5	39.0							2	
C921	慢性骨髄性白血病	有	1	71.0	22.0							1	
C921	慢性骨髄性白血病	無	2	55.5	16.0					1			1
C921	慢性骨髄性白血病急性転化	無	1	71.0	34.0							1	

退院患者数

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
C921	慢性骨髄性白血病慢性期	有	1	75.0	32.0								1	
		無	3	67.0	17.0								3	
C923	顆粒球肉腫	有	2	65.0	67.0								2	
		無	1	65.0	17.0								1	
C924	急性前骨髄球性白血病	有	5	66.6	47.6						2		3	
		無	1	71.0	35.0								1	
C925	急性骨髄単球性白血病	有	2	7.5	67.0			2						
C928	骨髄異形成関連変化を伴う急性骨髄性白血病	有	13	74.8	52.7							7	6	
C930	急性単球性白血病	有	9	63.3	12.0						7			2
C930	再発性急性単球性白血病	無	1	86.0	14.0									1
C931	慢性骨髄単球性白血病	有	1	75.0	15.0								1	
C950	急性白血病	有	1	40.0	2.0					1				
C950	混合型白血病	無	1	40.0	30.0					1				
C966	ランゲルハンス細胞組織球症	無	1	44.0	11.0						1			
D045	殿部ボーエン病	有	1	70.0	6.0								1	
D045	背部ボーエン病	有	1	86.0	10.0									1
D046	上腕ボーエン病	有	1	75.0	17.0								1	
D060	子宮頸管上皮内癌	有	2	51.5	6.5						2			
D061	子宮腔部上皮内癌	有	1	30.0	3.0					1				
D069	子宮頸部上皮内癌	有	1	49.0	3.0						1			
D069	子宮頸部上皮内腫瘍・異型度3	有	12	43.7	3.0					6	5	1		
D110	耳下腺多形腺腫	有	4	52.8	9.3					2	1			1
D110	耳下腺良性腫瘍	有	2	66.0	8.5								2	
D117	顎下腺多形腺腫	有	1	23.0	7.0					1				
D117	顎下腺良性腫瘍	有	1	57.0	8.0							1		
D120	盲腸腺腫	有	3	75.7	9.0								3	
D122	上行結腸腺腫	有	7	70.7	3.4						1		6	
D123	横行結腸腺腫	有	2	68.5	7.5								2	
D124	下行結腸腺腫	有	1	73.0	4.0								1	
D125	S状結腸腺腫	有	1	84.0	9.0									1
D126	ガードナー症候群	有	1	40.0	8.0					1				
D126	家族性大腸ポリポージス	有	2	24.0	9.5					2				
D126	大腸腺腫	有	2	72.0	5.5								1	1
D127	直腸S状部腺腫	有	1	54.0	3.0						1			
D128	直腸腺腫	有	1	76.0	10.0								1	
D131	胃神経鞘腫	有	1	77.0	11.0								1	
D131	胃腺腫	有	12	69.5	8.4					1			8	3
D132	十二指腸腺腫	有	2	72.5	9.0								1	1
D135	十二指腸乳頭部腺腫	有	1	64.0	29.0								1	
D135	胆のう腺筋腫	有	1	53.0	5.0							1		
		無	1	79.0	2.0								1	
D135	胆のう腺筋腫症	有	8	66.8	5.9						3	4	1	
D136	膵管内乳頭粘液性腺腫	有	1	81.0	17.0									1
		無	1	58.0	2.0							1		
D136	膵漿液性のう胞腺腫	有	1	73.0	22.0								1	
		無	1	73.0	5.0								1	
D140	鼻腔乳頭腫	有	1	79.0	7.0								1	
D140	副鼻腔乳頭腫	有	1	52.0	6.0							1		
D140	副鼻腔良性腫瘍	有	2	63.5	10.0							1		1
D141	喉頭乳頭腫	有	1	57.0	4.0							1		
D143	肺良性腫瘍	有	9	64.4	7.3						3		6	
D161	指基節骨内軟骨腫	有	1	19.0	2.0				1					
D162	脛骨外骨腫	有	1	14.0	10.0			1						
D165	下顎歯原性角化嚢胞	有	1	65.0	9.0								1	
D170	頰部脂肪腫	有	1	67.0	7.0								1	
D170	項部脂肪腫	有	1	59.0	7.0							1		
D171	肩甲部脂肪腫	有	3	49.3	3.7					1	1	1		
D171	肩部肩甲部脂肪腫	有	1	62.0	10.0								1	
D171	背部脂肪腫	有	3	53.7	10.7						3			
D172	前腕脂肪腫	有	1	42.0	4.0						1			
D172	足底脂肪腫	有	1	46.0	6.0						1			
D175	結腸脂肪腫	有	1	67.0	11.0								1	
D177	腎血管筋脂肪腫	有	1	59.0	3.0							1		
D179	膝脂肪腫	有	1	45.0	4.0							1		
D180	肝海綿状血管腫	有	1	64.0	12.0								1	
D180	胸部海綿状血管腫	有	1	48.0	12.0							1		
D180	示指血管腫	有	1	56.0	3.0							1		
D180	手部血管腫	有	1	37.0	2.0					1				
D180	脊椎血管腫	有	1	82.0	27.0									1
D181	舌良性腫瘍(リンパ管腫)	有	1	6.0	4.0			1						
D211	肩部良性軟部腫瘍	有	1	59.0	4.0							1		
D211	手部良性軟部腫瘍	有	2	54.0	3.0					1		1		
D211	中指腱鞘巨細胞腫	有	1	71.0	2.0								1	
D212	趾腱鞘巨細胞腫	有	1	15.0	6.0			1						
D214	腹部良性軟部腫瘍	有	1	40.0	4.0					1				
D224	頭部脂腺母斑	有	1	10.0	3.0			1						
D233	側頭部石灰化上皮腫	有	1	40.0	16.0					1				

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
D235	背部皮膚良性腫瘍	有	1	51.0	11.0						1		
D237	足関節皮膚良性腫瘍	有	1	67.0	2.0							1	
D237	足底皮膚良性腫瘍	有	1	22.0	8.0					1			
D237	大腿皮膚良性腫瘍	有	1	67.0	5.0							1	
D24	乳管内乳頭腫	有	1	44.0	5.0						1		
D250	筋腫分娩	有	3	48.7	5.0						3		
D250	子宮粘膜下筋腫	有	15	43.3	5.0					6	9		
		無	1	47.0	6.0						1		
D251	壁内子宮平滑筋腫	有	43	42.6	6.9					15	28		
		無	1	38.0	5.0					1			
D252	有茎性漿膜下子宮筋腫	有	1	51.0	8.0						1		
D252	漿膜下子宮平滑筋腫	有	12	48.2	7.7					2	8	2	
		無	2	60.0	8.0						1	1	
D259	子宮腔部筋腫	有	1	53.0	8.0						1		
D27	卵巣のう腫	有	13	50.4	6.6			1	2	7	2	1	
D27	卵巣のう腫捻転	有	1	72.0	6.0							1	
D27	卵巣奇形腫	有	5	37.4	5.8			1	2	2			
D27	卵巣甲状腺腫	有	1	50.0	18.0						1		
D27	卵巣成熟のう胞性奇形腫	有	4	39.0	6.0					2	2		
D27	卵巣成熟奇形腫	有	2	31.0	6.0					2			
D27	卵巣線維腫	有	1	58.0	7.0						1		
D27	卵巣粘液性腺腫	有	1	50.0	7.0						1		
D27	卵巣良性腫瘍	有	1	58.0	6.0						1		
D27	卵巣漿液性腺腫	有	4	57.5	6.0					1	1	2	
D320	円蓋部髄膜腫	有	2	76.0	29.5							2	
D321	脊髄硬膜内髄外神経鞘腫	有	2	78.0	22.0							1	1
D361	下腿神経鞘腫	有	1	51.0	7.0						1		
D361	頸部神経腫	有	1	34.0	6.0					1			
D361	上腕神経鞘腫	有	1	76.0	6.0							1	
D361	足関節内果神経鞘腫	有	1	86.0	6.0								1
D361	肘関節神経鞘腫	有	1	87.0	5.0								1
D361	腋窩神経鞘腫	無	1	55.0	2.0						1		
D370	顎下腺腫瘍	有	2	72.5	5.5							1	1
D370	耳下腺腫瘍	有	4	66.0	6.0							4	
D370	舌下腺腫瘍	有	1	33.0	7.0					1			
D370	舌腫瘍	有	1	79.0	5.0							1	
D370	鼻咽頭腫瘍	無	1	20.0	9.0			1					
D370	副咽頭間隙腫瘍	有	1	17.0	8.0			1					
D371	胃粘膜下腫瘍	有	3	76.3	9.0							2	1
		無	2	46.0	2.0			1				1	
D372	十二指腸腫瘍	有	1	74.0	6.0							1	
D372	十二指腸粘膜下腫瘍	有	1	77.0	6.0							1	
D372	小腸腫瘍	有	1	90.0	15.0								1
D376	十二指腸乳頭部腫瘍	有	2	79.0	14.0							1	1
D377	腫瘍性膵のう胞	無	1	71.0	2.0							1	
D377	脾腫瘍	無	1	79.0	2.0							1	
D377	膵管内乳頭粘液性腫瘍	有	3	71.0	18.0							3	
		無	14	71.2	3.0						2	9	3
D377	膵管内乳頭粘液性腫瘍の疑い	無	3	63.0	3.7							3	
D377	膵腫瘍	有	1	70.0	10.0							1	
D377	膵神経内分泌腫瘍	有	1	78.0	19.0							1	
D377	膵粘液性のう胞腫瘍	無	1	64.0	2.0							1	
D380	喉頭腫瘍	有	2	65.5	4.5							2	
D383	後縦隔腫瘍	無	1	22.0	2.0					1			
D385	鼻腔腫瘍	有	1	36.0	5.0					1			
D385	鼻副鼻腔腫瘍	有	3	56.7	6.0					1	1	1	
D390	子宮頸部腫瘍	有	2	49.5	8.5						2		
D391	のう胞性卵巣腫瘍	有	2	55.5	5.5						2		
D391	卵巣境界悪性腫瘍	有	5	48.8	7.8					2	1	2	
D391	卵巣腫瘍	有	2	79.5	12.0							1	1
D391	卵巣粘液性境界悪性腫瘍	有	3	61.7	8.3						1	2	
D391	卵巣漿液性境界悪性腫瘍	有	1	63.0	6.0							1	
D413	外尿道口腫瘍	有	1	69.0	3.0							1	
D431	小脳橋角部腫瘍	有	1	40.0	16.0					1			
D431	小脳血管芽腫	有	1	76.0	20.0							1	
D431	小脳腫瘍	有	1	82.0	17.0								1
D434	胸髄腫瘍の疑い	無	1	50.0	2.0						1		
D434	馬尾神経腫瘍	無	2	75.5	2.0							1	1
D460	1系統に異形成を伴う不応性血球減少症	有	1	61.0	150.0							1	
D461	環状鉄芽球を伴う不応性貧血	有	3	77.0	11.3							2	1
		無	8	73.4	9.0							8	
D462	芽球増加を伴う不応性貧血-1	有	2	72.0	45.0							2	
		無	4	85.0	8.0								4
D462	芽球増加を伴う不応性貧血-1RAEB-1	有	9	74.9	15.7							7	2
		無	1	73.0	8.0							1	
D462	芽球増加を伴う不応性貧血-2	有	5	79.4	12.8							1	4
		無	1	80.0	9.0								1

退院患者数

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
D462	芽球増加を伴う不応性貧血-2RAEB-2	有	7	80.1	19.7								2	5
		無	26	80.6	9.6								12	14
D465	多血球系異形成を伴う不応性血球減少症	有	1	78.0	112.0								1	
D467	小児骨髄異形成症候群	有	1	2.0	2.0	1								
D469	骨髄異形成症候群	有	21	71.6	21.3					1	2	12	6	
		無	45	72.7	11.1					6	1	20	18	
D469	骨髄異形成症候群(詳細不詳)	有	2	73.0	14.0								2	
D469	骨髄異形成症候群の疑い	有	1	87.0	12.0									1
D472	抗MAG抗体陽性ニューロパチー	無	1	66.0	6.0								1	
D474	原発性骨髄線維症	無	1	77.0	13.0								1	
D474	骨髄線維症	有	1	83.0	29.0									1
		無	2	81.5	21.5								1	1
D477	特発性多中心性キャッスルマン病	有	1	61.0	76.0								1	
D480	骨盤骨腫瘍	無	1	94.0	2.0									1
D480	大腿骨遠位部骨腫瘍	無	1	67.0	2.0								1	
D480	大腿骨巨細胞腫	有	1	67.0	17.0								1	
		無	1	67.0	13.0								1	
D480	肋骨腫瘍	有	1	46.0	3.0						1			
D480	趾骨腫瘍	有	1	78.0	2.0								1	
D481	下腿軟部腫瘍	有	1	19.0	3.0				1					
		無	1	19.0	2.0				1					
D481	顔面皮下腫瘍	有	1	3.0	3.0			1						
D481	頸部軟部腫瘍	有	2	35.5	4.0			1					1	
		無	1	65.0	2.0								1	
D481	項部デスマイド	有	1	41.0	8.0							1		
D481	手掌部軟部腫瘍	無	1	52.0	2.0							1		
D481	足底部軟部腫瘍	有	1	53.0	2.0							1		
D481	大腿軟部腫瘍	有	1	71.0	6.0								1	
		無	4	48.5	2.0					2			2	
D481	頭部皮下腫瘍	有	2	42.5	4.5				1	1				
D481	背部軟部腫瘍	有	1	39.0	4.0				1					
D481	腹壁デスマイドの疑い	無	1	72.0	2.0								1	
D481	趾軟部腫瘍	有	1	54.0	5.0							1		
D483	後腹膜腫瘍	有	4	57.8	8.3					1	1	1	2	
		無	4	65.3	2.3							1	3	
D483	後腹膜腫瘍の疑い	無	1	51.0	2.0							1		
D484	腸間膜腫瘍	有	1	53.0	5.0							1		
D485	顔面皮膚腫瘍	有	1	11.0	3.0			1						
D487	胸壁腫瘍	無	1	57.0	2.0							1		
D487	頸部リンパ節腫瘍	有	1	63.0	4.0								1	
D487	頸部腫瘍	有	1	31.0	4.0					1				
D489	腹壁外デスマイド	有	1	17.0	8.0				1					
D500	出血性貧血	有	2	82.5	13.5								1	1
D500	出血性貧血の疑い	無	1	40.0	2.0					1				
D519	ビタミンB12欠乏性貧血	有	1	70.0	6.0					1			1	
D521	薬剤性葉酸欠乏性貧血	有	1	71.0	11.0								1	
D591	温式自己免疫性溶血性貧血	有	1	80.0	12.0								1	
D591	自己免疫性溶血性貧血	有	1	76.0	74.0								1	
D595	発作性夜間ヘモグロビン尿症	有	2	87.5	20.0									2
D619	再生不良性貧血	有	7	78.1	8.9								6	1
D619	再生不良性貧血の疑い	有	1	83.0	15.0									1
D619	重症再生不良性貧血	有	1	72.0	130.0								1	
D619	汎血球減少症	有	1	86.0	6.0									1
		無	1	82.0	15.0									1
D649	正球性正色素性貧血	有	1	87.0	8.0									1
D65	アンチトロンビン3低下を伴う汎発性血管内凝固症候群	有	1	84.0	17.0									1
D65	播種性血管内凝固	有	1	79.0	37.0									1
D66	重症血友病A	有	1	7.0	8.0				1					
D690	IgA血管炎	有	1	18.0	12.0					1				
		無	12	7.8	6.0									
D693	特発性血小板減少性紫斑病	有	7	57.9	50.4						2	2	1	2
		無	3	59.0	11.0				1				1	1
D693	特発性血小板減少性紫斑病の疑い	有	1	69.0	9.0								1	
D693	難治性特発性血小板減少性紫斑病	有	1	82.0	36.0									1
D693	難治性慢性特発性血小板減少性紫斑病	無	1	72.0	11.0								1	
D693	慢性特発性血小板減少性紫斑病	無	6	9.3	2.5				6					
D70	重症先天性好中球減少症	無	1	0.0	8.0									
D70	発熱性好中球減少症	無	1	88.0	8.0									1
D70	薬剤性顆粒球減少症	無	1	38.0	18.0						1			
D735	脾梗塞	無	1	67.0	23.0								1	
D763	黄色肉芽腫	有	1	74.0	8.0								1	
D763	組織球性壊死性リンパ節炎	有	2	46.5	24.0				1					1
		無	2	24.0	9.5				1					
D868	心サルコイドーシス	無	3	61.7	33.0							2		1
E039	甲状腺機能低下症	無	1	71.0	8.0								1	
E049	腺腫様甲状腺腫	有	56	60.3	5.0						5	26	16	9

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
E050	バセドウ病	有	6	50.3	7.0					1	4	1	
		無	4	54.3	4.8					1	1	2	
E052	ブランマー病	有	1	67.0	10.0							1	
		無	1	66.0	20.0							1	
E063	橋本病	有	3	66.3	4.3						1	1	1
E101	1型糖尿病・ケトアシドーシス合併あり	無	2	6.5	10.5	1		1					
E101	1型糖尿病性ケトアシドーシス	無	1	36.0	17.0				1				
E101	劇症1型糖尿病	無	1	73.0	12.0							1	
E109	1型糖尿病・糖尿病性合併症なし	無	2	35.5	5.5			1				1	
E111	2型糖尿病・ケトアシドーシス合併あり	無	1	45.0	12.0					1			
E111	2型糖尿病性ケトアシドーシス	無	1	34.0	14.0				1				
E111	2型糖尿病性ケトアシドーシス	無	1	87.0	30.0								1
E112	2型糖尿病・腎合併症あり	無	5	58.2	11.4					1	1	3	
E112	2型糖尿病性腎症第1期	無	1	51.0	10.0						1		
E112	2型糖尿病性腎症第4期	無	1	82.0	10.0								1
		有	1	76.0	13.0							1	
		無	9	71.0	10.3						2	7	
E115	2型糖尿病・末梢循環合併症あり	無	1	82.0	13.0								1
E116	2型糖尿病性高血糖高浸透圧症候群	有	1	71.0	31.0							1	
		無	4	64.3	12.5				1			2	1
E117	2型糖尿病・多発糖尿病性合併症あり	無	1	44.0	17.0						1		
E119	2型糖尿病・糖尿病性合併症なし	無	8	65.5	8.5						2	5	1
E134	胥性糖尿病・神経学的合併症あり	無	2	75.5	12.0							2	
E139	胥性糖尿病・糖尿病性合併症なし	無	1	76.0	13.0							1	
E146	高血糖高浸透圧症候群	無	3	49.7	13.0					1	1	1	
E161	ケトン性低血糖症	無	1	3.0	2.0			1					
E162	低血糖	無	1	65.0	2.0							1	
E162	低血糖発作	無	1	51.0	3.0						1		
E210	原発性副甲状腺機能亢進症	有	4	68.3	4.8						1	3	
		無	2	72.5	2.5							2	
E211	二次性副甲状腺機能亢進症	有	2	70.0	9.5							2	
E213	副甲状腺機能亢進症	無	1	57.0	3.0						1		
E222	抗利尿ホルモン不適合分泌症候群	無	1	83.0	15.0								1
E228	中枢性思春期早発症	無	1	9.0	2.0			1					
E230	A C T H分泌低下症	無	1	71.0	3.0							1	
E230	下垂体機能低下症	無	3	56.3	4.3					1	1	1	
E230	汎下垂体機能低下症	無	1	47.0	4.0						1		
E231	薬物誘発性下垂体機能低下症	無	1	62.0	4.0							1	
E236	ラトケのう胞	無	1	10.0	2.0			1					
E260	原発性アルドステロン症	無	4	42.5	3.8					1	3		
E260	原発性アルドステロン症の疑い	無	5	50.2	3.0						5		
E270	サブクリニカルクッシング症候群	無	1	85.0	3.0								1
E272	副腎クリーゼ	無	1	1.0	2.0	1							
E274	続発性副腎皮質機能低下症	無	4	71.5	11.0						1	1	2
E274	続発性副腎皮質機能低下症の疑い	無	1	82.0	3.0								1
E274	副腎皮質機能低下症	無	2	73.0	8.0							2	
E343	S G A性低身長症	無	1	7.0	2.0			1					
E46	栄養失調	無	4	21.8	4.5	3							1
E512	ウェルニッケ脳症	無	1	49.0	22.0						1		
E639	栄養障害	無	1	65.0	15.0							1	
E662	肥満低換気症候群	有	1	39.0	43.0					1			
E668	病的肥満症	有	1	46.0	29.0						1		
E835	悪性腫瘍による高カルシウム血症	無	1	2.0	8.0	1							
E835	高カルシウム血症	無	1	85.0	15.0								1
E854	心アミロイドーシスの疑い	無	1	77.0	3.0							1	
E86	脱水症	無	10	74.0	8.5			1		1		2	6
		有	1	79.0	13.0							1	
E871	低ナトリウム血症	無	11	80.2	10.7							6	5
E872	ケトアシドーシス	無	2	65.0	2.0							2	
E872	ケトン血性嘔吐症	無	1	17.0	3.0			1					
E872	乳酸アシドーシス	無	1	68.0	8.0							1	
		有	1	42.0	19.0						1		
		無	5	64.8	14.8						3		2
E888	M E L A S症候群	無	1	16.0	2.0			1					
E896	医原性副腎皮質機能低下症	無	1	71.0	8.0							1	
E896	下垂体性術後副腎皮質機能低下症	無	1	82.0	12.0								1
F028	レビー小体型認知症	無	1	71.0	90.0							1	
F03	認知症の疑い	無	1	70.0	61.0							1	
F051	認知症に重なったせん妄	無	1	75.0	40.0							1	
F102	アルコール依存症	無	3	61.3	58.7						1	2	
F104	アルコール離脱せん妄	無	1	46.0	38.0						1		
F150a	カフェイン使用による急性精神・行動障害	無	1	15.0	18.0			1					
F195	ステロイド精神病	無	1	78.0	37.0							1	
F200	妄想型統合失調症	無	6	49.7	46.8					1	3	2	
F201	破瓜型統合失調症	無	1	40.0	15.0					1			
F203	型分類困難な統合失調症	無	9	44.1	100.6			1		1	6	1	
F208	統合失調症様状態	無	2	42.0	52.0				1			1	

IV
クリニカル
インディケ
ーター

退院患者数

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
F220	妄想性障害	無	2	74.0	66.0							2	
F310	双極性感情障害・軽躁病エピソード	有	1	38.0	14.0					1			
F310	双極性感情障害・軽躁病エピソード	無	1	67.0	16.0							1	
F312	双極性感情障害・精神病症状を伴う躁病エピソード	無	1	58.0	135.0						1		
F313	双極性感情障害・中等症うつ病エピソード	無	1	38.0	38.0					1			
F314	双極性感情障害・精神病症状を伴わない重症うつ病エピソード	無	3	36.7	47.3				1	1		1	
F315	双極性感情障害・精神病症状を伴う重症うつ病エピソード	無	1	87.0	54.0								1
F316	双極性感情障害・混合性エピソード	無	8	58.0	67.1					3		5	
F318	双極 I I 型障害	有	1	53.0	19.0						1		
F319	双極性感情障害	無	1	58.0	43.0						1		
F321	中等症うつ病エピソード	無	1	75.0	57.0							1	
F322	精神病症状を伴わない重症うつ病エピソード	無	2	47.0	26.5					1		1	
F328	思春期うつ病	無	5	13.8	47.0			5					
F328	退行期うつ病	無	1	70.0	67.0							1	
F410	パニック障害	無	1	28.0	45.0					1			
F411	全般性不安障害	無	1	53.0	59.0						1		
F430	急性ストレス反応	無	3	24.7	17.3			1	1		1		
F431	心的外傷後ストレス障害	無	1	14.0	57.0			1					
F432	適応障害	無	9	23.0	63.6			6		2		1	
F440	解離性健忘	無	2	15.5	35.0			1	1				
F444	解離性運動障害	無	1	22.0	13.0					1			
F445	憤怒癇癇	無	1	1.0	2.0	1							
F447	混合性解離性障害	無	1	18.0	63.0				1				
F449	解離性障害の疑い	無	1	16.0	2.0				1				
F453	心因性胃痙攣の疑い	無	1	72.0	2.0							1	
F500	神経性食欲不振症	無	4	13.0	57.8			4					
F603b	境界型パーソナリティ障害	無	1	22.0	54.0					1			
F701	軽度知的障害・要治療の行動機能障害あり	無	1	15.0	31.0			1					
F711	中等度知的障害・要治療の行動機能障害あり	無	1	15.0	40.0			1					
F721	重度知的障害・要治療の行動機能障害あり	無	1	16.0	47.0				1				
F840	高機能自閉症	無	3	14.0	75.7			3					
F840	自閉症	無	1	11.0	15.0			1					
F840	小児自閉症	無	3	14.3	38.3			3					
F900	注意欠陥多動障害	無	9	10.3	48.4			9					
G030	無菌性髄膜炎	無	1	29.0	12.0					1			
G039	髄膜炎の疑い	無	1	25.0	4.0					1			
G048	抗NMDA受容体脳炎の疑い	無	1	33.0	2.0					1			
G060	頭部脳膿瘍	有	1	47.0	60.0						1		
G060	脳膿瘍	有	3	52.3	59.3					1	1	1	
G061	胸椎脊髄硬膜外膿瘍	有	1	85.0	29.0								1
G062	硬膜外膿瘍	有	2	59.5	34.0					1			1
G121	脊髄性筋萎縮症 I I I 型	無	2	43.0	2.0						2		
G121	脊髄性筋萎縮症 I I 型	無	2	2.5	2.0	1	1						
G122	筋萎縮性側索硬化症	無	1	78.0	15.0							1	
G122	脊髄性筋萎縮症	無	2	6.0	2.0			2					
G128	頸椎症性筋萎縮症	有	4	73.5	18.3							3	1
G128	頸椎症性筋萎縮症	無	4	74.3	2.0							3	1
G20	パーキンソン病	有	1	75.0	34.0							1	
G20	パーキンソン病	無	1	76.0	12.0							1	
G210	悪性症候群	無	1	60.0	11.0						1		
G253	ミオクロームス	無	1	0.0	31.0	1							
G360	視神経脊髄炎	有	1	55.0	4.0						1		
G401	焦点性てんかん	無	1	11.0	9.0			1					
G402	症候性部分てんかん	無	5	23.2	5.8			2	2				1
G402	症候性複雑部分てんかん	無	1	83.0	19.0								1
G402	側頭葉てんかん	有	1	58.0	32.0						1		
G402	側頭葉てんかん	無	1	79.0	26.0							1	
G402	特発性部分てんかん	無	2	7.0	2.0			2					
G402	部分てんかん	無	1	13.0	2.0			1					
G403	特発性全般てんかん	無	1	23.0	2.0					1			
G404	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	無	2	11.5	2.0			2					
G404	点頭てんかん	無	4	2.3	15.5	2	2						
G408	症候性てんかん	有	1	1.0	47.0	1							
G408	症候性てんかん	無	43	45.4	9.8	11	1	5			4	15	7
G408	症候性てんかんの疑い	有	1	67.0	5.0							1	
G408	症候性てんかんの疑い	無	4	49.5	1.8	1		1					2
G409	てんかん	無	2	5.5	1.5			1	1				
G409	てんかんの疑い	無	4	19.0	2.0			1	2	1			
G409	脳炎後てんかん	無	1	26.0	6.0					1			
G419	てんかん重積状態	無	2	68.5	7.0						1		1
G431	片麻痺性片頭痛	無	1	56.0	7.0						1		
G439	片頭痛	無	1	4.0	2.0			1					
G442	緊張型頭痛	無	1	78.0	2.0							1	
G459	一過性脳虚血発作	無	7	71.0	5.0						1	4	2
G471	特発性過眠症	無	1	25.0	1.0					1			
G473	睡眠時無呼吸症候群	有	6	6.7	11.7			1	5				
G473	睡眠時無呼吸症候群	無	1	6.0	2.0			1					

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
G473	中枢性睡眠時無呼吸	無	1	0.0	4.0	1								
G473	閉塞性睡眠時無呼吸	有	1	3.0	10.0		1							
G473	閉塞性睡眠時無呼吸	無	1	0.0	4.0	1								
G500	三叉神経痛第2・3枝領域	有	1	72.0	32.0								1	
G500	三叉神経痛第2枝領域	無	1	83.0	10.0									1
G510	顔面神経麻痺	無	2	39.5	8.5	1							1	
G510	特発性末梢性顔面神経麻痺	無	4	62.0	9.0				1			2	1	
G510	末梢性顔面神経麻痺	無	3	64.0	9.0					1		2		
G522	迷走神経障害	無	1	81.0	2.0									1
G530	ハント症候群	無	2	57.5	9.0					1		1		
G530	ハント症候群後遺症	有	1	70.0	9.0							1		
G530	帯状疱疹後神経痛	有	1	79.0	7.0							1		
G530	帯状疱疹後神経痛	無	1	70.0	13.0							1		
G562	肘部管症候群	有	2	66.5	5.5						1	1		
G610	ギラン・バレー症候群	無	1	72.0	23.0							1		
G618	慢性炎症性脱髄性多発神経炎	無	3	61.3	5.0						2	1		
G620	薬物誘発性多発ニューロパチー	無	1	73.0	5.0							1		
G64	末梢性神経障害性疼痛	有	1	61.0	6.0							1		
G64	末梢性神経障害性疼痛	無	2	66.0	7.0						1	1		
G700	重症筋無力症	無	1	54.0	2.0						1			
G723	低カリウム血症周期性四肢麻痺	無	1	17.0	2.0				1					
G809	脳性麻痺	無	2	0.0	9.0	2								
G908	神経調節性失神	有	1	84.0	3.0									1
G908	神経調節性失神	無	1	73.0	2.0								1	
G910	交通性水頭症	有	1	80.0	26.0									1
G911	非交通性水頭症	有	4	12.8	19.3				4					
G912	正常圧水頭症	有	2	82.5	27.0									2
G913	外傷後水頭症	有	1	73.0	13.0								1	
G913	外傷後水頭症	無	1	72.0	3.0								1	
G919	硬膜下水腫	無	1	0.0	2.0	1								
G931	低酸素性脳症	有	1	82.0	7.0									1
G931	低酸素性脳症	無	3	48.3	18.3				1			1		1
G934	脳梁膨大部に一過性拡散低下を伴う脳炎・脳症	無	1	3.0	4.0			1						
G948	インフルエンザ脳症後遺症	無	1	2.0	10.0	1								
G950	脊髄空洞症	有	1	15.0	11.0				1					
G950	脊髄空洞症	無	2	18.0	6.5				1					
G960	脳脊髄液漏	無	1	70.0	11.0					1			1	
H020	眼瞼内反症	有	12	12.8	3.3			3	7	1		1		
H020	睫毛内反症	有	3	9.0	3.0			1	2					
H063	甲状腺眼症	無	1	60.0	16.0							1		
H110	翼状片	有	2	67.5	3.0							1	1	
H113	結膜下出血	有	1	84.0	10.0									1
H160	カタル性角膜潰瘍	無	1	71.0	3.0								1	
H191	ヘルペス角膜炎	有	1	80.0	26.0									1
H250	後のう下白内障	有	2	55.0	5.0					1			1	
H250	老人性初発白内障	有	47	74.6	5.5							3	30	14
H250	老人性初発白内障	無	4	77.5	2.5								2	2
H258	成熟白内障	有	6	79.8	8.0							1	2	3
H263	ステロイド白内障	有	1	58.0	10.0							1		
H348	網膜静脈分枝閉塞症による黄斑浮腫	無	1	63.0	3.0								1	
H353	黄斑凹孔	有	1	71.0	17.0								1	
H353	滲出型加齢黄斑変性	無	1	80.0	2.0									1
H402	急性緑内障発作	有	1	65.0	16.0								1	
H431	硝子体出血	有	1	81.0	24.0									1
H46	視神経炎	無	1	67.0	6.0								1	
H500	内斜視	有	3	5.7	3.0			1	2					
H500	部分調節性内斜視	有	1	5.0	3.0			1						
H501	外斜視	有	1	8.0	3.0				1					
H502	下斜筋過動	有	1	6.0	3.0				1					
H502	下斜視	有	1	18.0	3.0					1				
H503	間欠性外斜視	有	15	9.2	3.0			1	13		1			
H503	間欠性外斜視	無	2	6.0	2.0				2					
H504	乳児内斜視	有	1	1.0	3.0	1								
H55	先天性眼振	有	1	23.0	3.0					1				
H588	眼部帯状疱疹	無	1	88.0	22.0									1
H605	急性外耳炎	無	1	61.0	11.0								1	
H652	慢性滲出性中耳炎	有	2	6.0	4.0			1	1					
H663	慢性化膿性穿孔性中耳炎	有	15	28.4	4.5				7	2	1	3	2	
H71	真珠腫性中耳炎	有	4	50.0	7.3						2		2	
H810	メニエール症候群	無	2	80.0	4.0								1	1
H810	メニエール病	無	5	56.4	6.6							5		
H810	内耳性めまい	無	2	81.0	6.5								1	1
H810	迷路性めまい	無	1	70.0	7.0								1	
H811	良性発作性頭位めまい症	無	2	50.5	7.0					1			1	
H812	前庭神経炎	無	3	70.7	8.7						1	1	1	1
H813	耳性めまい	無	4	60.8	5.5					2				2
H813	末梢性めまい症	無	7	67.4	5.4							3	2	2

退院患者数

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
H819	回転性めまい	無	1	80.0	5.0									1
H912	突発性難聴	無	5	75.0	10.6							3		2
I050	僧帽弁狭窄症	無	1	87.0	16.0									1
I071	三尖弁閉鎖不全症	有	3	68.3	41.3							3		
		無	3	75.0	10.3							2		1
I080	僧帽弁狭窄兼閉鎖不全症兼大動脈弁閉鎖不全症	無	1	79.0	17.0							1		
I080	大動脈弁狭窄症兼僧帽弁閉鎖不全症	有	2	82.5	42.0							1		1
		無	1	87.0	20.0									1
I080	大動脈弁閉鎖不全症兼僧帽弁閉鎖不全症	有	1	79.0	70.0								1	
I081	僧帽弁閉鎖不全症兼三尖弁閉鎖不全症	有	9	70.9	23.9						1	5		3
I082	大動脈弁狭窄症兼三尖弁閉鎖不全症	有	1	82.0	20.0									1
I083	大動脈弁狭窄症兼僧帽弁閉鎖不全症兼三尖弁閉鎖不全症	有	3	83.3	18.0								1	2
		無	4	83.0	10.0								1	3
I083	大動脈弁閉鎖不全症兼僧帽弁閉鎖不全症兼三尖弁閉鎖不全症	有	2	75.0	35.5								2	
I088	三尖弁閉鎖不全症兼肺動脈弁閉鎖不全症	有	1	74.0	20.0								1	
I110	高血圧性うっ血性心不全	無	7	74.6	9.9								5	2
I200	初発労作型狭心症	有	1	84.0	4.0									1
I200	増悪労作型狭心症	無	2	83.0	2.5									2
I200	不安定狭心症	有	19	70.0	10.6							4	11	4
		無	11	67.6	3.0							2	8	1
I200	不安定狭心症の疑い	無	3	77.7	4.3								1	2
I201	冠攣縮性狭心症	無	7	61.9	2.9						3		4	
I201	冠攣縮性狭心症の疑い	無	2	79.0	3.0								1	1
I208	安静時狭心症	有	1	70.0	3.0									1
I208	労作性狭心症	有	142	73.7	5.4							18	80	44
		無	234	72.9	3.1							29	138	67
I208	労作性狭心症の疑い	無	10	70.4	3.0					1		1	5	3
		有	1	85.0	3.0									1
I209	安定狭心症	無	1	85.0	3.0									1
I210	急性広範前壁心筋梗塞	有	5	76.2	19.4								3	2
I210	急性前側壁心筋梗塞	有	2	64.5	31.5						1		1	
I210	急性前壁心筋梗塞	有	16	68.8	17.3						1	3	9	3
		無	1	91.0	2.0									1
I210	急性前壁中隔心筋梗塞	有	2	86.5	24.5									2
I211	急性下後壁心筋梗塞	有	1	50.0	15.0							1		
I211	急性下壁心筋梗塞	有	16	67.9	11.4							4	10	2
		無	1	74.0	36.0								1	
I212	急性後壁心筋梗塞	有	8	71.5	13.3							1	4	3
I212	急性側壁心筋梗塞	有	1	67.0	4.0								1	
I219	急性心筋梗塞の疑い	無	1	73.0	1.0								1	
I232	急性心筋梗塞後心室中隔穿孔	無	1	72.0	7.0								1	
I233	急性心筋梗塞後心破裂	有	1	81.0	101.0									1
I249	急性冠症候群	有	1	54.0	11.0							1		
		無	1	80.0	4.0									1
I251	冠状動脈狭窄症	有	2	83.5	11.0								1	1
		無	1	70.0	3.0								1	
I251	冠状動脈狭窄症の疑い	無	1	68.0	3.0								1	
I251	冠状動脈硬化症	有	1	67.0	4.0								1	
		無	2	78.0	3.0								1	1
I252	陳旧性下壁心筋梗塞	無	5	65.6	2.8						2	2	1	
I252	陳旧性心筋梗塞	無	42	69.5	3.0						10	23	9	
I252	陳旧性前壁心筋梗塞	無	4	65.8	3.0						1	3		
I252	陳旧性前壁心筋梗塞の疑い	無	1	87.0	3.0									1
I252	陳旧性前壁中隔心筋梗塞	無	2	73.0	3.0								2	
I255	虚血性心筋症	有	4	74.8	23.0								2	2
		無	2	58.5	3.0							1	1	
I255	心筋虚血	有	2	72.5	5.0								2	
		無	2	73.0	3.0								2	
I255	心筋虚血の疑い	無	1	60.0	3.0						1			
I256	無症候性心筋虚血	有	6	77.3	5.3								4	2
		無	14	75.9	3.0								9	5
I256	無症候性心筋虚血の疑い	無	1	59.0	3.0						1			
I269	肺血栓塞栓症	有	3	78.3	17.7								2	1
		無	1	78.0	12.0								1	
I269	肺動脈血栓塞栓症	有	1	77.0	37.0								1	
I270	肺高血圧症	有	1	82.0	15.0									1
I300	急性非特異性特発性心膜炎	無	1	22.0	4.0					1				
I310	癒着性心膜炎	無	1	84.0	7.0									1
I311	収縮性心膜炎	有	2	73.5	93.5								1	1
		無	1	62.0	3.0								1	
I319	心タンポナーデ	有	1	64.0	13.0								1	
I319	心膜液貯留	有	1	85.0	33.0									1
		無	4	79.0	4.0								2	2
I330	MRSA感染性心内膜炎	有	1	72.0	91.0								1	
I330	感染性心内膜炎	有	7	71.0	55.0							2	2	3
		無	1	78.0	38.0								1	

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
I340	僧帽弁逆流症	有	1	80.0	26.0									1
		無	3	73.7	8.3							3		
I340	僧帽弁閉鎖不全症	有	21	75.4	18.1					1	1	9	10	
		無	14	75.7	9.9					1	1	2	10	
I341	僧帽弁逸脱	無	1	64.0	3.0								1	
I350	大動脈弁狭窄症	有	59	83.5	21.1							14	45	
		無	36	83.4	5.0							7	29	
I351	大動脈弁閉鎖不全症	無	2	79.5	3.5								1	1
I352	大動脈弁狭窄兼閉鎖不全症	有	1	85.0	22.0									1
		無	1	78.0	12.0							1		
I352	大動脈弁狭窄閉鎖不全症	有	1	88.0	14.0									1
I398	全身性エリテマトーデス性心膜炎	無	1	16.0	7.0			1						
I408	劇症型心筋炎	有	3	37.3	14.0					2	1			
I409	急性心筋炎	無	1	49.0	12.0						1			
I420	拡張型心筋症	無	3	73.7	14.3								2	1
I420	拡張型心筋症の疑い	無	2	61.5	3.0						1	1		
I420	特発性拡張型心筋症	有	2	61.0	88.5								2	
		無	2	62.0	37.5								2	
I421	閉塞性肥大型心筋症	無	1	77.0	10.0								1	
I422	肥大型心筋症	無	2	65.5	3.0								2	
I422	肥大型心筋症の疑い	無	1	55.0	3.0						1			
I441	高度房室ブロック	有	4	64.3	6.5					1		2	1	
I442	完全房室ブロック	有	15	78.1	9.4						2	4	9	
I442	第3度房室ブロック	有	1	82.0	7.0									1
I456	WPW症候群	有	1	50.0	5.0						1			
I458	遺伝性QT延長症候群	無	1	0.0	4.0	1								
I460	蘇生に成功した心停止	有	1	62.0	1.0								1	
		無	4	40.5	2.3	1		1					1	1
I469	心肺停止	有	1	34.0	1.0					1				
I469	来院時心肺停止	有	9	66.6	1.0			1			1	5	2	
		無	72	76.7	1.0	1		1	1	2	4	24	39	
I471	心房頻拍	無	1	81.0	12.0									1
I471	発作性上室頻拍	有	11	60.5	4.6					1	3	7		
		無	1	97.0	7.0									1
I472	心室頻拍	有	2	84.0	9.0									2
		無	4	73.5	19.3								3	1
I472	心室頻拍の疑い	有	1	84.0	5.0									1
I480	発作性心房細動	有	1	51.0	29.0						1			
		無	1	79.0	2.0								1	
I482	慢性心房細動	有	1	70.0	3.0								1	
I489	徐脈性心房細動	有	1	82.0	6.0									1
I489	心房細動	有	1	86.0	8.0									1
		無	2	65.0	3.0								2	
I489	心房粗動	有	1	58.0	4.0						1			
		無	1	83.0	3.0									1
I489	頻脈性心房細動	無	2	85.0	18.0									2
I490	ブルガダ症候群	有	1	68.0	9.0								1	
I490	ブルガダ症候群の疑い	無	1	37.0	3.0					1				
I490	心室細動	有	5	65.8	21.4						3			2
I495	洞不全症候群	有	16	82.9	8.4								4	12
		無	1	83.0	7.0									1
I500	うっ血性心不全	有	14	82.8	35.6						1	3	10	
		無	80	82.3	16.7						3	22	55	
I500	右心不全	無	3	79.3	10.3								2	1
I500	慢性うっ血性心不全	無	8	83.0	20.8								4	4
I501	心原性肺水腫	無	1	87.0	14.0									1
I509	慢性心不全	無	2	71.0	5.5						1			1
I513	心室内血栓症	有	1	39.0	10.0					1				
I518	たこつぼ型心筋症	無	4	74.3	7.3								3	1
I600	IC-PC動脈瘤破裂によるくも膜下出血	有	1	67.0	50.0								1	
I600	内頸動脈瘤破裂によるくも膜下出血	有	2	47.5	115.0					1			1	
		無	3	72.7	25.3								2	1
I601	中大脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血	有	1	88.0	4.0									1
I602	前交通動脈瘤破裂によるくも膜下出血	有	8	75.8	35.8								6	2
I605	椎骨動脈瘤破裂によるくも膜下出血	有	3	58.3	19.0						2	1		
I606	前大脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血	有	2	69.0	21.5								2	
I608	後下小脳動脈からのくも膜下出血	有	1	84.0	23.0									1
I608	前大脳動脈からのくも膜下出血	有	1	58.0	29.0						1			
I608	脳動静脈奇形破裂によるくも膜下出血	有	1	80.0	23.0									1
I609	特発性くも膜下出血	無	1	69.0	16.0									1
I610	視床出血	有	2	65.0	65.0						1	1		
		無	14	76.5	19.8					1	1	4	8	
I610	脳皮質下出血	有	2	75.5	16.0								2	
		無	12	72.8	19.2					1	1	6	4	
I610	被殻出血	有	2	72.5	31.0								2	
		無	21	66.4	14.4					1	6	9	5	
I610	尾状核出血	有	1	79.0	16.0									1

退院患者数

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
I613	橋出血	無	4	71.0	16.0							3	1
I613	脳幹部出血	有	1	41.0	92.0						1		
		無	5	60.8	11.2					1	1	2	1
I614	小脳出血	有	2	64.0	110.5							2	
		無	4	81.5	15.5							1	3
I615	脳室内出血	有	2	82.0	15.0								2
I620	慢性硬膜下血腫	有	1	85.0	10.0								1
I633	アテローム血栓性脳梗塞	有	6	73.0	17.3						1	2	3
		無	20	72.1	13.2					1	4	8	7
I633	アテローム血栓性脳梗塞・急性期	有	15	68.9	20.2						2	11	2
		無	71	75.7	16.2						8	36	27
I633	再発アテローム血栓性脳梗塞	無	1	60.0	8.0						1		
I634	塞栓性脳梗塞	有	1	65.0	43.0							1	
I634	塞栓性脳梗塞・急性期	有	1	45.0	35.0						1		
		無	2	72.0	21.0						1		1
I634	心原性脳塞栓症	有	19	78.7	18.5						1	9	9
		無	41	83.0	19.8						1	14	26
I638	ラクナ梗塞	有	1	89.0	16.0								1
		無	13	71.2	13.5						3	6	4
I638	出血性脳梗塞	有	1	76.0	9.0							1	
		無	1	77.0	11.0							1	
I638	多発性脳梗塞	有	1	94.0	40.0								1
		無	4	65.5	13.0				1			1	2
I638	多発性脳梗塞の疑い	無	1	92.0	2.0								1
I638	脳動脈解離による脳梗塞	無	1	75.0	8.0							1	
I651	脳底動脈閉塞症	無	1	85.0	35.0								1
I652	頸部高度内頸動脈狭窄症	有	1	80.0	11.0								1
I652	内頸動脈狭窄症	有	10	73.1	12.1						1	7	2
		無	6	68.2	3.5						1	5	
I652	内頸動脈閉塞症	有	2	76.0	16.5							1	1
I660	中大脳動脈狭窄症	無	1	35.0	4.0					1			
I671	後下小脳動脈瘤の術後	無	1	49.0	3.0						1		
I671	硬膜動静脈瘻	有	1	82.0	42.0								1
		無	2	76.0	2.5							2	
I671	前交通動脈瘤	有	2	68.5	9.5						1		1
		無	3	64.3	2.0						2		1
I671	前大脳動脈瘤	有	2	68.0	9.5							2	
		無	3	65.3	2.3						1	2	
I671	中大脳動脈瘤	有	2	60.0	17.0						1	1	
		無	2	41.5	3.0					1	1		
I671	内頸動脈後交通動脈分岐部動脈瘤	無	1	62.0	2.0							1	
I671	脳動脈瘤	無	2	61.0	2.0							2	
I671	未破裂脳動脈瘤	有	3	65.0	7.3							3	
		無	3	59.0	2.3						1	2	
I674	高血圧性脳症	無	1	85.0	6.0								1
I701	腎動脈狭窄症	有	1	83.0	4.0								1
I7020	下肢閉塞性動脈硬化症	有	58	75.2	11.6						2	40	16
		無	17	75.2	3.9							14	3
I7020	末梢動脈硬化症	無	2	78.0	3.5							2	
I7021	下肢閉塞性動脈硬化症・壊疽あり	有	1	73.0	25.0							1	
		無	1	91.0	3.0								1
I710	解離性胸部大動脈瘤	有	6	62.5	32.7						2	3	1
		無	2	69.5	3.5						1		1
I710	解離性大動脈瘤StanfordA	有	1	47.0	30.0						1		
I710	解離性大動脈瘤StanfordB	有	1	41.0	21.0						1		
		無	1	41.0	21.0						1		
I710	急性大動脈解離DeBakeyII	有	1	82.0	52.0								1
I710	急性大動脈解離DeBakeyIIIB	有	1	64.0	20.0							1	
		無	1	64.0	20.0							1	
I710	急性大動脈解離StanfordA	有	11	69.1	36.6						3	6	2
		無	2	88.0	9.0								2
I710	急性大動脈解離StanfordB	無	8	74.1	18.4						1	4	3
I710	急性大動脈解離の疑い	無	1	69.0	4.0							1	
I712	下行胸部大動脈瘤	有	2	76.5	31.0							2	
		無	20	75.5	29.9							16	4
I712	胸部大動脈瘤	有	11	77.6	3.1							8	3
		無	2	78.5	15.5							1	1
I712	胸部大動脈瘤切迫破裂	有	2	78.5	15.5							1	1
		無	1	77.0	27.0							1	
I712	上行大動脈拡張	有	1	77.0	27.0							1	
		無	2	80.5	3.0							1	1
I713	破裂性腹部大動脈瘤	有	1	101.0	10.0								1
I713	腹部大動脈瘤破裂	有	3	79.7	37.3							2	1
		無	44	76.4	18.8					1	1	20	22
I714	腹部大動脈瘤	有	29	78.4	3.3							13	16
		無	3	87.0	40.7							1	2
I714	腹部大動脈瘤切迫破裂	有	3	87.0	40.7							1	2
I716	胸腹部大動脈瘤	無	1	66.0	3.0							1	
I721	上腕動脈瘤	無	1	65.0	8.0							1	
I722	腎動脈瘤	有	1	60.0	18.0						1		
I723	総腸骨動脈瘤	有	5	81.8	5.8							2	3

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
I723	腸骨動脈瘤	有	3	77.7	12.7							2	1
I723	破裂性腸骨動脈瘤	有	1	71.0	46.0							1	
I724	大腿動脈仮性動脈瘤	有	1	76.0	4.0							1	
I724	膝窩動脈瘤	有	1	75.0	11.0							1	
		無	1	74.0	3.0							1	
I726	椎骨動脈瘤	有	1	60.0	8.0						1		
I726	未破裂椎骨動脈解離	無	1	60.0	3.0						1		
I728	鎖骨下動脈瘤	無	1	73.0	3.0							1	
I728	脾動脈瘤	有	2	51.5	11.0					1		1	
I729	偽性動脈瘤	有	1	61.0	6.0							1	
I731	バージャー病	無	1	72.0	3.0							1	
I740	ルリッシュ症候群	有	1	73.0	27.0							1	
		無	1	73.0	5.0							1	
I740	腹部大動脈塞栓症	有	1	70.0	41.0							1	
		無	1	70.0	3.0							1	
I743	下肢急性動脈閉塞症	有	4	80.5	23.3							1	3
I743	下肢慢性動脈閉塞症	無	1	69.0	4.0							1	
I743	大腿動脈閉塞症	有	1	68.0	6.0							1	
I745	腸骨動脈閉塞症	有	1	65.0	27.0							1	
I770	動静脈瘻	有	1	70.0	19.0							1	
I771	外腸骨動脈狭窄	有	2	75.5	8.5							1	1
I772	大動脈十二指腸瘻	有	1	90.0	99.0								1
I772	大動脈食道瘻	有	1	64.0	76.0							1	
I802	深部静脈血栓症	有	3	55.7	2.0					1		2	
I839	下肢血栓性静脈瘤	有	2	74.0	4.0							2	
I839	下肢静脈瘤	有	4	70.5	3.3						1	3	
I839	上肢静脈瘤	有	1	25.0	3.0					1			
I850	食道静脈瘤出血	有	2	58.0	8.5						1	1	
I850	食道静脈瘤破裂	有	1	72.0	11.0							1	
I859	食道胃静脈瘤	有	1	63.0	9.0							1	
I859	食道静脈瘤	有	4	64.3	15.0						2	2	
I861	精索静脈瘤	有	1	15.0	3.0			1					
I898	乳び胸	無	1	73.0	25.0							1	
I951	起立性調節障害の疑い	無	1	13.0	4.0			1					
I959	一過性低血圧症	無	1	99.0	2.0								1
I988	脚気心	無	1	65.0	13.0							1	
J018	複数洞急性副鼻腔炎	有	1	91.0	13.0								1
J028	アデノウイルス咽頭炎	無	1	1.0	3.0	1							
J028	ウイルス性咽頭炎	無	1	0.0	5.0	1							
J029	急性咽頭炎	無	4	1.5	3.8	3	1						
J039	急性化膿性扁桃炎	無	1	6.0	4.0			1					
J039	急性扁桃炎	無	2	18.0	5.5				2				
J040	急性声門下喉頭炎	無	2	34.5	2.5	1						1	
J050	急性閉塞性喉頭炎	無	2	1.0	3.0	2							
J051	急性喉頭蓋炎	有	1	70.0	7.0							1	
		無	1	83.0	6.0								1
J068	咽頭扁桃炎	無	1	1.0	2.0	1							
J069	急性上気道炎	無	12	1.7	3.4	9	2	1					
J101	インフルエンザB型	無	1	2.0	4.0	1							
J123	ヒトメタニューモウイルス肺炎	無	1	77.0	12.0							1	
J13	肺炎球菌肺炎	無	1	70.0	26.0							1	
J151	緑膿菌肺炎	無	1	70.0	10.0							1	
J152	MRSA肺炎	有	1	82.0	23.0								1
		無	1	85.0	10.0								1
J152	ぶどう球菌性肺炎	有	1	80.0	3.0								1
J159	細菌性肺炎	有	3	89.7	40.3								3
		無	66	74.9	13.1	1					5	34	26
J171	サイトメガロウイルス肺炎	有	1	70.0	41.0							1	
J180	気管支肺炎	無	2	84.0	15.0							1	1
J188	胸膜肺炎	2	41.5	13.0			1					1	
J189	急性肺炎	有	1	78.0	21.0							1	
		無	9	22.3	5.1	2	2	3				2	
J189	肺炎	無	2	72.0	5.0							1	1
J205	RSウイルス気管支炎	無	1	1.0	4.0	1							
J209	クループ性気管支炎	無	1	0.0	4.0	1							
J209	急性気管支炎	無	37	2.1	4.1	27	6	3	1				
J219	急性細気管支炎	無	1	0.0	5.0	1							
J304	アレルギー性鼻炎	有	4	34.3	6.3					3	1		
J320	上顎洞炎	有	2	48.0	11.5				1			1	
J324	汎副鼻腔炎	有	8	55.9	5.9					1	4	3	
J328	複数洞慢性副鼻腔炎	有	25	60.0	6.7				4	7	12	2	
J329	慢性副鼻腔炎急性増悪	有	1	86.0	9.0								1
J341	術後性上顎のう胞	有	2	65.5	7.0						1		1
J341	上顎嚢胞	有	1	81.0	9.0								1
J350	慢性扁桃炎	有	12	24.5	12.1	1	1	3	1	3	2	1	
J350	扁桃病巣感染症	有	2	51.0	11.0					1		1	
J351	扁桃肥大	有	6	6.8	10.8	2		4					

退院患者数

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
J352	アデノイド肥大	有	1	10.0	6.0			1					
J36	扁桃周囲膿瘍	有	2	41.0	8.5					1	1		
J381	声帯ポリープ	有	2	60.5	7.0					1	1	1	
J383	声帯のう胞	有	2	46.5	3.5					1	1		
J385	喉頭痙攣	有	1	44.0	4.0						1		
J387	喉頭蓋のう胞	有	1	78.0	4.0							1	
J387	喉頭肉芽腫	有	2	71.0	8.0							1	1
J387	喉頭肉芽腫	有	1	55.0	4.0					1			
J390	深頸部膿瘍	無	1	1.0	8.0	1							
J432	中心小葉性肺気腫	無	2	81.0	14.5								2
J441	慢性閉塞性肺疾患の急性増悪	無	3	81.7	8.7							2	1
J448	閉塞性気管支炎	無	1	7.0	4.0			1					
J449	慢性閉塞性肺疾患	無	1	76.0	9.0							1	
J450	小児喘息	無	13	4.7	5.0	4	5	4					
J450	小児喘息性気管支炎	無	1	1.0	4.0	1							
J459	気管支喘息	無	1	5.0	3.0		1						
J459	喘息性気管支炎	有	1	2.0	4.0	1							
J46	気管支喘息発作	無	3	1.7	4.3	3							
J46	気管支喘息発作	無	9	35.4	6.4		2	3			1	3	
J47	限局性気管支拡張症	有	1	71.0	4.0							1	
J690	誤嚥性肺炎	有	21	77.6	43.8	1					1	6	13
J690	誤嚥性肺炎	無	59	78.3	14.8	2		1	2			18	36
J700	放射線肺炎	無	3	77.3	27.7							3	
J702	急性薬物誘発性間質性肺障害	無	2	66.0	26.0					1	1		
J704	薬剤性間質性肺炎	無	2	74.0	8.0							2	
J80	急性呼吸窮迫症候群	有	1	98.0	12.0								1
J82	慢性好酸球性肺炎	有	1	81.0	16.0								1
J82	慢性好酸球性肺炎の疑い	無	1	62.0	2.0							1	
J840	自己免疫性肺胞蛋白症	有	3	40.3	19.7			2		1			
J841	びまん性間質性肺炎	有	1	80.0	25.0								1
J841	びまん性間質性肺炎	無	18	77.2	13.8							13	5
J841	特発性間質性肺炎	無	1	87.0	7.0								1
J841	特発性器質性肺炎	無	5	73.8	16.8					1	2	2	
J841	特発性器質性肺炎の疑い	無	1	73.0	2.0							1	
J841	特発性肺線維症	無	6	79.0	5.7							3	3
J848	器質性肺炎	有	1	62.0	39.0							1	
J848	器質性肺炎	無	2	78.5	4.0							1	1
J849	間質性肺炎	無	1	62.0	8.0							1	
J849	間質性肺炎の疑い	無	1	46.0	2.0					1			
J851	肺炎合併肺膿瘍	無	1	76.0	17.0							1	
J852	肺化膿症	有	1	69.0	29.0							1	
J852	肺化膿症	無	1	80.0	30.0								1
J869	急性膿胸	有	4	66.3	22.8				1			2	1
J869	膿胸	無	2	77.0	16.5							1	1
J869	膿胸	有	1	85.0	16.0								1
J90	胸水貯留	有	1	79.0	50.0							1	
J90	胸水貯留	無	2	77.0	17.0							1	1
J90	細菌性胸膜炎	無	5	72.2	15.4					1	3	3	1
J931	自然気胸	有	10	28.6	6.3			4	3	3			
J931	自然気胸	無	4	56.5	11.0			1	1				2
J938	続発性気胸	有	5	60.4	10.8					2	3		
J938	続発性気胸	無	3	81.0	7.7								3
J9601	急性2型呼吸不全	無	3	41.0	29.3			2					1
J9609	慢性呼吸不全	無	1	57.0	3.0					1			
J9611	慢性2型呼吸不全	無	1	81.0	16.0								1
J986	横隔膜腫瘍	有	1	74.0	6.0							1	
J988	気道狭窄	有	2	73.0	9.5							2	
J991	膠原病性間質性肺炎	無	1	88.0	33.0								1
J998	肺アスペルギルス症	有	1	80.0	12.0								1
J998	肺アスペルギルス症の疑い	無	1	71.0	2.0							1	
K010	下顎骨性完全埋伏智歯	有	2	50.0	3.0					1		1	
K010	骨性完全埋伏智歯	有	1	16.0	4.0				1				
K011	下顎水平埋伏智歯	有	1	24.0	4.0					1			
K011	上顎正中過剰埋伏智歯	有	2	6.5	3.5			2					
K011	正中過剰埋伏智歯	有	1	8.0	4.0			1					
K011	埋伏智歯	有	2	59.0	3.0					1			1
K028	う蝕第4度	有	1	51.0	2.0						1		
K040	歯髄炎	無	1	5.0	4.0			1					
K045	根尖性歯周炎	有	4	75.5	2.5							3	1
K045	慢性根尖性歯周炎	有	2	82.5	2.0							1	1
K046	外歯瘻	有	2	78.5	7.5							1	1
K048	歯根のう胞	有	8	53.8	5.0				1	2	1	3	1
K050	急性歯肉炎	無	1	69.0	15.0							1	
K073	下顎歯原性角化のう胞	有	1	50.0	2.0						1		
K073	下顎水平埋伏智歯	有	8	54.1	2.5			1	3	1	1	1	2
K076	顎関節症	無	1	50.0	4.0						1		
K079	顎変形症	有	1	18.0	5.0			1					

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
K082	歯槽骨萎縮	無	1	60.0	2.0						1		
K082	歯槽堤萎縮症	無	1	63.0	2.0							1	
K090	下顎歯原性	有	1	69.0	5.0							1	
K090	下顎歯原性角化のう胞	有	3	27.3	5.3			1		1	1		
K090	含菌性のう胞	有	6	54.8	5.7					2	2	2	
K090	含菌性嚢胞	有	1	70.0	5.0							1	
K091	鼻口蓋管のう胞	有	2	63.5	4.0							2	
K092	下顎顎骨のう胞	有	1	9.0	8.0			1					
K092	単純性骨嚢胞	有	1	13.0	5.0			1					
K100	下顎隆起	有	4	71.5	7.8							4	
K100	口蓋隆起	有	1	64.0	8.0							1	
K102	ビスフォスフォネート関連顎骨壊死	有	6	79.2	12.0						1		5
K102	下顎骨壊死	有	1	62.0	30.0							1	
K102	下顎骨周囲炎	有	1	71.0	9.0							1	
K102	顎骨腐骨	有	2	83.0	13.5							1	1
K102	骨吸収抑制薬関連顎骨壊死	有	8	79.0	12.9						1	4	3
K102	上顎骨髄炎	有	1	76.0	5.0							1	
K102	部骨吸収抑制薬関連顎骨壊死	有	2	80.0	11.5							1	1
K115	顎下腺唾石症	有	2	76.0	7.0							1	1
K115	唾石症	無	1	70.0	8.0							1	
K115	唾石症	有	1	40.0	7.0				1				
K122	顎下部膿瘍	有	1	85.0	13.0								1
K122	口腔底蜂巣炎	無	1	79.0	6.0							1	
K122	舌下隙膿瘍	有	1	34.0	6.0				1				
K130	口唇炎	無	1	2.0	4.0	1							
K20	術後食道炎	有	1	77.0	8.0							1	
K210	逆流性食道炎	有	2	80.5	8.5							1	1
K210	逆流性食道炎	無	3	55.3	5.3			1				2	
K210	術後逆流性食道炎	有	1	71.0	12.0							1	
K219	胃食道逆流症	無	3	0.0	2.0	3							
K220	食道アカラシア	有	1	80.0	3.0								1
K221	出血性食道潰瘍	有	1	61.0	5.0							1	
K222	食道狭窄	有	1	69.0	27.0							1	
K222	噴門狭窄	有	2	61.0	2.5							2	
K226	マロリ・ワイス症候群	無	1	85.0	2.0								1
K228	食道通過障害	無	1	86.0	11.0								1
K250	急性胃粘膜病変	有	1	71.0	8.0							1	
K250	急性出血性胃潰瘍	有	20	77.9	9.8						1	9	10
K250	急性出血性胃潰瘍	無	2	89.5	4.0								2
K251	急性胃潰瘍穿孔	有	3	68.7	15.0						1	1	1
K254	出血性胃潰瘍	有	1	83.0	9.0						1	1	1
K255	穿孔性胃潰瘍	有	1	66.0	17.0							1	
K260	急性出血性十二指腸潰瘍	有	2	82.0	11.5								2
K261	急性十二指腸潰瘍穿孔	有	1	54.0	12.0						1		
K262	急性出血性十二指腸潰瘍穿孔	有	1	78.0	27.0							1	
K265	穿孔性十二指腸潰瘍	有	1	80.0	13.0								1
K283	急性吻合部潰瘍	有	1	85.0	19.0								1
K291	急性胃炎	無	2	43.0	8.0			1				1	
K298	十二指腸炎	無	1	73.0	6.0							1	
K30	機能性ディスペプシア	無	1	9.0	7.0			1					
K315	上腸間膜動脈症候群	無	2	18.0	4.0				2				
K317	胃ポリープ	有	2	80.0	5.0							1	1
K317	胃過形成ポリープ	有	5	74.4	5.2							4	1
K318	胃軸捻症	無	1	76.0	11.0							1	
K318	胃前庭部毛細血管拡張症	有	8	80.6	6.0							2	6
K353	急性穿孔性虫垂炎	有	7	56.7	11.1			1		1	1	3	1
K353	虫垂炎性腹膜炎	有	5	75.0	19.6							4	1
K353	虫垂周囲膿瘍	有	6	44.2	7.2			1		2	2	1	
K358	急性壊死性虫垂炎	有	1	32.0	7.0					1			
K358	急性壊疽性虫垂炎	有	1	34.0	11.0					1			
K358	急性虫垂炎	有	17	43.5	4.9			1	2	4	5	5	
K358	急性虫垂炎	無	6	30.5	5.8			1	2	1	1	1	
K358	蜂巣炎性虫垂炎	有	2	35.0	4.5					1	1		
K36	慢性虫垂炎	有	1	51.0	4.0					1	1		
K37	虫垂炎	無	1	11.0	8.0			1					
K382	虫垂憩室	有	2	70.0	13.0							2	
K402	両側外単径ヘルニア	有	2	75.0	7.5							2	
K402	両側内単径ヘルニア	有	1	74.0	4.0							1	
K402	両側単径ヘルニア	有	7	2.7	3.0	5		1	1				
K403	単径ヘルニア嵌頓	有	1	81.0	7.0								1
K409	外単径ヘルニア	有	16	70.4	4.9					1	1	10	4
K409	再発性単径ヘルニア	有	2	66.5	4.5							2	
K409	内単径ヘルニア	有	3	77.3	4.3							2	1
K409	単径ヘルニア	有	47	24.9	3.5	10	13	10			2	7	5
K409	単径ヘルニア	無	2	2.0	2.0	1	1						
K413	大腿ヘルニア嵌頓	有	5	79.4	9.6							2	3
K420	臍ヘルニア嵌頓	有	1	40.0	2.0					1			

退院患者数

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
K429	臍ヘルニア	有	11	1.5	3.0	10	1						
K430	嵌頓性腹壁癒痕ヘルニア	有	2	72.0	29.0						1		1
K432	腹壁癒痕ヘルニア	有	17	65.4	7.5					1	6	8	2
K435	傍ストーマヘルニア	有	1	82.0	20.0								1
		無	1	62.0	8.0							1	
K439	白線ヘルニア	有	1	32.0	5.0					1			
K449	食道裂孔ヘルニア	無	1	85.0	2.0								1
K501	大腸クローン病	無	1	12.0	8.0				1				
K501	大腸クローン病の疑い	無	1	15.0	4.0			1					
K508	小腸大腸クローン病	有	3	40.7	12.7					1	2		
K509	クローン病の疑い	無	1	11.0	4.0			1					
K510	潰瘍性大腸炎・全大腸炎型	無	2	29.5	7.0				1		1		
K518	急性潰瘍性大腸炎	有	1	40.0	10.0					1			
K518	急性潰瘍性大腸炎の疑い	無	1	17.0	2.0				1				
K520	放射線性腸炎	有	5	72.2	7.6				1			5	
K521	抗生物質起因性腸炎	無	1	49.0	4.0						1		
K522	食物蛋白誘発胃腸炎	無	5	0.0	5.8	5							
K529	小腸炎	無	1	71.0	5.0							1	
K550	急性虚血性大腸炎	有	3	77.0	47.7							2	1
		無	14	69.8	9.1					1	2	7	4
K550	急性虚血性腸炎	有	1	90.0	42.0								1
		無	6	70.7	11.3						1	3	2
K550	急性小腸虚血	無	1	86.0	11.0								1
K550	腸壊死	有	1	84.0	44.0								1
		無	1	95.0	6.0								1
K550	非閉塞性腸間膜虚血	有	2	84.0	20.5								2
		無	1	75.0	2.0							1	
K551	腸間膜動脈硬化症	有	2	72.5	23.0							2	
K560	術後麻痺性イレウス	有	1	69.0	54.0							1	
K560	麻痺性イレウス	無	9	40.3	6.7				6			1	2
K561	回腸重積症	有	1	20.0	6.0				1				
K561	小腸重積症	有	1	73.0	4.0							1	
K561	腸重積症	有	2	0.0	3.0	2							
K562	S状結腸軸捻転	無	6	82.7	7.5							2	4
K562	絞扼性イレウス	有	14	76.1	14.4						1	6	7
K564	糞便性イレウス	有	1	62.0	61.0							1	
		無	2	86.5	5.0							1	1
K565	癒着性イレウス	有	7	70.9	30.4					1	1	2	3
		無	16	68.4	11.1			1			3	6	6
K566	S状結腸狭窄症	有	3	40.3	18.0					2	1		
K566	癌性イレウス	無	1	73.0	11.0							1	
K566	機械的イレウス	無	1	71.0	5.0							1	
K566	小腸イレウス	無	3	56.0	7.7						2	1	
K567	イレウス	無	1	59.0	7.0						1		
K571	レンメル症候群	有	2	78.0	15.0							1	1
		無	1	88.0	10.0								1
K572	S状結腸憩室穿孔	有	4	58.5	19.5					2			2
K573	S状結腸憩室炎	有	2	62.0	16.0						1	1	
K573	S状結腸憩室出血	有	12	84.8	11.6							4	8
		無	1	82.0	10.0								1
K573	下行結腸憩室炎	無	1	37.0	8.0					1			
K573	下行結腸憩室出血	有	3	77.0	19.3							3	
		無	1	75.0	12.0							1	
K573	回盲部憩室炎	無	2	61.0	6.0						1	1	
K573	結腸憩室炎	無	2	78.0	5.0							1	1
K573	上行結腸憩室炎	無	3	49.0	7.0						3		
K573	上行結腸憩室炎の疑い	無	1	79.0	3.0							1	
K573	上行結腸憩室出血	有	14	71.0	7.4						3	8	3
K573	上行結腸憩室出血の疑い	無	1	56.0	3.0						1		
K573	大腸憩室出血	有	4	75.3	8.8							3	1
K573	大腸憩室出血の疑い	無	1	89.0	5.0								1
K580	下痢型過敏性腸症候群	無	1	16.0	51.0				1				
K590	術後便秘	無	1	90.0	11.0								1
K590	乳幼児便秘	無	1	0.0	10.0	1							
K593	巨大結腸	無	1	64.0	4.0							1	
K603	外痔瘻	有	1	32.0	3.0					1			
K603	痔瘻	有	1	76.0	5.0							1	
K610	肛門周囲膿瘍	有	2	25.5	5.5			1			1		
K612	直腸肛門周囲膿瘍	有	1	32.0	10.0					1			
K621	直腸ポリープ	有	3	61.3	5.3						2		1
		無	1	79.0	2.0							1	
K623	直腸脱	有	7	78.1	10.1						1	2	4
		無	1	55.0	2.0						1		
K623F	直腸脱統合失調症	有	1	58.0	15.0						1		
K625	直腸出血	有	1	78.0	9.0							1	
K626	出血性直腸潰瘍	有	1	86.0	18.0								1
		無	1	89.0	18.0								1

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
K626	直腸潰瘍	無	1	96.0	6.0									1
K631	S状結腸穿孔	有	4	62.3	22.0						3			1
K632	小腸瘻	有	1	56.0	11.0						1			
K632	皮膚腸瘻	無	1	68.0	5.0							1		
K633	小腸びらん	無	1	34.0	8.0					1				
K633	小腸潰瘍	有	1	51.0	8.0						1			
K633	小腸潰瘍	無	1	81.0	9.0									1
K633	大腸潰瘍出血	有	1	71.0	6.0							1		
K635	横行結腸ポリープ	有	1	61.0	3.0								1	
K635	上行結腸ポリープ	有	1	75.0	2.0								1	
K635	大腸ポリープ	有	23	66.7	4.5			1			6	11		5
K638	小腸ポリープ	無	1	48.0	4.0						1			
K638	腸管気腫症	有	2	75.0	13.0						1			1
K640	第1度痔核	有	1	35.0	3.0					1				
K640	第1度痔核	無	1	67.0	3.0								1	
K649	出血性外痔核	無	1	33.0	4.0					1				
K650	横行結腸穿孔による汎発性腹膜炎	有	1	91.0	24.0									1
K650	急性限局性腹膜炎	無	1	75.0	19.0							1		
K650	急性汎発性腹膜炎	有	9	77.3	21.4						1	4		4
K650	急性汎発性腹膜炎	無	1	78.0	49.0							1		
K650	限局性腹膜炎	無	1	78.0	36.0							1		
K650	後腹膜膿瘍	有	1	69.0	44.0							1		
K650	術後後腹膜膿瘍	無	1	81.0	36.0									1
K650	腸腰筋膿瘍	有	1	78.0	8.0								1	
K650	直腸穿孔による汎発性腹膜炎	有	2	92.0	12.5									2
K650	腹腔内膿瘍	無	1	42.0	12.0						1			
K658	細菌性腹膜炎	無	1	74.0	5.0								1	
K701	アルコール性肝炎	有	1	66.0	84.0								1	
K701	アルコール性肝炎	無	1	55.0	11.0						1			
K703	アルコール性肝硬変	無	3	58.3	14.7						2	1		
K703	非代償性アルコール性肝硬変	無	1	61.0	3.0								1	
K712	急性薬物性肝炎	無	1	79.0	11.0								1	
K719	薬物性肝障害	無	1	71.0	14.0								1	
K729	肝性脳症	無	1	85.0	24.0									1
K746	肝硬変に伴う食道静脈瘤出血	有	1	62.0	10.0								1	
K746	肝硬変症	有	1	63.0	9.0								1	
K750	化膿性肝膿瘍	有	3	67.7	34.0						1	1	1	
K750	化膿性肝膿瘍	無	1	68.0	12.0								1	
K750	肝膿瘍	有	4	77.0	16.3								1	3
K750	肝膿瘍	無	1	79.0	21.0								1	
K750	多発性肝膿瘍	有	1	64.0	17.0								1	
K750	多発性肝膿瘍	無	2	69.5	21.5								2	
K768	肝のう胞	無	3	72.3	6.7								3	
K768	肝限局性結節性過形成	有	1	59.0	11.0						1			
K769	肝機能障害	無	2	37.0	6.0					1	1			
K800	急性胆のう炎を伴う胆のう結石	有	16	74.1	9.4						3	7		6
K800	胆石を伴う壊疽性胆のう炎	有	2	77.0	9.0								2	
K800	胆石性急性胆のう炎	有	17	67.7	10.9					2	1	10		4
K800	胆石性急性胆のう炎	無	1	38.0	1.0					1				
K801	胆石性胆のう炎	有	8	62.6	6.1						4	3		1
K801	慢性胆のう炎を伴う胆のう結石	有	15	67.3	6.3						3	10		2
K802	胆のう結石症	有	33	61.1	5.2					5	8	17		3
K803	肝内結石性胆管炎	有	2	91.5	28.0									2
K803	総胆管結石を伴う急性化膿性胆管炎	有	3	88.3	22.0									3
K803	総胆管結石を伴う急性閉塞性化膿性胆管炎	有	9	83.7	13.4								2	7
K803	総胆管結石性胆管炎	有	98	76.5	8.2					1	8	47		42
K803	総胆管結石性胆管炎	無	3	78.0	7.0								2	1
K803	胆管炎を伴う総胆管結石	有	1	86.0	5.0									1
K803	胆管結石性胆管炎	有	1	88.0	4.0									1
K804	総胆管結石性胆のう炎	有	3	74.7	16.3								3	
K804	胆のう炎および胆管炎を伴う総胆管結石	有	2	74.5	11.0								1	1
K804	胆のう炎および胆管炎を伴う総胆管結石	有	4	73.8	9.0								3	1
K804	胆のう炎および胆管炎を伴う総胆管結石	無	1	60.0	3.0						1			
K805	肝内結石症	有	27	68.4	5.1					1	7	12		7
K805	総胆管結石	有	1	70.0	7.0								1	
K810	黄色肉芽腫性胆嚢炎	有	4	76.0	12.8								3	1
K810	黄色肉芽腫性胆嚢炎	無	1	83.0	5.0									1
K810	壊疽性胆のう炎	有	4	77.8	21.5								2	2
K810	急性胆のう炎	有	8	79.1	20.5								5	3
K810	急性胆のう炎	無	4	84.3	10.3								1	3
K810	急性胆のう炎の疑い	無	1	78.0	3.0								1	
K811	慢性胆のう炎	有	3	72.3	8.3						1	1		1
K828	多発性胆のうポリープ	有	1	72.0	5.0							1		
K828	胆のうポリープ	有	1	49.0	5.0						1			
K830	逆行性胆管炎	有	4	78.0	5.8								3	1
K830	逆行性胆管炎	無	6	80.0	5.5						1	1		4

退院患者数

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
K830	急性化膿性胆管炎	有	1	90.0	14.0									1
		無	1	1.0	8.0	1								
K830	急性胆管炎	有	16	70.7	11.8						6	4	6	
		無	26	52.3	8.4	4	4			1	1	8	8	
K830	急性閉塞性化膿性胆管炎	有	8	78.8	7.0							5	3	
K830	狭窄性胆管炎	有	1	82.0	4.0									1
K830	胆管炎	無	2	37.5	10.0			1				1		
K831	肝内胆管狭窄	有	1	92.0	6.0									1
K831	胆管狭窄症	有	5	61.0	7.4						4	1		
		無	1	70.0	6.0							1		
K831	閉塞性黄疸	有	1	76.0	4.0							1		
		無	1	82.0	2.0									1
K838	肝外閉塞性黄疸	有	3	73.0	10.0								3	
K850	特発性急性膵炎	有	9	69.0	16.2						2	5	2	
K851	胆石性膵炎	有	1	58.0	17.0						1			
		無	1	70.0	10.0							1		
K852	アルコール性急性膵炎	無	10	55.0	9.5						8	2		
K853	薬剤性膵炎	無	1	71.0	10.0							1		
K859	急性出血壊死性膵炎	無	1	76.0	53.0							1		
K859	急性膵炎	無	3	70.7	15.3						1	1	1	
K861	慢性膵炎	有	1	62.0	30.0							1		
		無	1	51.0	2.0						1			
K862	膵のう胞	無	2	62.5	2.0						1			1
K863	化膿性膵のう胞	無	1	40.0	5.0					1				
K863	仮性膵のう胞	無	1	49.0	2.0						1			
K868	膵液瘻	有	1	63.0	4.0							1		
K868	膵管狭窄	有	1	55.0	3.0						1			
K868	膵腫瘍	無	1	84.0	2.0									1
K868	膵頭十二指腸切除後膵液瘻	有	1	67.0	41.0								1	
K913	術後イレウス	有	3	75.7	10.0							2	1	
		無	14	65.7	9.2					1	2	11		
K913	術後癒着性イレウス	有	10	70.3	18.5						2	4	4	
		無	36	69.4	8.1					2	4	23	7	
K914	人工肛門脱	有	2	82.0	14.5							1	1	
K914	人工肛門部びらん	有	1	58.0	19.0						1			
K918	挙上空腸狭窄	有	1	57.0	9.0						1			
K918	術後食道狭窄	有	27	71.6	2.2						1	26		
		無	1	4.0	3.0									
K918	術後胆管炎	無	1	66.0	4.0							1		
K918	術後胆管狭窄	有	4	75.5	9.3							4		
		無	1	61.0	4.0							1		
K918	術後嚥下障害	有	1	67.0	21.0							1		
K918	術後肛門狭窄	無	1	0.0	5.0	1								
K918	胆管空腸吻合部狭窄	有	1	71.0	4.0							1		
K922	下部消化管出血	無	2	84.5	6.5									2
K922	下部消化管出血の疑い	有	1	79.0	8.0							1		
K922	小腸出血	有	1	85.0	16.0									1
		無	1	82.0	7.0									1
K922	消化管出血	有	1	62.0	10.0							1		
K922	上部消化管出血	無	1	79.0	25.0							1		
K922	上部消化管出血の疑い	有	1	77.0	6.0							1		
		無	1	36.0	3.0					1				
K922	毛細血管拡張症による消化管出血	有	2	83.5	3.5							1	1	
L00	ぶどう球菌性熱傷様皮膚症候群	無	1	0.0	6.0	1								
L010	伝染性膿痂疹	無	1	1.0	4.0	1								
L020	頬部膿瘍(ガス壊疽)	有	1	29.0	11.0					1				
L022	鼻根部膿瘍	有	1	70.0	125.0								1	
L023	殿部膿瘍	有	1	17.0	11.0				1					
		無	1	0.0	5.0	1								
L024	小指膿瘍	有	1	76.0	5.0							1		
L024	大腿部膿瘍	有	1	72.0	23.0							1		
L029	皮膚膿瘍	有	1	47.0	30.0						1			
L029	咬筋膿瘍	有	2	86.0	32.0									2
L031	下肢蜂巣炎	無	4	51.0	10.8	1					1	1	1	
L031	下腿蜂巣炎	無	12	63.5	10.3			1			2	7	2	
L031	手蜂巣炎	無	1	63.0	3.0							1		
L031	前腕蜂巣炎	無	2	68.5	6.0						1	1		
L031	足背蜂巣炎	無	1	61.0	15.0							1		
L031	足蜂巣炎	無	5	58.6	14.0	1					1	1	2	
L031	大腿部蜂巣炎	有	1	9.0	8.0			1						
L033	胸壁蜂巣炎	有	1	77.0	7.0							1		
L033	殿部蜂巣炎	有	1	89.0	12.0									1
		無	1	46.0	12.0							1		
L039	顎下部蜂窩織炎	有	1	86.0	15.0									1
L040	顎下リンパ節炎	無	1	39.0	3.0					1				
L040	頸部リンパ節炎	無	7	10.4	5.0			2	4	1				
L041	鼻根部化膿性リンパ節炎	有	1	53.0	7.0							1		

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
L042	腋窩急性化膿性リンパ節炎	無	1	85.0	12.0								1
L080	殿部慢性膿皮症	有	2	55.0	29.5						1	1	
L120	水疱性類天疱瘡	無	4	82.5	14.8							2	2
L208	成人アトピー性皮膚炎	無	1	22.0	9.0					1			
L270	全身蕁麻疹	無	1	69.0	7.0							1	
L518	多形滲出性紅斑	無	1	7.0	4.0			1					
L530	中毒性紅斑	無	1	33.0	7.0					1			
L530	特発性中毒疹	無	1	76.0	15.0							1	
L570	手背光線角化症	有	1	79.0	11.0							1	
L598	放射線皮膚潰瘍	有	1	70.0	38.0							1	
L638	広汎性円形脱毛症	無	2	53.0	5.0						2		
L750	腋臭症	有	5	31.6	6.4				2	2	1		
L88	下腿壊疽性膿皮症	有	1	83.0	73.0								1
L892	背部褥瘡・ステージⅠⅠⅠ	有	1	93.0	33.0								1
L893	仙骨部褥瘡・ステージⅠⅤ	有	1	77.0	28.0								1
L893	褥瘡・ステージⅠⅤ	有	2	81.0	54.5							1	1
L905	外傷後顔面瘢痕拘縮	有	1	56.0	19.0						1		
L905	眼瞼瘢痕拘縮	有	1	56.0	10.0						1		
L905	顔面術後瘢痕	有	1	46.0	5.0						1		
L905	顔面瘢痕拘縮	有	4	54.0	9.8			1			1	1	1
L905	胸部瘢痕拘縮	有	1	56.0	20.0						1		
L905	頸部瘢痕拘縮	有	1	70.0	4.0							1	
L905	術後瘢痕	有	1	69.0	8.0							1	
L905	前額部瘢痕拘縮	有	1	16.0	2.0				1				
L905	前腕術後瘢痕	有	1	63.0	7.0							1	
L905	足底瘢痕拘縮	有	1	26.0	25.0					1			
L905	腹部瘢痕拘縮	有	1	66.0	7.0							1	
L905	瘢痕拘縮	有	1	41.0	4.0						1		
L905	腋窩瘢痕拘縮	有	1	17.0	8.0			1					
L910	耳介ケロイド	有	1	25.0	2.0					1			
L910	肥厚性瘢痕	有	1	22.0	2.0					1			
L97	下肢難治性皮膚潰瘍	有	1	85.0	54.0								1
L97	下腿難治性皮膚潰瘍	有	2	52.0	44.5						2		
L97	下腿難治性皮膚潰瘍	無	1	85.0	10.0								1
L97	趾難治性皮膚潰瘍	有	1	75.0	137.0							1	
M0094	化膿性関節炎・指関節	有	1	58.0	17.0						1		
M0096	化膿性関節炎・膝関節	有	2	87.5	23.0							1	1
M0096	再発化膿性関節炎・膝関節の疑い	無	1	57.0	5.0						1		
M0097	化膿性関節炎・足関節	有	2	36.5	12.0					2			
M0299	反応性関節障害	無	1	78.0	15.0							1	
M0600	R S 3 P E症候群	無	2	88.5	14.0								2
M1125	股関節偽痛風	無	2	89.5	7.5								2
M1126	膝関節偽痛風	無	1	91.0	6.0								1
M1128	頸椎偽痛風	有	1	92.0	19.0								1
M1128	頸椎偽痛風	無	1	74.0	12.0							1	
M1315	股関節炎	無	1	70.0	4.0							1	
M160	両側性原発性股関節症	有	4	78.8	18.5							1	3
M161	一側性原発性股関節症	有	1	72.0	13.0							1	
M161	急速破壊型股関節症	有	1	83.0	16.0								1
M161	原発性股関節症	有	2	71.0	19.5							2	
M161	原発性変形性股関節症	有	4	79.5	16.8							2	2
M162	両側性形成不全性変形性股関節症	有	1	74.0	14.0							1	
M163	一側性形成不全性股関節症	有	2	67.5	18.5							2	
M163	一側性形成不全性変形性股関節症	有	1	80.0	17.0								1
M163	形成不全性変形性股関節症	有	1	73.0	19.0							1	
M167	一側性続発性股関節症	有	2	68.5	17.5							2	
M170	両側性原発性膝関節症	有	9	73.1	16.7						1	5	3
M170	両側性変形性膝関節症	有	15	77.7	17.6							8	7
M171	一側性変形性膝関節症	有	4	69.8	18.0							3	1
M171	原発性膝関節症	有	2	74.0	17.0							2	
M171	変形性膝関節症	有	4	78.3	17.0							2	2
M175	続発性変形性膝関節症	有	1	73.0	17.0							1	
M200	環指骨性マレット指	有	2	60.0	2.5						2		
M201	外反母趾	有	1	73.0	12.0							1	
M2316	円板状外側半月板	有	4	26.5	17.0			2	1			1	
M2336	外側半月板嵌頓	有	1	32.0	16.0					1			
M2402	肘関節内遊離体	有	1	70.0	4.0							1	
M2509	股関節関節血症	有	1	11.0	6.0			1					
M300	結節性多発動脈炎	有	1	80.0	70.0								1
M300	結節性多発動脈炎	無	1	80.0	2.0								1
M300	結節性多発動脈炎の疑い	無	1	74.0	20.0							1	
M301	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	無	2	63.5	12.5					1			1
M301	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症の疑い	無	1	76.0	10.0							1	
M303	急性熱性皮膚リンパ節症候群	無	4	2.5	6.8				2	2			
M303	川崎病	無	9	2.1	8.9				6	3			
M303	不全型川崎病	無	2	2.0	12.0				2				
M311	後天性血栓性血小板減少性紫斑病	有	1	71.0	52.0								1

IV
クリニカル
インディケ
ーター

退院患者数

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
M314	大動脈炎症候群	無	1	68.0	7.0							1	
M317	顕微鏡的多発血管炎	有	2	76.5	129.5							1	1
		無	2	80.0	54.0							1	1
M329	全身性エリテマトーデス	無	1	80.0	30.0								1
M332	多発性筋炎	無	2	62.5	35.0							2	
M340	全身性強皮症の疑い	無	1	74.0	2.0							1	
M349	強皮症	無	1	83.0	10.0								1
M352	ベーチェット病	無	1	51.0	12.0						1		
M359	I g G 4 関連疾患	有	1	69.0	35.0							1	
M359	膠原病の疑い	無	1	56.0	8.0						1		
M4185	胸腰椎変性側弯症	有	3	69.3	16.7							3	
		無	3	71.3	2.0							2	1
M4316	腰椎すべり症	有	6	57.8	20.8				1	2	3		
		無	4	66.3	2.0					1	3		
M4316	腰椎分離すべり症	有	3	67.7	24.0					1	1	1	1
		無	3	67.7	2.0					1	1	1	1
M4316	腰椎変性すべり症	有	32	70.8	18.7					5	23	4	
		無	29	72.3	2.1					4	19	6	
M4317	第5腰椎すべり症	有	1	69.0	16.0							1	
M4342	非外傷性環軸関節亜脱臼	有	3	73.7	34.3							2	1
		無	1	61.0	2.0							1	
M45-9	強直性脊椎炎	無	1	70.0	2.0							1	
M4635	胸腰椎化膿性椎間板炎	有	1	73.0	41.0							1	
M4636	腰椎化膿性椎間板炎	有	2	81.0	51.0							1	1
M4646	腰椎椎間板炎	有	1	67.0	194.0							1	
M4652	頸椎化膿性脊椎炎	有	3	71.0	34.0					1			2
M4654	胸椎化膿性脊椎炎	有	1	72.0	26.0							1	
M4656	腰椎化膿性脊椎炎	有	8	73.0	44.4					2	4	2	
		無	3	66.0	50.3				1		1	1	
M4712	頸椎症性脊髄症	有	48	69.8	21.9					12	26	10	
		無	44	69.0	2.9					12	27	5	
M4714	胸椎症性脊髄症	有	4	73.8	31.3					1	2	1	
		無	2	79.5	2.0						1	1	
M4722	頸椎症性神経根症	有	1	55.0	14.0					1			
		無	5	51.2	2.0					5			
M4782	頸椎症	無	1	69.0	2.0							1	
M4782	変形性頸椎症	無	1	80.0	7.0								1
M4786	腰椎症	有	1	61.0	8.0							1	
M4786	変形性腰椎症	有	1	69.0	26.0							1	
		無	1	69.0	2.0							1	
M4802	頸部脊柱管狭窄症	有	4	65.0	22.0					2	1	1	
		無	2	61.5	2.0					1	1		
M4804	胸部脊柱管狭窄症	有	1	74.0	23.0							1	
M4806	腰部脊柱管狭窄症	有	95	71.9	19.0				1	11	63	20	
		無	92	71.1	2.1				2	13	55	22	
M4854	胸椎圧迫骨折後偽関節による遅発性麻痺	有	1	73.0	24.0							1	
M4882	頸椎後縦靭帯骨化症	有	14	68.6	30.9					4	8	2	
		無	8	63.5	2.0					2	6		
M4884	胸椎黄色靭帯骨化症	有	6	60.2	14.7				1	1	4		
		無	5	58.2	2.0				1	1	3		
M4884	胸椎後縦靭帯骨化症	有	1	50.0	22.0					1			
		無	1	50.0	2.0					1			
M502	頸椎椎間板ヘルニア	有	8	46.9	18.1				3	3	2		
		無	5	52.4	2.8				1	2	2		
M512	外側型腰椎椎間板ヘルニア	無	2	41.0	2.0				1	1			
M512	腰椎椎間板ヘルニア	有	49	47.5	10.0	1	3	13	20	11	1		
		無	32	44.4	2.5		4	5	18	5			
M5312	頸肩腕症候群	無	1	55.0	8.0					1			
M5456	急性腰痛症	無	1	74.0	9.0							1	
M5456	殿部痛	無	1	72.0	25.0							1	
M5485	胸背部痛	無	1	68.0	2.0							1	
M6289	横紋筋融解	無	5	83.6	19.4								5
M6596	膝関節滑膜炎	有	2	74.0	4.0							2	
M6597	足部屈筋腱鞘炎	有	1	52.0	6.0					1			
M674	母趾ガングリオン	有	2	68.0	8.0							2	
M680	非結核性抗酸菌性滑膜炎	有	2	80.0	5.0								2
M7204	デュビューイトラン拘縮	有	1	76.0	6.0							1	
M7266	下腿壊死性滑膜炎	有	2	79.5	24.5							1	1
M7918	胸部筋肉痛	無	1	93.0	4.0								1
M7979	線維筋痛症	無	1	22.0	24.0				1				
M8088	老年性骨粗鬆症・脊椎病的骨折あり	有	1	77.0	19.0							1	
M8418	腰椎偽関節	有	1	85.0	60.0								1
M8418	歯突起骨折偽関節	有	1	73.0	22.0							1	
M8419	骨盤偽関節	有	1	42.0	19.0					1			
M8442	上腕骨近位端病的骨折	無	1	71.0	14.0							1	
M8445	大腿骨病的骨折	有	1	71.0	18.0							1	
M8448	第2腰椎病的骨折	有	1	44.0	7.0						1		

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
M8616	急性脛骨骨髄炎	有	1	77.0	43.0								1	
M8666	脛骨慢性骨髄炎	有	1	11.0	6.0				1					
M8696	脛骨骨髄炎の疑い	無	1	11.0	2.0				1					
M8697	踵骨骨髄炎	有	1	73.0	44.0								1	
M8698	胸骨骨髄炎	有	3	73.7	74.7								2	1
		無	1	82.0	7.0									1
M8705	特発性大腿骨頭壊死	有	3	68.0	18.0								3	
M8705	特発性大腿骨内顆骨壊死	有	3	70.3	18.3								3	
M8706	膝関節特発性骨壊死	有	3	52.3	15.7						2		1	
M8725	外傷性大腿骨頭壊死	有	1	60.0	18.0						1			
M8785	大腿骨頭壊死	有	2	61.5	14.0						1	1		
M9410	再発性多発軟骨炎	無	1	59.0	15.0						1			
M966	人工股関節周囲骨折	有	1	83.0	28.0									1
M966	人工膝関節周囲骨折	有	2	76.0	25.0						1			1
M9973	腰椎椎間板性椎間孔狭窄症	有	1	61.0	34.0								1	
N009	急性糸球体腎炎	無	1	7.0	4.0				1					
N028	I g A腎症	有	12	39.3	11.1				1	5	6			
		無	16	41.7	3.4					11	4	1		
N028	I g A腎症の疑い	無	1	7.0	4.0				1					
N039	慢性糸球体腎炎	無	2	59.0	9.0					1				1
N039	慢性糸球体腎炎の疑い	無	11	39.1	3.9				2	4	3	2		
N040	微小変型ネフローゼ症候群	無	3	45.0	19.7			1			1	1		
N049	ステロイド抵抗性ネフローゼ症候群	無	1	55.0	23.0						1			
N049	ネフローゼ症候群	無	7	77.1	35.9								5	2
N049	小児ネフローゼ症候群	無	1	1.0	13.0			1						
N049	頻回再発型ネフローゼ症候群	無	3	22.3	11.0				2	1				
N083	1型糖尿病性腎症第3期	有	1	52.0	4.0							1		
N083	1型糖尿病性腎症第4期	有	1	52.0	11.0							1		
		無	1	52.0	18.0							1		
N083	2型糖尿病性腎症第4期	無	4	64.0	28.3						2	1	1	
N083	2型糖尿病性腎症第5期	有	5	50.4	25.6					1	4			
N083	2型糖尿病性腎不全	有	1	71.0	34.0								1	
		無	1	48.0	9.0							1		
N10	気腫性腎盂腎炎	有	1	76.0	8.0								1	
N10	急性腎盂腎炎	有	7	74.7	10.1								5	2
		無	64	55.5	9.0	6	3	3	1	8	9	12	22	
N10	急性巣状細菌性腎炎	無	1	2.0	16.0		1							
N10	単純性腎盂腎炎	有	1	89.0	21.0									1
N111	慢性閉塞性腎盂腎炎	有	1	22.0	8.0					1				
N118	非閉塞性慢性腎盂腎炎	無	1	76.0	5.0								1	
N119	慢性尿管間質性腎炎	無	1	73.0	36.0								1	
N12	水腎症を伴う腎盂腎炎	有	7	93.1	2.0							1	1	5
N131	尿管狭窄を伴う水腎症	有	33	65.4	3.0							12	14	7
		無	2	72.5	2.5								2	
N132	尿管結石性閉塞を伴う水腎症	有	10	71.2	10.0					1	1	4	4	
N133	水腎症	有	2	69.5	2.0								2	
		無	1	54.0	2.0						1			
N133	水腎尿管症	無	1	28.0	3.0					1				
N137	膀胱尿管逆流	有	3	14.3	5.7		1			1				
N151	腎膿瘍	有	2	71.5	6.5								1	1
N170	急性腎性腎不全	有	1	92.0	10.0									1
		無	2	71.0	21.5								1	1
N178	急性腎後性腎不全	有	3	83.0	28.7								1	2
		無	2	81.0	47.0								1	1
N178	急性腎前性腎不全	無	4	49.8	15.5			1	1					2
N179	急性腎不全	有	1	79.0	22.0								1	
N183	慢性腎臓病ステージG 3	有	1	57.0	3.0							1		
		無	6	46.3	3.7					1	4	1		
N184	慢性腎臓病ステージG 4	有	1	23.0	35.0					1				
		無	1	68.0	27.0								1	
N185	末期腎不全	有	4	63.5	8.3							2	2	
		無	4	66.0	12.8							2	1	1
N185	慢性腎臓病ステージG 5	有	31	64.8	23.7				1	11	13	6		
		無	4	62.8	11.0						2	2		
N185	慢性腎臓病ステージG 5 D	無	1	74.0	31.0								1	
N189	慢性腎不全	有	24	72.2	21.0						3	15	6	
		無	33	66.8	12.2				2	7	18	6		
N19	腎性貧血	有	1	92.0	2.0									1
N19	無機能腎	有	1	81.0	13.0									1
N200	腎結石症	有	10	69.1	5.9					1	1	4	4	
N201	尿管結石症	有	7	68.6	7.4						2	4	1	
		無	4	47.0	2.8					2	1			1
N201	尿管結石症の疑い	無	1	88.0	2.0									1
N202	腎尿管結石	有	5	78.0	5.8								3	2
N209	結石性腎盂腎炎	有	6	76.0	8.7						1	2	3	
		無	1	71.0	9.0								1	
N210	膀胱結石症	有	3	62.3	4.3					1		1	1	

IV
クリニカル
インディ
ケータ

退院患者数

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
N211	尿道結石嵌頓	有	1	68.0	4.0							1	
N258	腎原性続発性副甲状腺機能亢進症	有	2	65.0	8.5						1	1	
N281	腎のう胞	有	1	48.0	5.0						1		
N288	急性腎障害	有	1	64.0	3.0							1	
N288	特発性腎出血	有	1	53.0	4.0						1		
N288	尿管皮膚瘻	無	1	89.0	5.0								1
N300	急性出血性膀胱炎	有	2	75.5	23.0							1	1
N301	間質性膀胱炎	有	2	52.0	17.5						2		
N302	慢性膀胱炎	有	1	42.0	11.0						1		
N304	放射線性膀胱炎	無	1	92.0	20.0								1
N308	気腫性膀胱炎	有	2	83.0	19.5							1	1
N308	尿管膿瘍	有	1	23.0	9.0					1			
N309	出血性膀胱炎	有	3	81.0	10.0							1	2
N312	弛緩性神経因性膀胱	無	1	28.0	8.0					1			
N319	神経因性膀胱	無	2	8.5	3.0			2					
N320	膀胱頸部狭窄	有	4	77.5	5.3							3	1
N321	直腸膀胱瘻	有	1	75.0	22.0							1	
N328	過活動膀胱	有	2	57.0	6.0						1	1	
N328	膀胱出血	有	2	83.5	10.5								2
N359	後部尿道狭窄	有	1	78.0	5.0							1	
N360	尿道直腸瘻	有	2	72.5	17.5							2	
N360	尿道皮膚瘻	有	1	3.0	12.0			1					
N390	急性尿路感染	無	2	78.5	9.0							1	1
N390	尿路感染症	有	3	82.7	18.7							1	2
N390	尿路感染症	無	14	55.8	11.0	3				2	1	2	6
N390	反復性尿路感染症	無	5	40.8	9.2					4			1
N390	複雑性尿路感染症	無	2	91.0	12.0								2
N40	前立腺肥大症	有	95	74.2	6.8						4	70	21
N40	前立腺肥大症	無	6	74.8	6.5							4	2
N410	急性細菌性前立腺炎	無	3	71.0	7.3							2	1
N421	前立腺出血	無	1	76.0	2.0							1	
N432	交通性陰のう水腫	有	5	2.0	3.0	3	2						
N433	陰のう水腫	有	3	2.7	3.0	1	2						
N433	陰嚢水腫	有	6	20.5	3.3	2	2				1	1	
N433	精索水腫	有	2	13.0	3.5	1				1			
N44	精巣捻転症	有	3	12.3	2.0			3					
N459	急性精巣上体炎	無	1	19.0	6.0			1					
N459	精巣上体炎	無	1	8.0	3.0			1					
N46	無精子症	無	1	34.0	1.0					1			
N47	真性包茎	有	3	52.7	2.3	1						1	1
N47	包茎	有	1	8.0	3.0			1					
N47	嵌頓包茎	有	1	10.0	2.0			1					
N481	亀頭包皮炎	無	1	3.0	3.0			1					
N488	陰茎縫線のう腫	有	1	20.0	3.0			1					
N700	急性卵管卵巣膿瘍	有	1	38.0	13.0					1			
N701	卵管留水症	有	1	34.0	6.0					1			
N701	卵管留水症	無	1	30.0	5.0					1			
N710	急性子宮留膿腫	有	1	90.0	9.0								1
N710	急性子宮留膿腫	有	1	71.0	22.0							1	
N733	急性骨盤腹膜炎	無	1	39.0	3.0					1			
N735	骨盤腹膜炎	無	1	42.0	4.0						1		
N800	子宮腺筋症	有	7	47.4	7.3						7		
N801	チョコレートのう胞	有	5	37.6	6.4			1	1	3			
N801	チョコレートのう胞	無	1	40.0	6.0					1			
N801	卵巣子宮内膜症のう胞	有	8	38.8	7.0					5	3		
N803	骨盤子宮内膜症	有	2	39.0	6.0					1	1		
N806	皮膚瘢痕における子宮内膜症	有	1	23.0	5.0					1			
N812	子宮脱2度	有	2	75.0	6.5							2	
N813	完全子宮脱	有	3	81.3	5.3							1	2
N813	子宮脱3度	有	4	65.3	6.8						2	2	
N813	子宮脱3度	無	1	69.0	6.0							1	
N820	膀胱瘻	有	2	41.5	4.5					1	1		
N823	直腸瘻	有	2	63.5	12.0							2	
N838	卵巣出血	無	4	24.0	3.8					4			
N840	子宮内膜ポリープ	有	8	42.5	3.0					4	4		
N841	子宮頸管ポリープ	有	1	37.0	3.0					1			
N850	子宮内膜増殖症	有	3	63.3	5.0						1	2	
N851	子宮内膜異型増殖症	有	4	37.5	5.0					3		1	
N856	アッシャーマン症候群	有	1	37.0	3.0					1			
N871	子宮頸部中等度異形成	有	14	38.6	3.1					8	6		
N872	子宮頸部高度異形成	有	24	40.5	3.3					13	11		
N882	子宮頸管閉鎖症	有	1	58.0	5.0						1		
N907	外陰のう胞	無	1	0.0	16.0	1							
N920	過多月経	有	1	49.0	3.0						1		
N920	過多月経	無	1	37.0	9.0					1			
N921	機能性子宮出血	有	1	46.0	4.0						1		
N946	月経困難症	無	1	37.0	3.0					1			

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
N948	ヌック管水腫	有	1	54.0	6.0						1		
N980	採卵後骨盤内炎症性疾患	無	1	42.0	3.0						1		
N980	人工授精後骨盤内炎症性疾患	無	1	44.0	3.0						1		
N981	卵巣過剰刺激症候群	無	3	32.3	4.7					3			
O001	卵管膨大部妊娠の疑い	無	1	30.0	3.0					1			
O010	全胞状奇胎	有	1	25.0	6.0					1			
O011	部分胞状奇胎	有	1	39.0	3.0					1			
O021	稽留流産	有	2	37.5	3.0					2			
O034	不全流産	有	3	37.0	2.0					3			
O039	自然流産	無	1	38.0	2.0					1			
O039	進行流産	無	1	25.0	2.0					1			
O039	流産	有	1	41.0	4.0						1		
O081	流産後D I C	無	1	27.0	4.0					1			
O100	妊娠・分娩・産褥の既存の本態性高血圧症	無	2	39.0	6.5					2			
O11	加重型妊娠高血圧腎症	有	1	37.0	9.0					1			
O140	軽症妊娠高血圧症候群	有	5	36.4	18.0					4	1		
O140	軽症妊娠高血圧腎症	無	3	38.7	17.3					2	1		
O140	軽症妊娠高血圧腎症	有	1	33.0	7.0					1			
O141	重症妊娠高血圧症候群	有	10	34.1	13.5					9	1		
O141	重症妊娠高血圧症候群	無	2	40.0	7.5					2			
O141	重症妊娠高血圧腎症	有	7	33.3	15.3				1	5	1		
O142	HELLP症候群	有	1	34.0	8.0					1			
O149	妊娠高血圧腎症	有	1	40.0	10.0					1			
O200	切迫流産	無	9	31.3	6.3					9			
O208	絨毛膜下血腫	無	2	34.5	14.0					2			
O211	ビタミン欠乏症を伴う妊娠悪阻	無	2	23.0	15.5					2			
O211	重症妊娠悪阻	無	3	31.7	11.0					3			
O240	1型糖尿病合併妊娠	無	1	27.0	10.0					1			
O241	2型糖尿病合併妊娠	無	2	34.0	8.5					2			
O244	ハイリスク妊娠糖尿病	無	2	40.5	8.0					1	1		
O244	妊娠糖尿病	無	23	36.4	8.8					20	3		
O300	一絨毛膜二羊膜性双胎	有	4	34.5	12.3					3	1		
O300	双胎妊娠	有	1	38.0	7.0					1			
O300	二絨毛膜二羊膜性双胎	有	4	29.8	11.5					4			
O300	二絨毛膜二羊膜性双胎	無	1	25.0	30.0					1			
O321	骨盤位	有	11	34.0	6.9					11			
O321	骨盤位のための母体管理	有	6	33.5	6.8					5	1		
O331	狭骨盤	有	2	36.0	10.5					2			
O335	巨大児による骨盤不均衡	有	1	25.0	8.0					1			
O337	胎児の奇形による胎児骨盤不均衡	有	1	32.0	7.0					1			
O337	胎児仙尾部奇形腫による骨盤不均衡	有	1	27.0	7.0					1			
O341	筋腫合併妊娠	有	2	39.5	7.5					1	1		
O342	既往子宮術後妊娠	有	8	39.4	6.9					5	3		
O342	既往帝切後妊娠	有	64	34.6	7.0				1	60	3		
O343	子宮頸管無力症のための母体管理	有	15	34.5	7.6					15			
O343	子宮頸管無力症のための母体管理	無	3	32.3	24.0					3			
O344	頸管熟化不全	有	2	30.0	8.5					2			
O344	頸管熟化不全	無	23	34.4	7.3					20	3		
O344	軟産道強靱症	有	2	36.0	6.0					2			
O344	軟産道強靱症	無	1	40.0	8.0					1			
O348	卵巣腫瘍合併妊娠	有	1	31.0	7.0					1			
O350	胎児中枢神経系奇形	無	1	43.0	4.0						1		
O351	胎児染色体異常	無	4	37.5	4.3					3	1		
O351	胎児染色体異常の疑い	無	8	37.4	1.0					5	3		
O359	胎児異常	無	2	28.0	4.0					2			
O359	胎児奇形	有	1	28.0	12.0					1			
O359	胎児奇形	無	2	28.0	4.0					2			
O364	子宮内胎児死亡	有	1	33.0	2.0					1			
O364	子宮内胎児死亡のための母体管理	有	3	37.3	7.0					1	2		
O364	子宮内胎児死亡のための母体管理	無	4	38.3	3.5					2	2		
O365	胎児発育不全のための母体管理	有	8	33.3	17.1					7	1		
O365	胎児発育不全のための母体管理	無	2	31.0	22.0					2			
O365	胎盤機能不全	有	2	29.0	7.0					2			
O365	胎盤機能不全	無	2	31.0	4.5					2			
O366	巨大児妊娠の疑い	無	1	33.0	9.0					1			
O368	潜在胎児機能不全	無	1	35.0	2.0					1			
O40	胎児因子による羊水過多症	有	1	26.0	8.0					1			
O40	胎児因子による羊水過多症	無	1	35.0	2.0					1			
O410	原因不明の羊水過少症	有	3	36.0	9.7					3			
O410	羊水過少症	無	1	34.0	7.0					1			
O411	絨毛膜羊膜炎	有	4	33.3	7.8					4			
O411	絨毛膜羊膜炎	無	1	28.0	33.0					1			
O420	前期破水・分娩開始が破水後24時間未満	有	2	33.0	6.0					2			
O420	前期破水・分娩開始が破水後24時間未満	無	6	30.8	5.7					6			
O421	前期破水・分娩開始が破水後24時間以降	無	3	28.3	4.7					3			
O421	前期破水・分娩開始が破水後24時間以降の疑い	無	1	33.0	2.0					1			
O429	前期破水による羊水過少症	無	1	31.0	1.0					1			

退院患者数

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
O441	出血を伴う低置胎盤	有	1	36.0	6.0					1				
O441	前置胎盤	有	4	33.3	15.3					4				
O441	全前置胎盤	有	2	33.0	38.0					2				
O441	低置胎盤	有	5	36.6	7.0					4	1			
O441	辺縁前置胎盤	有	5	35.8	27.0					3	2			
O450	凝固障害を伴う常位胎盤早期剥離	有	2	39.0	6.0					2				
O459	常位胎盤早期剥離	有	2	33.5	7.0					2				
O459	常位胎盤早期剥離の疑い	無	4	32.8	2.8					4				
O470	妊娠満37週未満の偽陣痛	無	1	31.0	1.0					1				
O471	妊娠満37週以後の偽陣痛	無	2	32.5	2.0					2				
O471	妊娠満37週以後の前陣痛	無	1	26.0	1.0					1				
O600	切迫早産	有	26	30.6	34.8				2	24				
O600	切迫早産	無	56	30.7	25.3				2	53	1			
O601	自然早産	無	2	41.0	7.5						2			
O620	原発性陣痛微弱	有	4	37.3	7.3					2	2			
O620	原発性陣痛微弱	無	14	32.6	7.2					13	1			
O621	続発性陣痛微弱	有	4	36.3	6.3					4				
O621	続発性陣痛微弱	無	7	31.6	6.6					7				
O622	微弱陣痛	無	3	29.0	7.0					3				
O624	切迫子宮破裂	有	12	33.6	8.6					11	1			
O624	切迫子宮破裂	無	2	27.0	2.5					2				
O624	切迫子宮破裂の疑い	無	1	23.0	2.0					1				
O630	第1期遷延分娩	有	1	36.0	7.0					1				
O631	第2期遷延分娩	有	4	28.3	6.0					4				
O640	児頭回旋異常	有	1	37.0	7.0					1				
O640	児頭回旋異常による分娩停止	有	10	29.6	8.0			1		8	1			
O651	単純狭骨盤による分娩停止	有	1	36.0	6.0					1				
O654	胎児骨盤不均衡による分娩停止	有	3	35.7	6.3					3				
O655	軟産道強靭症による分娩停止	有	3	32.3	7.7					3				
O662	巨大児による分娩停止	有	3	34.0	8.7					3				
O680	胎児機能不全	有	21	34.2	7.8					17	4			
O680	胎児機能不全の疑い	有	1	34.0	7.0					1				
O680	胎児心拍異常	有	13	35.3	6.5				1	9	3			
O680	胎児心拍異常	無	2	20.0	1.5				1	1				
O694	前置血管	有	2	38.0	23.0					1	1			
O711	子宮破裂	有	1	31.0	6.0					1				
O713	子宮頸管裂傷	有	1	42.0	2.0						1			
O720	胎盤遺残	有	1	34.0	4.0					1				
O720	癒着胎盤	有	1	28.0	5.0						1			
O721	弛緩出血	有	1	31.0	7.0					1				
O721	弛緩出血	無	1	26.0	8.0					1				
O722	部分癒着胎盤	有	1	34.0	6.0					1				
O800	自然頭位分娩	無	189	32.1	5.7			3		176	10			
O821	緊急帝王切開の術後	無	1	33.0	5.0					1				
O908	産褥子宮退縮不全	無	3	30.0	3.7					3				
O993	てんかん合併妊娠	有	1	31.0	7.0					1				
O994	もやもや病合併妊娠	有	1	38.0	7.0					1				
O994	分娩時脳血管疾患合併症	有	1	36.0	7.0					1				
O996	潰瘍性大腸炎合併妊娠	無	1	33.0	10.0					1				
O998	脳海綿状血管腫合併妊娠	有	1	28.0	8.0					1				
P070	超低出生体重児	有	6	0.0	114.8	6								
P070	超低出生体重児	無	3	0.0	89.3	3								
P071a	極低出生体重児	有	3	0.0	82.3	3								
P071a	極低出生体重児	無	17	0.0	54.4	17								
P071b	低出生体重児	有	1	0.0	14.0	1								
P071b	低出生体重児	無	66	0.0	23.7	66								
P073	早産児	無	2	0.0	8.5	2								
P073	妊娠28週以降の早産児	無	2	0.0	23.0	2								
P210	重症新生児仮死	無	4	0.0	9.3	4								
P211	軽度新生児仮死	無	4	0.0	8.3	4								
P221	新生児一過性多呼吸	無	28	0.0	7.1	28								
P228	新生児呼吸障害	有	1	0.0	11.0	1								
P228	新生児呼吸障害	無	43	0.0	7.7	43								
P240	胎便吸引症候群	有	1	0.0	4.0	1								
P240	胎便吸引症候群	無	4	0.0	5.3	4								
P284	新生児無呼吸発作	無	18	0.0	5.4	18								
P53	新生児ビタミンK欠乏症	無	1	0.0	8.0	1								
P541	新生児メレナ	無	1	0.0	10.0	1								
P545	新生児紫斑	無	1	0.0	4.0	1								
P559	新生児溶血性黄疸	有	1	0.0	43.0	1								
P593	母乳性黄疸	無	2	0.0	3.5	2								
P599	新生児黄疸	無	55	0.0	4.4	55								
P704	新生児低血糖	無	13	0.0	6.8	13								
P819	新生児発熱	無	2	0.0	3.0	2								
P90	新生児痙攣	無	1	0.0	20.0	1								
P920	新生児嘔吐	無	3	0.0	5.3	3								

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
P922	哺乳不全	無	4	0.0	6.3	4								
P922	哺乳不全の疑い	無	1	0.0	5.0	1								
P940	新生児重症筋無力症の疑い	無	1	0.0	4.0	1								
Q039	先天性水頭症	有	1	11.0	6.0			1						
Q039	先天性水頭症	無	1	10.0	3.0			1						
Q059	脊髄髄膜瘤	有	1	0.0	20.0	1								
Q170	副耳	有	2	6.0	3.0	1		1						
Q180	頰のう胞	有	1	84.0	8.0									1
Q181	先天性耳瘻孔	有	2	5.5	3.0	1		1						
Q210	心室中隔欠損症	無	1	74.0	3.0							1		
Q211	心房中隔欠損症	無	1	3.0	4.0			1						
Q213	ファロー四徴症	無	3	2.3	4.0	2	1							
Q224	三尖弁閉鎖症	無	1	1.0	11.0	1								
Q225	エプスタイン病	無	1	3.0	2.0			1						
Q254	右側大動脈弓の疑い	無	1	0.0	3.0	1								
Q256	肺動脈狭窄症	無	1	0.0	2.0	1								
Q262	上部心臓型総肺静脈還流異常症	無	1	11.0	2.0			1						
Q273	腸動脈静脈奇形	有	1	39.0	25.0					1				
Q282	脳動脈静脈奇形	有	2	48.0	32.0							2		
Q282	脳動脈静脈奇形	無	2	55.0	11.0							2		
Q283	脳静脈奇形	無	1	60.0	2.0						1			
Q360	性不完全唇裂	有	1	0.0	5.0	1								
Q360	性不完全唇裂	無	1	0.0	2.0	1								
Q369	片側性唇裂	有	1	0.0	4.0	1								
Q369	片側性唇裂	無	1	0.0	6.0	1								
Q379	片側性唇顎裂	有	1	0.0	4.0	1								
Q388	梨状窩瘻	有	1	6.0	5.0			1						
Q391	C型食道閉鎖	無	2	0.0	33.0	2								
Q400	肥厚性幽門狭窄症	有	1	0.0	7.0	1								
Q410b	十二指腸閉鎖	有	1	0.0	26.0	1								
Q412b	回腸閉鎖	有	1	0.0	99.0	1								
Q419b	先天性腸管閉鎖症	有	1	0.0	81.0	1								
Q423b	低位鎖肛	有	1	0.0	36.0	1								
Q431	ヒルシュスプルング病	有	1	0.0	10.0	1								
Q431	ヒルシュスプルング病の疑い	無	1	0.0	1.0	1								
Q442	胆道閉鎖症の疑い	無	1	0.0	5.0	1								
Q444	先天性胆道拡張症	有	1	44.0	24.0						1			
Q444	先天性胆道拡張症	無	1	43.0	3.0						1			
Q445	膝管胆管合流異常	有	1	19.0	15.0			1						
Q446	多発性肝のう胞	無	1	53.0	4.0						1			
Q501	先天性卵巣のう胞	有	1	0.0	8.0	1								
Q505	傍卵巣のう胞	有	1	45.0	6.0						1			
Q531	一側性停留精巣	有	1	7.0	3.0			1						
Q531	停留精巣	有	7	1.3	3.0	6	1							
Q531	停留精巣	無	1	1.0	1.0	1								
Q532	両側性停留精巣	有	14	1.8	3.0	12	2							
Q532	両側性停留精巣	無	1	1.0	1.0	1								
Q540	冠状溝部尿道下裂	有	1	6.0	17.0			1						
Q541	陰莖部尿道下裂	有	2	6.5	16.5			1	1					
Q549	尿道下裂	有	1	2.0	17.0	1								
Q560	性分化疾患の疑い	無	1	0.0	6.0	1								
Q621	先天性腎盂尿管移行部狭窄	有	1	35.0	9.0					1				
Q644	尿管遺残	有	1	17.0	8.0			1						
Q676	漏斗胸	有	1	12.0	18.0			1						
Q699	多趾症	有	1	0.0	4.0	1								
Q702	複雑性合趾症	有	1	0.0	3.0	1								
Q704	多合趾症	有	1	0.0	5.0	1								
Q704	母指多合指症	有	1	0.0	3.0	1								
Q858	ボイツ・ジェガース症候群	有	1	23.0	10.0					1				
Q872	VATER症候群	無	1	1.0	6.0	1								
Q872	クリッペル・トレノネー症候群	無	2	3.5	4.5			2						
Q878	多発奇形症候群	無	1	0.0	243.0	1								
Q892	甲状舌管のう胞	有	1	45.0	8.0						1			
Q892	正中頸のう胞	有	1	3.0	6.0			1						
Q900	減数分裂性不分離トリソミー 2 1	無	3	0.0	32.0	3								
Q902	転座トリソミー 2 1	無	1	0.0	8.0	1								
Q909	ダウン症候群	無	2	0.0	34.5	2								
Q935	アンジェルマン症候群	無	1	11.0	2.0			1						
R001	徐脈性失神	有	1	80.0	2.0									1
R040	鼻出血症	有	5	83.4	7.4							1		4
R042	血痰	無	2	52.0	5.5					1			1	
R048	肺胞出血	無	1	73.0	3.0								1	
R11	アセトン血性嘔吐症	無	1	10.0	4.0			1						
R11	アセトン血性嘔吐症(症状、兆候)	無	1	10.0	3.0			1						
R11	周期性嘔吐症候群	無	1	17.0	4.0			1						
R221	頸部皮下腫瘍	有	1	36.0	2.0					1				
R221	後頸部腫瘍	有	1	13.0	3.0			1						

退院患者数

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
R298	下肢脱力感	無	1	81.0	2.0									1
R33	膀胱タンポナーデ	有	1	81.0	33.0									1
R55	失神	有	1	89.0	2.0									1
R560	熱性痙攣	無	10	2.9	3.5	6	2	2						
R560	複雑型熱性痙攣	無	3	1.0	3.3	3								
R568	痙攣重積発作	無	4	6.8	3.8	2	1			1				
R571	循環血液量減少性ショック	無	1	89.0	31.0									1
R628	体重増加不全	無	1	0.0	5.0	1								
R681	過敏性乳児	無	1	0.0	2.0	1								
R798	遺伝性乳癌卵巣癌症候群	無	1	58.0	6.0						1			
S000	外傷性帽状腱膜下出血	無	1	0.0	4.0	1								
S010	後頭部裂創	有	1	88.0	10.0									1
S010	頭部挫創	有	4	82.8	3.0								1	3
S011	前額部挫創	有	1	14.0	2.0									
S0220	鼻骨骨折	有	1	10.0	2.0				1					
S0230	眼窩底骨折	有	1	6.0	3.0			1						
S0240	頬骨弓骨折	有	1	50.0	2.0									
S0240	頬骨骨折	有	7	54.7	7.4					2	3	1	1	
S0260	下顎関節突起骨折	有	1	43.0	15.0							1		
S0260	下顎骨骨折	有	5	55.0	14.4			1				2	1	1
S0260	下顎骨骨折	無	1	59.0	5.0						1			
S0270	顔面多発骨折	無	1	90.0	4.0									1
S0280	眼窩骨折	有	3	39.3	8.3			1	1					1
S0280	歯槽骨骨折	有	1	25.0	9.0					1				
S0600	脳振盪・頭蓋内に達する開放創合併なし	有	1	86.0	2.0									1
S0600	脳振盪・頭蓋内に達する開放創合併なし	無	2	2.0	2.0	1	1							
S0600	脳振盪・頭蓋内に達する開放創合併なしの疑い	無	1	6.0	2.0			1						
S0620	びまん性脳損傷・頭蓋内に達する開放創合併なし	無	1	72.0	6.0								1	
S0620	脳挫傷・頭蓋内に達する開放創合併なし	無	3	76.7	12.3								1	2
S0630	局所性脳挫傷・頭蓋内に達する開放創合併なし	有	3	78.7	34.7								1	2
S0630	局所性脳挫傷・頭蓋内に達する開放創合併なし	無	3	75.7	10.3								3	
S0631	局所性脳挫傷・頭蓋内に達する開放創合併あり	有	1	84.0	29.0									1
S0640	急性硬膜外血腫・頭蓋内に達する開放創合併なし	有	1	54.0	17.0							1		
S0640	急性硬膜外血腫・頭蓋内に達する開放創合併なし	無	2	31.5	2.0	1							1	
S0650	外傷性慢性硬膜下血腫	有	13	83.2	15.9								5	8
S0650	外傷性慢性硬膜下血腫	無	1	82.0	18.0									1
S0650	急性硬膜下血腫・頭蓋内に達する開放創合併なし	有	11	72.9	23.6				1		1	4	4	5
S0650	急性硬膜下血腫・頭蓋内に達する開放創合併なし	無	18	77.9	11.0			1			1	4	4	12
S0660	外傷性くも膜下出血・頭蓋内に達する開放創合併なし	有	3	69.7	8.0					1				2
S0660	外傷性くも膜下出血・頭蓋内に達する開放創合併なし	無	10	60.9	5.8	1			1		2	3	3	
S070	顔面挫滅創	有	1	83.0	2.0									1
S111	甲状腺開放創	有	1	98.0	34.0									1
S1210	ハングマン骨折	有	1	91.0	13.0									1
S1210	頸椎骨折	無	1	80.0	3.0									1
S1210	歯突起骨折	有	1	86.0	17.0									1
S1210	軸椎骨折	有	1	82.0	13.0									1
S1220	頸椎脱臼骨折	有	1	45.0	62.0							1		
S1220	第6頸椎脱臼骨折	有	1	74.0	8.0								1	
S1220	第6頸椎棘突起骨折	無	1	87.0	2.0									1
S1220	第7頸椎骨折	有	1	42.0	10.0						1			
S1280	舌骨骨折	無	1	39.0	9.0					1				
S1290	頸椎骨折	無	1	89.0	6.0									1
S131	環軸関節亜脱臼	有	2	47.5	20.5			1						1
S141	下位頸髄損傷	有	2	76.0	48.0								2	
S141	頸髄損傷	有	6	64.5	30.0							2	4	
S141	頸髄不全損傷	無	6	59.8	13.5				1		1	3	1	
S141	頸髄不全損傷	有	1	83.0	14.0									1
S141	上位頸髄損傷	無	1	78.0	7.0								1	
S141	中心性頸髄損傷	有	3	72.7	23.0								2	1
S141	中心性頸髄損傷	無	5	75.2	11.4								5	
S141	非骨傷性頸髄損傷	無	4	67.0	4.5						1	2	1	
S141	非骨傷性頸髄損傷の疑い	無	1	22.0	2.0					1				
S143	腕神経叢引き抜き損傷	有	1	57.0	6.0						1			
S150	内頸動脈損傷	有	1	81.0	20.0									1
S2200	胸椎圧迫骨折	有	4	65.8	16.3					1			1	2
S2200	胸椎圧迫骨折	無	2	86.5	16.0									2
S2200	胸椎骨折	有	4	69.8	18.5						1	2	1	
S2200	胸椎椎体骨折	有	4	82.8	23.0							1	1	3
S2200	胸椎破裂骨折	有	5	54.6	15.6					2		3		
S2200	胸椎破裂骨折	無	1	95.0	26.0									1
S2210	胸椎多発圧迫骨折	無	1	89.0	12.0									1
S2210	胸椎多発骨折	有	1	55.0	21.0						1			
S2210	胸椎多発椎体骨折	有	2	65.0	17.5						1	1		
S2220	胸骨骨折	無	1	41.0	11.0							1		
S2230	肋骨骨折	無	2	52.0	3.5							2		
S2230	肋骨骨折の疑い	有	1	52.0	1.0							1		
S2240	肋骨多発骨折	無	1	72.0	3.0								1	

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層									
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~		
S255	肋間動脈損傷	無	1	88.0	2.0									1	
S2700	外傷性気胸・胸腔に達する開放創合併なし	無	5	63.6	7.8					1	1	1		2	
S2700	閉鎖性外傷性気胸	無	1	72.0	9.0							1			
S2710	外傷性血胸・胸腔に達する開放創合併なし	無	2	65.5	9.0						1	1			
S2710	閉鎖性外傷性血胸	無	1	71.0	6.0							1			
S2720	外傷性血気胸・胸腔に達する開放創合併なし	有	1	84.0	35.0									1	
S2720	閉鎖性外傷性血気胸	無	2	75.0	19.0								2		
S2720	閉鎖性外傷性血気胸	無	2	64.0	14.0						1	1			
S300	腰部打撲傷	無	1	57.0	7.0						1				
S301	腹壁下血腫	有	1	56.0	5.0						1				
S3200	腰椎圧迫骨折	有	15	77.4	22.2						1	6	8		
S3200	腰椎圧迫骨折	無	5	71.8	9.6						1	3	1		
S3200	腰椎横突起骨折	無	2	64.5	5.5						1			1	
S3200	腰椎腰椎破裂骨折	有	1	77.0	30.0							1			
S3200	腰椎骨折	有	2	36.0	4.5					2					
S3200	腰椎椎体骨折	有	6	73.5	16.0						2	1	3		
S3200	腰椎椎体骨折	無	2	73.5	5.5							1	1		
S3200	腰椎破裂骨折	有	19	54.5	14.6					5	6	6	2		
S3200	腰椎破裂骨折	無	1	59.0	2.0						1				
S3210	仙骨骨折	無	2	49.0	3.0			1						1	
S3230	腸骨骨折	有	1	43.0	19.0						1				
S3240	寛骨臼骨折	有	5	54.8	14.8					1	2	1	1		
S3250	恥骨骨折	無	3	78.3	15.3							2	1		
S3270	腰椎多発圧迫骨折	無	1	79.0	20.0							1			
S3270	骨盤多発骨折	有	2	72.5	18.0						1			1	
S3280	骨盤骨折	有	2	46.0	44.5						2				
S3280	骨盤骨折	無	1	64.0	3.0							1			
S3280	骨盤輪骨折	有	6	71.7	19.7					1	1	1	3		
S3280	骨盤輪骨折	無	1	71.0	13.0							1			
S358	腰動脈損傷	有	1	84.0	40.0									1	
S3600	閉鎖性脾損傷	有	2	46.5	14.5			1						1	
S3610	肝損傷・腹腔に達する開放創合併なし	有	1	74.0	16.0							1			
S3620	膵損傷・腹腔に達する開放創合併なし	有	1	44.0	2.0						1				
S3620	膵損傷・腹腔に達する開放創合併なし	無	1	17.0	38.0			1							
S3680	外傷性腹腔内出血	有	1	69.0	1.0							1			
S3680	外傷性腹腔内出血	無	1	49.0	15.0						1				
S3680	閉鎖性腸間膜損傷	有	1	65.0	14.0							1			
S3700	腎損傷・骨盤腔に達する開放創合併なし	有	2	28.5	7.0			1			1				
S3700	閉鎖性腎損傷	無	1	71.0	11.0							1			
S3711	開放性尿管断裂	有	1	50.0	10.0						1				
S400	肩打撲傷	無	1	72.0	2.0							1			
S4200	鎖骨遠位端骨折	有	13	62.9	7.9						6	5	2		
S4200	鎖骨遠位端骨折	無	1	74.0	2.0							1			
S4200	鎖骨骨幹部骨折	有	5	47.0	5.4					2	2	1			
S4200	鎖骨骨幹部骨折	無	1	71.0	2.0							1			
S4200	鎖骨骨折	有	3	45.3	6.7			1			1	1			
S4210	肩関節脱臼骨折	有	4	68.8	14.0						2	1	1		
S4210	肩関節脱臼骨折	無	1	85.0	6.0									1	
S4210	肩甲骨烏口突起骨折	有	1	48.0	10.0						1				
S4210	肩甲骨体部骨折	有	1	62.0	9.0							1			
S4220	上腕骨近位端骨折	有	13	75.7	10.5					1	1	6	5		
S4230	上腕骨骨幹部骨折	有	4	64.5	12.3					1		2	1		
S4230	上腕骨骨幹部骨折	無	1	0.0	5.0									1	
S4240	上腕骨遠位骨端線損傷	有	2	5.0	3.0										
S4240	上腕骨遠位端骨折	有	2	48.0	11.0									1	
S4240	上腕骨遠位端粉碎骨折	有	1	72.0	5.0							1			
S4240	上腕骨外顆骨折	有	1	6.0	3.0										
S4240	上腕骨外顆骨折	有	1	79.0	12.0								1		
S4240	上腕骨内顆骨折	有	1	13.0	3.0										
S4240	上腕骨顆上骨折	有	6	6.7	3.5										
S4241	上腕骨外顆開放骨折	有	1	44.0	2.0							1			
S431	肩鎖関節脱臼	有	2	72.5	15.5								1	1	
S460	肩腱板断裂	有	1	73.0	19.0								1		
S5200	肘関節脱臼骨折	有	1	6.0	4.0										
S5200	肘頭骨折	有	4	51.0	9.3					1				2	
S5201	肘関節開放性脱臼骨折	有	1	38.0	74.0						1				
S5210	橈骨頭骨折	有	1	22.0	15.0						1				
S5220	尺骨骨幹部骨折	有	1	50.0	3.0							1			
S5220	尺骨骨折	有	2	60.0	4.5							1	1		
S5221	尺骨開放骨折	有	1	74.0	6.0								1		
S5230	橈骨骨幹部骨折	有	1	27.0	5.0						1				
S5240	橈骨尺骨骨折	有	1	12.0	2.0										
S5250	橈骨遠位端骨折	有	32	53.1	4.6						5	3	9	13	2
S5251	橈骨遠位端開放骨折	有	1	37.0	3.0							1			
S5260	橈骨尺骨遠位端骨折	有	1	64.0	7.0									1	
S5261	開放性橈骨尺骨遠位端骨折	有	3	73.3	17.0									2	1
S5271	前腕多発開放骨折	有	1	63.0	55.0									1	

退院患者数

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
S5291	開放性前腕骨折	有	1	37.0	26.0					1			
S541	正中神経損傷	有	1	51.0	5.0						1		
S551	橈骨動脈損傷	有	1	81.0	13.0								1
S561	小指深指屈筋腱断裂	有	1	40.0	24.0					1			
S562	橈側手根屈筋腱損傷	有	1	19.0	3.0				1				
S565	長橈側手根伸筋腱損傷	有	1	71.0	4.0							1	
S579	前腕挫減創	有	1	43.0	10.0						1		
S6251	母指基節骨開放骨折	有	2	59.0	13.0						1	1	
S6251	母指末節骨開放骨折	有	1	42.0	3.0						1		
S6260	小指PIP関節脱臼骨折	有	1	57.0	2.0						1		
S6260	小指基節骨骨折	有	2	79.0	2.0							2	
S6261	示指PIP関節開放性脱臼骨折	有	1	82.0	3.0								1
S6261	示指中節骨開放骨折	有	2	60.0	3.0						2		
S6271	手指多発開放骨折	有	1	41.0	17.0						1		
S6280	手関節内骨折	有	1	73.0	12.0							1	
S630	月状骨周囲脱臼	有	1	25.0	2.0					1			
S680	母指切断	有	1	64.0	10.0							1	
S681	示指切断	有	1	46.0	4.0						1		
S681	手指不全切断	有	2	51.0	6.0						2		
S681	中指切断	有	1	67.0	19.0							1	
S681	中指不全切断	有	1	41.0	15.0						1		
S701	大腿部皮下血腫	有	1	80.0	9.0								1
S701	大腿部皮下血腫	無	2	82.0	6.0							1	1
S7200	大腿骨頸部基部骨折	有	2	95.0	15.0								2
S7200	大腿骨頸部骨折	有	46	82.2	13.9						3	12	31
S7200	大腿骨頸部骨折	無	1	85.0	8.0								1
S7210	大腿骨大転子骨折	有	1	92.0	21.0								1
S7210	大腿骨大転子骨折	無	2	81.5	4.0							1	1
S7210	大腿骨転子部骨折	有	43	82.2	14.7					2	2	8	31
S7220	大腿骨転子下骨折	有	1	90.0	11.0								1
S7220	転子下骨折	有	1	88.0	16.0								1
S7230	大腿骨骨幹部骨折	有	9	52.9	11.1	1		1	1		1	2	3
S7230	大腿骨骨幹部骨折	無	1	10.0	15.0								1
S7240	大腿骨遠位端骨折	有	2	82.0	18.5							1	1
S7240	大腿骨顆上骨折	有	3	73.0	20.7							2	1
S750	大腿動脈損傷の疑い	無	1	91.0	1.0								1
S761	大腿四頭筋断裂	有	1	69.0	14.0							1	
S800	膝関節打撲傷	無	1	82.0	5.0								1
S801	下腿皮下血腫	有	1	73.0	6.0							1	
S819	下腿挫創	有	1	49.0	7.0						1		
S8200	膝蓋骨骨折	有	6	61.7	12.5						2	3	1
S8210	脛骨近位端骨折	有	2	65.5	22.5							2	
S8210	脛骨近位端骨折	無	1	41.0	1.0					1		1	
S8210	脛骨顆間隆起骨折	有	2	42.0	16.5					1	1		
S8220	脛骨骨幹部骨折	有	2	52.5	9.5						1	1	
S8220	脛骨骨折	有	1	85.0	19.0								1
S8230	脛骨遠位骨端線損傷	有	4	13.0	6.3			4					
S8230	脛骨腓骨遠位端骨折	有	2	23.5	18.5			1	1				
S8240	腓骨遠位端骨折	有	1	55.0	13.0						1		
S8240	腓骨骨幹部骨折	有	1	77.0	18.0							1	
S8250	足関節内果骨折	有	1	55.0	4.0						1		
S8260	足関節外果骨折	有	2	28.5	12.5			1			1		
S8270	下腿多発骨折	有	1	42.0	15.0						1		
S8271	下腿多発開放骨折	有	1	59.0	68.0						1		
S8280	足関節骨折	有	1	73.0	15.0							1	
S8280	足関節三果骨折	有	2	65.0	12.5							2	
S8280	足関節脱臼骨折	有	2	29.5	4.5					1	1		
S8281	足関節開放性脱臼骨折	有	2	71.0	23.5						1		1
S832	外側半月板損傷	有	2	68.5	15.5						1	1	
S832	外側半月板断裂	有	4	28.5	11.0			2		1	1		
S832	内側半月板損傷	有	2	49.0	13.5					1		1	
S832	内側半月板断裂	有	8	47.0	12.6			2			4	2	
S834	膝関節内側副靭帯損傷	有	1	89.0	24.0								1
S835	前十字靭帯断裂	有	6	34.2	17.8				1	2	3		
S860	開放性アキレス腱断裂	有	1	79.0	20.0							1	
S868	下腿筋肉内血腫	有	1	91.0	22.0								1
S870	膝挫減創	有	1	21.0	2.0					1			
S878	下腿挫減創	有	3	61.3	12.0					1		2	
S881	下腿不全切断	有	1	68.0	46.0							1	
S913	足挫創	有	1	49.0	33.0						1		
S9200	踵骨骨折	有	7	59.0	11.4					2		4	1
S9210	距骨骨折	有	2	51.5	14.0						1	1	
S9230	リスフラン関節脱臼骨折	有	4	44.3	10.8					2		2	
S9230	中足骨骨折	有	2	38.0	6.5			1				1	
S9250	第3趾末節骨骨折	有	1	41.0	3.0						1		
S9250	第4趾中節骨骨折	有	1	40.0	3.0					1			

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
S9270	足の多発骨折	有	2	29.0	10.0					2				
T0210	胸腰椎圧迫骨折	有	1	41.0	5.0						1			
		無	4	69.3	10.5						1	2	1	
T0210	胸腰椎多部位骨折	有	1	47.0	8.0						1			
T0220	一側上肢多発骨折	有	1	7.0	3.0			1						
T0221	一側上肢多発開放骨折	有	1	44.0	33.0						1			
T0240	両側上肢多発骨折	有	1	68.0	22.0							1		
T0250	両側下肢多発骨折	有	1	49.0	3.0						1			
T0280	複合部位の骨折	有	11	74.3	26.9					1	1	5	4	
T0290	多発骨折	有	1	64.0	60.0							1		
T08-0	胸椎椎体骨折	有	1	20.0	21.0			1						
T093	脊髄損傷	有	1	51.0	25.0						1			
T158	強膜異物	有	1	25.0	8.0					1				
T172	咽頭内異物による窒息	無	1	79.0	2.0							1		
T175	気管支異物	有	2	42.5	4.0	1								1
T181	食道異物	有	5	47.8	5.0	1		1				2	1	
		無	1	7.0	1.0			1						
T181	食道異物の疑い	無	1	7.0	2.0			1						
T182	胃内異物	有	3	4.3	3.0		2	1						
T185	直腸S状結腸異物	有	1	13.0	3.0			1						
T185	直腸内異物	有	1	72.0	2.0							1		
		無	1	18.0	1.0			1						
T193	子宮内異物	有	1	62.0	3.0							1		
T200	顔面熱傷	無	1	51.0	7.0						1			
T202	顔面第2度熱傷	無	1	1.0	7.0	1								
T212	前胸部第2度熱傷	無	1	1.0	10.0	1								
T232	手第2度熱傷	無	1	33.0	15.0					1				
T232	手背第2度熱傷	無	1	75.0	18.0								1	
T242	下肢第2度熱傷	無	1	69.0	15.0							1		
T243	下肢第3度熱傷	有	1	81.0	115.0									1
T292	下半身第2度熱傷	無	1	74.0	16.0							1		
T292	全身第2度熱傷	有	1	75.0	35.0							1		
		無	1	72.0	28.0							1		
T293	全身第3度熱傷	有	1	75.0	17.0							1		
T424	ベンゾジアゼピン中毒	無	4	44.3	2.3			1	2					1
T432	抗うつ薬中毒	無	1	19.0	3.0			1						
T509	急性薬物中毒	無	5	30.6	1.6	1			3	1				
T543	次亜塩素酸ナトリウム中毒	無	1	50.0	14.0						1			
T55	洗剤中毒	無	2	53.5	2.0						2			
T603	除草剤中毒	無	1	55.0	43.0						1			
T611	ヒスタミン様症候群	無	1	28.0	1.0				1					
T630	マムシ咬傷	無	2	71.0	3.0								2	
T634	ムカデ咬創	無	1	69.0	3.0								1	
T634	蜂刺によるアナフィラキシーショック	無	1	68.0	2.0								1	
T678	熱中症	無	5	66.0	4.8				1	1	2	1		
T68	低体温	有	3	72.7	6.3						1			2
		無	4	85.0	8.5							1		3
T780	小麦によるアナフィラキシーショック	無	1	16.0	3.0			1						
T780	食物によるアナフィラキシーショック	無	8	37.3	1.9	1	1	2		1		2	1	
T780	食物依存性運動誘発アナフィラキシー	無	1	56.0	2.0						1			
T781	牛乳アレルギーの疑い	無	1	0.0	2.0	1								
T781	食物アレルギー	無	3	7.7	1.7		1	2						
T782	アナフィラキシー	無	2	33.0	3.0			1			1			
T782	アナフィラキシーショック	無	2	38.0	2.0					1	1			
T783	血管神経性浮腫の疑い	無	1	76.0	2.0								1	
T793	創傷感染症	有	1	38.0	5.0				1					
T794	外傷性ショック	有	1	82.0	2.0									1
T794	外傷性出血性ショック	有	1	87.0	8.0									1
T810	術後漿液腫	無	1	69.0	22.0								1	
T810	大腸ポリープEMR後出血	有	3	65.3	5.0						2	1		
T812	医原性気胸	無	1	76.0	18.0							1		
T812	術後リンパ漏	無	1	78.0	19.0							1		
T813	手術創離開	無	1	66.0	15.0							1		
T814	下腿術後感染症	有	2	59.0	34.0				1					1
T814	手術創部膿瘍	無	1	70.0	8.0							1		
T814	術後感染症	有	1	42.0	6.0					1				
T814	術後創部感染	有	3	30.7	6.7				3					
		無	1	44.0	9.0						1			
T814	術後膿瘍	有	2	82.5	26.5							1	1	
T814	術後腹腔内膿瘍	有	3	70.3	9.0								2	1
		無	3	47.3	4.0				1	2				
T814	縫合糸膿瘍	有	1	42.0	15.0					1				
T818	吻合部狭窄	有	3	74.0	3.7								3	
T821	ペースメーカー電池消耗	有	25	81.4	6.5								10	15
T821	ペースメーカー不全	有	1	76.0	8.0								1	
T821	植込型除細動器電池消耗	有	3	68.3	6.7						1	1	1	
T826	人工弁感染	有	1	70.0	74.0								1	

退院患者数

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
T827	MRSA人工血管感染	有	1	71.0	27.0								1	
T827	ペースメーカー植込み後感染症	有	1	79.0	43.0								1	
T827	移植人工血管感染	有	2	73.5	96.0								2	
		無	2	68.5	11.5						1		1	
T827	中心静脈カテーテル感染症	無	1	74.0	19.0								1	
T827	透析シャント感染症	無	1	71.0	22.0								1	
T828	透析シャント仮性動脈瘤	有	2	74.5	22.5								2	
T840	人工膝関節の破損	有	1	72.0	17.0								1	
T842	ワイヤーによる胸骨周囲炎	有	2	67.0	19.0							1	1	
T843	顎骨内異物	有	1	19.0	2.0				1					
T845	人工膝関節感染	有	1	82.0	33.0									1
T861	腎移植急性拒絶反応	無	1	47.0	8.0							1		
T861	腎移植慢性拒絶反応	無	2	37.0	6.0					2				
T861	腎移植慢性拒絶反応の疑い	無	1	37.0	2.0					1				
T886	造影剤アレルギー	無	1	55.0	2.0							1		
T886	薬剤によるアナフィラキシーショック	無	1	22.0	2.0					1				
T886	薬剤によるアナフィラキシーショックの疑い	無	1	49.0	1.0							1		
T887	薬剤アレルギー	無	2	43.0	1.5			1					1	
		有	2	67.5	35.5								2	
U071	COVID-19	有	240	56.4	10.5	5	4	3	4	41	74	67	42	
		無	4	52.5	6.5		1			1				2
U071	COVID-19の疑い	有	6	45.0	4.3				1	2	2	1		
		無	1	37.0	2.0					1				
Z520	末梢血幹細胞移植ドナー	有	3	29.7	4.0					3				
		無	14	57.0	13.4						9	5		
Z524	腎移植ドナー	有	1	66.0	2.0								1	
		無	1	66.0	2.0								1	

2 外来患者数（前年度対比）

上段：令和元年度
下段：令和2年度

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総合診療科	457 333	483 318	428 396	514 432	486 411	475 353	455 382	438 349	457 360	409 284	394 309	368 346	5,364 4,273
心療内科	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
精神科	77 81	87 68	68 74	103 99	86 85	83 92	83 82	68 106	91 94	86 92	64 107	94 106	990 1,086
地域医療科	6 7	7 6	6 6	5 5	5 6	5 6	6 7	9 7	6 6	7 7	6 7	6 7	74 77
血液内科・輸血科	755 686	744 639	749 716	823 732	768 723	731 721	791 772	714 679	744 749	744 712	720 685	698 833	8,981 8,647
糖尿病・内分泌内科	377 411	394 392	389 411	459 431	412 368	406 410	446 406	442 361	465 380	438 375	403 348	454 405	5,085 4,698
放射線療法科	347 457	297 283	354 314	361 312	403 278	217 318	244 274	259 259	261 246	271 147	355 344	498 362	3,867 3,594
感染症科	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 2	0 3	0 66	0 12	0 2	1 8	1 93
腫瘍内科	426 379	384 357	382 391	486 392	354 355	402 419	429 431	369 351	335 336	359 400	287 332	369 376	4,582 4,519
ペインクリニック科	352 268	332 251	286 265	334 300	311 286	312 275	331 336	303 323	334 313	288 288	246 290	270 345	3,699 3,540
放射線科	30 24	36 26	41 39	41 40	33 39	42 33	43 41	43 37	55 26	47 37	43 25	34 40	488 407
神経内科	84 50	67 73	92 81	84 72	80 69	88 84	85 76	82 71	82 87	73 73	81 65	88 89	986 890
脳神経外科	247 194	248 176	295 212	263 235	243 197	218 173	268 210	259 198	299 188	228 191	217 187	232 228	3,017 2,389
眼科	551 500	547 476	599 585	701 577	589 559	648 580	659 602	639 510	690 590	580 514	545 502	539 604	7,287 6,599
耳鼻咽喉科	793 573	738 537	732 708	812 730	721 659	678 574	672 704	695 596	851 623	650 581	639 629	711 747	8,692 7,661
歯科口腔外科	1,599 1,193	1,466 952	1,567 1,580	1,792 1,609	1,606 1,439	1,473 1,363	1,712 1,525	1,538 1,397	1,439 1,327	1,355 1,191	1,443 1,156	1,532 1,569	18,522 16,301
呼吸器内科	328 333	354 349	336 379	384 392	358 386	392 350	374 319	405 333	400 305	365 265	361 236	369 368	4,426 4,015
呼吸器外科	296 235	302 210	295 265	333 289	324 241	293 293	281 289	260 246	258 290	278 278	248 253	259 308	3,427 3,197
循環器内科	694 435	701 382	659 522	701 504	567 432	616 411	565 490	499 418	555 479	493 398	476 409	520 434	7,046 5,314
心臓血管外科	320 204	327 229	290 320	362 307	285 284	297 304	333 292	324 223	305 296	300 283	281 288	273 339	3,697 3,369
乳腺・甲状腺外科	406 351	420 363	351 404	435 483	420 414	392 373	393 438	407 385	461 431	475 438	421 372	431 429	5,012 4,881
消化器内科	418 343	417 331	388 399	459 428	373 392	407 368	453 425	431 415	453 412	436 377	392 372	397 472	5,024 4,734
消化器外科・一般外科	1,058 899	1,014 876	1,013 1,090	1,033 1,023	1,011 981	944 839	1,076 1,030	1,049 884	1,084 942	1,012 881	922 861	1,036 962	12,252 11,268
泌尿器科	557 404	530 382	522 457	509 437	555 398	477 465	510 476	505 396	534 391	522 381	465 337	470 432	6,156 4,956
腎臓内科・膠原病科	305 315	311 253	305 333	361 343	335 309	281 312	381 357	310 302	363 337	342 249	308 250	348 355	3,950 3,715
婦人科	679 518	667 514	626 589	666 657	628 549	625 606	712 623	638 574	650 644	639 577	626 545	641 655	7,797 7,051
生殖医療科	246 238	279 201	262 273	300 269	241 235	280 267	300 249	261 225	245 215	235 219	246 197	286 260	3,181 2,848
移植外科	201 206	226 140	182 202	235 196	214 212	200 181	238 200	196 166	214 187	225 190	175 182	212 228	2,518 2,290
救命救急科	729 406	835 497	727 486	708 527	768 538	755 431	703 518	685 495	716 465	844 454	687 436	596 462	8,753 5,715
集中治療科	2 3	3 1	1 0	1 1	2 2	0 2	5 2	2 4	2 1	0 4	2 2	1 1	2 23
麻酔科	2 1	0 1	1 0	2 2	2 5	4 0	2 2	3 2	5 3	0 1	3 4	3 2	27 23
小児科	1,340 925	1,261 906	1,223 1,080	1,410 1,085	1,466 1,280	1,264 899	1,395 1,118	1,343 1,248	1,451 1,187	1,258 1,012	1,128 972	1,175 1,302	15,714 13,014
小児外科	196 153	160 124	167 164	226 173	196 219	187 125	165 170	159 146	201 158	184 155	165 148	158 233	2,164 1,968
産科	744 649	746 563	661 625	821 633	763 628	755 668	814 662	721 682	756 711	710 661	637 687	708 788	8,836 7,957
皮膚科	546 406	502 381	510 509	592 533	575 483	485 403	597 515	500 423	514 425	483 373	453 391	478 486	6,235 5,328
整形外科	686 541	709 480	758 650	852 682	794 588	770 599	753 606	747 606	786 639	731 503	693 547	706 705	8,985 7,146
形成外科	206 153	198 143	160 175	210 184	232 223	182 177	202 175	198 171	218 158	207 152	204 162	165 230	2,382 2,103
緩和ケア内科	143 158	146 171	121 171	186 183	149 143	105 114	159 159	156 134	152 140	158 149	138 133	147 145	1,760 1,800
児童精神科	215 168	202 188	200 191	209 216	210 216	209 183	224 220	209 191	229 233	224 201	203 194	252 288	2,586 2,489
令和元年度合計	16,418	16,140	15,746	17,773	16,565	15,698	16,859	15,866	16,659	15,658	14,676	15,526	193,584
令和2年度合計	13,200	12,239	15,062	15,513	14,632	13,771	16,185	13,916	14,440	13,105	12,966	15,949	169,978
令和元年度検診等合計	352	387	327	402	339	339	365	283	302	320	279	315	4,010
令和2年度検診等合計	283	279	316	281	284	280	313	322	325	319	324	424	3,750
増減数	-3,218	-3,901	-684	-2,260	-1,933	-1,927	-1,674	-1,950	-2,219	-2,553	-1,710	423	-23,606
増減率	-19.6%	-24.2%	-4.3%	-12.7%	-11.7%	-12.3%	-9.9%	-12.3%	-13.3%	-16.3%	-11.7%	2.7%	-12.2%

増減数...令和2年度合計－令和元年度合計
増減率...増減数／令和元年度合計

3 全科疾病分類別上位頻度表

I	感染症及び寄生虫症	ICDコード	件数	%
1	その他の胃腸炎及び大腸炎，感染症及び詳細不明の原因によるもの	A09	28	20.7%
2	その他の敗血症	A41	15	11.1%
3	ウイルス性及びその他の明示された腸管感染症	A08	10	7.4%
4	帯状疱疹[帯状ヘルペス]	B02	10	7.4%
5	ウイルス(性)髄膜炎	A87	9	6.7%
6	その他の細菌性腸管感染症	A04	8	5.9%
7	部位不明の細菌感染症	A49	7	5.2%
8	伝染性単核症	B27	6	4.4%
9	その他の非結核性抗酸菌による感染症	A31	5	3.7%
10	部位不明のウイルス感染症	B34	4	3.0%
11	その他		33	24.4%
	合計		135	100.0%

II	新生物<腫瘍>	ICDコード	件数	%
1	気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	C34	375	10.8%
2	非濾胞性リンパ腫	C83	234	6.7%
3	食道の悪性新生物<腫瘍>	C15	212	6.1%
4	結腸の悪性新生物<腫瘍>	C18	178	5.1%
5	胃の悪性新生物<腫瘍>	C16	167	4.8%
6	乳房の悪性新生物<腫瘍>	C50	140	4.0%
7	骨髄異形成症候群	D46	138	4.0%
8	前立腺の悪性新生物<腫瘍>	C61	133	3.8%
9	直腸の悪性新生物<腫瘍>	C20	122	3.5%
10	卵巣の悪性新生物<腫瘍>	C56	106	3.1%
11	その他		1,666	48.0%
	合計		3,471	100.0%

III	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	ICDコード	件数	%
1	紫斑病及びその他の出血性病態	D69	32	47.1%
2	その他の無形成性貧血	D61	11	16.2%
3	リンパ細網組織及び細網組織球組織のその他の明示された疾患	D76	5	7.4%
4	後天性溶血性貧血	D59	4	5.9%
5	サルコイドーシス	D86	3	4.4%
6	鉄欠乏性貧血	D50	3	4.4%
7	無顆粒球症	D70	3	4.4%
8	播種性血管内凝固症候群[脱線維素症候群]	D65	2	2.9%
9	脾疾患	D73	1	1.5%
10	葉酸欠乏性貧血	D52	1	1.5%
11	その他		3	4.4%
	合計		68	100.0%

IV	内分泌,栄養及び代謝疾患	ICDコード	件数	%
1	その他の非中毒性甲状腺腫	E04	56	27.3%
2	2型<インスリン非依存性>糖尿病<N I DDM>	E11	35	17.1%
3	その他の体液，電解質及び酸塩基平衡障害	E87	22	10.7%
4	甲状腺中毒症[甲状腺機能亢進症]	E05	12	5.9%
5	体液量減少(症)	E86	10	4.9%
6	副甲状腺<上皮小体>機能亢進症及びその他の副甲状腺<上皮小体>障害	E21	9	4.4%
7	アルドステロン症	E26	9	4.4%
8	その他の副腎障害	E27	9	4.4%
9	下垂体機能低下症及びその他の下垂体障害	E23	7	3.4%
10	1型<インスリン依存性>糖尿病<I DDM>	E10	6	2.9%
11	その他		30	14.6%
	合計		205	100.0%

V	精神及び行動の障害	ICDコード	件数	%
1	統合失調症	F20	18	17.6%
2	双極性感情障害<躁うつ病>	F31	18	17.6%
3	重度ストレスへの反応及び適応障害	F43	13	12.7%
4	うつ病エピソード	F32	9	8.8%
5	多動性障害	F90	9	8.8%
6	広汎性発達障害	F84	7	6.9%
7	解離性[転換性]障害	F44	6	5.9%
8	摂食障害	F50	4	3.9%
9	アルコール使用<飲酒>による精神及び行動の障害	F10	4	3.9%
10	持続性妄想性障害	F22	2	2.0%
11	その他		12	11.8%
	合計		102	100.0%

VI	神経系の疾患	ICDコード	件数	%
1	てんかん	G40	75	41.4%
2	脊髄性筋萎縮症及び関連症候群	G12	15	8.3%
3	睡眠障害	G47	11	6.1%
4	水頭症	G91	10	5.5%
5	顔面神経障害	G51	9	5.0%
6	頭蓋内及び脊椎管内の膿瘍及び肉芽腫	G06	7	3.9%
7	一過性脳虚血発作及び関連症候群	G45	7	3.9%
8	脳のその他の障害	G93	5	2.8%
9	他に分類される疾患における脳神経障害	G53	5	2.8%
10	炎症性多発(性)ニューロパチ<シ>ー	G61	4	2.2%
11	その他		33	18.2%
	合計		181	100.0%

VII	眼及び付属器の疾患	ICDコード	件数	%
1	老人性白内障	H25	59	51.8%
2	その他の斜視	H50	25	21.9%
3	眼瞼のその他の障害	H02	15	13.2%
4	結膜のその他の障害	H11	3	2.6%
5	その他の網膜障害	H35	2	1.8%
6	他に分類される疾患における涙器及び眼窩の障害	H06	1	0.9%
7	眼振及びその他の不規則眼球運動	H55	1	0.9%
8	網膜血管閉塞症	H34	1	0.9%
9	他に分類される疾患における強膜及び角膜の障害	H19	1	0.9%
10	他に分類される疾患における眼及び付属器のその他の障害	H58	1	0.9%
11	その他		5	4.4%
	合計		114	100.0%

VIII	耳及び乳様突起の疾患	ICDコード	件数	%
1	前庭機能障害	H81	27	50.0%
2	化膿性及び詳細不明の中耳炎	H66	15	27.8%
3	その他の難聴	H91	5	9.3%
4	中耳真珠腫	H71	4	7.4%
5	非化膿性中耳炎	H65	2	3.7%
6	外耳炎	H60	1	1.9%
	合計		54	100.0%

IX	循環器系の疾患	ICDコード	件数	%
1	狭心症	I20	434	25.2%
2	脳梗塞	I63	200	11.6%
3	大動脈瘤及び解離	I71	154	8.9%
4	心不全	I50	108	6.3%
5	非リウマチ性大動脈弁障害	I35	100	5.8%
6	慢性虚血性心疾患	I25	93	5.4%
7	心停止	I46	87	5.0%
8	アテローム<粥状>硬化(症)	I70	80	4.6%
9	脳内出血	I61	72	4.2%
10	急性心筋梗塞	I21	54	3.1%
11	その他		343	19.9%
	合計		1,725	100.0%

疾病分類別統計

X	呼吸器系の疾患	ICDコード	件数	%
1	固形物及び液状物による肺臓炎	J69	80	17.6%
2	細菌性肺炎, 他に分類されないもの	J15	73	16.0%
3	その他の間質性肺疾患	J84	40	8.8%
4	急性気管支炎	J20	39	8.6%
5	慢性副鼻腔炎	J32	36	7.9%
6	気胸	J93	22	4.8%
7	扁桃及びアデノイドの慢性疾患	J35	21	4.6%
8	喘息	J45	19	4.2%
9	肺炎, 病原体不詳	J18	16	3.5%
10	多部位及び部位不明の急性上気道感染症	J06	13	2.9%
11	その他		96	21.1%
	合計		455	100.0%

XI	消化器系の疾患	ICDコード	件数	%
1	胆石症	K80	247	21.9%
2	消化器系の処置後障害, 他に分類されないもの	K91	104	9.2%
3	そけい<鼠径>ヘルニア	K40	81	7.2%
4	胆道のその他の疾患	K83	77	6.8%
5	麻痺性イレウス及び腸閉塞, ヘルニアを伴わないもの	K56	69	6.1%
6	腸の憩室性疾患	K57	55	4.9%
7	急性虫垂炎	K35	45	4.0%
8	腸のその他の疾患	K63	38	3.4%
9	腸の血行障害	K55	32	2.8%
10	胃潰瘍	K25	28	2.5%
11	その他		353	31.3%
	合計		1,129	100.0%

XII	皮膚及び皮下組織の疾患	ICDコード	件数	%
1	蜂巣炎<蜂窩織炎>	L03	30	30.3%
2	皮膚の萎縮性障害	L90	16	16.2%
3	急性リンパ節炎	L04	10	10.1%
4	皮膚膿瘍, せつ<フルンケル>及びよう<カルブンケル>	L02	9	9.1%
5	下肢の潰瘍, 他に分類されないもの	L97	5	5.1%
6	アポクリン汗腺の障害	L75	5	5.1%
7	類天疱瘡	L12	4	4.0%
8	褥瘡性潰瘍及び圧迫領域	L89	4	4.0%
9	その他の紅斑性病態	L53	2	2.0%
10	円形脱毛症	L63	2	2.0%
11	その他		12	12.1%
	合計		99	100.0%

X III	筋骨格系及び結合組織の疾患	ICDコード	件数	%
1	その他の脊椎障害	M48	230	32.4%
2	脊椎症	M47	109	15.4%
3	その他の椎間板障害	M51	83	11.7%
4	その他の変形性脊柱障害	M43	82	11.5%
5	膝関節症[膝の関節症]	M17	35	4.9%
6	結節性多発(性)動脈炎及び関連病態	M30	21	3.0%
7	股関節症[股関節部の関節症]	M16	19	2.7%
8	その他の炎症性脊椎障害	M46	19	2.7%
9	頸部椎間板障害	M50	13	1.8%
10	骨え<壊>死	M87	12	1.7%
11	その他		87	12.3%
	合計		710	100.0%

XIV 腎尿路生殖器系の疾患		ICDコード	件数	%
1	慢性腎不全	N18	110	16.1%
2	前立腺肥大(症)	N40	101	14.8%
3	急性尿細管間質性腎炎	N10	74	10.8%
4	閉塞性尿路疾患及び逆流性尿路疾患	N13	52	7.6%
5	子宮頸(部)の異形成	N87	38	5.6%
6	腎結石及び尿管結石	N20	34	5.0%
7	反復性及び持続性血尿	N02	29	4.2%
8	尿路系のその他の障害	N39	26	3.8%
9	子宮内膜症	N80	24	3.5%
10	精巣<睾丸>水腫及び精液瘤	N43	16	2.3%
11	その他		179	26.2%
	合計		683	100.0%

XV 妊娠, 分娩及び産褥		ICDコード	件数	%
1	単胎自然分娩	O80	189	25.6%
2	既知の母体骨盤臓器の異常又はその疑いのための母体ケア	O34	121	16.4%
3	切迫早産及び早産	O60	84	11.4%
4	娩出力の異常	O62	47	6.4%
5	胎児ストレス[仮死<ジストレス>]を合併する分娩	O68	37	5.0%
6	子癇前症	O14	30	4.1%
7	妊娠中の糖尿病	O24	28	3.8%
8	その他の既知の胎児側の問題又はその疑いのための母体ケア	O36	24	3.2%
9	既知の胎児異常及び傷害又はその疑いのための母体ケア	O35	18	2.4%
10	前置胎盤	O44	17	2.3%
11	その他		144	19.5%
	合計		739	100.0%

XVI 周産期に発生した病態		ICDコード	件数	%
1	妊娠期間短縮及び低出産体重に関連する障害, 他に分類されないもの	P07	100	34.6%
2	新生児の呼吸窮<促>迫	P22	72	24.9%
3	その他及び詳細不明の原因による新生児黄疸	P59	57	19.7%
4	周産期に発生したその他の呼吸器病態	P28	18	6.2%
5	胎児及び新生児に特異的な一過性糖質代謝障害	P70	13	4.5%
6	出生時仮死	P21	8	2.8%
7	新生児の哺乳上の問題	P92	8	2.8%
8	新生児吸引症候群	P24	5	1.7%
9	その他の新生児出血	P54	2	0.7%
10	新生児のその他の体温調節機能障害	P81	2	0.7%
11	その他		4	1.4%
	合計		289	100.0%

XVII 先天奇形, 変形及び染色体異常		ICDコード	件数	%
1	停留精巣<睾丸>	Q53	24	25.0%
2	ダウン<Down>症候群	Q90	6	6.3%
3	胆嚢, 胆管及び肝の先天奇形	Q44	5	5.2%
4	心(臓)中隔の先天奇形	Q21	5	5.2%
5	循環器系のその他の先天奇形	Q28	5	5.2%
6	唇裂	Q36	4	4.2%
7	尿道下裂	Q54	4	4.2%
8	多系統に及ぶその他の明示された先天奇形症候群	Q87	4	4.2%
9	合指<趾>(症)	Q70	3	3.1%
10	小腸の先天(性)欠損, 閉鎖及び狭窄	Q41	3	3.1%
11	その他		33	34.4%
	合計		96	100.0%

疾病分類別統計

XVIII 症状,徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの		ICDコード	件数	%
1	けいれん<痙攣>, 他に分類されないもの	R56	17	44.7%
2	気道からの出血	R04	8	21.1%
3	悪心及び嘔吐	R11	3	7.9%
4	皮膚及び皮下組織の限局性腫脹, 腫瘤<mass>及び塊<lump>	R22	2	5.3%
5	心拍の異常	R00	1	2.6%
6	身体標準発育不足	R62	1	2.6%
7	神経系及び筋骨格系に関するその他の症状及び徴候	R29	1	2.6%
8	その他の全身症状及び徴候	R68	1	2.6%
9	その他の血液化学的異常所見	R79	1	2.6%
10	ショック, 他に分類されないもの	R57	1	2.6%
11	その他		2	5.3%
	合計		38	100.0%

XIX 損傷,中毒及びその他の外因の影響		ICDコード	件数	%
1	大腿骨骨折	S72	112	13.7%
2	腰椎及び骨盤の骨折	S32	77	9.4%
3	頭蓋内損傷	S06	74	9.0%
4	肩及び上腕の骨折	S42	63	7.7%
5	前腕の骨折	S52	52	6.3%
6	心臓及び血管のプロステーシス, 挿入物及び移植片の合併症	T82	40	4.9%
7	下腿の骨折, 足首を含む	S82	36	4.4%
8	頸部の神経及び脊髄の損傷	S14	30	3.7%
9	肋骨, 胸骨及び胸椎骨折	S22	29	3.5%
10	処置の合併症, 他に分類されないもの	T81	27	3.3%
11	その他		280	34.1%
	合計		820	100.0%

XXI 健康状態に影響をおよぼす要因及び保健サービスの利用		ICDコード	件数	%
1	臓器及び組織の提供者<ドナー>	Z52	25	100.0%
	合計		25	100.0%

XXII その他		ICDコード	件数	%
1	新型コロナウイルス感染症	U07	246	100.0%
	合計		246	100.0%

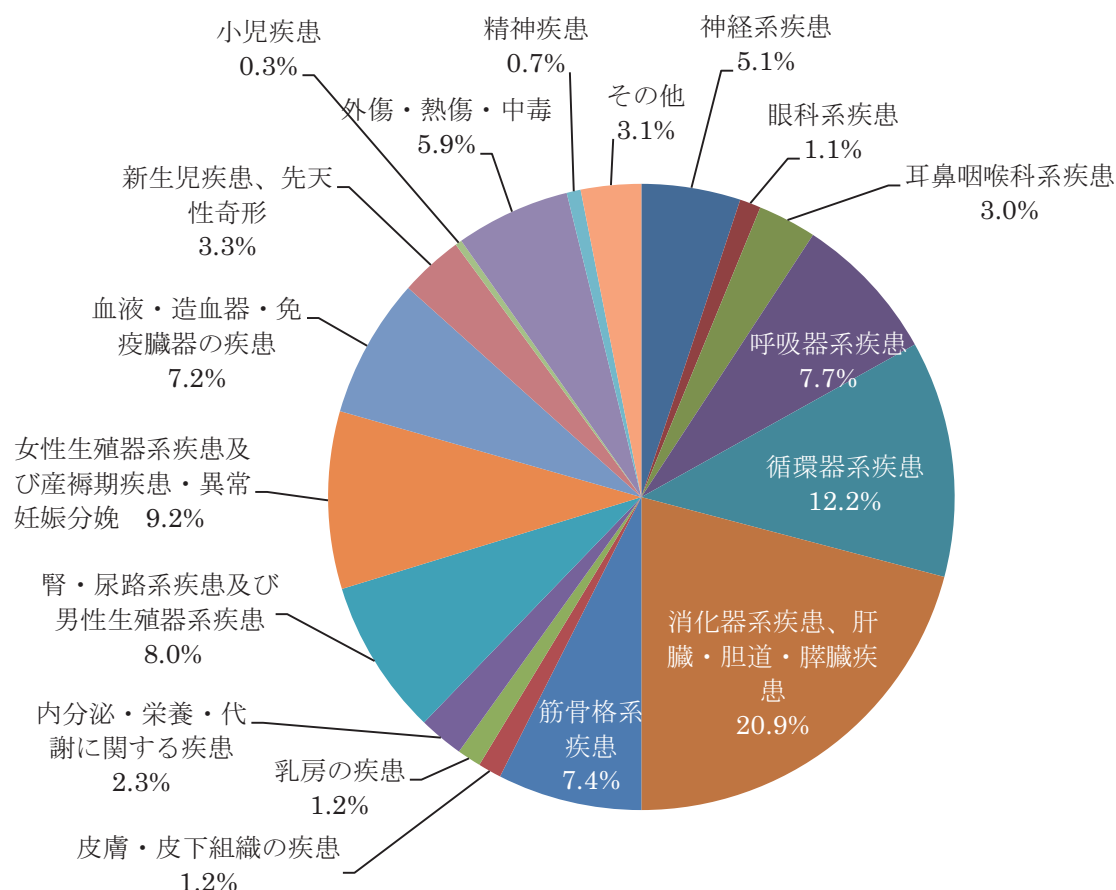
4 DPC統計

(1) MDC別退院患者数

令和2年4月1日～令和3年3月31日退院患者
(自費を除く)

MDC 番号	MDC 名称	件数
MDC01	神経系疾患	548
MDC02	眼科系疾患	117
MDC03	耳鼻咽喉科系疾患	325
MDC04	呼吸器系疾患	822
MDC05	循環器系疾患	1,307
MDC06	消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患	2,239
MDC07	筋骨格系疾患	798
MDC08	皮膚・皮下組織の疾患	130
MDC09	乳房の疾患	133
MDC10	内分泌・栄養・代謝に関する疾患	248
MDC11	腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患	861
MDC12	女性生殖器系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩	982
MDC13	血液・造血器・免疫臓器の疾患	773
MDC14	新生児疾患、先天性奇形	352
MDC15	小児疾患	37
MDC16	外傷・熱傷・中毒	634
MDC17	精神疾患	77
MDC18	その他	333
	合 計	10,716

MDC別退院患者割合



(2) 在院期間別退院患者数

令和2年4月1日～令和3年3月31日退院患者
(自費を除く)

	在院期間									合計	平均在院 日数 (日)
	1～10日	11～20日	21～30日	31～40日	41～50日	51～60日	61～ 90日	91～ 180日	181日～		
MDC01 神経系疾患	226	199	2	71	27	12	5	2	4	548	15.7
MDC02 眼科系疾患	106	8		3						117	5.5
MDC03 耳鼻咽喉科系疾患	237	61	1	7	3	4	3	9		325	11.3
MDC04 呼吸器系疾患	553	156		54	26	16	3	9	5	822	11.5
MDC05 循環器系疾患	900	226		82	40	21	9	18	11	1,307	11.1
MDC06 消化器系疾患、肝臓・胆 道・膵臓疾患	1,333	614	1	150	68	36	14	18	5	2,239	12.1
MDC07 筋骨格系疾患	376	265	2	102	16	14	9	11	3	798	14.0
MDC08 皮膚・皮下組織の疾患	81	34		9	2	1	1	1	1	130	11.8
MDC09 乳房の疾患	114	14		3	1	1				133	7.9
MDC10 内分泌・栄養・代謝に関 する疾患	188	49	1	5	2	1	1		1	248	9.2
MDC11 腎・尿路系疾患及び男性 生殖器系疾患	590	166		53	28	7	9	7	1	861	10.5
MDC12 女性生殖器系疾患及び産 褥期疾患・異常妊娠分娩	810	96		38	18	6	4	8	2	982	9.2
MDC13 血液・造血器・免疫臓器 の疾患	225	299	3	118	48	27	13	19	21	773	22.9
MDC14 新生児疾患、先天性奇形	220	56	2	23	16	10	7	11	7	352	16.3
MDC15 小児疾患	31	4		1		1				37	8.2
MDC16 外傷・熱傷・中毒	307	225		71	16	3	2	8	2	634	13.1
MDC17 精神疾患	8	8	1	6	11	13	11	12	7	77	52.0
MDC18 その他	206	83	1	19	11	4	2	4	3	333	14.0
合 計	6,511	2,563	14	815	333	177	93	137	73	10,716	14.2

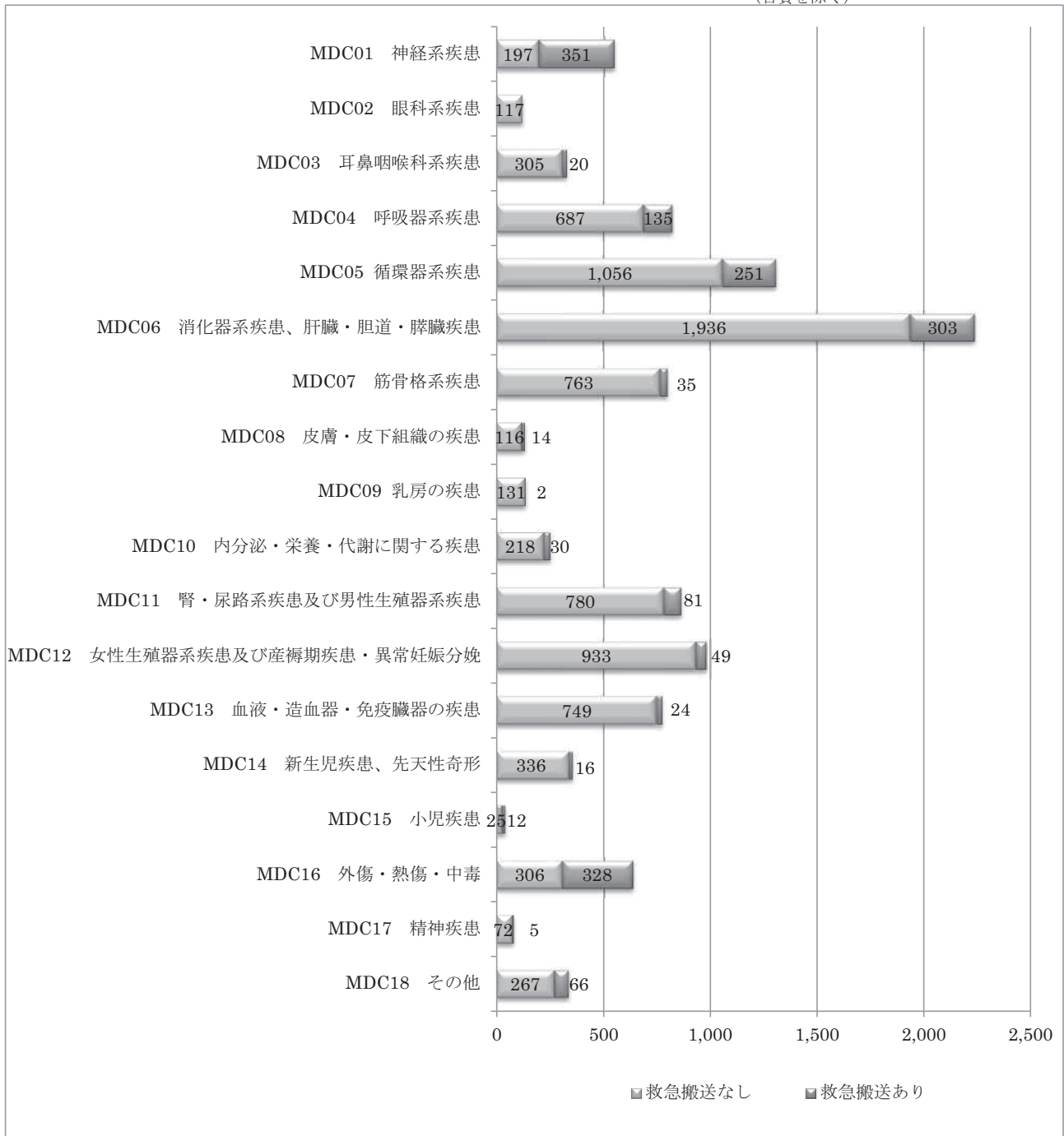
(3) MDC別年齢別・性別退院患者数

令和2年4月1日～令和3年3月31日退院患者
(自費を除く)

	性別	年齢階層										合計	
		0～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～89	90～99		100～109
MDC01 神経系疾患	男	31	12	6	7	16	27	60	82	53	12		306
	女	7	10	6	4	14	17	37	60	55	32		242
MDC02 眼科系疾患	男	11	6	1	1		5	9	19	8			60
	女	19	4	2		1	1	5	10	11	4		57
MDC03 耳鼻咽喉科系疾患	男	31	11	12	12	13	14	48	53	14			208
	女	17	9	4	8	12	17	16	15	15	4		117
MDC04 呼吸器系疾患	男	41	10	3	2	9	56	103	186	96	17		523
	女	29	6	1	6	15	23	46	107	53	13		299
MDC05 循環器系疾患	男	2	1	3	6	22	76	174	310	239	38		871
	女		2	1	3	9	9	43	145	183	40	1	436
MDC06 消化器系疾患、 肝臓・胆道・膵臓疾患	男	44	14	11	16	67	120	340	491	238	29		1,370
	女	46	23	11	24	47	62	143	259	183	71		869
MDC07 筋骨格系疾患	男	4	7	11	17	34	51	118	128	55	1		426
	女	4	11	7	14	30	43	54	127	74	8		372
MDC08 皮膚・皮下組織の疾患	男	10	3	2	5	7	5	17	19	8	4		80
	女	5	3	2	1	3	6	7	13	7	2	1	50
MDC09 乳房の疾患	男								1				1
	女			1	8	25	25	31	29	13			132
MDC10 内分泌・栄養・代謝に関する疾患	男	3	5	2	8	10	10	14	30	11	3		96
	女	6	5	3	9	30	18	18	33	26	2	2	152
MDC11 腎・尿路系疾患及び 男性生殖器系疾患	男	31	13	13	16	24	46	130	208	117	17		615
	女	9	1	14	16	25	30	22	52	54	18	5	246
MDC12 女性生殖器系疾患 及び産褥期疾患・異常妊娠分娩	男												0
	女	1	5	142	409	205	84	33	89	12	2		982
MDC13 血液・造血器・免疫臓器の疾患	男	14	10	1	13	23	20	115	173	112			481
	女	11	3	3	6	12	29	63	114	44	7		292
MDC14 新生児疾患、先天性奇形	男	195	6		2				2				205
	女	137	3	1		4	1			1			147
MDC15 小児疾患	男	21	1										22
	女	15											15
MDC16 外傷・熱傷・中毒	男	21	26	12	13	26	30	40	68	68	14		318
	女	14	16	6	10	12	20	31	71	86	47	3	316
MDC17 精神疾患	男	4	15	1	1	3	1	2	6				33
	女		20	4	3	4	3	3	7				44
MDC18 その他	男	8	3	8	21	28	25	25	46	15	3		182
	女	7	3	12	12	10	16	25	29	27	10		151
合計		798	267	306	673	740	890	1,772	2,982	1,878	398	12	10,716

(4) MDC別退院患者・救急搬送数

令和2年4月1日～令和3年3月31日退院患者
(自費を除く)



※ 退院患者総数 10,716
救急搬送総数 1,722

(5) 科別診断群分類 (DPC) 上位頻度表

対象：令和2年4月1日～令和3年3月31日退院患者

総合診療科

総件数 288件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	180030xxxxxx0x	その他の感染症（真菌を除く。） 定義副傷病なし	63
2	110310xx99xxxx	腎臓又は尿路の感染症 手術なし	26
3	040081xx99x0xx	誤嚥性肺炎 手術なし 手術・処置等2 なし	24
4	080010xxxx0xxx	膿皮症 手術・処置等1 なし	13
5	040081xx97x0xx	誤嚥性肺炎 手術あり 手術・処置等2 なし	6
6	070560xx99x00x	重篤な臓器病変を伴う全身性自己免疫疾患 手術なし 手術・処置等2 なし 定義副傷病なし	6
7	100393xx99xxxx	その他の体液・電解質・酸塩基平衡障害 手術なし	5
8	010080xx99x0x1	脳脊髄の感染を伴う炎症 手術なし 手術・処置等2 なし 15歳以上	5
9	060210xx99000x	ヘルニアの記載のない腸閉塞 手術なし 手術・処置等1 なし 手術・処置等2 なし 定義副傷病なし	5
10	180030xxxxxx1x	その他の感染症（真菌を除く。） 定義副傷病あり	5

精神科

総件数 64件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	170040xxxxxxxx	気分〔感情〕障害	17
2	170030xxxxxxxx	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	12
3	170050xxxxxxxx	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	6
4	170060xxxxxxxx	その他の精神及び行動の障害	4
5	170020xxxxxxxx0x	精神作用物質使用による精神及び行動の障害 定義副傷病なし	3
6	170010xxxxxxxx	アルコール依存症候群	2
7	161070xxxxx00x	薬物中毒（その他の中毒） 手術・処置等2 なし 定義副傷病なし	2
8	040110xxxxx2xx	間質性肺炎 手術・処置等2 2あり	2
9	161070xxxxx01x	薬物中毒（その他の中毒） 手術・処置等2 なし 定義副傷病あり	1
10	160980xx0101xx	骨盤損傷 体外式脊椎固定術等 手術・処置等1 なし 手術・処置等2 あり	1

血液内科・輸血科

総件数772件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	130030xx97x50x	非ホジキンリンパ腫 手術あり 手術・処置等2 5あり 定義副傷病なし	98
2	130060xx99x4xx	骨髄異形成症候群 手術なし 手術・処置等2 4あり	80
3	130030xx99x5xx	非ホジキンリンパ腫 手術なし 手術・処置等2 5あり	67
4	130010xx97x2xx	急性白血病 手術あり 手術・処置等2 2あり	48
5	130060xx97x40x	骨髄異形成症候群 手術あり 手術・処置等2 4あり 定義副傷病なし	36
6	130030xx99x4xx	非ホジキンリンパ腫 手術なし 手術・処置等2 4あり	29
7	130030xx97x3xx	非ホジキンリンパ腫 手術あり 手術・処置等2 3あり	27
8	130030xx99x6xx	非ホジキンリンパ腫 手術なし 手術・処置等2 6あり	23
9	130010xx97x0xx	急性白血病 手術あり 手術・処置等2 なし	20
10	130030xx99x3xx	非ホジキンリンパ腫 手術なし 手術・処置等2 3あり	19

糖尿病・内分泌内科

総件数 111件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	120200xx99xxxx	妊娠中の糖尿病 手術なし	24
2	10007xxxxxx1xx	2型糖尿病（糖尿病性ケトアシドーシスを除く。） 手術・処置等2 1あり	22
3	100202xxxxxxxx	その他の副腎皮質機能低下症	8
4	100180xx990x0x	副腎皮質機能亢進症、非機能性副腎皮質腫瘍 手術なし 手術・処置等1 なし 定義副傷病なし	8
5	10007xxxxxx0xx	2型糖尿病（糖尿病性ケトアシドーシスを除く。） 手術・処置等2 なし	6
6	100040xxxxx00x	糖尿病性ケトアシドーシス、非ケトン昏睡 手術・処置等2 なし 定義副傷病なし	5
7	100250xx99x20x	下垂体機能低下症 手術なし 手術・処置等2 2あり 定義副傷病なし	4
8	110310xx99xxxx	腎臓又は尿路の感染症 手術なし	4
9	10008xxxxxx1xx	その他の糖尿病（糖尿病性ケトアシドーシスを除く。） 手術・処置等2 1あり	4
10	100140xx99x00x	甲状腺機能亢進症 手術なし 手術・処置等2 なし 定義副傷病なし	2

DPC 統計

放射線療法科

総件数 1件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	060050xx97x0xx	肝・肝内胆管の悪性腫瘍（続発性を含む。） その他の手術あり 手術・処置等2 なし	1

感染症科

総件数 143件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	180030xxxxxx0x	その他の感染症（真菌を除く。） 定義副傷病なし	112
2	180030xxxxxx1x	その他の感染症（真菌を除く。） 定義副傷病あり	31

腫瘍内科

総件数 22件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	060035xx99x0xx	結腸（虫垂を含む。）の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等2 なし	3
2	180010x0xxx0xx	敗血症（1歳以上） 手術・処置等2 なし	2
3	06007xxx9900xx	膵臓、脾臓の腫瘍 手術なし 手術・処置等1 なし 手術・処置等2 なし	2
4	060050xx97x0xx	肝・肝内胆管の悪性腫瘍（続発性を含む。） その他の手術あり 手術・処置等2 なし	2
5	060130xx9700xx	食道、胃、十二指腸、他腸の炎症（その他良性疾患） その他の手術あり 手術・処置等1 なし 手術・処置等2 なし	1
6	060060xx9713xx	胆嚢、肝外胆管の悪性腫瘍 その他の手術あり 手術・処置等1 あり 手術・処置等2 3あり	1
7	060050xx99000x	肝・肝内胆管の悪性腫瘍（続発性を含む。） 手術なし 手術・処置等1 なし 手術・処置等2 なし 定義副傷病なし	1
8	110310xx01xxxx	腎臓又は尿路の感染症 経皮的腎（腎盂）瘻造設等	1
9	060040xx99x00x	直腸肛門（直腸S状部から肛門）の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等2 なし 定義副傷病なし	1
10	060020xx99x5xx	胃の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等2 5あり	1

ペインクリニック科

総件数 8件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	010111xxxxx0xx	遺伝性ニューロパチー 手術・処置等2 なし	3
2	160990xx99x0xx	多部位外傷 手術なし 手術・処置等2 なし	1
3	160870xx97x00x	頸椎頭髄損傷 その他の手術あり 手術・処置等2 なし 定義副傷病なし	1
4	071030xx99xx0x	その他の筋骨格系・結合組織の疾患 手術なし 定義副傷病なし	1
5	070343xx97x0xx	脊柱管狭窄（脊椎症を含む。） 腰部骨盤、不安定椎 その他の手術あり 手術・処置等2 なし	1
6	070350xx99x0xx	椎間板変性、ヘルニア 手術なし 手術・処置等2 なし	1

脳神経外科

総件数 475件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	010060x2990401	脳梗塞（脳卒中発症3日以内、かつ、JCS10未満） 手術なし 手術・処置等1 なし 手術・処置等2 4あり 定義副傷病なし 発症前Rankin Scale 0、1又は2	42
2	010040x099000x	非外傷性頭蓋内血腫（非外傷性硬膜下血腫以外）（JCS10未満） 手術なし 手術・処置等1 なし 手術・処置等2 なし 定義副傷病なし	37
3	160100xx99x00x	頭蓋・頭蓋内損傷 手術なし 手術・処置等2 なし 定義副傷病なし	26
4	010040x199x0xx	非外傷性頭蓋内血腫（非外傷性硬膜下血腫以外）（JCS10以上） 手術なし 手術・処置等2 なし	25
5	160100xx97x00x	頭蓋・頭蓋内損傷 その他の手術あり 手術・処置等2 なし 定義副傷病なし	21
6	010230xx99x00x	てんかん 手術なし 手術・処置等2 なし 定義副傷病なし	18
7	010030xx9910xx	未破裂脳動脈瘤 手術なし 手術・処置等1 あり 手術・処置等2 なし	18
8	010060x2990411	脳梗塞（脳卒中発症3日以内、かつ、JCS10未満） 手術なし 手術・処置等1 なし 手術・処置等2 4あり 定義副傷病1あり 発症前Rankin Scale 0、1又は2	14
9	010060x2990501	脳梗塞（脳卒中発症3日以内、かつ、JCS10未満） 手術なし 手術・処置等1 なし 手術・処置等2 5あり 定義副傷病なし 発症前Rankin Scale 0、1又は2	14
10	010060x2990201	脳梗塞（脳卒中発症3日以内、かつ、JCS10未満） 手術なし 手術・処置等1 なし 手術・処置等2 2あり 定義副傷病なし 発症前Rankin Scale 0、1又は2	12

眼科

総件数 114件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	020110xx97xxx0	白内障、水晶体の疾患 手術あり 片眼	42
2	020150xx97xxxx	斜視（外傷性・癒着性を除く。） 手術あり	23
3	020110xx97xxx1	白内障、水晶体の疾患 手術あり 両眼	15
4	020320xx97xxxx	眼瞼、涙器、眼窩の疾患 手術あり	15
5	020110xx99xxxx	白内障、水晶体の疾患 手術なし	3
6	020250xx97xxxx	結膜の障害 手術あり	3
7	020150xx99xxxx	斜視（外傷性・癒着性を除く。） 手術なし	2
8	020400xx99xxxx	眼、付属器の障害 手術なし	1
9	10007xxxxxx1xx	2型糖尿病（糖尿病性ケトアシドーシスを除く。） 手術・処置等 2 1あり	1
10	020380xx97xxxx	眼球運動障害 手術あり	1

耳鼻咽喉科

総件数 302件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	030350xxxxxxxx	慢性副鼻腔炎	36
2	030230xxxxxxxx	扁桃、アデノイドの慢性疾患	34
3	030150xx97xxx	耳・鼻・口腔・咽頭・大唾液腺の腫瘍 手術あり	26
4	030400xx99xxx	前庭機能障害 手術なし	21
5	03001xxx0100xx	頭頸部悪性腫瘍 頸部悪性腫瘍手術等 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 なし	21
6	030440xx01xxx	慢性化膿性中耳炎・中耳真珠腫 鼓室形成手術	15
7	03001xxx99x7xx	頭頸部悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 2 7あり	13
8	03001xxx97x0xx	頭頸部悪性腫瘍 その他の手術あり 手術・処置等 2 なし	9
9	030390xx99xxx	顔面神経障害 手術なし	8
10	03001xxx97x3xx	頭頸部悪性腫瘍 その他の手術あり 手術・処置等 2 3あり	8

呼吸器内科

総件数 393件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	040040xx9910xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 1あり 手術・処置等 2 なし	55
2	040110xxxxx0xx	間質性肺炎 手術・処置等 2 なし	41
3	040040xx99041x	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 4あり 定義副傷病あり	35
4	040040xx9909xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 9あり	33
5	040040xx9900xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 なし	20
6	040040xx99040x	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 4あり 定義副傷病なし	19
7	040040xx97x9xx	肺の悪性腫瘍 手術あり 手術・処置等 2 9あり	10
8	040040xx9903xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 3あり	7
9	040040xx9905xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 5あり	7
10	040040xx99070x	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 7あり 定義副傷病なし	7

呼吸器外科

総件数 233件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	040040xx97x00x	肺の悪性腫瘍 手術あり 手術・処置等 2 なし 定義副傷病なし	90
2	040040xx9910xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 1あり 手術・処置等 2 なし	19
3	040200xx01x00x	気胸 肺切除術等 手術・処置等 2 なし 定義副傷病なし	15
4	040040xx9909xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 9あり	12
5	040030xx01xxxx	呼吸器系の良性腫瘍 肺切除術 気管支形成を伴う肺切除等	9
6	040040xx99040x	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 4あり 定義副傷病なし	8
7	040040xx9900xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 なし	7
8	160450xx99x10x	肺・胸部気管・気管支損傷 手術なし 手術・処置等 2 あり 定義副傷病なし	7
9	040200xx99x00x	気胸 手術なし 手術・処置等 2 なし 定義副傷病なし	6
10	040150xx97x00x	肺・縦隔の感染、膿瘍形成 手術あり 手術・処置等 2 なし 定義副傷病なし	6

DPC 統計

循環器内科

総件数 1,033件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	050050xx9910xx	狭心症、慢性虚血性心疾患 手術なし 手術・処置等 1 1あり 手術・処置等 2 なし	285
2	050050xx0200xx	狭心症、慢性虚血性心疾患 経皮的冠動脈形成術等 手術・処置等 1 なし、1,2あり 手術・処置等 2 なし	172
3	050210xx97000x	徐脈性不整脈 手術あり 手術・処置等 1 なし、1,3あり 手術・処置等 2 なし 定義副傷病なし	64
4	050050xx9920xx	狭心症、慢性虚血性心疾患 手術なし 手術・処置等 1 2あり 手術・処置等 2 なし	41
5	050080xx9910xx	弁膜症（連弁膜症を含む。） 手術なし 手術・処置等 1 1あり 手術・処置等 2 なし	39
6	050130xx9900xx	心不全 手術なし 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 なし	37
7	050080xx9701xx	弁膜症（連弁膜症を含む。） その他の手術あり 手術・処置等 1 なし、1あり 手術・処置等 2 1あり	32
8	050030xx97000x	急性心筋梗塞（続発性合併症を含む。）、再発性心筋梗塞 その他の手術あり 手術・処置等 1 なし、1あり 手術・処置等 2 なし 定義副傷病なし	29
9	050163xx9910xx	非破裂性大動脈瘤、腸骨動脈瘤 手術なし 手術・処置等 1 1あり 手術・処置等 2 なし	27
10	050130xx9910xx	心不全 手術なし 手術・処置等 1 1あり 手術・処置等 2 なし	21

心臓血管外科

総件数 310件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	050080xx0101xx	弁膜症（連弁膜症を含む。） ロス手術（自己肺動脈弁組織による大動脈基部置換術）等 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 1あり	25
2	050163xx02x1xx	非破裂性大動脈瘤、腸骨動脈瘤 大動脈瘤切除術（吻合又は移植を含む。） 腹部大動脈（分枝血管の再建を伴うもの）等 手術・処置等 2 1あり	24
3	050170xx03000x	閉塞性動脈疾患 動脈塞栓除去術 その他のもの（視血的なもの）等 手術・処置等 1 なし、1あり 手術・処置等 2 なし 定義副傷病なし	24
4	050163xx03x1xx	非破裂性大動脈瘤、腸骨動脈瘤 ステントグラフト内挿術 手術・処置等 2 1あり	24
5	050163xx01x1xx	非破裂性大動脈瘤、腸骨動脈瘤 大動脈瘤切除術（吻合又は移植を含む。） 上行大動脈及び弓部大動脈の同時手術等 手術・処置等 2 1あり	18
6	050170xx02010x	閉塞性動脈疾患 動脈形成術、吻合術 指（手、足）の動脈等 手術・処置等 1 なし、1あり 手術・処置等 2 あり 定義副傷病なし	16
7	050161xx97x1xx	解離性大動脈瘤 その他の手術あり 手術・処置等 2 1あり	16
8	050163xx97x0xx	非破裂性大動脈瘤、腸骨動脈瘤 その他の手術あり 手術・処置等 2 なし	10
9	050080xx0111xx	弁膜症（連弁膜症を含む。） ロス手術（自己肺動脈弁組織による大動脈基部置換術）等 手術・処置等 1 1あり 手術・処置等 2 1あり	10
10	050130xx9900xx	心不全 手術なし 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 なし	9

乳腺・甲状腺外科

総件数 258件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	100130xx97x0xx	甲状腺の良性結節 手術あり 手術・処置等 2 なし	55
2	090010xx010xxx	乳房の悪性腫瘍 乳腺悪性腫瘍手術 乳房部分切除術（腋窩部郭清を伴うもの（内視鏡下によるものを含む。））等 手術・処置等 1 なし	45
3	100020xx010xxx	甲状腺の悪性腫瘍 甲状腺悪性腫瘍手術 切除（頸部外側区域郭清を伴わないもの）等 手術・処置等 1 なし	30
4	090010xx02xxxx	乳房の悪性腫瘍 乳腺悪性腫瘍手術 乳房部分切除術（腋窩部郭清を伴わないもの）	19
5	090010xx99x4xx	乳房の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 2 4あり	17
6	100140xx97xxxx	甲状腺機能亢進症 手術あり	7
7	090010xx99x30x	乳房の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 2 3あり 定義副傷病なし	7
8	090010xx97x7xx	乳房の悪性腫瘍 その他の手術あり 手術・処置等 2 7あり	6
9	090010xx99x8xx	乳房の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 2 8あり	6
10	03001xxx0100xx	頭頸部悪性腫瘍 頭部悪性腫瘍手術等 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 なし	6

消化器内科

総件数 683件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	060340xx03x00x	胆管（肝内外）結石、胆管炎 限局性腹腔膿瘍手術等 手術・処置等 2 なし 定義副傷病なし	150
2	060100xx01xxxx	小腸大腸の良性疾患（良性腫瘍を含む。） 内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術	42
3	060020xx04xxxx	胃の悪性腫瘍 内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術	42
4	060060xx9710xx	胆嚢、肝外胆管の悪性腫瘍 その他の手術あり 手術・処置等 1あり 手術・処置等 2 なし	23
5	06007xxx97x00x	膵臓、脾臓の腫瘍 その他の手術あり 手術・処置等 2 なし 定義副傷病なし	22
6	060140xx97x0xx	胃十二指腸潰瘍、胃憩室症、幽門狭窄（穿孔を伴わないもの） その他の手術あり 手術・処置等 2 なし	22
7	060090xx02xxxx	胃の良性腫瘍 内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術 その他のポリープ・粘膜切除術等	20
8	060350xx99x00x	急性膵炎 手術なし 手術・処置等 2 なし 定義副傷病なし	20
9	06007xxx9900xx	膵臓、脾臓の腫瘍 手術なし 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 なし	18
10	060102xx97xxxx	穿孔又は膿瘍を伴わない憩室性疾患 その他の手術あり	18

消化器外科・一般外科

総件数 1481件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	060035xx010x0x	結腸（虫垂を含む。）の悪性腫瘍 結腸切除術 全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術等 手術・処置等 1 なし 定義副傷病なし	106
2	060335xx02000x	胆嚢炎等 腹腔鏡下胆嚢摘出術等 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 なし 定義副傷病なし	59
3	060050xx02xxxx	肝・肝内胆管の悪性腫瘍（続発性を含む。） 肝切除術 部分切除等	55
4	060010xx99x40x	食道の悪性腫瘍（頸部を含む。） 手術なし 手術・処置等 2 4あり 定義副傷病なし	55
5	060210xx99000x	ヘルニアの記載のない腸閉塞 手術なし 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 なし 定義副傷病なし	51
6	060020xx02xxxx	胃の悪性腫瘍 胃切除術 悪性腫瘍手術等	47
7	060050xx97x0xx	肝・肝内胆管の悪性腫瘍（続発性を含む。） その他の手術あり 手術・処置等 2 なし	44
8	060160x001xxxx	鼠径ヘルニア（15歳以上） ヘルニア手術 鼠径ヘルニア等	39
9	060040xx0210xx	直腸肛門（直腸S状部から肛門）の悪性腫瘍 肛門悪性腫瘍手術 切除等 手術・処置等 1 あり 手術・処置等 2 なし	34
10	060330xx02xxxx	胆嚢疾患（胆嚢結石など） 腹腔鏡下胆嚢摘出術等	33

泌尿器科

総件数 530件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	110200xx02xxxx	前立腺肥大症等 経尿道的前立腺手術等	94
2	110080xx991xxx	前立腺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 1 あり	54
3	110070xx03x0xx	膀胱腫瘍 膀胱悪性腫瘍手術 経尿道的手術 手術・処置等 2 なし	37
4	110420xx02xx0x	水腎症等 経尿道的尿管ステント留置術等 定義副傷病なし	35
5	11012xxx020x0x	上部尿路疾患 経尿道的尿路結石除去術 手術・処置等 1 なし 定義副傷病なし	26
6	110080xx02xx0x	前立腺の悪性腫瘍 精巣摘出術 定義副傷病なし	19
7	110060xx99x20x	腎盂・尿管の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 2 2あり 定義副傷病なし	15
8	11001xxx01x0xx	腎腫瘍 腎（尿管）悪性腫瘍手術等 手術・処置等 2 なし	14
9	110310xx99xxxx	腎臓又は尿路の感染症 手術なし	11
10	110080xx9903xx	前立腺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 3あり	10

腎臓内科・膠原病科

総件数 109件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	110280xx9900xx	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 手術なし 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 なし	26
2	110280xx991xxx	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 手術なし 手術・処置等 1 あり	15
3	110280xx02x00x	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 動脈形成術、吻合術 その他の動脈等 手術・処置等 2 なし 定義副傷病なし	12
4	110260xx99x0xx	ネフローゼ症候群 手術なし 手術・処置等 2 なし	11
5	110280xx9901xx	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 手術なし 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 1あり	8
6	110280xx02x1xx	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 動脈形成術、吻合術 その他の動脈等 手術・処置等 2 1あり	4
7	110280xx03x0xx	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 内シャント血栓除去術等 手術・処置等 2 なし	4
8	070560xx99x00x	重篤な臓器病変を伴う全身性自己免疫疾患 手術なし 手術・処置等 2 なし 定義副傷病なし	4
9	110310xx99xxxx	腎臓又は尿路の感染症 手術なし	3
10	070560xx97xxxx	重篤な臓器病変を伴う全身性自己免疫疾患 手術あり	3

婦人科

総件数 455件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	12002xxx02x0xx	子宮頸・体部の悪性腫瘍 子宮頸部（腔部）切除術等 手術・処置等 2 なし	49
2	120060xx01xxxx	子宮の良性腫瘍 子宮全摘術等	44
3	120010xx99x40x	卵巣・子宮付属器の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 2 4あり 定義副傷病なし	39
4	120060xx02xxxx	子宮の良性腫瘍 腹腔鏡下腔式子宮全摘術等	30
5	120070xx02xxxx	卵巣の良性腫瘍 卵巣部分切除術（腔式を含む。） 腹腔鏡によるもの等	29
6	12002xxx01x0xx	子宮頸・体部の悪性腫瘍 子宮悪性腫瘍手術等 手術・処置等 2 なし	27
7	12002xxx99x40x	子宮頸・体部の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 2 4あり 定義副傷病なし	24
8	120010xx99x50x	卵巣・子宮付属器の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 2 5あり 定義副傷病なし	22
9	120010xx99x70x	卵巣・子宮付属器の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 2 7あり 定義副傷病なし	16
10	120100xx01xxxx	子宮内膜症 子宮全摘術等	12

DPC 統計

生殖医療科

総件数 6件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	120300xxxxxxx	人工授精に関する合併症	2
2	120060xx01xxxx	子宮の良性腫瘍 子宮全摘術等	1
3	120140xxxxxxx	流産	1
4	120060xx02xxxx	子宮の良性腫瘍 腹腔鏡下腔式子宮全摘術等	1
5	120220xx01xxxx	女性性器のポリープ 子宮全摘術等	1

移植外科

総件数 87件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	110280xx991xxx	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 手術なし 手術・処置等1あり	17
2	110280xx02x00x	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 動脈形成術、吻合術 その他の動脈等 手術・処置等2 なし 定義副傷病なし	10
3	110280xx03x0xx	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 インシャント血栓除去術等 手術・処置等2 なし	8
4	110310xx99xxxx	腎臓又は尿路の感染症 手術なし	7
5	110280xx97x00x	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 その他の手術あり 手術・処置等2 なし 定義副傷病なし	7
6	110280xx9900xx	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2 なし	6
7	110280xx97x1xx	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 その他の手術あり 手術・処置等2 1あり	6
8	180041xxxxxxx	移植臓器及び組織の不全及び拒絶反応	4
9	110310xx97xxxx	腎臓又は尿路の感染症 その他の手術あり	2
10	080010xxxx0xxx	膿皮症 手術・処置等1なし	2

救命救急科

総件数 173件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	161070xxxxx00x	薬物中毒（その他の中毒） 手術・処置等2 なし 定義副傷病なし	12
2	040081xx99x0xx	誤嚥性肺炎 手術なし 手術・処置等2 なし	10
3	010230xx99x00x	てんかん 手術なし 手術・処置等2 なし 定義副傷病なし	9
4	161020xxxxx00x	体温異常 手術・処置等2 なし 定義副傷病なし	7
5	110310xx99xxxx	腎臓又は尿路の感染症 手術なし	7
6	180030xxxxxx0x	その他の感染症（真菌を除く。） 定義副傷病なし	6
7	080270xxxx0xxx	食物アレルギー 手術・処置等1なし	5
8	100393xx99xxxx	その他の体液・電解質・酸塩基平衡障害 手術なし	5
9	160100xx97x00x	頭蓋・頭蓋内損傷 その他の手術あり 手術・処置等2 なし 定義副傷病なし	5
10	010080xx99x0x1	脳脊髄の感染を伴う炎症 手術なし 手術・処置等2 なし 15歳以上	5

小児科

総件数 680件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	140010x199x0xx	妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害（出生時体重2500g以上） 手術なし 手術・処置等2 なし	131
2	140010x299x0xx	妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害（出生時体重1500g以上2500g未満） 手術なし 手術・処置等2 なし	56
3	040090xxxxxx0x	急性気管支炎、急性細気管支炎、下気道感染症（その他） 定義副傷病なし	41
4	010230xx99x00x	てんかん 手術なし 手術・処置等2 なし 定義副傷病なし	36
5	040100xxxxx00x	喘息 手術・処置等2 なし 定義副傷病なし	23
6	140010x199x1xx	妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害（出生時体重2500g以上） 手術なし 手術・処置等2 1あり	21
7	030270xxxxxxx	上気道炎	18
8	180030xxxxxx0x	その他の感染症（真菌を除く。） 定義副傷病なし	17
9	110310xx99xxxx	腎臓又は尿路の感染症 手術なし	16
10	060380xxxxx00x	ウイルス性腸炎 手術・処置等2 なし 定義副傷病なし	14

小児外科

総件数 127件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	060160x101xxxx	鼠径ヘルニア（15歳未満） ヘルニア手術 鼠径ヘルニア等	39
2	140590xx97xxxx	停留精巣 手術あり	22
3	11022xxx01xxxx	男性生殖器疾患 精索捻転手術等	19
4	060170xx02xxxx	閉塞、壊疽のない腹腔のヘルニア ヘルニア手術 腹壁癒痕ヘルニア等	11
5	140580xx02xxxx	先天性下部尿路疾患 尿道形成手術等	4
6	140430xx97x1xx	腸管の先天異常 手術あり 手術・処置等2 あり	2
7	11013xxx99xxxx	下部尿路疾患 手術なし	2
8	11013xxx97xxxx	下部尿路疾患 その他の手術あり	2
9	060160x199xxxx	鼠径ヘルニア（15歳未満） 手術なし	2
10	060570xx99xxxx	その他の消化管の障害 手術なし	2

産科

総件数 501件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	120180xx01xxxx	胎児及び胎児付属物の異常 子宮全摘術等	119
2	120260xx01xxxx	分娩の異常 子宮破裂手術等	69
3	120170x199xxxx	早産、切迫早産（妊娠週数34週未満） 手術なし	48
4	120180xx99xx0x	胎児及び胎児付属物の異常 手術なし 定義副傷病なし	34
5	120260xx99xxxx	分娩の異常 手術なし	32
6	120160xx01xxxx	妊娠高血圧症候群関連疾患 子宮破裂手術等	25
7	120260xx02xxxx	分娩の異常 骨盤位娩出術等	22
8	120180xx02xxxx	胎児及び胎児付属物の異常 骨盤位娩出術等	20
9	120170x101xxxx	早産、切迫早産（妊娠週数34週未満） 子宮破裂手術等	16
10	120170x001xxxx	早産、切迫早産（妊娠週数34週以上） 子宮破裂手術等	12

皮膚科

総件数 37件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	080010xxxx0xxx	膿皮症 手術・処置等1 なし	10
2	080020xxxxxxxxxx	帯状疱疹	7
3	161000x199x0xx	熱傷・化学熱傷・凍傷・電撃傷（Burn Index10未満） 手術なし 手術・処置等2 なし	3
4	161070xxxxx00x	薬物中毒（その他の中毒） 手術・処置等2 なし 定義副傷病なし	2
5	080090xxxxxxxxxx	紅斑症	2
6	080110xxxxx0xx	水疱症 手術・処置等2 なし	2
7	080110xxxxx2xx	水疱症 手術・処置等2 2あり	2
8	080190xxxxxxxxxx	脱毛症	2
9	130111xxxxx00x	アレルギー性紫斑病 手術・処置等2 なし 定義副傷病なし	1
10	161060xx99x0xx	詳細不明の損傷等 手術なし 手術・処置等2 なし	1

整形外科

総件数 1166件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	070343xx99x1xx	脊柱管狭窄（脊椎症を含む。） 腰部骨盤、不安定椎 手術なし 手術・処置等2 1あり	96
2	160800xx01xxxx	股関節・大腿近位の骨折 人工骨頭挿入術 肩、股等	87
3	070343xx01x0xx	脊柱管狭窄（脊椎症を含む。） 腰部骨盤、不安定椎 脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（多椎間又は多椎弓の場合を含む。） 前方椎体固定等 手術・処置等2 なし	71
4	070341xx020xxx	脊柱管狭窄（脊椎症を含む。） 頸部 脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（多椎間又は多椎弓の場合を含む。） 前方椎体固定等 手術・処置等1 なし	53
5	070341xx99x1xx	脊柱管狭窄（脊椎症を含む。） 頸部 手術なし 手術・処置等2 あり	48
6	070343xx01x1xx	脊柱管狭窄（脊椎症を含む。） 腰部骨盤、不安定椎 脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（多椎間又は多椎弓の場合を含む。） 前方椎体固定等 手術・処置等2 1あり	44
7	160690xx01xxxx	胸椎、腰椎以下骨折損傷（胸・腰椎損傷を含む。） 脊椎、骨盤脱臼・脱臼の手術等	41
8	070350xx97xxxx	椎間板変性、ヘルニア その他の手術あり	34
9	070230xx01xxxx	膝関節症（変形性を含む。） 人工関節再置換術等	33
10	070343xx97x0xx	脊柱管狭窄（脊椎症を含む。） 腰部骨盤、不安定椎 その他の手術あり 手術・処置等2 なし	29

DPC 統計

形成外科

総件数 121件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	080006xx01x0xx	皮膚の悪性腫瘍（黒色腫以外）皮膚悪性腫瘍切除術等 手術・処置等2 なし	13
2	160200xx0200xx	顔面損傷（口腔、咽頭損傷を含む。）鼻骨骨折整復固定術等 手術・処置等1 なし 手術・処置等2 なし	10
3	090010xx04xxxx	乳房の悪性腫瘍 組織拡張器による再建手術（一連につき）乳房（再建手術）の場合等	6
4	080007xx010xxx	皮膚の良性新生物 皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部）等 手術・処置等1 なし	6
5	070570xx012xxx	瘢痕拘縮 瘢痕拘縮形成手術 手術・処置等1 2あり	6
6	080220xx97xxxx	エクリン汗腺の障害、アポクリン汗腺の障害 手術あり	5
7	070010xx970xxx	骨軟部の良性腫瘍（脊椎脊髄を除く。）その他の手術あり 手術・処置等1 なし	5
8	070570xx010xxx	瘢痕拘縮 瘢痕拘縮形成手術 手術・処置等1 なし	5
9	161000x199x0xx	熱傷・化学熱傷・凍傷・電撃傷（Burn Index10未満）手術なし 手術・処置等2 なし	4
10	140140xxxxxxxx	口蓋・口唇先天性疾患	4

児童精神科

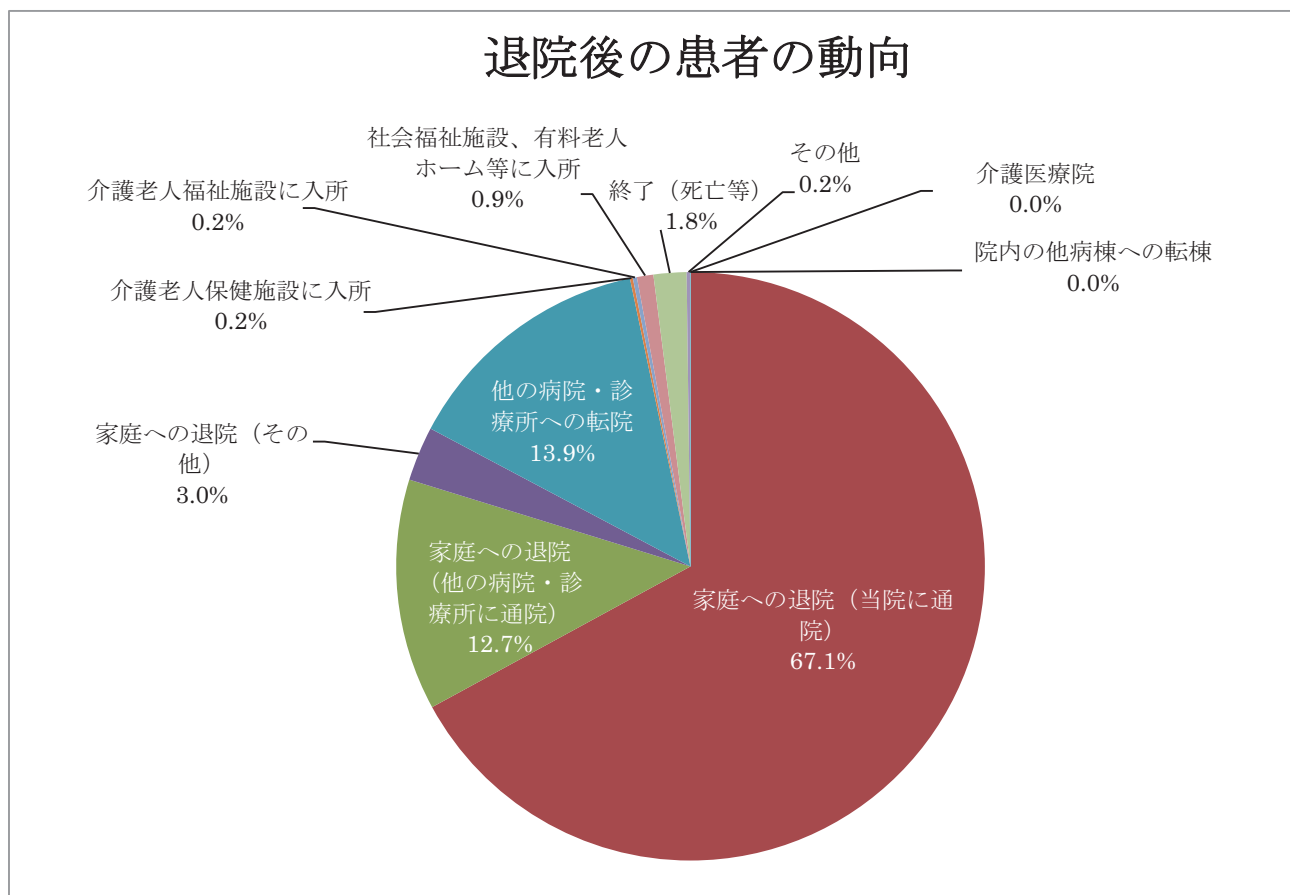
総件数 33件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	170060xxxxxxxx	その他の精神及び行動の障害	16
2	170050xxxxxxxx	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	8
3	170040xxxxxxxx	気分〔感情〕障害	4
4	100270xxxxx0xx	間脳下垂体疾患（その他） 手術・処置等2 なし	2
5	160850xx97xxxx	足関節・足部の骨折・脱臼 その他の手術あり	1
6	170020xxxxxx1x	精神作用物質使用による精神及び行動の障害 定義副傷病あり	1
7	170030xxxxxxxx	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	1

(6) 退院後の患者の動向

対象：令和2年4月1日～令和3年3月31日退院患者

退院先	件数
院内の他病棟への転棟	0
家庭への退院（当院に通院）	7,186
家庭への退院（他の病院・診療所に通院）	1,362
家庭への退院（その他）	321
他の病院・診療所への転院	1,493
介護老人保健施設に入所	17
介護老人福祉施設に入所	25
社会福祉施設、有料老人ホーム等に入所	95
終了（死亡等）	194
その他	22
介護医療院	1
合計	10,716



5 悪性新生物統計

(1) 悪性新生物 主な手術・処置件数

令和2年度

コード	部位	主な手術・処置（1入院に対して主な手術・処置を1つ選択）	件数	在院日数の平均（日）
C00-C14	口唇、口腔及び咽頭の悪性新生物<腫瘍>			
C01 ~C06	舌、舌根<基底>部、口腔、 歯肉	咽頭悪性腫瘍手術（軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。）	4	19.3
		舌悪性腫瘍手術 亜全摘	3	27.3
		舌悪性腫瘍手術 切除	3	15.0
		セツキシマブ	3	8.0
		抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	2	30.5
		頸部郭清術 片側	2	9.5
		喉頭、下咽頭悪性腫瘍手術（頸部、胸部、腹部等の操作による再建を含む。）	1	75.0
		化学療法ありかつ放射線療法あり	1	58.0
C07~C08	耳下腺、唾液腺	癒痕拘縮形成手術 顔面	1	20.0
		耳下腺悪性腫瘍手術 全摘	2	12.5
C09	扁桃	耳下腺悪性腫瘍手術 切除	1	8.0
		化学療法ありかつ放射線療法なし	1	7.0
C10	中咽頭	ペムプロリズマブ	3	7.0
		抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	2	70.5
		咽頭悪性腫瘍手術（軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。）	2	9.5
C12	梨状陥凹<洞>	化学療法ありかつ放射線療法なし	1	7.0
		ペムプロリズマブ	4	7.0
		抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	3	43.0
		喉頭、下咽頭悪性腫瘍手術（頸部、胸部、腹部等の操作による再建を含む。）	2	59.0
		セツキシマブ	2	13.0
		頸部郭清術 片側	1	68.0
		化学療法ありかつ放射線療法なし	1	7.0
		食道狭窄拡張術 拡張用バルーンによるもの	1	2.0
C13	下咽頭	抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	3	47.3
		食道狭窄拡張術 拡張用バルーンによるもの	3	15.0
		化学療法ありかつ放射線療法なし	2	4.5
		ペムプロリズマブ	2	3.0
		中心静脈注射用植込型カテーテル設置 頭頸部その他に設置した場合	1	66.0
		頸部郭清術 両側	1	29.0
		リンパ節摘出術 長径3センチメートル未満	1	4.0
C15-C26	消化器の悪性新生物<腫瘍>			
C15	食道	化学療法ありかつ放射線療法なし	62	9.2
		抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	30	12.8
		胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術 頸部、胸部、腹部の操作によるもの	22	44.3
		化学療法ありかつ放射線療法あり	19	10.5
		内視鏡的食道粘膜切除術 早期悪性腫瘍粘膜下層剥離術	16	8.8
		胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。）	6	22.7
		中心静脈注射	6	10.7
		食道空置バイパス作成術	3	64.3
		食道狭窄拡張術 拡張用バルーンによるもの	3	43.7
		創傷処理 筋肉、臓器に達するもの（長径5センチメートル未満）	3	37.0
		化学療法なしかつ放射線療法あり	3	20.7
		ニボルマブ	2	19.0
		気管・気管支ステント留置術 硬性鏡によるもの	2	16.0
		食道切除後2次的再建術 消化管利用によるもの	1	105.0
		食道悪性腫瘍手術（消化管再建手術を併施するもの） 頸部、胸部、腹部の操作によるもの	1	34.0
		縦隔鏡下食道悪性腫瘍手術	1	32.0
食道悪性腫瘍手術（単に切除のみのもの） 胸部食道の場合	1	28.0		
食道ステント留置術	1	5.0		
C16 ~C17	胃・小腸	腹腔鏡下胃切除術 悪性腫瘍手術	28	15.4
		内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術 早期悪性腫瘍粘膜切除術	26	9.0
		胃全摘術 悪性腫瘍手術	19	25.7
		内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術 早期悪性腫瘍胃粘膜下層剥離術	15	9.0
		胃切除術 悪性腫瘍手術	14	24.8
		腹腔鏡下胃全摘術 悪性腫瘍手術	7	23.9
		腹腔鏡下試験切除術	5	22.0
		中心静脈注射用植込型カテーテル設置（四肢）	4	32.8
		腹腔鏡下胃腸吻合術	3	29.3
		胃局所切除術	3	16.7
		経尿道的尿管ステント留置術	3	14.0
		腹腔鏡下試験開腹術	3	6.3

コード	部位	主な手術・処置（1入院に対して主な手術・処置を1つ選択）	件数	在院日数の平均（日）
C16 ~C17	胃・小腸	膵頭部腫瘍切除術 リンパ節・神経叢部清等を伴う腫瘍切除術の場合又は十二指腸温存膵頭切除術の場合	2	34.0
		胸水・腹水濾過濃縮再静注法	2	29.5
		胃腸吻合術（ブラウン吻合を含む。）	2	22.5
		腹腔鏡下胃局所切除術 その他のもの	2	10.0
		腹腔鏡下小腸切除術 複雑なもの	1	69.0
		放射線療法	1	33.0
		胃全摘術 単純全摘術	1	25.0
		人工肛門造設術	1	17.0
		腸管癒着症手術	1	15.0
		内視鏡的胃、十二指腸ステント留置術	1	15.0
		化学療法ありかつ放射線療法なし	1	13.0
		血管塞栓術（頭部、胸腔、腹腔内血管等） その他のもの	1	12.0
腹腔鏡下噴門側胃切除術 悪性腫瘍切除術	1	12.0		
C18 ~C21	結腸、直腸、肛門	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	127	16.9
		腹腔鏡下直腸切除・切断術 低位前方切除術	50	17.4
		腹腔鏡下直腸切除・切断術 切除術	27	15.5
		腹腔鏡下直腸切除・切断術 切断術	20	28.0
		人工肛門閉鎖術 腸管切除を伴うもの 直腸切除術後のもの	20	12.5
		人工肛門閉鎖術 腸管切除を伴うもの その他のもの	18	10.2
		結腸切除術 全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術	9	23.2
		腹腔鏡下人工肛門造設術	9	19.2
		骨盤内臓全摘術	6	34.8
		早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	5	9.0
		化学療法ありかつ放射線療法あり	4	32.3
		化学療法なしかつ放射線療法あり	4	26.3
		直腸切除・切断術 低位前方切除術	2	25.5
		腸吻合術	2	20.5
		内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術 長径2センチメートル以上	2	17.0
		下部消化管ステント留置術	2	14.0
		創傷処理 筋肉、臓器に達するもの（長径5センチメートル未満）	2	12.0
		人工肛門閉鎖術 腸管切除を伴わないもの	2	10.0
		人工肛門閉鎖術 腸管切除を伴うもの	2	9.5
		内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術 長径2センチメートル未満	2	3.0
		腹腔鏡下小腸切除術 複雑なもの	1	19.0
		回腸（結腸）導管造設術	1	17.0
		抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	1	15.0
		腹腔鏡下試験開腹術	1	13.0
		腹腔鏡下結腸切除術 全切除、亜全切除	1	13.0
		大網、腸間膜、後腹膜腫瘍摘出術 腸切除を伴わないもの	1	12.0
		経皮的腹腔膿瘍ドレナージ術	1	12.0
		腹腔鏡下小切開後腹膜腫瘍摘出術	1	10.0
		結腸切除術 小範囲切除	1	10.0
		腹腔鏡下結腸切除術 小範囲切除、結腸半側切除	1	8.0
ペパシズマブ	1	4.0		
C22	肝及び肝内胆管	血管塞栓術（頭部、胸腔、腹腔内血管等） 選択的動脈化学塞栓術	40	5.3
		肝切除術 2区域切除	6	14.3
		肝切除術 亜区域切除	6	12.0
		肝切除術 部分切除 単回の切除によるもの	6	11.0
		肝切除術 1区域切除（外側区域切除を除く。）	5	12.6
		内視鏡的胆道ステント留置術	3	6.3
		肝切除術 3区域切除以上のもの	2	22.5
		肝切除術 部分切除 複数回の切除を要するもの	2	11.5
		腹腔鏡下肝切除術 部分切除 単回の切除によるもの	2	6.5
		内視鏡的乳頭切開術 乳頭括約筋切開のみのもの	1	31.0
		血管塞栓術（頭部、胸腔、腹腔内血管等） その他のもの	1	7.0
		内視鏡的胆道ステント留置術	24	8.8
C23 ~C24	胆のう<囊>、胆道	膵頭部腫瘍切除術 リンパ節・神経叢部清等を伴う腫瘍切除術の場合又は十二指腸温存膵頭切除術の場合	7	28.6
		経皮的胆管ドレナージ術	6	18.0
		胆嚢悪性腫瘍手術 肝切除（亜区域切除以上）を伴うもの	5	18.2
		血管塞栓術（頭部、胸腔、腹腔内血管等） 止血術	2	34.5
		肝門部胆管悪性腫瘍手術 血行再建なし	2	14.0
		胃・十二指腸ファイバースコープ	2	2.0
		肝切除術 2区域切除以上であって、血行再建を伴うもの	1	73.0
		胆嚢悪性腫瘍手術 膵頭十二指腸切除を伴うもの	1	72.0
		膵頭部腫瘍切除術 膵頭十二指腸切除術の場合	1	49.0
腹腔鏡下胆嚢摘出術	1	21.0		

コード	部位	主な手術・処置（1入院に対して主な手術・処置を1つ選択）	件数	在院日数の平均（日）
C23 ~C24	胆のう<囊>、胆道	抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	1	19.0
		内視鏡的胆道拡張術	1	15.0
		肝切除術 亜区域切除	1	11.0
		経皮的腹腔膿瘍ドレナージ術	1	11.0
C25	膵	内視鏡的胆道ステント留置術	32	6.2
		膵頭部腫瘍切除術 リンパ節・神経叢郭清等を伴う腫瘍切除術の場合又は十二指腸温存膵頭切除術の場合	13	25.1
		膵体尾部腫瘍切除術 リンパ節・神経叢郭清等を伴う腫瘍切除術の場合	5	26.4
		膵頭部腫瘍切除術 血行再建を伴う腫瘍切除術の場合	4	22.3
		膵体尾部腫瘍切除術 血行再建を伴う腫瘍切除術の場合	3	38.7
		十二指腸空腸吻合術	3	18.0
		膵体尾部腫瘍切除術 周辺臓器（胃、結腸、腎、副腎等）の合併切除を伴う腫瘍切除術の場合	2	31.0
		経皮的胆管ドレナージ術	2	13.5
		超音波内視鏡下穿刺吸引生検法	2	2.0
		化学療法ありかつ放射線療法あり	1	36.0
		血管塞栓術（頭部、胸腔、腹腔内血管等）止血術	1	24.0
		膵全摘術	1	18.0
		膵体尾部腫瘍切除術 膵尾部切除術の場合 脾同時切除の場合	1	16.0
		膵頭部腫瘍切除術 膵頭十二指腸切除術の場合	1	12.0
		試験開腹術	1	7.0
		腹腔鏡下試験切除術	1	5.0
化学療法なしかつ放射線療法あり	1	2.0		
C26	その他の消化器	リンパ節摘出術 長径3センチメートル以上	1	33.0
C30-C39	呼吸器及び胸腔内臓器の悪性新生物<腫瘍>			
C30 ~C31	鼻腔及び中耳、副鼻腔	鼻副鼻腔悪性腫瘍手術 全摘	1	12.0
		鼻副鼻腔悪性腫瘍手術 切除	1	6.0
C32	喉頭	喉頭悪性腫瘍手術 全摘	2	107.0
		抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	1	74.0
		化学療法なしかつ放射線療法あり	1	57.0
		喉頭形成手術 人工形成材料挿置術、軟骨片挿置術	1	5.0
C33 ~C34	気管、気管支及び肺	化学療法ありかつ放射線療法なし	65	5.4
		胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 肺葉切除又は1肺葉を超えるもの	33	9.6
		気管支ファイバースコピー	31	3.0
		ベムプロリズマブ	28	7.6
		経気管肺生検法	28	2.6
		抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	18	18.4
		ラムシルマブ	17	6.7
		胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 部分切除	15	7.0
		アテゾリズマブ	13	9.3
		化学療法ありかつ放射線療法あり	10	23.2
		経皮的針生検法	10	2.0
		胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 区域切除	8	10.1
		ペメトレキセドナトリウム	8	4.9
		超音波気管支鏡下穿刺吸引生検法（E B U S - T B N A）	8	2.1
		カルボプラチン+パクリタキセルあり	7	28.7
		オシメルチニブメシル酸塩	5	10.2
		化学療法なしかつ放射線療法あり	4	17.3
		アレクチニブ塩酸塩	2	15.0
		肺悪性腫瘍手術 部分切除	2	13.0
		胸腔鏡下試験切除術	2	10.5
		肺悪性腫瘍手術 肺葉切除又は1肺葉を超えるもの	2	9.0
		静脈形成術、吻合術 胸腔内静脈	1	27.0
		胸腔鏡下膿胸腔搔爬術	1	24.0
		気管支瘻孔閉鎖術	1	22.0
		肺悪性腫瘍手術 隣接臓器合併切除を伴う肺切除	1	14.0
		胸腔鏡下肺切除術 区域切除	1	11.0
		肺悪性腫瘍手術 区域切除	1	10.0
		デュルバルマブ	1	6.0
気管・気管支ステント留置術 硬性鏡によるもの	1	4.0		
ニボルマブ	1	2.0		
C37	胸腺	化学療法ありかつ放射線療法なし	3	7.3
		抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	1	7.0
C38	心臓、縦隔及び胸膜	リンパ節摘出術 長径3センチメートル未満	1	23.0
		胸腔鏡下試験切除術	1	13.0

コード	部位	主な手術・処置（1入院に対して主な手術・処置を1つ選択）	件数	在院日数の平均（日）
C40-C41	骨及び関節軟骨の悪性新生物<腫瘍>			
C40	(四) 肢の骨及び関節軟骨	四肢・軀幹軟部悪性腫瘍手術 肩、上腕、前腕、大腿、下腿、軀幹	1	4.0
C41	その他の骨及び関節軟骨	胸骨悪性腫瘍摘出術 胸壁形成手術を併施するもの	1	26.0
		四肢・軀幹軟部悪性腫瘍手術 肩、上腕、前腕、大腿、下腿、軀幹	1	23.0
C43-C44	皮膚の悪性新生物<腫瘍>			
C43~C44	皮膚及びその他の皮膚	皮膚悪性腫瘍切除術 単純切除	10	11.9
		ニボルマブ	2	4.0
		デブリードマン 100平方センチメートル未満	1	16.0
		全層植皮術 25平方センチメートル以上100平方センチメートル未満	1	10.0
		皮膚悪性腫瘍切除術 単純切除	1	6.0
		化学療法なしかつ放射線療法あり	1	6.0
C45-C49	中皮及び軟部組織の悪性新生物<腫瘍>			
C47	末梢神経及び自律神経系	骨盤腹膜外腫瘍切開排膿術	1	99.0
C48	後腹膜及び腹膜	トラベクテジン	10	5.3
		大網、腸間膜、後腹膜腫瘍摘出術 腸切除を伴わないもの	2	19.5
		化学療法ありかつ放射線療法なし	2	4.0
		後腹膜悪性腫瘍手術	1	32.0
		抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	1	24.0
		腹腔鏡下大網、腸間膜、後腹膜腫瘍摘出術	1	8.0
C49	その他の結合組織及び軟部組織	四肢・軀幹軟部悪性腫瘍手術 肩、上腕、前腕、大腿、下腿、軀幹	7	19.4
		化学療法ありかつ放射線療法なし	7	6.4
		抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	2	25.5
		四肢・軀幹軟部悪性腫瘍手術 手、足	1	33.0
C50	乳房の悪性新生物<腫瘍>			
C50	乳房	乳腺悪性腫瘍手術 乳房切除術（腋窩部郭清を伴わないもの）	32	10.6
		乳腺悪性腫瘍手術 乳房部分切除術（腋窩部郭清を伴わないもの）	19	6.3
		シクロホスファミド+塩酸エピルビシンあり	11	4.0
		乳腺悪性腫瘍手術 乳房切除術（腋窩鎖骨下部郭清を伴うもの）・胸筋切除を併施しないもの	10	10.0
		抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	10	5.9
		化学療法ありかつ放射線療法なし	7	3.9
		トラスツズマブ	5	2.6
		ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術（乳房切除後）	4	11.0
		ベルツズマブ	4	4.0
		ドセタキセル	4	3.0
		放射線療法	3	22.0
		乳腺悪性腫瘍手術 乳輪温存乳房切除術（腋窩部郭清を伴わないもの）	3	16.7
		乳腺悪性腫瘍手術 単純乳房切除術（乳腺全摘術）	2	9.0
		トラスツズマブ デルクステカン	2	6.5
		パクリタキセル	2	3.0
		動脈（皮）弁及び筋（皮）弁を用いた乳房再建術（乳房切除後） 二次的に行うもの	1	23.0
		組織拡張器による再建手術（一連につき） 乳房（再建手術）の場合	1	12.0
		アテゾリズマブ	1	10.0
		胸壁腫瘍摘出術	1	9.0
		乳管腺葉区域切除術	1	4.0
ベバシズマブ	1	3.0		
C51-C58	女性生殖器の悪性新生物<腫瘍>			
C51	外陰（部）	皮膚悪性腫瘍切除術 単純切除	1	16.0
C53	子宮頸（部）	子宮全摘術	4	8.0
		化学療法ありかつ放射線療法なし	3	4.0
		子宮悪性腫瘍手術	1	11.0
		ベバシズマブ	1	4.0
C54	子宮体部	化学療法ありかつ放射線療法なし	28	7.0
		子宮悪性腫瘍手術	12	10.0
		子宮全摘術	5	8.6
		エダラボン	1	45.0
		骨盤内臓全摘術	1	30.0
C56	卵巣	化学療法ありかつ放射線療法なし	41	4.6
		ベバシズマブ	24	4.9
		カルボプラチン+パクリタキセルあり	13	7.6
		子宮付属器悪性腫瘍手術（両側）	6	9.8
		ドキシソルビシン塩酸塩リボソーム製剤	6	5.3
		カルボプラチン+ドセタキセルあり	5	9.0
		子宮付属器腫瘍摘出術（両側） 開腹によるもの	3	15.0
		胸水・腹水濾過濃縮再静注法	2	9.0
		抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	2	9.0

悪性新生物統計

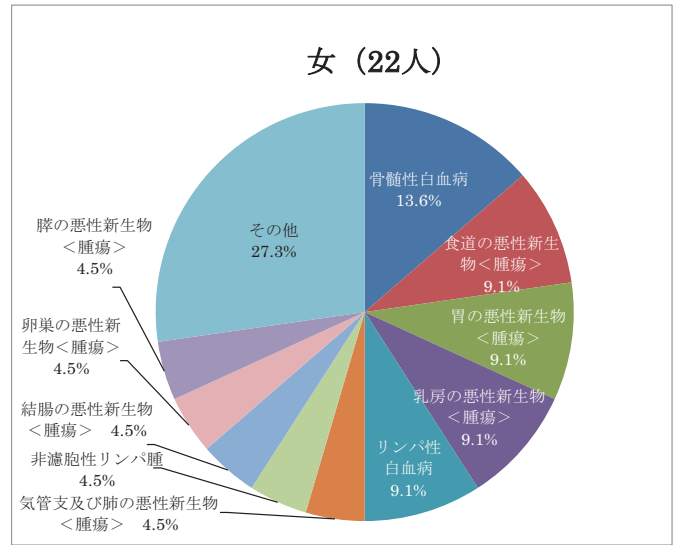
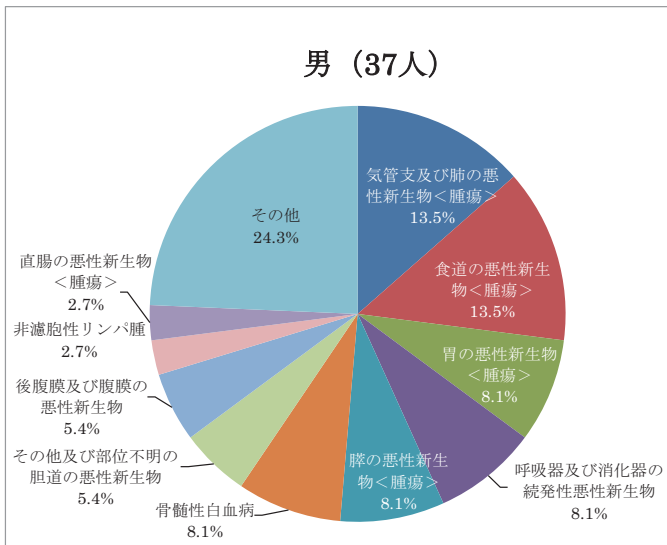
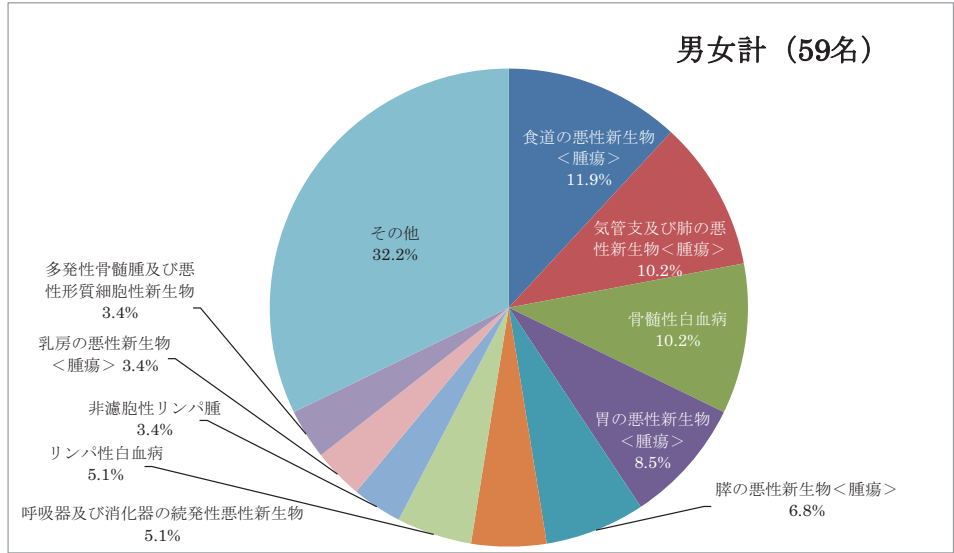
コード	部位	主な手術・処置（1入院に対して主な手術・処置を1つ選択）	件数	在院日数の平均（日）
C57	その他の女性生殖器	カルボプラチン+パクリタキセルあり	14	4.7
		ベバシズマブ	2	3.0
		子宮附属器腫瘍摘出術（両側） 開腹によるもの	1	21.0
		子宮附属器悪性腫瘍手術（両側）	1	8.0
		ドキシソルピシン塩酸塩リゾソーム製剤	1	3.0
C60-C63 男性生殖器の悪性新生物<腫瘍>				
C61	前立腺	前立腺針生検法	55	2.0
		精巣摘出術	26	5.4
		化学療法	14	11.0
		腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	9	16.6
		抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	5	12.2
		カバジタキセル アセトン付加物	5	11.0
		放射線療法	2	34.0
		前立腺悪性腫瘍手術	1	84.0
		ドセタキセル	1	14.0
		アピラテロン酢酸エステル	1	13.0
		経尿道的前立腺手術 電解質溶液利用のもの	1	12.0
C62	精巣<辜丸>	精巣悪性腫瘍手術	5	12.4
		化学療法	1	16.0
C64-C68 腎尿路の悪性新生物<腫瘍>				
C64	腎盂を除く腎	腹腔鏡下腎（尿管）悪性腫瘍手術	16	9.9
		ペムプロリズマブ	4	17.8
		腹腔鏡下小切開腎（尿管）悪性腫瘍手術	3	11.3
		ニボルマブ	2	10.0
		腎（尿管）悪性腫瘍手術	1	16.0
		スニチニブリンゴ酸	1	12.0
C65	腎盂	化学療法	11	15.8
		腹腔鏡下腎（尿管）悪性腫瘍手術	6	11.7
		抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	3	30.0
C66	尿管	ペムプロリズマブ	3	12.0
		化学療法	7	6.0
		腹腔鏡下腎（尿管）悪性腫瘍手術	5	12.4
C66	尿管	抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	2	17.5
		ペムプロリズマブ	1	60.0
		化学療法	1	6.0
C67	膀胱	膀胱悪性腫瘍手術 経尿道的手術 電解質溶液利用のもの	38	6.5
		化学療法	9	17.8
		腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術 全摘（回腸又は結腸導管を利用して尿路変更を行うもの）	8	28.0
		尿管皮膚瘻造設術	3	34.0
		抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	3	21.0
		膀胱悪性腫瘍手術 全摘（腸管等を利用して尿路変更を行わないもの）	1	25.0
		経皮的腎（腎盂）瘻造設術	1	20.0
		放射線療法	1	14.0
		膀胱悪性腫瘍手術 切除	1	11.0
		ペムプロリズマブ	1	9.0
C68	その他の尿路	経尿道的前立腺手術 電解質溶液利用のもの	1	6.0
		陰茎全摘術	1	68.0
C68	その他の尿路	膀胱悪性腫瘍手術 全摘（回腸又は結腸導管を利用して尿路変更を行うもの）	1	17.0
		膀胱悪性腫瘍手術 全摘（回腸又は結腸導管を利用して尿路変更を行うもの）	1	17.0
C69-C72 眼、脳及び中枢神経系のその他の部位の悪性新生物<腫瘍>				
C69	眼及び付属器	眼球摘出術	1	54.0
		化学療法	1	29.0
		眼窩内腫瘍摘出術（表在性）	1	9.0
C71	脳	頭蓋内腫瘍摘出術 その他のもの	1	15.0
C73-C75 甲状腺及びその他の内分泌腺の悪性新生物<腫瘍>				
C73	甲状腺	甲状腺悪性腫瘍手術 切除（頸部外側区域郭清を伴わないもの）	16	5.4
		甲状腺悪性腫瘍手術 全摘及び亜全摘（頸部外側区域郭清を伴わないもの）	5	7.4
		甲状腺悪性腫瘍手術 切除（頸部外側区域郭清を伴うもの）	4	13.0
		甲状腺悪性腫瘍手術 全摘及び亜全摘（片側頸部外側区域郭清を伴うもの）	4	6.8
		頸部郭清術 片側	4	5.3
		レンパチニブメシル酸塩	3	17.7
		甲状腺悪性腫瘍手術 全摘及び亜全摘（両側頸部外側区域郭清を伴うもの）	2	6.0

コード	部位	主な手術・処置（1入院に対して主な手術・処置を1つ選択）	件数	在院日数の平均（日）
C76-C80	部位不明確、続発部位及び部位不明の悪性新生物<腫瘍>			
C77	リンパ節の続発性及び部位不明	頸部郭清術 片側	8	9.5
		化学療法ありかつ放射線療法なし	3	4.0
		リンパ節摘出術 長径3センチメートル未満	2	5.5
		抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	1	47.0
		リンパ節群郭清術 骨盤	1	41.0
		リンパ節群郭清術 後腹膜	1	9.0
		リンパ節摘出術 長径3センチメートル以上	1	7.0
		リンパ節群郭清術 頸部（深在性）	1	3.0
		セツキシマブ	1	3.0
C78	呼吸器及び消化器の続発性	肝切除術 部分切除 単回の切除によるもの	15	12.7
		胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 部分切除	13	8.5
		肝切除術 部分切除 複数回の切除を要するもの	12	12.3
		胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 肺葉切除又は1肺葉を超えるもの	7	8.6
		肝切除術 亜区域切除	5	11.8
		胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 区域切除	5	6.6
		肝切除術 2区域切除	3	12.3
		化学療法なしかつ放射線療法あり	3	4.3
		腹腔鏡下直腸切除・切断術 低位前方切除術	2	16.5
		中心静脈注射用植込型カテーテル設置（四肢）	2	13.0
		肝切除術 1区域切除（外側区域切除を除く。）	2	12.5
		大網、腸間膜、後腹膜腫瘍摘出術 腸切除を伴わないもの	2	6.5
		血管塞栓術（頭部、胸腔、腹腔内血管等） 選択的動脈化学塞栓術	2	3.0
		腓体尾部腫瘍切除術 リンパ節・神経叢郭清等を伴う腫瘍切除術の場合	1	14.0
		人工肛門閉鎖術 腸管切除を伴うもの 直腸切除術後のもの	1	9.0
		胸壁悪性腫瘍摘出術 その他のもの	1	8.0
		経皮的胆管ドレナージ術	1	8.0
		腹腔鏡下大網、腸間膜、後腹膜腫瘍摘出術	1	7.0
C79	その他の部位の続発性	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（多椎間又は多椎弓の場合を含む。） 後方又は後側方固定	9	23.2
		放射線療法	5	17.4
		化学療法なしかつ放射線療法あり	4	16.0
		頭蓋内腫瘍摘出術 その他のもの	2	24.0
		子宮付属器腫瘍摘出術（両側） 開腹によるもの	2	20.5
		人工骨頭挿入術 肩、股	1	10.0
		胸壁悪性腫瘍摘出術 その他のもの	1	10.0
		四肢・軀幹軟部腫瘍摘出術 肩、上腕、前腕、大腿、下腿、軀幹	1	8.0
		皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部以外） 長径3センチメートル未満	1	2.0
				子宮付属器腫瘍摘出術（両側） 開腹によるもの
C80	部位の明示なし	内視鏡的胆道ステント留置術	1	17.0
C81-C96	リンパ組織、造血組織及び関連組織の悪性新生物<腫瘍>、原発と記載された又は推定されたもの			
C81	ホジキン<Hodgkin>リンパ腫	ブレンツキシマブ ベドチン	3	24.0
		抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	2	17.5
		中心静脈注射	1	36.0
		化学療法ありかつ放射線療法なし	1	8.0
C82	濾胞性リンパ腫	リツキシマブ	10	17.7
		リツキシマブ+フィルグラスチム	8	20.3
		オビヌツズマブ	8	15.1
		抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	5	20.6
		化学療法ありかつ放射線療法なし	4	19.8
		ベンダムスチン塩酸塩	4	15.8
		放射線療法	2	22.5
		造血幹細胞移植（末梢血幹細胞移植）（自家移植）	1	25.0
造血幹細胞採取（末梢血幹細胞採取）（自家移植）	1	23.0		
C83	非濾胞性リンパ腫	リツキシマブ	71	16.4
		リツキシマブ+フィルグラスチム	45	19.0
		抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	33	25.9
		化学療法ありかつ放射線療法なし	23	17.1
		ベンダムスチン塩酸塩	9	10.3
		造血幹細胞採取（末梢血幹細胞採取）（自家移植）	7	20.7
		造血幹細胞移植（末梢血幹細胞移植）（自家移植）	6	43.0
		中心静脈注射	4	20.3

コード	部位	主な手術・処置（1入院に対して主な手術・処置を1つ選択）	件数	在院日数の平均（日）
C83	非濾胞性リンパ腫	リンパ節摘出術 長径3センチメートル未満	3	29.0
		放射線療法	3	27.3
		抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 頭頸部その他に設置した場合	2	65.0
		創傷処理 筋肉、臓器に達するもの（長径5センチメートル未満）	2	42.0
		イブルチニブ	2	17.5
		ボルテゾミブ	2	8.5
C84	成熟T/NK細胞リンパ腫	リンパ節群郭清術 腋窩	1	38.0
		ブレンツキシマブ ベドチン	14	17.4
		化学療法ありかつ放射線療法なし	4	21.8
		抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	3	79.0
		ロミデブシン	1	25.0
C85	非ホジキン<non-Hodgkin>リンパ腫のその他の型	抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 頭頸部その他に設置した場合	1	19.0
		造血幹細胞採取（末梢血幹細胞採取）（自家移植）	3	33.7
		リンパ節摘出術 長径3センチメートル以上	2	3.0
		試験開頭術	1	46.0
		抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	1	42.0
		造血幹細胞移植（末梢血幹細胞移植）（自家移植）	1	33.0
		リツキシマブ+フィルグラスチム	1	18.0
		バンダムスチン塩酸塩	1	14.0
C86	T/NK細胞リンパ腫のその他の明示された型	リンパ節摘出術 長径3センチメートル未満	1	7.0
		化学療法ありかつ放射線療法なし	9	17.8
		抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	6	28.3
		モガムリズマブ	3	29.0
		造血幹細胞移植（末梢血幹細胞移植）（同種移植）	1	114.0
		造血幹細胞移植（骨髄移植）（同種移植）	1	94.0
C88	悪性免疫増殖性疾患	造血幹細胞移植（末梢血幹細胞移植）（自家移植）	1	27.0
		リツキシマブ+フィルグラスチム	2	15.0
		放射線療法	1	19.0
		化学療法ありかつ放射線療法なし	1	17.0
		リツキシマブ	1	15.0
C90	多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物	抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	1	12.0
		ボルテゾミブ	9	22.4
		造血幹細胞移植（末梢血幹細胞移植）（自家移植）	8	68.4
		抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	8	42.8
		造血幹細胞採取（末梢血幹細胞採取）（自家移植）	7	5.7
		カルフィルゾミブ	6	19.7
		レナリドミド	5	16.0
		ボマリドミド	4	28.3
		化学療法ありかつ放射線療法なし	3	35.3
		ドラツムマブ	3	23.0
		エロツズマブ	2	30.0
		造血幹細胞移植（骨髄移植）（同種移植）	1	115.0
		イサツキシマブ	1	20.0
C91	リンパ性白血病	化学療法ありかつ放射線療法なし	15	23.5
		化学療法	13	30.8
		ダサチニブ	8	33.4
		中心静脈注射	4	35.5
		抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	4	22.0
		造血幹細胞移植（骨髄移植）（同種移植）	3	109.3
		造血幹細胞移植（臍帯血移植）	2	139.5
		創傷処理 筋肉、臓器に達するもの（長径5センチメートル未満）	2	36.5
		抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 頭頸部その他に設置した場合	1	106.0
		造血幹細胞移植（末梢血幹細胞移植）（同種移植）	1	76.0
		リンパ節摘出術 長径3センチメートル以上	1	58.0
		リンパ節摘出術 長径3センチメートル未満	1	44.0
		モガムリズマブ	1	26.0
		涙点プラグ挿入術、涙点閉鎖術	1	26.0
		造血幹細胞採取（末梢血幹細胞採取）（自家移植）	1	20.0
		イブルチニブ	1	13.0

コード	部位	主な手術・処置（1入院に対して主な手術・処置を1つ選択）	件数	在院日数の平均（日）
C92	骨髄性白血病	化学療法	24	40.1
		中心静脈注射	5	38.4
		造血幹細胞移植（末梢血幹細胞移植）（同種移植）	4	117.0
		抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 頭頸部その他に設置した場合	3	123.7
		抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	2	27.0
		ボスチニブ	2	19.5
		ダサチニブ	2	16.0
		造血幹細胞移植（骨髄移植）（同種移植）	1	118.0
		リンパ節摘出術 長径3センチメートル以上	1	59.0
		三酸化ヒ素製剤	1	35.0
		ギルテリチニブフマル酸塩	1	17.0
イマチニブメシル酸塩	1	12.0		
C93	単球性白血病	中心静脈注射	2	43.5
		ギルテリチニブフマル酸塩	1	14.0
C95	細胞型不明の白血病	アザシチジン	1	30.0
C96	その他及び詳細不明	化学療法	1	11.0
D00-D09 上皮内新生物<腫瘍>				
D04	皮膚の上皮内癌	皮膚悪性腫瘍切除術 単純切除	3	11.0
D06	子宮頸（部）の上皮内癌	子宮頸部（陰部）切除術	10	3.0
		子宮頸部異形成上皮又は上皮内癌レーザー照射治療	4	3.0
		子宮全摘術	2	6.5

(2) 悪性新生物による死亡患者数



6 死亡患者統計

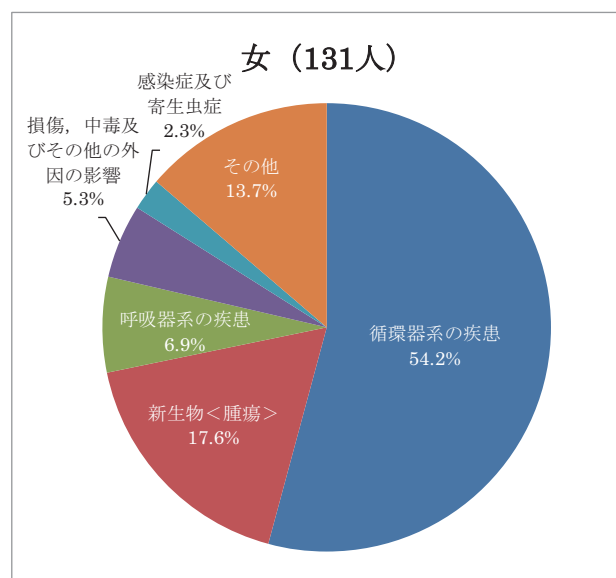
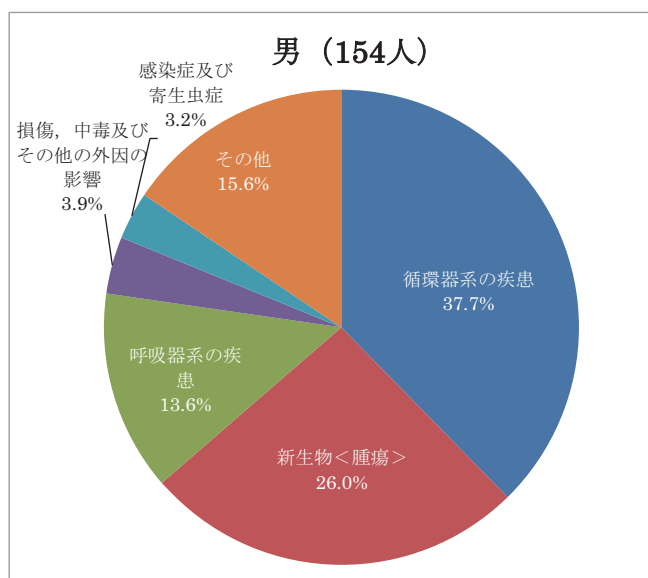
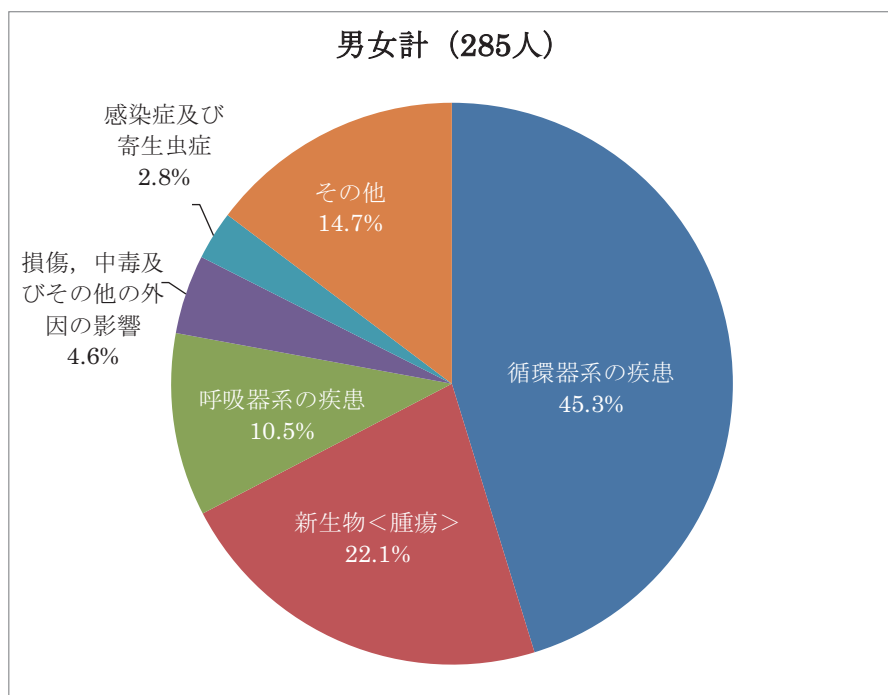
(1) 科別死亡率

診療科	退院患者数			死亡患者数				
	男	女	計	男	女	計	死亡率 (%)	平均年齢 (才)
総合診療科	140	154	294	3	8	11	3.7%	83.4
精神科	30	39	69				-	-
血液内科・輸血科	483	306	789	9	9	18	2.3%	72.4
糖尿病・内分泌内科	40	72	112				-	-
放射線療法科	1		1				-	-
感染症科	91	68	159	8	3	11	6.9%	80.0
腫瘍内科	14	9	23	1		1	4.3%	72.0
ペインクリニック科	6	4	10				-	-
脳神経外科	272	212	484	11	16	27	5.6%	77.8
眼科	61	54	115				-	-
耳鼻咽喉科	206	101	307	2		2	0.7%	65.5
歯科口腔外科	47	77	124				-	-
呼吸器内科	244	150	394	11	3	14	3.6%	78.0
呼吸器外科	157	78	235				-	-
循環器内科	702	336	1,038	8	7	15	1.4%	76.7
心臓血管外科	201	109	310	5	7	12	3.9%	79.3
乳腺・甲状腺外科	37	221	258		2	2	0.8%	71.5
消化器内科	410	275	685	7	3	10	1.5%	75.3
消化器外科・一般外科	939	550	1,489	18	8	26	1.7%	72.8
泌尿器科	434	99	533	2	1	3	0.6%	76.3
腎臓内科・膠原病科	56	53	109	1		1	0.9%	79.0
婦人科		455	455		2	2	0.4%	61.0
生殖医療科		6	6				-	-
移植外科	66	39	105	1	1	2	1.9%	72.5
救命救急科	138	131	269	61	56	117	43.5%	75.3
小児科	414	301	715	3	4	7	1.0%	4.0
小児外科	89	39	128				-	-
産科		712	712				-	-
皮膚科	14	23	37				-	-
整形外科	656	596	1,252	2	1	3	0.2%	72.7
形成外科	85	48	133	1		1	0.8%	90.0
児童精神科	15	19	34				-	-
合計	6,048	5,336	11,384	154	131	285	2.5%	74.1

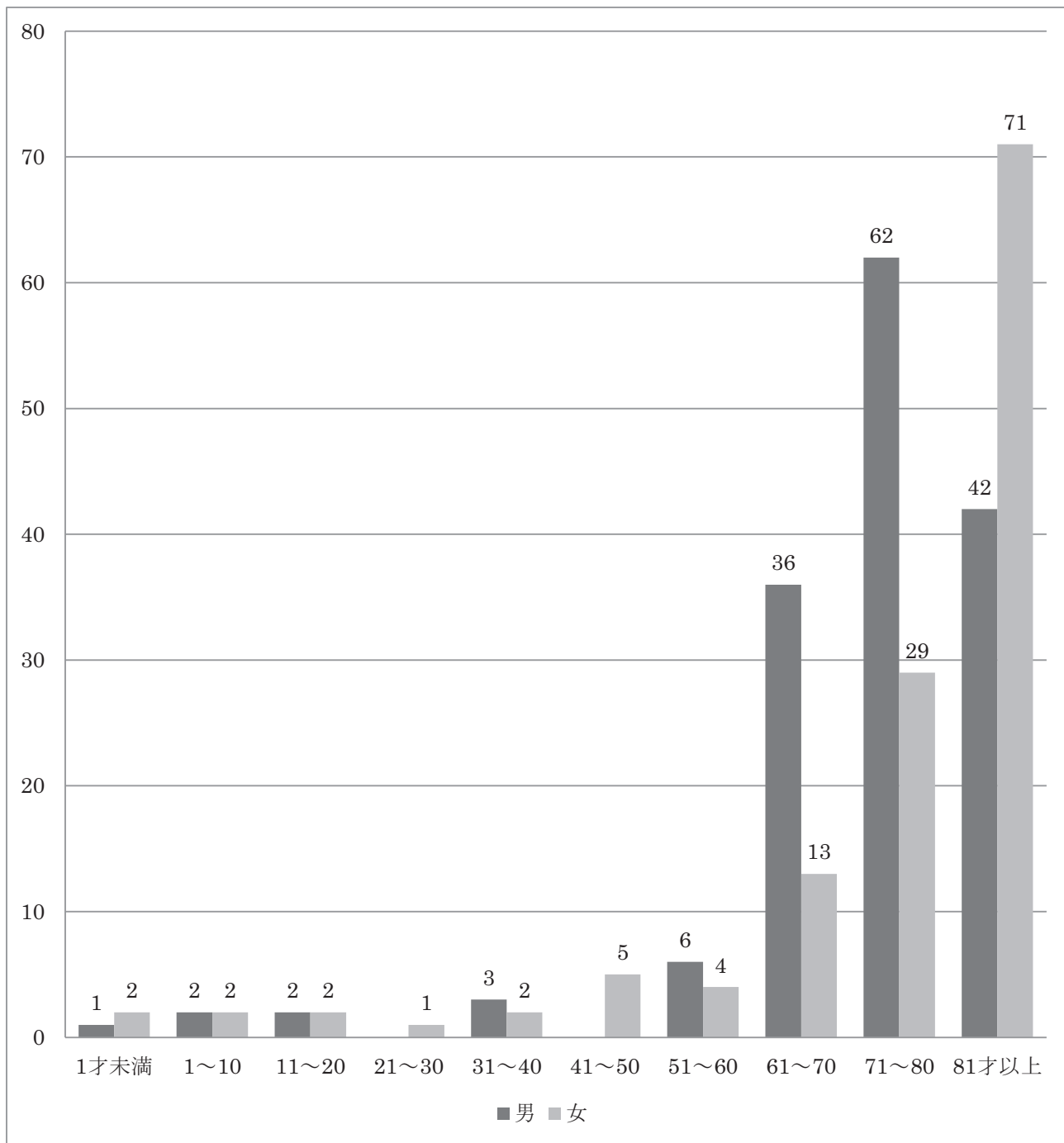
(2) 死亡患者数

疾病大分類		死亡患者数			
		男	女	計	%
I	感染症及び寄生虫症	5	3	8	2.8%
II	新生物<腫瘍>	40	23	63	22.1%
III	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の傷害	0	1	1	0.4%
IV	内分泌, 栄養及び代謝疾患				-
V	精神及び行動の障害				-
VI	神経系の疾患	3	2	5	1.8%
VII	眼及び付属器の疾患				-
VIII	耳及び乳様突起の疾患				-
IX	循環器系の疾患	58	71	129	45.3%
X	呼吸器系の疾患	21	9	30	10.5%
X I	消化器系の疾患	5	3	8	2.8%
X II	皮膚及び皮下組織の疾患	0	1	1	0.4%
X III	筋骨格系及び結合組織の疾患	0	1	1	0.4%
X IV	腎尿路生殖器系の疾患	4	2	6	2.1%
X V	妊娠, 分娩及び産褥				-
X VI	周産期に発生した病態	0	1	1	0.4%
X VII	先天奇形, 変形及び染色体異常	0	1	1	0.4%
X VIII	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの				-
X IX	損傷, 中毒及びその他の外因の影響	6	7	13	4.6%
X X	傷病及び死亡の外因				-
X X II	その他	12	6	18	6.3%
合 計		154	131	285	100.0%

(3) 死亡患者数の割合



(4) 年齢別死亡患者数



(5) 死亡患者疾病順位表<性別・年齢別>

年齢階層	患者数	順位																			
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10										
男 (154人)	1才未満	循環器系の疾患 1																			
	1-10	循環器系の疾患 1	新生物<腫瘍> 1																		
	11-20	循環器系の疾患 2																			
	21-30	0																			
	31-40	3	循環器系の疾患 3																		
	41-50	0																			
	51-60	6	循環器系の疾患 2	新生物<腫瘍> 2	脳腫、中脳及びその他の外国の影響 1	その他 1															
	61-70	36	新生物<腫瘍> 15	循環器系の疾患 11	その他 3	呼吸器系の疾患 2	消化器系の疾患 2	腎尿路生殖器系の疾患 2	脳腫、中脳及びその他の外国の影響 1												
	71-80	62	循環器系の疾患 23	新生物<腫瘍> 16	呼吸器系の疾患 7	その他 6	消化器系の疾患 2	腎尿路生殖器系の疾患 2	感染症及び寄生虫症 2	神経系の疾患 1											
	81才以上	42	循環器系の疾患 15	呼吸器系の疾患 12	新生物<腫瘍> 6	感染症及び寄生虫症 3	その他 2	神経系の疾患 2	消化器系の疾患 2	脳腫、中脳及びその他の外国の影響 1											
女 (131人)	1才未満	2	周産期に発生した病態 1	先天性形、変形及び染色体異常 1																	
	1-10	2	新生物<腫瘍> 1	脳腫、中脳及びその他の外国の影響 1																	
	11-20	2	循環器系の疾患 2																		
	21-30	1	循環器系の疾患 1																		
	31-40	2	新生物<腫瘍> 2																		
	41-50	5	循環器系の疾患 3	新生物<腫瘍> 1	神経系の疾患 1																
	51-60	4	循環器系の疾患 3	消化器系の疾患 1																	
	61-70	13	循環器系の疾患 5	新生物<腫瘍> 5	感染症及び寄生虫症 1	腎尿路生殖器系の疾患 1	筋骨格系及び結合組織の疾患 1														
	71-80	29	循環器系の疾患 12	新生物<腫瘍> 7	呼吸器系の疾患 3	その他 2	消化器系の疾患 1	腎尿路生殖器系の疾患 1	神経系の疾患 1	その他 1											
	81才以上	71	循環器系の疾患 45	新生物<腫瘍> 7	呼吸器系の疾患 6	その他 5	消化器系の疾患 4	腎尿路生殖器系の疾患 2	感染症及び寄生虫症 1	皮膚及び皮下組織の疾患 1											

令和2年度
高知医療センター年報

発行 高知医療センター 広報委員会

〒781-8555 高知市池2125番地1

電話 088-837-3000(代)

